



順天堂大学医学部附属 静岡病院 年報



2021年度版

2021 年度版静岡病院年報発刊に寄せて

順天堂大学医学部附属静岡病院院長 佐藤浩一

2021 年度も新型コロナウイルス感染症は終息することなく、流行と小康状態を繰り返し現在は第 7 波に至っております。こうした状況下でも、当院は病院機能を落とすことなくさらに充実させ、多くの仕事を成し遂げております。

6 月 21 日には静岡県より静岡県ワクチン大規模接種会場に指定され、地域住民への新型コロナワクチン接種を開始しました。現在まで 4 万回ほどのワクチン接種を行い、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めております。

また、7 月から 8 月にかけて、新型コロナウイルス感染症により延期されていた東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。当院は東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の要請を受け、自転車競技会場（伊豆ベロドローム、マウンテンバイク会場）および選手村に多くの医師、看護師、理学療法士、薬剤師を派遣し、自転車競技の安全な進行に大きく貢献しました。

7 月 30 日には H 棟竣工式が行われ、小川理事長、新井学長をはじめ、地域の市町・医師会関係者、本学関係者、設計関係者らに参列していただきました。これに引き続き、8 月 10 日にはシネアングロ室、救急外来、皮膚・アレルギー科外来、泌尿器科外来、レントゲン TV 室、内視鏡室、新生児センター、救急救命センター、産婦人科病棟、MFICU など H 棟の運用を開始しました。さらに 10 月には、ハイブリッド手術室、ロボット手術室を備えた新棟手術室の運用が始まりました。ハイブリッド手術室の完成により、いよいよ経カテーテル的心臓弁置換術（TAVI）を開始します。

5 月 21 日、地域医療連携推進法人の承認に向け、一般社団法人を設立しました。参加法人は順天堂大学医学部附属静岡病院、慈広会記念病院、リハビリテーション中伊豆温泉病院、長岡リハビリテーション病院の 4 病院です。9 月 9 日には地域医療連携推進法人として静岡県より認定を受け、地域医療連携推進法人 静岡県東部メディカルネットワークが誕生しました。今後は駿東田方 2 次医療圏の病院、診療所、介護医療院、訪問看護ステーションなどに参加して頂き、地域包括ケアや在宅医療を推進していきます。静岡県東部メディカルネットワークの設立に伴い、法人内の慈広会記念病院より病床融通を受け、2022 年 3 月 22 日、静岡県より 56 床増床の許可を頂きました。これにより許可病床は 633 床となり、静岡県で 4 番目の規模の大病院となりました。

今後も最新の設備や医療機器を利用し、高度で安全・安心な医療を提供し地域医療に貢献していきたいと考えております。

行事写真



2021.4.1 新入職員講習会



2021.4.12 看護師特定行為研修 一期生開講式



2021.7.30 H棟竣工式



2022.2.24 東部周産期研修会



2022.3.12 緩和ケア研修会



2022.3.15 臨床研修修了式

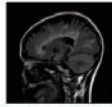


2022.3.23 看護師特定行為研修修了式

ミニレクチャー(動画 WEB 配信)

順天堂大学医学部附属静岡病院
第2回ミニレクチャー動画 Web配信

多発性硬化症って どんな病気?



講師 順天堂大学医学部附属静岡病院
脳神経内科

はしの やすのぶ
星野 泰延



配信期間 2021年

4月15日(木)～5月14日(金)

◆約10分間のミニレクチャー動画

◆視聴無料・申込不要



左記QRコードよりご視聴ください。
当院ホームページ内の専用ページへ移行します。

【お問い合わせ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話:055-948-3111
病院ホームページ: <http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/>

順天堂大学医学部附属静岡病院
第3回ミニレクチャー動画WEB配信

子宮頸がん予防ワクチン について

講師 順天堂大学医学部附属静岡病院
産婦人科 准教授

金田 容秀



配信期間

2021年

6月1日(火)～6月30日(水)

◆約10分間のミニレクチャー動画

◆視聴無料・申込不要



【お問い合わせ】
順天堂大学医学部附属静岡病院
地域医療連携室
電話:055-948-3111

QRコードよりご視聴ください。
当院ホームページ内の専用ページ
へ移行します。



順天堂大学医学部附属静岡病院
第4回ミニレクチャー動画 Web配信

糖尿病患者さんの

低血糖

～症状とその対応法～

講師 当院 糖尿病・内分泌内科
准教授 いけだ ふき
池田 富貴

配信期間

2021年 8月2日(月)～8月31日(火)

◆約10分間のミニレクチャー動画

◆視聴無料・申込不要

QRコード
から動画視聴
専用ページへ
移行します。



【お問い合わせ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話:055-948-3111
病院ホームページ: <http://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/>

順天堂大学医学部附属静岡病院
第5回ミニレクチャー動画 WEB配信

講師

皮膚・
アレルギー科
長谷川 敏男
教授



アトピー性皮膚炎の治療

配信期間

2021年

10月1日(金)～10月31日(日)

◆約10分間のミニレクチャー動画

◆視聴無料・申込不要



左のQRコードから
動画視聴専用ページへ移行します。

【お問合せ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話:055-948-3111
病院ホームページ: <https://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/>

順天堂大学医学部附属静岡病院
第6回ミニレクチャー動画 WEB配信

-慢性足潰瘍- いま足を守るために必要なこと

講師：形成外科 苅部 綾香 医師

2021年

配信期間

12月1日(水) → 12月30日(木)

◎視聴無料・申込不要

◎約10分間のミニレクチャー動画



左のQRコードから
動画視聴専用ページへ移行します。

【お問合せ】順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室 電話：055-948-3111
病院ホームページ：https://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/

順天堂大学医学部附属静岡病院
第7回ミニレクチャー動画 WEB配信



アレルギー性鼻炎について

講師：耳鼻咽喉科 新井 智 医師

2022 配信期間

2月1日(火) » 2月28日(月)

◎視聴無料・申込不要

◎約10分間のミニレクチャー動画

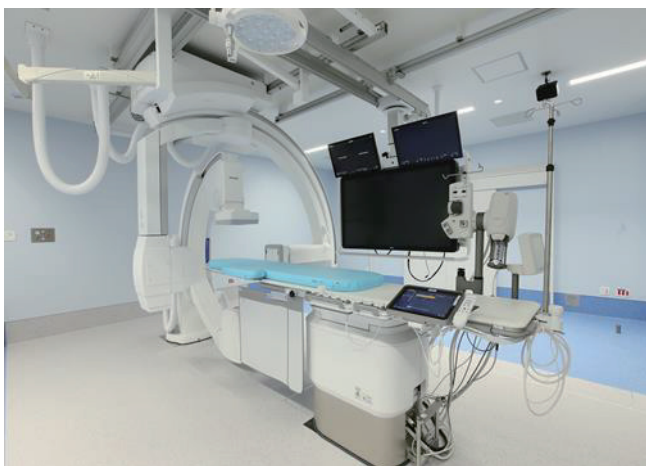


左のQRコードから
動画視聴専用ページへ移行します。

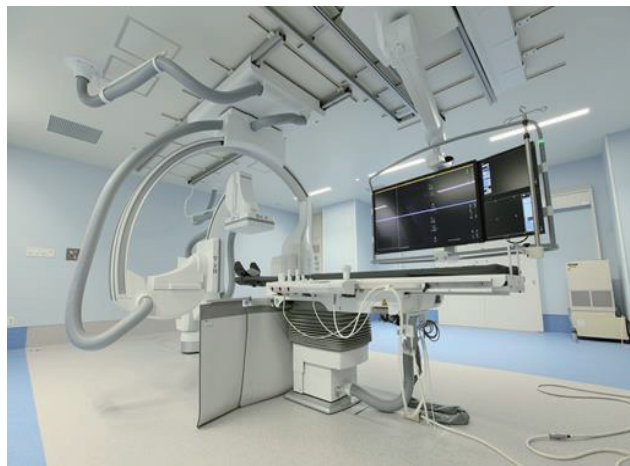


【お問合せ】
順天堂大学医学部附属静岡病院
地域医療連携室 電話：055-948-3111
病院ホームページ：
https://www.hosp-shizuoka.juntendo.ac.jp/

H 棟 紹介



血管造影 X 線診断装置（シネアンギオ装置）



血管造影 X 線診断装置（アンギオ装置）



救急外来診察室



CT 装置



内視鏡室



泌尿器外来



皮膚・アレルギー外来



NICU



ICU・CCU



手術室



ハイブリッド手術室



産婦人科病棟

目次

1. 病院概要

1-1	基本理念・基本方針・施設概要	3
1-2	組織機構図	4
1-3	所属長一覧	5
1-4	医師名簿	6
1-5	職員数	7
1-6	各種委員会	8
1-7(1)	活動報告	9
1-7(2)	講演会	11
1-8	社会貢献・地域交流活動	12
1-9	指定・認定・許可事項	13

2. 診療科報告

2-1	膠原病・リウマチ内科	18
2-2	血液内科	20
2-3	消化器内科	23
2-4	呼吸器内科	25
2-5	腎臓内科	27
2-6	糖尿病・内分泌内科	29
2-7	循環器内科	31
2-8	小児科	40
2-9	一般外科	42
2-10	脳神経外科	46
2-11	整形外科	51
2-12	脳神経内科	56
2-13	心臓血管外科	60
2-14	呼吸器外科	64
2-15	形成外科	66
2-16	眼科	68
2-17	耳鼻咽喉科	74
2-18	麻酔科・ペインクリニック	76
2-19	放射線科	78
2-20	メンタルクリニック	80
2-21	皮膚・アレルギー科	82
2-22	泌尿器科	84
2-23	産婦人科・総合周産期母子医療センター	88
2-24	救急診療科	92
2-25	病理診断科	99
2-26	リハビリテーション科	101
2-27	臨床検査科	104

3. 部門報告

3-1	薬剤科	107
3-2	栄養科	110
3-3	放射線室	112
3-4	検査室	116
3-5	手術室	118
3-6	血液浄化センター	119
3-7	臨床工学室	121
3-8	輸血室	123
3-9(1)	看護部	125
3-9(2)	看護総務課	130
3-9(3)	看護外来業務課	134
3-9(4)	看護教育課	136
3-10	救命救急センター	145
3-11	ドクターヘリ運航対策室	146
3-12	新生児センター	151
3-13	がん治療センター	153
3-14	予防医学センター	155
3-15	GCP センター	158
3-16	臨床研修センター	160
3-17	看護師特定行為研修センター	163
3-18(1)	地域医療連携室	168
3-18(2)	医療福祉相談室	169
3-18(3)	入退院支援室(退院支援看護師)	170
3-18(4)	患者・看護相談室	172
3-18(5)	受診相談・総合案内	173
3-19	医療安全管理室	174
3-20	感染対策室	176
3-21	安全衛生管理室	179

4. 統計

4-1.2	病床利用率・在院日数	183
4-3	診療科別延患者数(外来)	184
4-4	診療科別延患者数(入院)	185
4-5	新患者数(外来)	186
4-6	新患者数(入院)	187
4-7	退院患者数	188
4-8.9	年齢別延患者数(外来・入院)	189
4-10	地区別延患者数(外来)	190
4-11	地区別延患者数(入院)	191

1. 病院概要

1-1 基本理念

1. 学是「仁」の精神で人々の生命を尊重する
2. 「不断前進」の理念で創造的な前進と改革を進める
3. 大学医学部附属病院として、診療・教育・研究の充実を計る

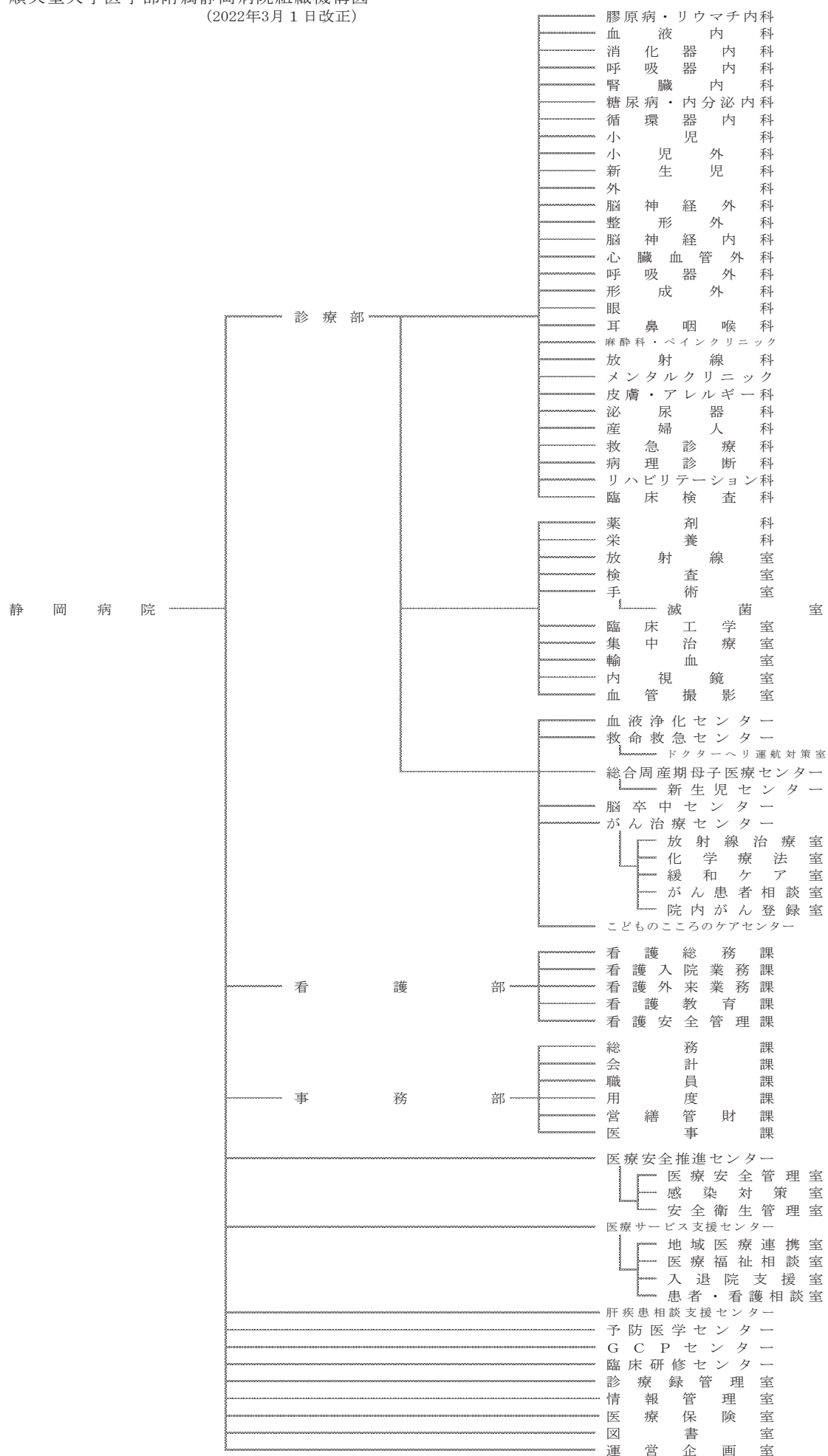
1-2 基本方針

1. 患者さん一人一人に、安全で根拠に基づく高い質の医療を提供する
2. 患者さんに満足していただける、きめ細かい手作りの看護をおこなう
3. 快適な療養生活ができる環境を提供する
4. 医療安全対策、病病・病診連携に取り組む
5. 最新の医療情報の提供に努める

1-3 施設概要

名称	:	順天堂大学医学部附属静岡病院
所在地	:	〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡 1129
電話番号	:	055-948-3111(代表)
FAX	:	055-948-5088
敷地面積	:	27,122.83 平方メートル
病床数	:	633 床(稼働病床 577 床)

順天堂大学医学部附属静岡病院組織機構図
(2022年3月1日改正)



1-3 所属長一覧

令和4年3月31日現在

部 署	責 任 者	部 署	責 任 者
院長	佐 藤 浩 一	看護部長	田 中 ひ と み
副院長	藤 田 和 彦	看護総務課	矢 田 み ど り
副院長	太 田 俊 彦	看護入院業務課	野 澤 陽 子
院長補佐	小 池 道 明	看護外来業務課	濱 口 真 知 子
院長補佐	山 本 拓 史	看護教育課	堀 込 克 代
診療部長	山 本 拓 史	看護安全管理課	荻 島 真 弓
膠原病・リウマチ内科	片 桐 彰	事務部長	小 野 隆 宏
血液内科	小 池 道 明	総務課	小 池 直 樹
消化器内科	玄 田 拓 哉	会計課	小 野 隆 宏
呼吸器内科	岩 神 真 一 郎	職員課	阿 部 幸 雄
腎臓内科	清 水 芳 男	用度課	尾 崎 治 之
糖尿病・内分泌内科	荻 原 健	営繕管財課	小 野 隆 宏
循環器内科	諏 訪 哲	医事課	荻 原 賛 泰
小児科	馬 場 洋 介	救命救急センター	柳 川 洋 一
小児外科	瀬 尾 尚 吾	新生児センター	大 川 夏 紀
外科	佐 藤 浩 一	総合周産期母子医療センター	田 中 利 隆
脳神経外科	山 本 拓 史	脳卒中センター	山 本 拓 史
整形外科	大 林 治	がん治療センター	田 中 顕 一 郎
脳神経内科	野 田 和 幸	予防医学センター	清 水 芳 男
心臓血管外科	梶 本 完	GCPセンター	玄 田 拓 哉
呼吸器外科	平 山 俊 希	臨床研修センター	中 尾 保 秋
形成外科	荻 部 綾 香	診療録管理室	諏 訪 哲
眼科	太 田 俊 彦	情報管理室	中 尾 保 秋
耳鼻咽喉科	楠 威 志	医療安全推進センター	藤 田 和 彦
麻酔科・ペインクリニック	尾 前 毅	医療安全管理室	藤 田 和 彦
放射線科	松 波 環	感染対策室	岩 神 真 一 郎
メンタルクリニック	桐 野 衛 二	安全衛生管理室	桐 野 衛 二
皮膚科	長 谷 川 敏 男	医療サービス支援センター	櫻 田 睦
泌尿器科	藤 田 和 彦	地域医療連携室	櫻 田 睦
産婦人科	田 中 利 隆	医療福祉相談室	櫻 田 睦
救急診療科	柳 川 洋 一	入退院支援室	櫻 田 睦
病理診断科	和 田 了	患者・看護相談室	櫻 田 睦
臨床検査科	田 内 一 民	医療保険室	山 本 拓 史
薬剤科	玄 田 拓 哉	図書室	諸 橋 達
栄養科	前 川 博	運営企画室	小 野 隆 宏
放射線室	松 波 環		
検査室	勝 又 俊 郎		
手術室	尾 前 毅		
リハビリテーション科	田 沼 明		
血液浄化センター	清 水 芳 男		
臨床工学室	尾 前 毅		
集中治療室	久 米 村 正 輝		
輸血室	岩 尾 憲 明		
内視鏡室	伊 藤 智 彰		
血管撮影室	諏 訪 哲		

1-4 医師名簿

□併任 令和4年3月31日現在

膠原病・リウマチ内科	羽根 将之	森川 嵩大	中村 萌	病理診断科
片桐 彰	江原 尚弘	分島 智子	川口 幹裕	和田 了
津島 浩	石田 翔二	塩原 崇生	館山 亜弥	臨床検査科
岡田 隆	佐藤 真教	古城 智也	前原 知典	田内 一民
齋藤 拓海	成田 知聡	西村 周	多賀 慶子	臨床研修医
血液内科	新生児科	美原 徳明	西岡 崇	青沼 勇斗
小池 道明	大川 夏紀	リハビリテーション科	八子 一	秋間 龍之介
岩尾 憲明	池田 奈帆	田沼 明	放射線科	池田 尚基
高野 弥奈	齊藤 寛貴	□大林 治	松波 環	石井 悠也
三澤 恭平	矢賀部 彩音	脳神経内科	水谷 好英	石原 俊太郎
稲野 資明	高岡 優里	野田 和幸	川本 晃史	岩崎 有真
原田 早希子	西田 江璃子	大熊 泰之	入江 隆介	岩本 敬
泉 宜秀	西山 樹	星野 泰延	池之内 穰	厳 理華
消化器内科	松田 慎平	石黒 雄太	田畑 孝純	桐山 雅通
玄田 拓哉	伊藤 夏希	佐野 麻理子	鈴木 皓佳	五島 孝幸
嶋田 裕慈	小児外科	金沢 華造	メンタルクリニック	榊原 万佑子
佐藤 俊輔	瀬尾 尚吾	竹内 幹	桐野 衛二	阪本 祐史
村田 礼人	中島 秀明	心臓血管外科	夏目 俊太郎	鈴木 隆太郎
佐藤 祥	外科	梶本 完	永野 友理恵	須田 汐織
北 祐次	佐藤 浩一	畑 博明	皮膚・アレルギー科	宗田 昂己
大森 将史	前川 博	大石 淳実	長谷川 敏男	高田 隆治
谷口 源太郎	田中 顕一郎	上川 祐輝	河井 正晶	田嶋 俊彬
栗津 崇仁	櫻田 睦	小田 遼馬	金 宗訓	立林 優祐
呼吸器内科	櫛田 知志	呼吸器外科	加藤 芙未	哲翁 直之
岩神 真一郎	伊藤 智彰	平山 俊希	細井 美都	寺井 雄一朗
原 宗央	櫻庭 駿介	鈴木 未希子	薩川 綾乃	東 村奎
岩神 直子	上田 脩平	櫻井 幹生	荒井 紗弓	中原 直人
片山 勇	魚加 藤永	形成外科	泌尿器科	濱田 通果
小松 亜里紗	山本 陸	菊部 綾香	藤田 和彦	福原 啓史
渡邊 敬康	小泉 明博	内山 美津希	斎藤 恵介	藤井 宗孝
松田 浩成	村井 勇太	溝 洌亮	中島 晶子	藤岡 靖彦
腎臓内科	板倉 萌	眼 科	宇井 万里子	松本 圭司
清水 芳男	仁平 高朔	太田 俊彦	三好 悠斗	松本 崇宏
若林 啓一	渡邊 武大	土至 田宏	小藤 田智	若山 一生
小笠 智美	小池 周一	平井 麻紀	三好 美穂	阿部 央聖
安部 憲一郎	牛山 裕美子	杉田 丈夫	古屋 匡史	飯田 優輝
糖尿病・内分泌内科	脳神経外科	松崎 有修	産婦人科	遠 藤翼
荻原 健	山本 拓史	市川 浩平	田中 利隆	大久保 樹
佐藤 元律	中尾 保秋	朝岡 聖子	金田 容秀	大塚 隆弘
保田 都	上野 英明	黒田 浩平	田中 里美	喜古 博之
長嶋 春樹	眞上 俊亮	大谷 洋揮	矢田 昌太郎	北田 裕樹
笹原 紘佳	中嶋 伸太郎	小森 翼	村瀬 佳子	栗山 充
循環器内科	足立 知司	笠原 知人	伊藤 早紀	後藤 直
諏訪 哲	吉田 昂平	菊池 遥太	保田 歩	酒井 千佳
荻田 学	植木 泰仁	耳鼻咽喉科	秋葉 純也	坂本 怜
和田 英樹	高木 悠輝	楠 威志	城戸 優花	佐野 永輝
塩澤 知之	池村 涼吾	本間 博友	菅原 芙佑	佐野 瑞樹
谷津 翔一朗	児玉 琢磨	城所 淑信	笠原 太郎	四藏 祥吾
設楽 準	新井 晶	佐藤 将盛	救急診療科	鈴木 雄大
高野 信太郎	整形外科	新井 智	柳川 洋一	高橋 旭翔
石川 剛	大林 治	石水 瑛理奈	大森 一彦	武田 尚明
真優スレーシュワル	最上 敦彦	麻酔科	石川 浩平	長井 浩二
安田 健太郎	神田 章男	尾前 毅	大坂 裕通	中森 惟人
中村 優	諸橋 達	長谷川 陽子	日域 佳	根上 拓也
守屋 壮志	糸井 陽	洪 景都	長澤 宏樹	橋川 武史
藤田 航	守屋 秀一	久米 村正輝	園田 健人	深瀬 裕之
小児科	波多江 文俊	櫻庭 園子	村松 賢一	宮谷 和樹
馬場 洋介	高岡 宏行	太田 正孝	串田 好宏	山田 瑛文
宮林 和紀	田代 憲	山崎 翔	太田 宗一郎	

1-5 職員数

令和4年3月31日現在

職 種	正規職員		パート		小計	派遣・委託		小計	合計
	男	女	男	女		男	女		
看護師	108	561		3	672			0	672
助産師		39			39			0	39
准看護師		7			7			0	7
介護福祉士	6	11		1	18			0	18
助手	1	3		7	11	1	84	85	96
中材・滅菌						7	30	37	37
事務員		1			1		22	22	23
小計	115	622	0	11	748	8	136	144	892
薬剤師	26	8		5	39			0	39
薬剤科事務員					0		12	12	12
診療放射線技師	27	6			33			0	33
放射線室助手					0			0	0
放射線室事務員					0		5	5	5
臨床検査技師	9	23	1	4	37			0	37
検査室看護師		2		5	7			0	7
検査室事務員					0		10	10	10
理学療法士	14	5			19			0	19
作業療法士	3	4			7			0	7
言語聴覚士	1	3			4			0	4
リハビリテーション科事務員					0		1	1	1
管理栄養士	2	5		1	8			0	8
栄養士	1	1		1	3			0	3
調理師	13	2		1	16			0	16
栄養科助手	2	2			4	9	38	47	51
栄養科事務員				1	1			0	1
視能訓練士	2	4			6			0	6
臨床工学技士	11	3		1	15			0	15
臨床心理士		1			1			0	1
メンタルクリニック助手				1	1			0	1
小計	111	69	1	20	201	9	66	75	276
事務員	49	27		7	83	10	174	184	267
社会福祉士	4	3			7			0	7
保育士		5			5			0	5
技術・労務・警備・施設	3				3	65	44	109	112
助手					0		17	17	17
医局秘書				5	5			0	5
小計	56	35	0	12	103	75	235	310	413
医療安全管理者		1			1			0	1
感染管理者		1			1			0	1
患者看護相談室 看護師・准看護師		1			1			0	1
医療福祉相談室 看護師・准看護師		3			3			0	3
入退院支援室 看護師・准看護師		7			7			0	7
がん治療センター 看護師・准看護師		8			8			0	8
小計	0	21	0	0	21	0	0	0	21
医 師	特任教授	3			3			0	3
	教授	13			13			0	13
	先任准教授	4			4			0	4
	先任准教授(臨床)	6	1		7			0	7
	准教授(大学院)	1			1			0	1
	准教授(講座)	6			6			0	6
	准教授(診療)	10			10			0	10
	准教授(実習)	2	1		3			0	3
	准教授(教育)	6			6			0	6
	講師		1		1			0	1
	助教	29	9		38			0	38
	助手	55	25		80			0	80
	専攻生	6	5		11			0	11
	大学院生	20	1		21			0	21
	シニアレジデント	4	2		6			0	6
	臨床研修医	48	5		53			0	53
小計	213	50	0	0	263	0	0	0	263
合 計	495	797	1	43	1,336	92	437	529	1,865

1-6 各種委員会

2021年4月1日時点

委員会名	委員長名	委員会名	委員長名
病院運営委員会	佐藤 浩一	運営協議会	佐藤 浩一
診療会議	山本 拓史	管理会議	小野 隆宏
医療安全・危機管理委員会	藤田 和彦	感染対策委員会	岩神 真一郎
災害対策委員会	柳川 洋一	救命救急センター運営会議	柳川 洋一
褥瘡対策委員会	荻部 綾香	静岡病院安全衛生委員会	桐野 衛二
放射線安全委員会	水谷 好秀	放射線治療品質管理委員会	水谷 好秀
CPC・CRC・デスカンファレンス委員会	和田 了	倫理委員会	小池 道明
倫理審査委員会	玄田 拓哉	治験審査委員会	玄田 拓哉
医療保険委員会	山本 拓史	施設基準委員会	山本 拓史
薬事委員会	楠 威志	資材委員会	太田 俊彦
機種選定委員会	佐藤 浩一	クリニカルパス委員会	神田 章男
DPC コーディング委員会	山本 拓史	内視鏡運営委員会	伊藤 智彰
輸血療法委員会	岩尾 憲明	手術室運営委員会	尾前 毅
病棟利用・外来対策委員会	山本 拓史	臨床検査適正化委員会	和田 了
予防医学センター運営委員会	清水 芳男	医療情報システム委員会	中尾 保秋
広報委員会	最上 敦彦	脳死・臓器移植委員会	中尾 保秋
虐待対策委員会	有井 直人	がん治療センター運営委員会	田中 顕一郎
がん診療委員会	田中 顕一郎	栄養管理委員会	前川 博
医療機器保守委員会	太田 俊彦	廃棄物管理委員会	和田 了
医療ガス安全管理委員会	長谷川 陽子	看護師特定行為研修管理委員会	太田 俊彦
看護師特定行為業務管理委員会	前川 博	勤務環境改善委員会	太田 俊彦
業務委託委員会	小池 道明	礼儀・接遇マナー向上委員会	山本 拓史
ご来院皆様の声検討委員会	櫻田 睦	人権委員会	佐藤 浩一
診療録管理委員会	諏訪 哲	図書管理委員会	諸橋 達
透析機器安全管理委員会	清水 芳男	静岡病院専門研修医プログラム委員会	太田 俊彦
臨床研修センター会議	中尾 保秋	研修管理委員会	佐藤 浩一

1-7(1) 活動報告

年 月 日	会 議 ・ 行 事 実 施 事 項
3. 4. 1	新入職員オリエンテーション
12	看護師特定行為研修開講式
5. 10	春季健康診断（～20 日）
5. 21	一般社団法人 静岡県東部メディカルネットワーク設立
6. 23	医療安全研修会（～3 月 31 日 DVD）
7. 30	新棟竣工式
9. 9	地域医療連携推進法人 静岡県東部メディカルネットワーク認定
10. 19	感染対策研修会（～3 月 31 日 e ラーニング）
11. 19	東部保健所病院立入書面検査
29	抗菌薬研修会（～3 月 31 日 e ラーニング）
〃	ドクターヘリ事後検証会
12. 6	秋季健康診断（～10 日）
8	静岡県東部ドクターヘリ運航調整委員会（書面開催）
22	消防図上訓練（12/22、2/7）
4. 1. 5	賀詞交歓会
13	水害対策図上訓練
2. 21	褥瘡対策研修会（～3 月 31 日 e ラーニング）
3. 7	ドクターヘリ事後検証会
15	臨床研修医修了証書授与式
23	看護師特定行為研修修了式
上記のほか毎月定例として開催される会議	
第 1 火曜日	薬事委員会、治験審査委員会、がん診療委員会
第 1 木曜日	管理会議
第 2 月曜日	資材委員会
第 2 水曜日	診療会議、医療情報システム委員会（奇数月）
第 3 火曜日	業務委託委員会
第 3 水曜日	クリニカルパス委員会（奇数月及び 4 月）、救命救急センター運営会議（奇数月）
第 3 木曜日	栄養管理委員会（奇数月及び 4 月）

第 3 金曜日	医療安全危機管理委員会
第 4 月曜日	運営協議会
第 4 水曜日	静岡病院安全衛生委員会
第 4 木曜日	褥瘡対策委員会、がん治療センター運営委員会（奇数月）
第 4 金曜日	感染対策委員会
最終水曜日	施設基準委員会、医療保険委員会
毎月 1 回	病院運営委員会
隔月 1 回	輸血療法委員会、内視鏡運営委員会、災害対策委員会
3 ヶ月に 1 回	コーディング委員会、臨床研修センター会議、診療録管理委員会、放射線安全委員会、 広報委員会

1-7(2). 講演会

年 月 日	講 座 名 ・ テ ー マ
3. 4. 15	ミニレクチャー動画配信＜動画配信＞（～5 月 14 日） 「多発性硬化症ってどんな病気？」
6. 1	ミニレクチャー動画配信＜動画配信＞（～6 月 30 日） 「子宮頸がん予防ワクチンについて」
7. 15	第 45 回 東部周産期研究会 「母体救急疾患の対応(一次施設における産科出血の対応を中心に)」 「新生児蘇生法(NCPR2020 ガイドラインについて)」
8. 2	ミニレクチャー動画配信＜動画配信＞（～8 月 31 日） 「糖尿病患者さんの低血糖症状とその対処法」
10. 1	ミニレクチャー動画配信＜動画配信＞（～10 月 31 日） 「アトピー性皮膚炎の治療」
12. 1	ミニレクチャー動画配信＜動画配信＞（～12 月 30 日） 「-慢性足潰瘍-いま足を守るために必要なこと」
2	第 46 回 東部周産期研究会 「見逃してはいけない産科疾患(妊娠高血圧症候群 診療指針 2021 について)」 「見逃してはいけない新生児疾患(呼吸障害)」
4. 2. 1	ミニレクチャー動画配信＜動画配信＞（～2 月 28 日） 「アレルギー性鼻炎について」
24	第 47 回 東部周産期研究会 「産科からみた周産期感染症(妊娠梅毒、サイトメガロウイルス感染症、トキソプラズマ感染症)」 「新生児からみた周産期感染症(先天梅毒、サイトメガロウイルス感染症、トキソプラズマ感染症)」

1-8. 社会貢献・地域交流活動

年 月 日	活 動 名
3. 7. 13	東京オリンピック・パラリンピック（～8/29 医療スタッフ派遣）
11. 9	静岡県教育委員会健康体育課主催　がん教育総合支援事業「がんの基礎知識とがんの予防について」（講師派遣）
12. 18	静岡県看護連盟主催「認知症を持つ高齢者に関わる看護倫理」（講師派遣）
4. 3. 22	地域医療連携推進法人静岡県東部メディカルネットワーク主催「新型コロナウイルス感染症対策の実践から日頃の感染対策を考える」（講師派遣）

1-9 指定・認定・許可事項

指 定 事 項	指 定 年 月 日
救命救急センター 40 床	昭和 56 年 11 月 1 日
新生児センター 30 床	昭和 57 年 4 月 1 日
エイズ拠点病院	平成 8 年 5 月 20 日
災害拠点病院	平成 8 年 11 月 26 日
日本医療機能評価機構認定病院	平成 16 年 3 月 15 日(初回認定日)
静岡県東部ドクターヘリ基地病院	平成 16 年 3 月 17 日
臨床研修指定病院	平成 16 年 4 月 1 日
地域がん診療連携拠点病院	平成 19 年 1 月 31 日
総合周産期母子医療センター	平成 20 年 8 月 1 日
静岡県肝疾患診療連携拠点病院	平成 21 年 3 月 10 日
DPC 対象病院	平成 23 年 4 月 1 日
災害派遣医療チーム静岡 DMAT 指定病院	平成 24 年 3 月 1 日
指定小児慢性特定疾病医療機関	平成 27 年 1 月 1 日
難病法に係る難病指定医療機関	平成 27 年 1 月 1 日
静岡県アレルギー疾患医療拠点病院	平成 30 年 10 月 1 日
肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業指定医療機関	平成 30 年 12 月 1 日
地域医療支援病院	令和 2 年 1 月 7 日
特定行為研修指定研修機関	令和 2 年 2 月 26 日

診療科名	学会認定
呼吸器内科	日本呼吸器内視鏡学会認定施設
	日本呼吸器学会認定施設
消化器内科	日本消化器病学会認定施設
	日本肝臓学会認定施設
	日本消化管学会胃腸科指導施設
膠原病・リウマチ内科	日本リウマチ学会教育施設
血液内科	日本血液学会血液研修施設
腎臓内科	日本透析医学会教育関連施設
	日本腎臓学会研修施設
糖尿病・内分泌内科	日本糖尿病学会認定教育施設
循環器科	日本心血管インターベンション治療学会研修施設
	日本循環器学会循環器専門医研修施設
	日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
	日本循環器学会トランスサイレチン型心アミロイドーシスに 対するビンダケル導入施設認定
	補助人工心臓治療関連学会協議会
	IMPELLA補助循環用ポンプカテーテル実施施設

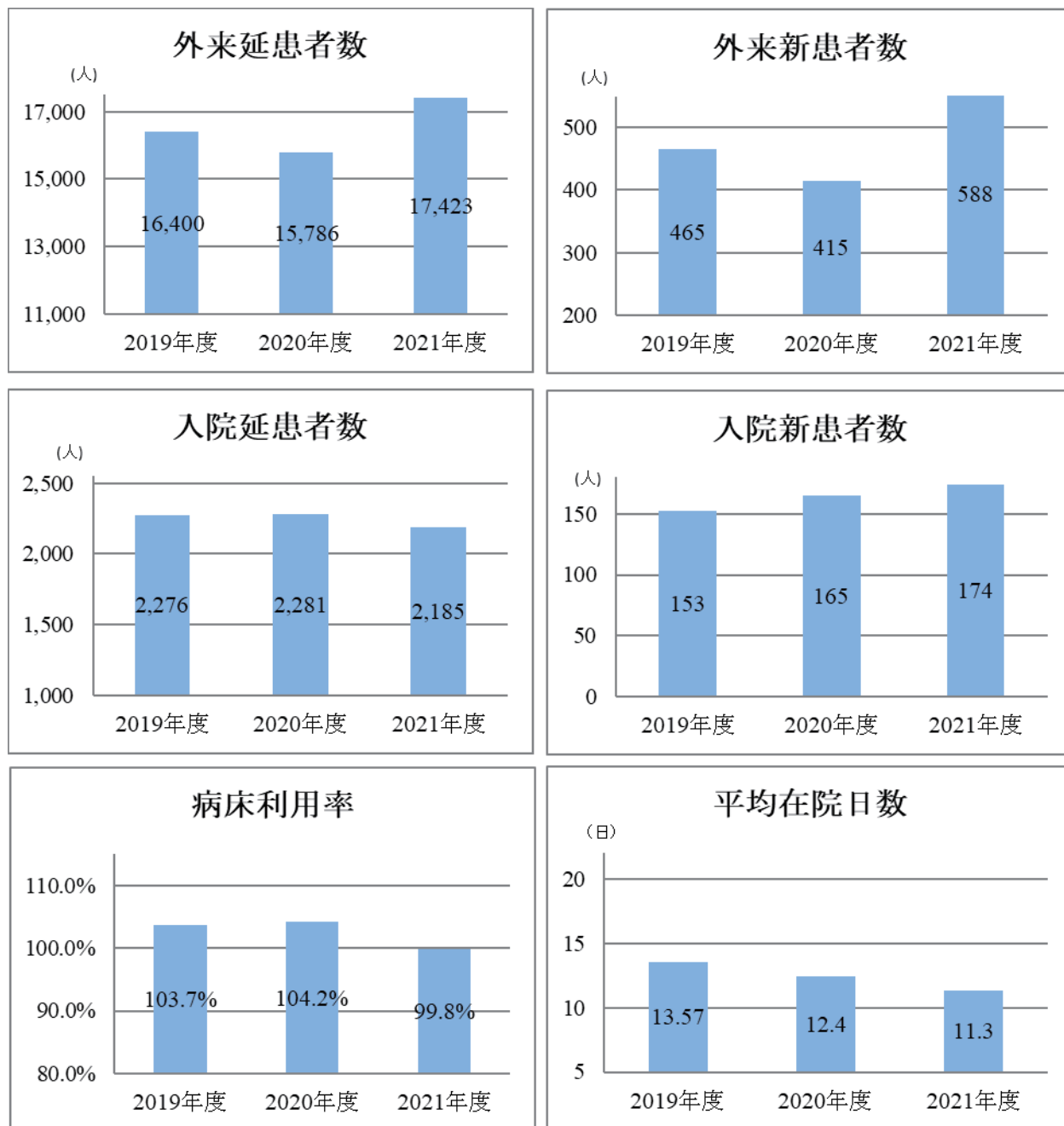
診療科名	学会認定
外科	日本消化器内視鏡学会指導施設
	日本食道学会全国登録認定施設
	日本外科学会外科専門医制度修練施設
	日本消化器外科学会専門医修練施設
	日本大腸肛門病学会関連施設
	日本乳癌学会関連施設
	日本乳癌学会認定施設
	日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療協力施設
	日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
	日本膵臓学会認定指導施設
麻酔科・ペインクリニック	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
	日本専門医機構麻酔科専門研修プログラム認定
	日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定施設
	日本ペインクリニック学会指定研修施設
脳神経外科	日本脳卒中学会研修教育施設
	日本脳神経外傷学会研修施設認定
	日本専門医機構脳神経外科専門医研修プログラム認定
	一般社団法人National Clinical Database 施設会員
	日本脳卒中学会一次脳卒中センター
整形外科	日本整形外科学会専門医制度研修施設
	日本手外科学会研修施設
	日本脊椎脊髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
心臓血管外科	関連10学会構成 スtentグラフト実施基準管理委員会
	腹部stentグラフト実施施設
	関連10学会構成 日本stentグラフト実施基準管理委員会
	胸部stentグラフト実施施設
	下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設
新生児科	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構基幹施設
	日本周産期・新生児医学会周産期専門医（新生児）暫定認定施設（基幹施設）
小児科	日本小児科学会小児科専門医研修施設
	日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
眼科	日本眼科学会専門医制度研修施設
	日本角膜学会羊膜移植実施施設
耳鼻咽喉科	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
脳神経内科	日本神経学会教育施設
	日本臨床神経生理学会認定施設
皮膚・アレルギー科	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
泌尿器科	日本泌尿器科学会専門医教育施設
産婦人科	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
	日本周産期・新生児医学会認定施設
	静岡県医師会母体保護法指定医師研修機関
	日本産科婦人科学会専門研修連携施設
	日本超音波医学会超音波専門医制度研修施設
	日本女性医学学会専門医制度認定研修施設
	日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設

診療科名	学会認定
メンタルクリニック	日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
	日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設
呼吸器外科	呼吸器外科専門医合同委員会専門研修連携施設
放射線科	日本医学放射線学会専門医総合修練機関
救急診療科	日本航空医療学会認定施設
	日本救急医学会救急科専門医指定施設
	日本外傷学会外傷専門医研修認定施設
病理診断科	日本病理学会研修認定施設
リハビリテーション科	日本リハビリテーション医学会研修施設
救命救急センター	日本集中治療医学会専門医研修施設
栄養科	日本病態栄養学会栄養管理・NST実地施設
	日本静脈経腸栄養学会NST稼動施設
薬剤科	日本病院薬剤師会プレアボイド報告施設
がん治療センター	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
	日本がん治療認定医機構認定研修施設

2. 診療科報告

2-1 膠原病内科・リウマチ科

診療実績



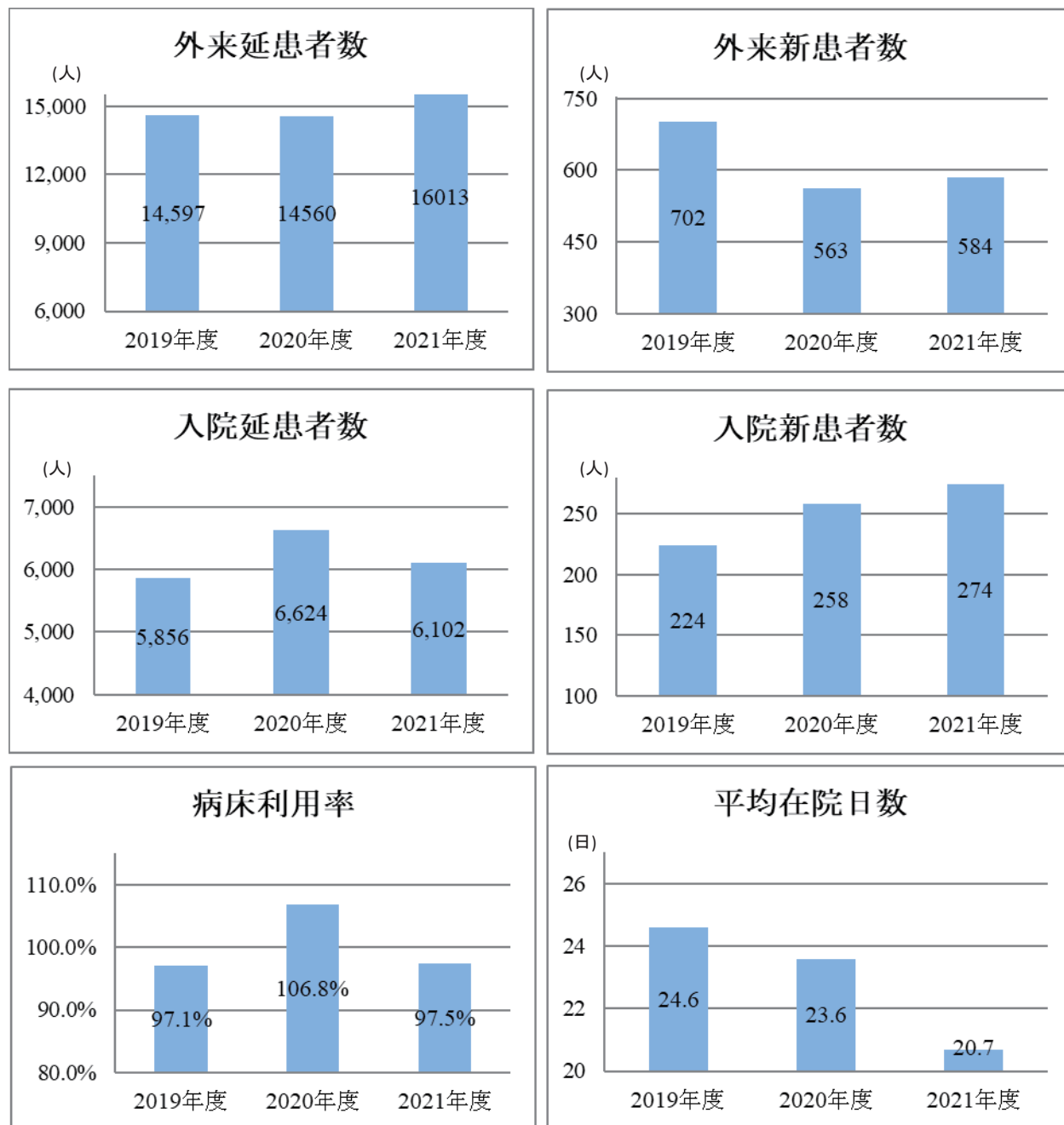
研究・教育活動

1. 野嶋仁貴、津島浩、加藤究太、竹内幹、富田裕之、岡田隆、片桐彰、山路健、田村直人 「関節リウマチ患者におけるレントゲンフォローの後方視的検討」 第65回日本リウマチ学会総会 2021年4月26日

2. 村田純一、富田裕之、津島浩、岡田隆、片桐彰、安田勝彦、山路健、田村直人「リハビリテーションが奏効した重度の嚥下障害を伴う難治性皮膚筋炎の一例」 第 65 回日本リウマチ学会総会 2021 年 4 月 26 日
3. 竹内幹、津島浩、加藤究太、野嶋仁貴、富田裕之、岡田隆、片桐彰、山路健、田村直人 「高容量ステロイド療法におけるインスリン導入のリスク因子に関する後方視的検討」 第 65 回日本リウマチ学会総会 2021 年 4 月 26 日
4. 加藤究太、津島浩、野嶋仁貴、竹内幹、富田裕之、岡田隆、片桐彰、山路健、田村直人 「関節リウマチの治療中に腹膜外腔膿瘍を来した 1 例」 第 65 回日本リウマチ学会総会 2021 年 4 月 26 日

2-2 血液内科

診療実績



2021年度

外来延患者数	16,013 人
新患者数	584 人

入院延患者数	6,102 人
新患者数	274 人

症例件数

悪性リンパ腫	83 件(初発 68 再発 15)
特発性血小板減少性紫斑病	6 件
骨髄異形成症候群	12 件
多発性骨髄腫	22 件(初発 15 再発 7)
急性白血病	31 件(初発 22 再発 9)
溶血性貧血	2 件

研究、研究活動

原著

- 1: Iizuka H, mori Y, Iwao N, Koike M, Noguchi M Hemophagocytic lymphohistiocytosis associated with Epstein –Barr virus –positive diffuse large B cell lymphoma, NOS of bone marrow-liver=spleentype” an autopsy case report. Journal of Clinical and Experimental Hematopathology, 61: 20053, 2021
- 2: Iizuka H, Harada S, Iwao N, Koike M, Noguchi M. Primary skeletal muscle peripheral T-cell lymphoma” an autopsy Case report and review of the literature. Internal medicine, 60: 7391-21,2021
- 3:Iizuka H, Mori Y, Fukuda Y,Iwao N, Koike M ,Noguchi M
Two autopsy cases of pulmonary leukemic infiltration mimicking severe pneumonia in patients with acute myeloid leukemia. Journal: Leukemia Research Reports, 16: 100269, 2021
- 4: Hashimoto Y, Ito T, Gotoh A, Nakamae M, Koike M, Komatu N.
Clinical characteristics, prognostic fctos, and outcomes of patients with essential thromobocythemis in Japan: the JSH-MPN-R18 study.
International Journal of hematology 115, 2021
- 5: Misawa K, Yasuda H, Matsuda H, Hara M, Ochiai T, Koyama D, Takano H, Iwao N, Koike M Exacerbaton of Adult T-cell leukemia following PD-1 Blockade therapy for lung cancer Internal Medicine 2022
- 6: Edahiro Y, Koike M, Nojiri S, Harada Y, Gotoh A, Fujibayashi Y, Yanagisawa N, Takaku T, Nitta H, Tsukune Y, Misawa K, Kobayashi H, Komatsu N.
A pilot study examine the efficacy of hochnekkito for improving quality of life in patients with myeloproliferative neoplasms. Jon J Clan Once, May 4,2022

(和文原著)

- 1 . 高橋直也、植松卓也、磯知輝、南雲昭人、菊地麻里、小池道明 :
DRd療法におけるダラツムマブ投与時間短縮の安全性の検討
日本病院薬剤師会雑誌 57:952-958, 2021

2. 福田泰隆、枝廣陽子、高久智生、古屋智帆、白根脩一、
浜の康晴、小池道明、小松則夫:TPO受容体作動薬の併用により
多剤併用化学療法を施行しえた再生不良性貧血合併悪性リンパ腫
臨床血液 63:20-25,2022

(発表)

2021年

4月25日 第10回日本血液学会東海地方会 名古屋

高安動脈炎、心筋心膜炎を合併した急性骨髄性白血病

細谷英里奈、藤岡功、福田泰隆、三澤恭平、岩尾憲明、高野弥奈、小池道明

6月4日 第69回日本輸血・細胞治療学会総会

ダブルチェックで見逃された輸血適合票、検査ラベル貼り間違い レジリエンス・
エンジニアリングの視点から安全を再考する

岩尾憲明、土屋明実、芳賀繁

6月21日 伊豆エリア血液疾患オンライン交流会

最新の血液疾患の治療と、より良い医療連携について

小池道明 順天堂静岡病院血液内科

9月 23,24,25日 第83回 日本血液学会学術集会 京都

ニューモシスチス肺炎を併発しruxolitinibを中断することなく治癒できた

骨髄線維症

田中翔子 藤岡功 福田泰隆 三澤恭平 高野 弥奈 岩尾憲明 小池道明

重症貧血を合併した血管免疫芽球性T細胞リンパ腫

福田泰隆、三澤恭平、石井悠也、田中翔子、藤岡功、高野弥奈、岩尾憲明、

小松則夫、小池道明

クローナル造血が認められた特発性血小板減少性紫斑病/再生不良性貧血の予後

高野弥奈 ,田中翔子・藤岡功・福田泰隆・三澤恭平・岩尾憲明・小池道明

11月18日 エイズ医療研修会 (東部地域)

順天堂静岡病院血液内科 小池道明

HIV感染症の基礎知識と現況

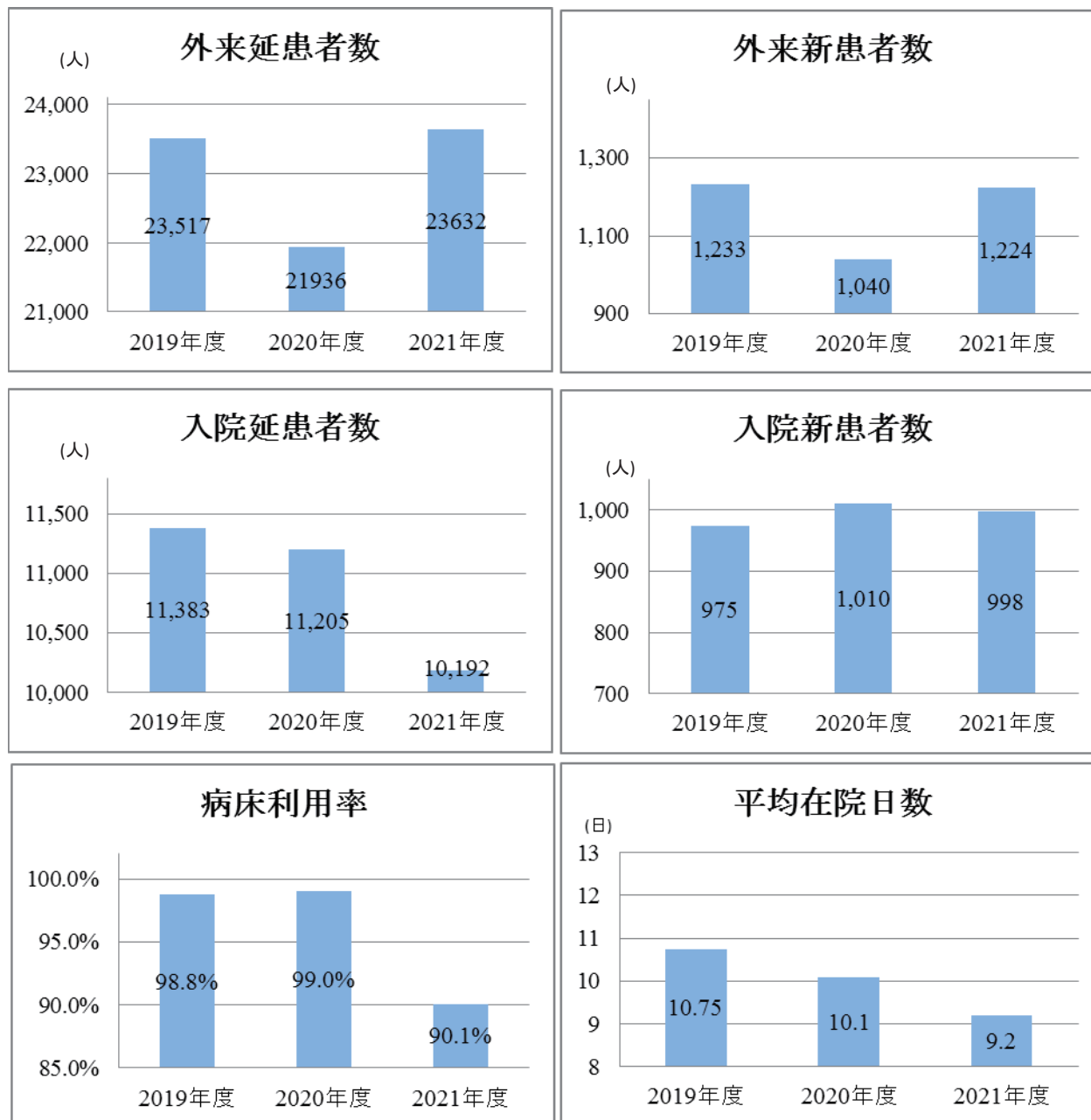
12月4日 第41回伊豆半島透析施設連絡協議会学術集会

順天堂静岡病院血液内科 小池道明

透析患者における血液異常と血液疾患

2-3 消化器内科

診療実績



研究・教育活動

【原著 (英文)】

1. Elevated serum tyrosine concentration is associated with a poor prognosis among patients with liver cirrhosis. Hepatol Res. 2021; 51: 786-795.
2. Hepatitis B Surface Antigen Decline during Sofosbuvir and Ribavirin Therapy in Hepatitis B Inactive Carriers Who Were Co-infected with Hepatitis C. Intern Med. 2021; 60: 3569-3572.

3. Indications and waiting list priority for deceased donor liver transplantation in HIV/HCV co-infected hemophilic patients in Japan through contaminated blood product. *Hepatol Res.* 2021; 51 :909-914.
4. Does restricting fluid volume impact post-ERCP pancreatitis in patient with heart disease? *Saudi J Gastroenterol.* 2021; 27: 355-360.
5. Post-treatment serum Wisteria floribunda agglutinin-positive mac-2-binding protein level is a useful predictor of hepatocellular carcinoma development after hepatitis C virus eradication. *JGH Open.* 2021; 5: 1203-1209.
6. Nationwide survey for patients with acute-on-chronic liver failure occurring between 2017 and 2019 and diagnosed according to proposed Japanese criteria. *J Gastroenterol.* 2021; 56: 1092-1106.
7. Association between the severity of constipation and sarcopenia in elderly adults: A single-center university hospital-based, cross-sectional study. *Biomed Rep.*, 2021; 14: 2.
8. The relationship between *Helicobacter pylori* infection and reflux esophagitis and the long-term effects of eradication of *Helicobacter pylori* on reflux esophagitis. *Therap Adv Gastroenterol.*, 2021; 14: 17562848211059942.

【原著（和文）総説】

1. 肝移植の動向：レシピエント選択基準が改訂されて. *消化器・肝臓内科*, 2021 年 9 巻 3 号 p329-335.

【学会発表(国際)】

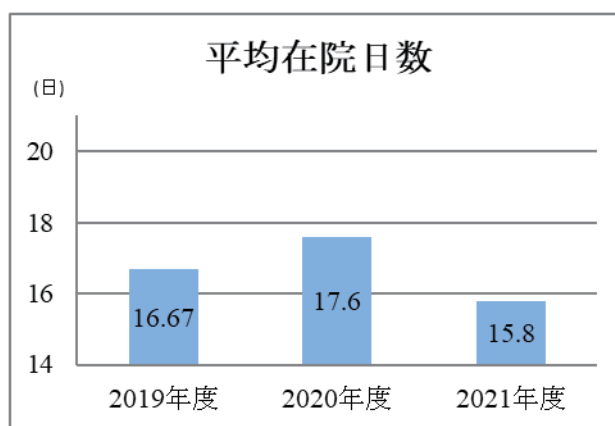
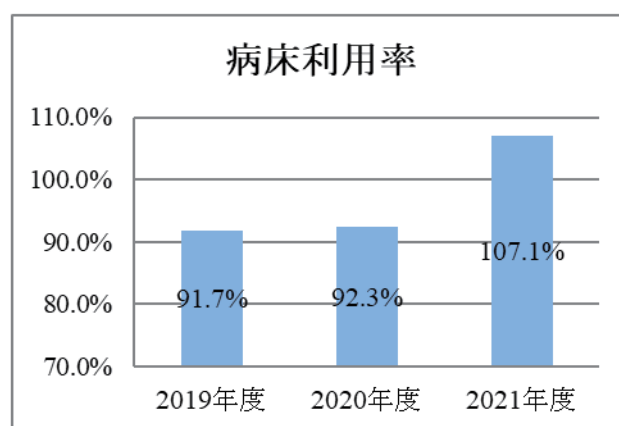
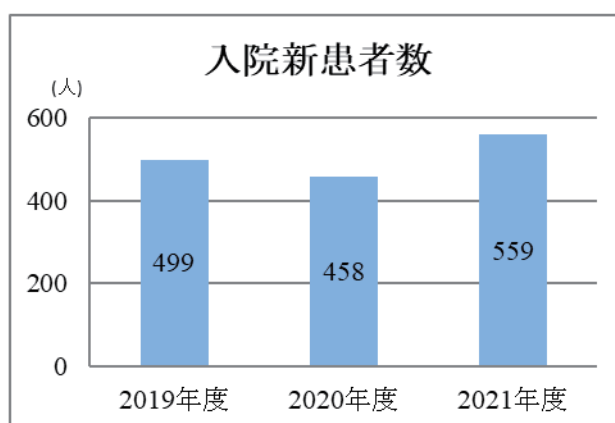
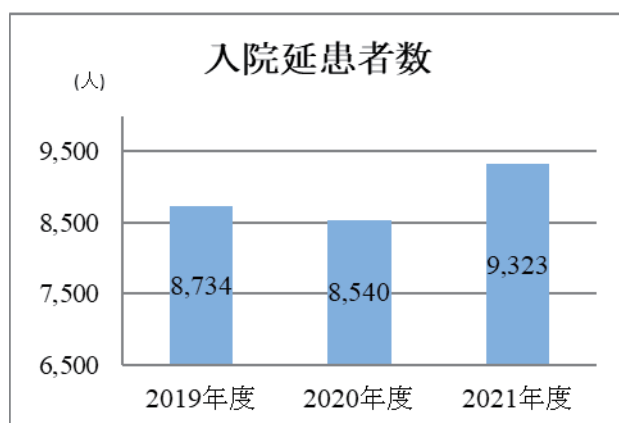
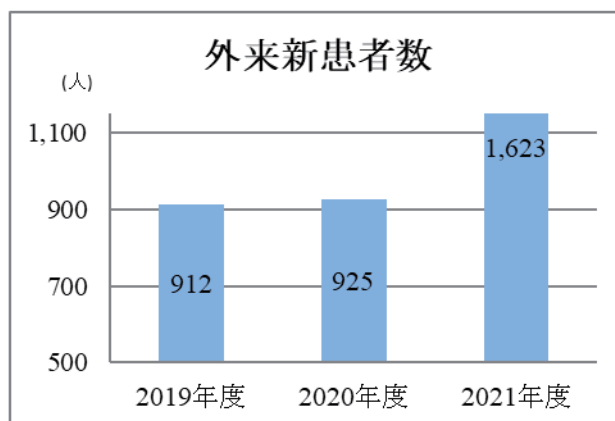
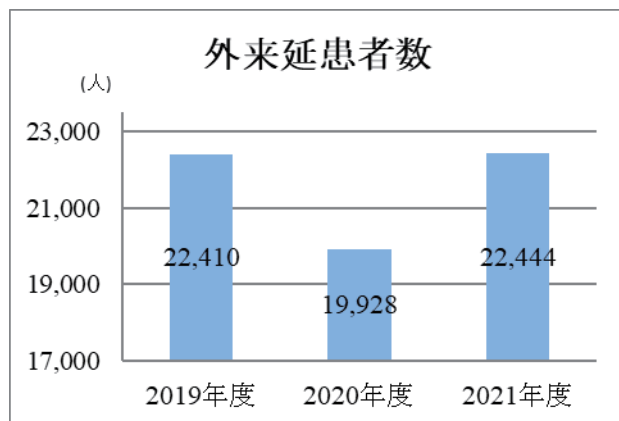
1. Characteristics of gastric mucosal injuries in patients taking clopidogrel. *UEG Week virtual 2021*, (Vienna, Austria), October 3-5, 2021.

【学会発表(国内)】

1. 当院における *H. pylori* 一次除菌率および二次除菌率の年次推移. 第 26 回日本ヘリコバクター学会学術集会, 浜松, 2021 年 1 月 7-9 日.
2. クロピドグレル内服症例における胃粘膜傷害の特徴. *GI WEEK 2021* (第 17 回日本消化管学会総会学術集会), 大阪, 2021 年 2 月 19-21 日.
3. クロピドグレル内服症例における十二指腸粘膜傷害の特徴. 第 101 回日本消化器内視鏡学会総会, 広島, 2021 年 5 月 14-16 日.
4. 当院における若年除菌症例 (30 歳未満) の特徴. 第 27 回日本ヘリコバクター学会学術集会, 東京, 2021 年 9 月 24-26 日.
5. 進行肝細胞癌に対する集学的治療の意義-薬物療法は手術を変えたか- 切除不能高度進行肝細胞癌に対する肝切除による Conversion therapy. 第 121 回日本外科学会定期学術集会.
6. 肝予備能の評価法:検体検査と画像検査 肝硬変患者の血中アミノ酸濃度測定による予後評価. 第 107 回日本消化器病学会総会、東京、2021 年 4 月 16 日.
7. 小児・若年者除菌の未来 当院における若年除菌症例(30 歳未満)の特徴. 日本ヘリコバクター学会.
8. 誘因の無い再活性化により昏睡型急性肝不全を発症した非活動性 HBV キャリアの一例. 第 135 回日本消化器病学会東海支部例会, 名古屋, 12 月 11 日.
9. わが国の肝臓移植の現状. 第 57 回日本肝臓学会総会、札幌、2021 年 6 月 17 日.
10. 移植待機患者から見たわが国の急性肝不全患者の現状. 第 107 回日本消化器病学会総会、東京、2021 年 4 月 16 日.
11. 臨床現場における C 型肝炎の残された課題. 第 107 回日本消化器病学会総会、東京、2021 年 4 月 16 日.

2-4 呼吸器内科

診療実績



研究・教育活動

英文原著

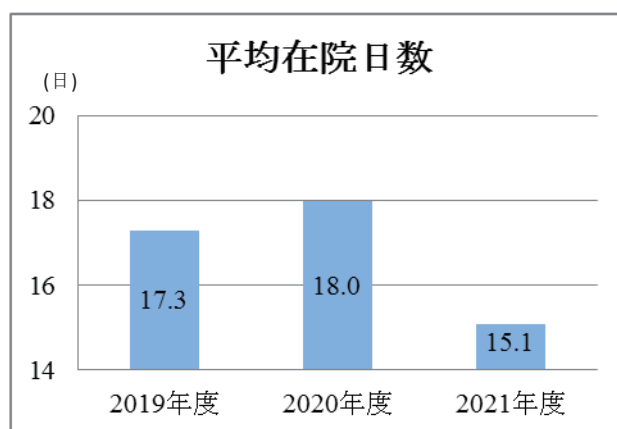
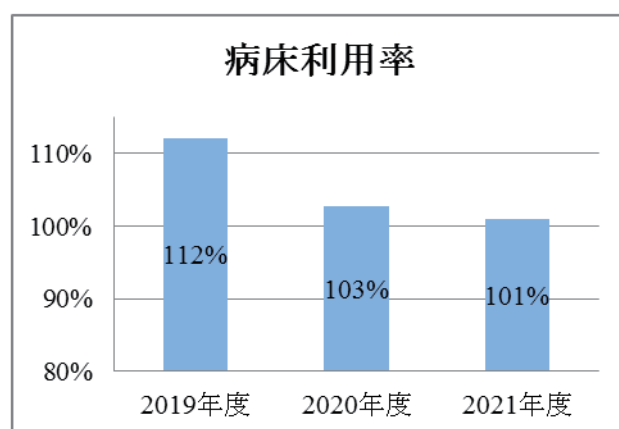
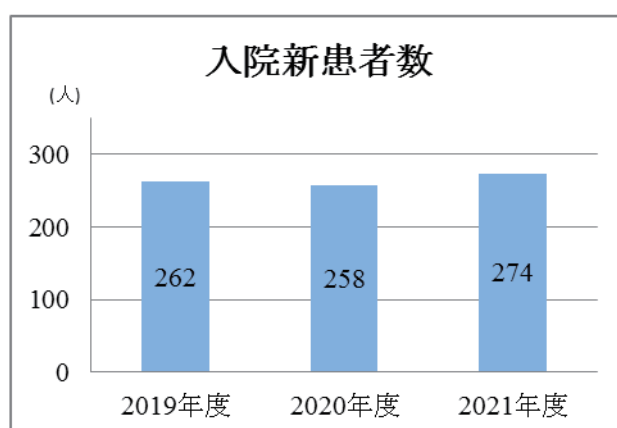
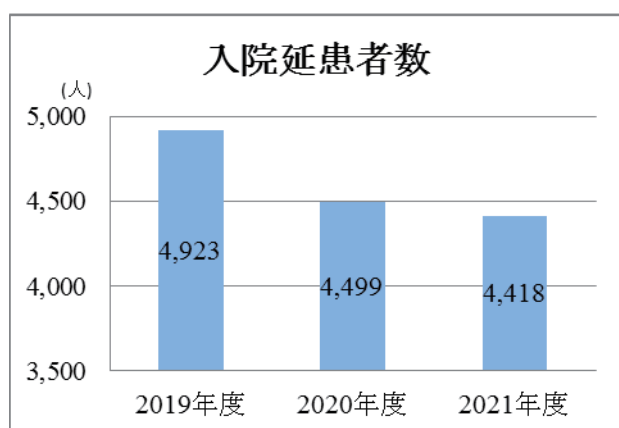
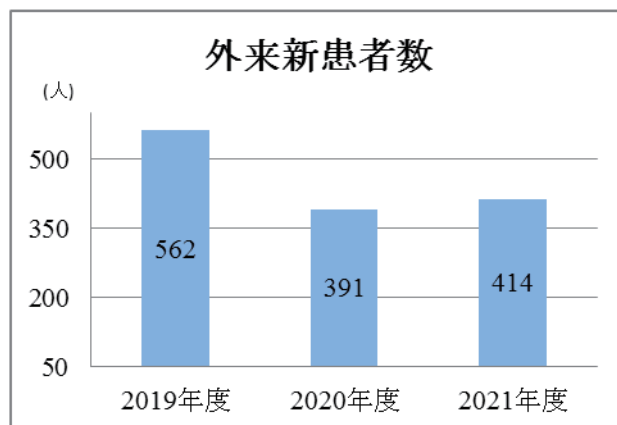
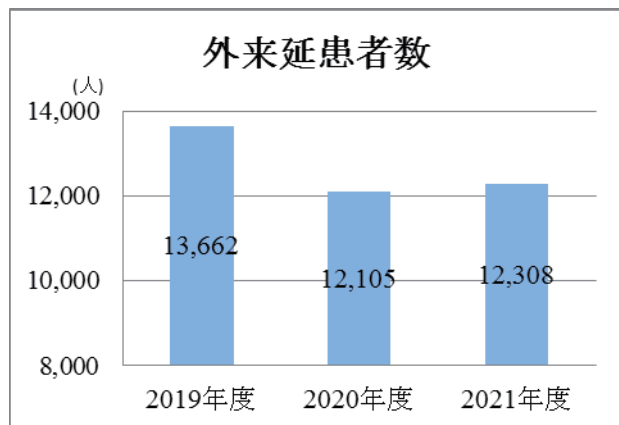
1. Sumiyoshi I, Okabe T, Togo S, Takagi H, Motomura H, Ochi Y, Shimada N, Haraguchi M, Shibayama R, Fujimoto Y, Watanabe J, Iwai M, Kadoya K, Iwakami S, Takahashi K. High lymphocyte population-related predictive factors for a long-term response in non-small cell lung cancer patients treated with pemetrexed: A retrospective observational study. *Journal of Translational Medicine*, 19: 91, 2021 PMID: 33639962, DOI: 10.1186/s12967-021-02761-1
2. Miyashita Y, Hara M, Iwakami S, Matsuda H, Iwakami N, Takahashi K. Sarcoidosis with marked necrosis in swelling lymph nodes mimics mycobacterial infection: a case report. *Journal of Medical Case Reports*, 15:178, 2021 <https://doi.org/10.1186/s13256-021-02797-3>
3. Matsuda H, Hara M, Iwakami S, Takahashi K. EML4-ALK positive lung adenocarcinoma with skeletal muscle metastasis in the right calf which was treatable with lorlatinib after resistance to treatment with alectinib. *BMJ Case Rep* 2021;**14**:e240295. doi:10.1136/bcr-2020-240295
4. Amemiya T, Iwakami S. Effects of early administration of macrolides on whooping cough in adolescents and adults: A single-center retrospective cohort study. *Internal Medicine*, 60: 3081-3086, 2021

和文報告その他

1. 岩神真一郎、原宗央、岩神直子：自然災害発生時における在宅酸素療法患者に対する地域ネットワーク構築に関する検討。 令和2年度 静岡災害医学研究センター紀要 22-23, 2021
2. 荒井雄太、原宗央、片山勇魚、松田浩成、上田翔子、岩神直子、岩神真一郎：免疫チェックポイント阻害薬を投与中に脾転移を来した肺扁平上皮癌の一例。 第120回日本呼吸器学会東海地方学会 2021年11月13日 WEB開催
3. 門倉棕、片山勇魚、荒井雄太、松田浩成、藤榮博史、上田翔子、原宗央、岩神直子、岩神真一郎：大量喀血に対し、人工呼吸管理下で繰り返し動脈塞栓術を行う事で救命し得た慢性肺アスペルギルス症の一例。 第120回日本呼吸器学会東海地方学会 2021年11月13日 WEB開催

2-5 腎臓内科

診療実績



研究・教育活動

論文 英文・原著

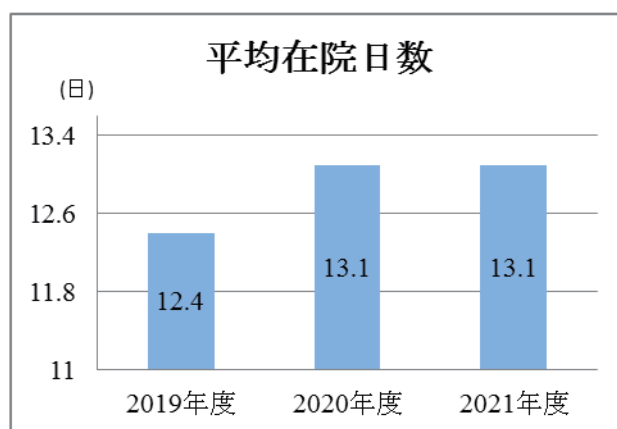
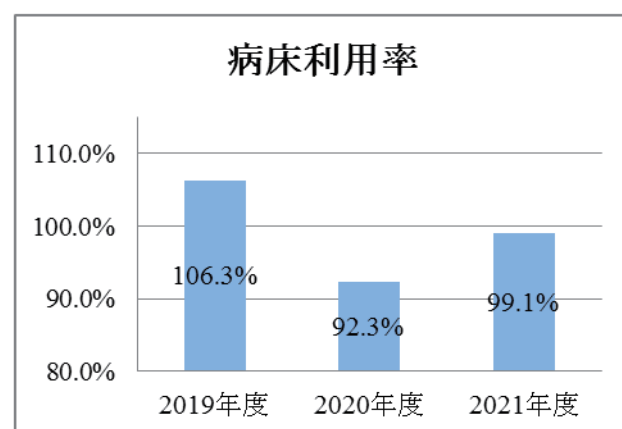
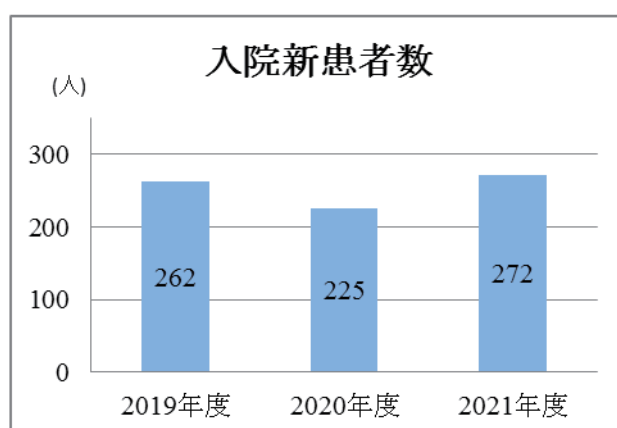
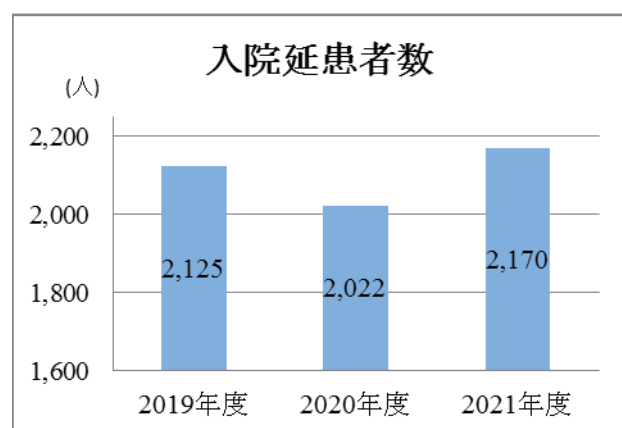
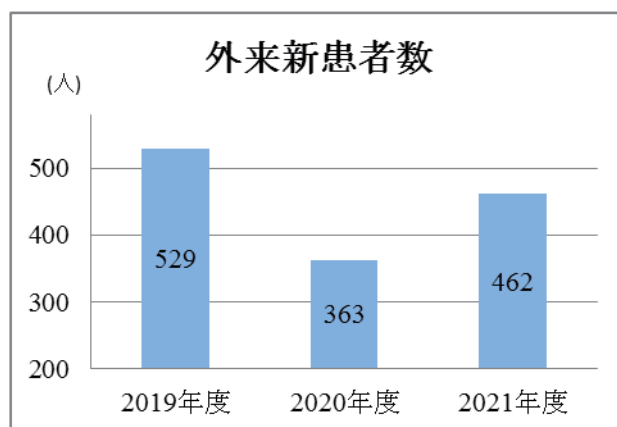
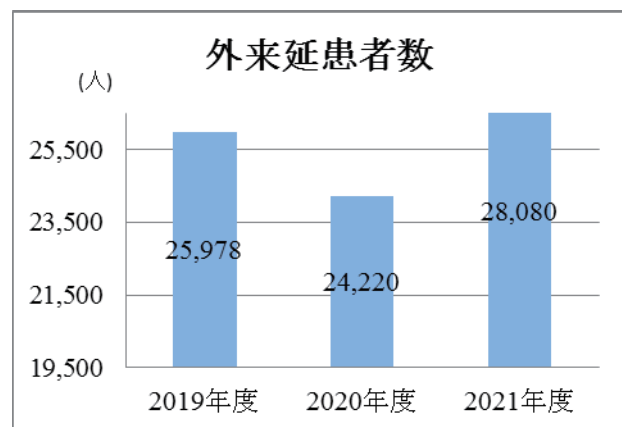
1. Shimizu Y, Wakabayashi K, Iwasaki H, Kishida C, Seki S, Okuma T, Iwakami N, Iwasawa T, Maekawa H, Tomino Y, Wada R, Suzuki Y. Immunotactoid Glomerulopathy with Nontuberculous Mycobacterial Infection: A Novel Association. Case Rep Nephrol Dial 2021;17;11(2):136-146

学会発表・国内

1. 清水芳男、荻原慶、青木良輔、前田拓也、若林啓一、鈴木祐介. 透析患者の痒みと網膜神経線維層厚の関連. 第66回日本透析医学会学術集会・総会. 2021年6月4日-6日.
2. 林陽子、清水芳男、濱田千江子、鈴木祐介. 伊豆半島における慢性腎臓病（CKD）患者の初診時から透析導入に至るまでの経過と性差（第2報）. 第66回日本透析医学会学術集会・総会 2021年6月4日-6日.
3. 池田 尚基、若林 啓一、加藤 有紗、平沢 智美、安部 憲一郎、清水 芳男. 膿瘍を伴う化膿性大胸筋炎を契機にCKDの増悪をきたした糖尿病性腎症の一例. 第52回静岡腎不全研究会. 2021年10月24日. グランシップ
4. 小笠 智美、加藤 有紗、池田 尚貴、若林 啓一、清水 芳男. 診断に苦慮した Tubulointerstitial nephritis uveitis (TINU) syndrome の一例. 第64回静岡腎セミナー. 2021年3月12日

2-6 糖尿病・内分泌内科

診療実績



研究・教育活動

学会発表

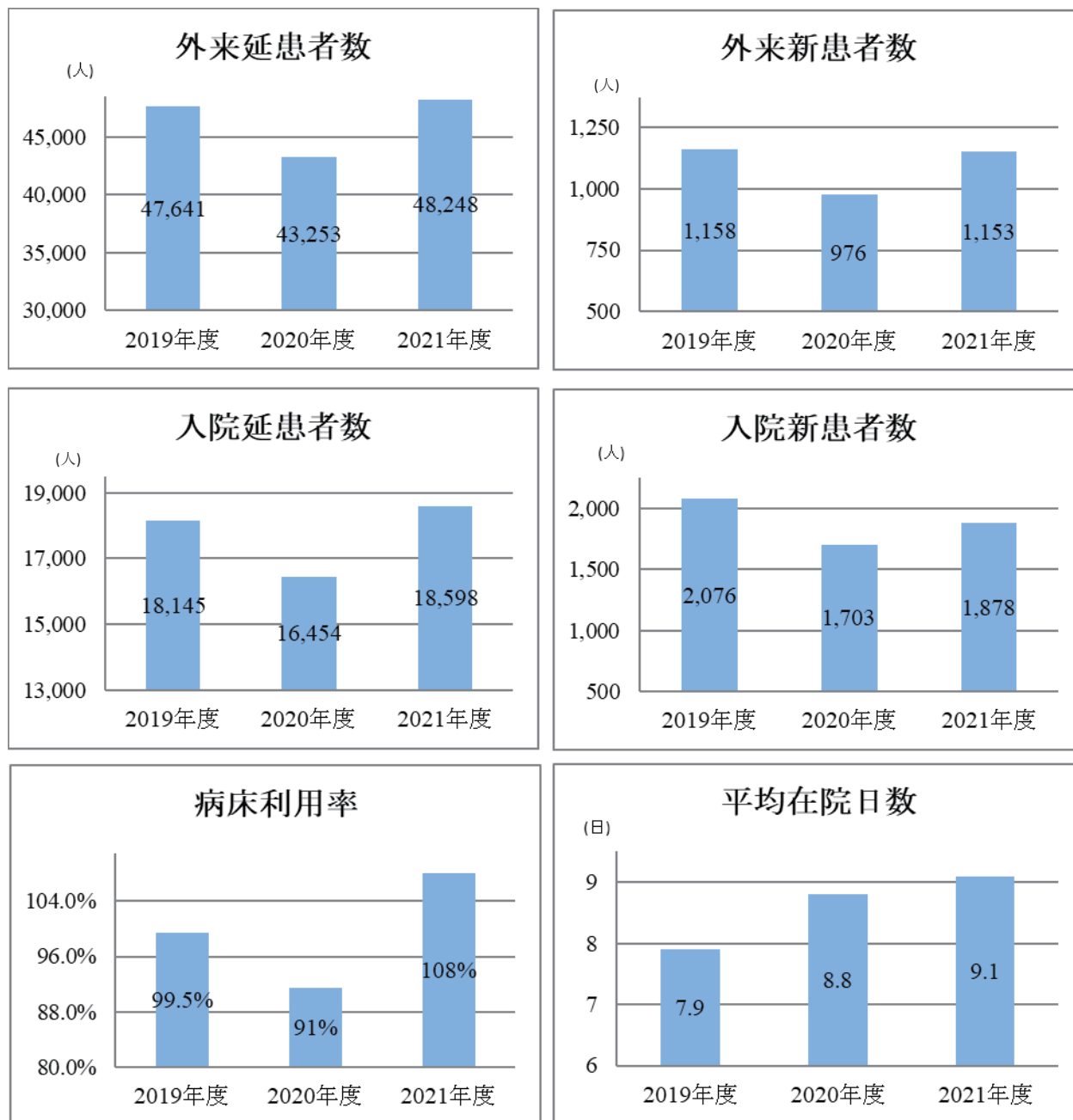
1. 佐藤元律, 田村好史, 中潟崇, 染谷由希, 加賀英義, 山崎望, 木屋舞, 杉本大介, 門脇聡, 河盛隆造, 綿田裕孝: 日本人低体重若年女性の耐糖能異常(IGT)者の割合と特徴. 第 64 回日本糖尿病学会年次集会, web 開催(日本), 2021/5/20-22, 講演
2. 池田恒基, 保田都, 佐藤元律, 杉本大介, 佐藤祥, 池田富貴: 壊死性食道炎を合併した高血糖浸透圧症候群の一例. 第 95 回日本糖尿病学会中部地方会, 三重県(日本), 2021/9/4-5, 講演
3. 駒井孝企, 池田富貴, 佐藤元律, 保田都, 佐藤文哉: GAD 抗体陽性であった劇症 1 型糖尿病で典型的な HLA 遺伝子型を呈した 1 例. 第 95 回日本糖尿病学会中部地方会, 三重県(日本), 2021/9/4-5, 講演
4. 池田恒基, 駒井孝企, 保田都, 佐藤元律, 杉本大介, 池田富貴: ポリファーマシーにより低血糖発作を助長した 1 例. 第 245 回日本内科学会東海地方会, web 開催(日本), 2021/10/31, 講演.
5. 長嶋春樹, 小貝俊樹, 保田都, 佐藤元律, 荻原健: 病的骨折を契機に副甲状腺機能亢進症の診断となり、術後 Hungry bone syndrome を来し長期間補充を必要とした 1 例. 第 246 回日本内科学会東海地方会, web 開催(日本), 2022/2/20, 講演

和文著書

1. 荻原健, 綿田裕孝: 【1. 糖尿病の診断と分類】分類の進め方(成因と病態・病期), 最新ガイドラインに基づく代謝・内分泌疾患治療指針 2021-'22. 総合医学社, 東京都(日本), 2021

2-7 循環器内科

診療実績



研究・教育活動

英文原著

1. Wada H, Ogita M*, Suwa S, Nakao K, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M; J-MINUET investigators.

Prediction of long-term outcomes in ST-elevation myocardial infarction and non-ST segment myocardial infarction with and without creatinine kinase elevation-post-hoc analysis of the J-MINUET study.

Int Heart J. 2021 May 29;62(3):520-527. (IF=2.226, CI=0).

2. Nishio R, Ogita M*, Wada H, Nozaki Y, Takahashi D, Yasuda K, Takeuchi M, Takahashi N, Sonoda T, Yatsu S, Shitara J, Tsuboi S, Dohi T, Suwa S, Miyauchi K, Daida H.
Clinical characteristics and long-term outcomes of patients with acute coronary syndrome during the trip.
Int Heart J. 2021 May 29;62(3):487-492. (IF=2.226, CI=0).
3. Kimura T, Akahori H*, Asakura M, Nakao K, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Suwa S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Wake M, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M; J-MINUET investigators.
Impact of age on gender difference in long-term outcome of patients with acute myocardial infarction (from J-MINUET).
Am J Cardiol. 2021 Mar 1;142:5-13. (IF=2.843, CI=0).
4. Matumura-Nakano Y, Shiomi H, Morimoto T, Yamaji K, Ehara N, Sakamoto H, Takeji Y, Yoshikawa Y, Yamamoto K, Imada K, Tada T, Taniguchi R, Nishikawa R, Tada T, Uegaito T, Ogawa T, Yamada M, Takeda T, Eizawa H, Tamura N, Tambara K, Suwa S, Shirotani M, Tamura T, Inoko M, Nishizawa J, Natuaki M, Sakai H, Yamamoto T, Kanemitsu N, Ohno N, Ishii K, Marui A, Tsuneyoshi H, Terai Y, Nakayama S, Yamazaki K, Takahashi M, Tamura T, Esaki J, Miki S, Onodera T, Mabuchi H, Furukawa Y, Tanaka M, Komiya T, Soga Y, Hanyu M, Ando K, Kadota K, Minatoya K, Nakagawa Y, Kimura T*; CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 Investigators.
Comparison of outcomes of percutaneous coronary intervention versus coronary artery bypass grafting among patients with three-vessel coronary artery disease in the new generation drug-eluting stents era (from the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3).
Am J Cardiol. 2021 Apr 15;145:25-36. (IF=2.843, CI=0).
5. Yamamoto K, Shiomi H*, Morimoto T, Kadota K, Tada T, Takeji Y, Matsumura-Nakano Y, Yoshikawa Y, Imada K, Domei T, Kaneda K, Taniguchi R, Ehara N, Nawada R, Natsuaki M, Yamaji K, Toyofuku M, Kanemitsu N, Shinoda E, Suwa S, Iwakura A, Tamura T, Soga Y, Inada T, Matsuda M, Koyama T, Aoyama T, Sato Y, Furukawa Y, Ando K, Yamazaki F, Komiya T, Minatoya K, Nakagawa Y, Kimura T;
CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 Investigators.
Percutaneous coronary intervention versus coronary artery bypass grafting among patients with unprotected left main coronary artery disease in the new-generation drug-eluting stents era (from the CREDO-Kyoto Registry Cohort-3).
Am J Cardiol. 2021 Apr 15;145:47-57. (IF=2.843, CI=0).
6. Yamamoto K, Natsuaki M, Morimoto T, Shiomi H, Takeji Y, Kadota K, Imada K, Toyofuku M, Kanemitsu N,

Shinoda E, Suwa S, Iwakura A, Tamura T, Soga Y, Inada T, Matsuda M, Koyama T, Aoyama T, Kato E, Sato Y, Furukawa Y, Ando K, Yamazaki F, Komiya T, Minatoya K, Nakagawa Y, Kimura T*; CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 Investigators.

Percutaneous coronary intervention versus coronary artery bypass grafting in patients with versus without chronic kidney disease.

Am J Cardiol. 2021 Apr 15;145:37-46. (IF=2.843, CI=0).

7. Shitara J, Naito R, Kasai T*, Endo H, Wada H, Doi S, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Okazaki S, Miyauchi K, Daida H.

Differing effects of beta-blockers on long-term clinical outcomes following percutaneous coronary intervention between patients with mid-range and reduced left ventricular ejection fraction.

BMC Cardiovasc Disord. 2021 Jan 15;21(1)36. (IF=0.794, CI=0).

8. Watanabe H, Morimoto T, Ogita M, Suwa S, Natsuaki M, Suematsu N, Koeda Y, Morino Y, Nikaido A, Hata Y, doi M, Hibi K, Kimura K, Yoda S, Kaneko T, Nishida K, Kazai K, Yamaguchi K, Wakatsuki T, Tonoike N, Yamamoto M, Shimizu S, Shimohama T, Ako J, Kimura T*, on behalf of STOPDAPT-2 investigators.

Influence of CYP2C19 genotypes for the effect of 1-month dual antiplatelet therapy followed by clopidogrel monotherapy relative to 12-month dual antiplatelet therapy on clinical outcomes after percutaneous coronary intervention; A genetic substudy from the STOPDAPT-2.

Cardiovasc Interv Ther. 2021 Oct;36(4):403-415.

9. Shiozaki M, Inoue K*, Suwa S, Lee CC, Chiang SJ, Sato A, Fukuda K, Kubota N, Tamura H, Fujiwara Y, Yamaguchi K, Sato T, Sumiyoshi M, Daida H.

Clinical evaluation of a new high-sensitivity cardiac troponin I assay for diagnosis and risk assessment of patients with suspected acute myocardial infarction.

Cardiology. 2021;146(2):172-178. (IF=1.791, CI=0).

10. Soeda T, Okura H, Saito Y, Nakao K, Ozaki Y, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Yasuda S, Suwa S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Toubaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M; J-MINUET investigators.

Clinical characteristics and in-hospital outcomes in patients aged 80 years or over with cardiac troponin-positive acute myocardial infarction-J-MINUET study.

J Cardiol. 2021 Feb;77(2):139-146. (IF=2.289, CI=0).

11. Takeji Y, Shiomi H*, Morimoto T, Yoshikawa Y, Taniguchi R, Matsumura-Nakano Y, Yamamoto K, Yamaji K, Tazaki J, Suwa S, Inoko M, Takeda Y, Shirotani M, Ehara N, Ishii K, Inada T, Onodera T, Shinoda E, Yamamoto T, Tamura T, Nakatsuma K, Sakamoto H, Ando K, Soga Y, Furukawa Y, Sato Y, Nakagawa Y, Kadota K, Komiya T, Minatoya K, Kimura T. CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2 and CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 Investigators.

Demographics and practice patterns and long-term outcomes of patients with non-ST-segment elevation acute coronary syndrome in the past two decades: the CREDO-Kyoto Cohort-2 and Cohort-3.

BMJ Open. 2021 Feb 22;11(2):e044329. (IF=2.496, CI=0).

12. Yamamoto K, Watanabe H, Morimoto T, Domei T, Ohya M, Ogita M, Takagi K, Suzuki H, Nikaido A, Ishii M, Fujii S, Natsuaki M, Yasuda S, Kaneko T, Tamura T, Tamura T, Abe M, Kawai K, Nakao K, Ando K, Tanabe K, Ikari Y, Igarashi Hanaoka K, Morino Y, Kozuma K, Kadota K, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kimura T*. On behalf of the STOPDAPT-2 investigators.

Very short dual antiplatelet therapy after drug-eluting stent implantation in patients who underwent complex percutaneous coronary intervention: Insight from the STOPDAPT-2 Trial.

Circ Cardiovasc Interv. 2021 May;14(5):e010384. (IF=5.493, CI=0).

13. Matoba T, Sakamoto K, Nakai M, Ichimura K, Mohri M, Tsujita Y, Yamasaki M, Ueki Y, Tanaka N, Hokama Y, Fukutomi M, Hashiba K, Fukuhara R, Suwa S, Matsuura H, Hosoda H, Nakashima T, Tahara Y, Sumita Y, Nishimura K, Miyamoto Y, Yonemoto N, Yagi T, Tachibana E, Nagao K, Ikeda T, Sato N, Tsutsui H.

Institutional characteristics and prognosis of acute myocardial infarction with cardiogenic shock in Japan – Analysis from the JROAD/JROAD-DPC database.

Circ J. 2021 Sep 24;85(10):1797-1805. (IF=2.97, CI=0).

14. Takeuchi M, Wada H*, Ogita M, Takahashi D, Okada-Nozaki Y, Nishio R, Yasuda K, Takahashi N, Sonoda T, Yatsu S, Shitara J, Tsuboi S, Dohi T, Suwa S, Miyauchi K, Daida H, Minamino T.

Impact of prior stroke on long-term outcomes in patients with acute coronary syndrome.

Circ Rep. 2021 Apr 9;3(5):267-272.

15. Natsuaki M*, Morimoto T, Shiomi H, Kadota K, Tada T, Takeji Y, Matsumura-Nakano Y, Yoshikawa Y, Watanabe H, Yamamoto K, Imada K, Domei T, Yamaji K, Tazaki J, Kaneda K, Taniguchi R, Ehara N, Nawada R, Toyofuku M, Shinoda E, Suwa S, Tamura T, Inada T, Matsuda M, Aoyama T, Sato Y, Furukawa Y, Ando K, Nakagawa Y, Kimura T. CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 Investigators.

Effect of acute coronary syndrome and stable coronary artery disease on bleeding and ischemic risk after percutaneous coronary intervention.

Circ J. 2021 Apr 27.doi: 10.1253. (Online ahead of print). (IF=2.97, CI=0).

16. Naruse Y, Miyajima K, Sugiura R, Muto M, Ogano M, Kurebayashi N, Shiozawa T, Kiyama Y, Nagata E, Odagiri K, Maekawa Y; Mt. FUJI trial investigators.

Comparison of delivery catheter-based and stylet-based right ventricular lead placement at the right ventricular septum under fluoroscopic guidance judged by cardiac CT (Mt. FUJI): a study protocol for the Mt. FUJI randomized controlled trial.

BMJ Open 2021 May 26;11(5):e046782. (IF=2.496, CI=0).

17. Natsuaki M, Morimoto T, Shiomi H, Ehara N, Taniguchi R, Tamura T, Tada T, Suwa S, Kaneda K, Watanabe H, Tazaki J, Wanatabe S, Yamamoto E, Saito N, Fuki M, Takeda T, Eizawa H, Sinoda E, Mabuchi H, Shirotani M, Uegaito T, Matsuda M, Takahashi M, Inoko M, Tamura T, Ishii K, Onodera T, Sakamoto H, Aoyama T, Sato Y, Ando K, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kadota, K, Kimura T*.
Application of the modified high bleeding risk criteria for Japanese patients in an all-comers registry of percutaneous coronary intervention -From the CREDO-Kyoto Registry Cohort -3.
Cir J. 2021 May 25;85(6):769-781. (IF=2.97, CI=0).

18. Hashimoto Y, Ozaki Y*, Kan S, Nakao K, Kimura K, Ako J, Noguchi T, Suwa S, Fujimoto K, Dai K, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Wake M, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Tobaru T, Saku K, Oshima S, Yasuda S, Ismail TF, Muramatsu T, Izawa H, Takahashi H, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M; J-MINUET investigators.
Impact of chronic kidney disease on in-hospital and 3-year clinical outcomes in patients with acute myocardial infarction treated by contemporary percutaneous coronary intervention and optima medical therapy – Insights from the J-MINUET study.
Circ J. 2021 Sep 24;85(10):1710-1718. (IF=2.97, CI=0).

19. Shiomi H*, Morimoto T, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kadota K, Yoshikawa Y, Yamaji K, Tada T, Tazaki J, Ehara N, Taniguchi R, Tamura T, Iwakura A, Tada T, Watanabe H, Suwa S, Toyofuku M, Inada T, Kaneda K, Ogawa T, Takeda T, Sakai H, Yamamoto T, Tambara K, Esaki J, Eizawa H, Yamada M, Shinoda E, Nishizawa J, Mabuchi H, Tamura N, Shirotani M, Nakayama S, Uegaito T, Matsuda M, Takahashi M, Inoko M, Kanemitsu N, Tamura T, Ishii K, Nawada R, Onodera T, Ohno N, Koyama T, Tsuneyohsi H, Sakamoto H, Aoyama T, Miki S, Tanaka M, Sato Y, Yamazaki F, Hanyu M, Soga Y, Komiya T, Ando K, Minatoya K, Kimura T. CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 Investigators.
Coronary revascularization in the past two decades in Japan (from the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-1, -2, and -3).
Am J Cardiol. 2021 Aug 15;153:20-29. (IF=2.843, CI=0).

20. Yamamoto K, Matsumura-Nakano Y, Shiomi H, Natsuaki M, Morimoto T, Kadota K, Tada T, Takeji Y, Yoshikawa Y, Imada K, Domei T, Kaneda K, Taniguchi R, Ehara N, Nawada R, Yamaji K, Kato E, Toyofuku M, Kanemitsu N, Shinoda E, Suwa S, Iwakura A, Tamura T, Soga Y, Inada T, Matsuda M, Koyama T, Aoyama T, Sato Y, Furukawa Y, Ando K, Yamazaki F, Komiya T, Minatoya K, Nakagawa Y, Kimura T*; CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3 Investigators.
Effect of heart failure on long-term clinical outcomes after percutaneous coronary intervention versus coronary artery bypass grafting in patients with severe coronary artery disease.
J Am Heart Assoc. 2021 Aug 3;10(15):e021257. (IF=???, CI=0).

21. Asakura M, Hibi K, Shimizu W, Fujii K, Suwa S, Okumura Y, Mano T, Igeta M, Okamoto R, Ishihara M.
Design and rationale of the EVOCATION trial: A prospective, randomized, exploratory study comparing the

effect of evolocumab on coronary microvascular function after percutaneous coronary intervention in patients with stable coronary artery disease.

J Cardiol. 2021 Sep 10;S0914-5087(21)00228-8. (IF=???, CI=0).

22. Natsuaki M, Morimoto T, Shiomi H, Yamamoto K, Yamaji K, Watanabe H, Uegaito T, Matsuda M, Tamura T, Taniguchi R, Inoko M, Mabuchi H, Takeda T, Domei T, Shirotani M, Ehara N, Eizawa H, Ishii K, Tanaka M, Inada T, Onodera T, Nawada R, Shinoda E, Yamada M, Yamanoto T, Sakai H, Toyofuku M, Tamura T, Takahashi M, Tada T, Sakamoto H, Tada T, Kaneda K, Miki S, Aoyama T, Suwa S, Sato Y, Ando K, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kadota, K, Kimura T*.
Bleeding outcomes after percutaneous coronary intervention in the past two decades in Japan – From the CREDO-Kyoto Registry Cohort -2 and Cohort -3.
Cir J. 2021 Sep 16. (Online ahead of print). (IF=2.97, CI=0).
23. Obayashi Y, Shiomi H*, Morimoto T, Tamai Y, Inoko M, Yamamoto K, Takeji Y, Tada T, Nagao K, Yamaji K, Kaneda K, Suwa S, Tamura T, Sakamoto H, Inada T, Matsuda M, Sato Y, Furukawa Y, Ando K, Kadota K, Nakagawa Y, Kimura K; CREDO-Kyoto AMI Registry Wave-2 Investigators.
Newly diagnosed atrial fibrillation in acute myocardial infarction.
J Am Heart Assoc. 2021 Sep 21;10(18):e021417. (IF=???, CI=0).
24. Hashimoto T, Minami Y, Ako J*, Nakao K, Ozaki Y, Kimura K, Noguchi T, Suwa S, Fujimoto K, Nakama Y, Morita T, Shimizu W, Saito Y, Hirohata A, Morita Y, Inoue T, Okamura A, Mano T, Hirata K, Tanabe K, Shibata Y, Owa M, Tsujita K, Funayama H, Kokubu N, Kozuma K, Uemura S, Tobaru T, Saku K, Oshima S, Nishimura K, Miyamoto Y, Ogawa H, Ishihara M; J-MINUET investigators.
Validation of the atherothrombotic risk score for secondary prevention in patients with acute myocardial infarction: the J-MINUET study.
Heart Vessels. 2021 Oct;36(10):1506-1513. (IF=1.62, CI=0).
25. Takeji Y, Shiomi H, Morimoto T, Yamamoto K, Matsumura-Nakano Y, Nagao K, Taniguchi R, Yamaji K, Tada T, Toda-Kato E, Yoshikawa Y, Obayashi Y, Suwa S, Inoko M, Ehara N, Tamura T, Onodera T, Watanabe H, Toyofuku M, Nakatsuma K, Sakamoto H, Ando K, Furukawa Y, Sato Y, Nakagawa Y, Kadota, K, Kimura T, CREDO-Kyoto AMI Registry Wave-2 Investigators.
PLoS One. 2021 Nov 17;16(11):e0259268. (IF=???, CI=0).
26. Yatsu S, Kasai T, Naito R, Matsumoto H, Murata A, Shitara J, Shiroshita N, Kato M, Kawana F, Sato A, Ishiwata S, Shimizu M, Kato T, Suda S, Hiki M, Matsue Y, Kobayashi M, Yoshioka E, Yamauchi T, Daida H.
Utility of cyclic variation of heart rate score as a screening tool for sleep-disordered breathing in patients with heart failure.
J Clin Sleep Med. 2021 Nov 1;17(11):2187-2196 (IF=???, CI=0).

27. Shitara J, Kasai T, Murata N, Yamakawa N, Yatsu S, Murata A, Matsumoto H, Kato T, Suda S, Matsue Y, Naito R, Hiki M, Daida H.
Temporal changes of cardiac acoustic biomarkers and cardiac function in acute decompensated heart failure.
ESC Heart Fail. 2021 Oct ;8(5):4037-4047 (IF=???, CI=0).

28. Kato T, Kasai T, Suda S, Sato A, Ishiwata S, Yatsu S, Matsumoto H, Shitara J, Shimizu M, Murata A, Kagiya N, Hiki M, Matsue Y, Naito R, Takagi A, Daida H.
Prognostic effects of arterial carbon dioxide levels in patients hospitalized into the cardiac intensive care unit for acute heart failure.
Eur Heart J Acute Cardiovasc Care. 2021 Jun 30;10(5):497-502 (IF=???, CI=0).

29. Ishiwata S, Kasai T, Sato A, Suda S, Matsumoto H, Shitara J, Yatsu S, Murata A, Shimizu M, Murata A, Kato T, Hiki M, Matsue Y, Naito R, Daida H, Minamino T.
Prognostic effects of arterial carbon dioxide levels in patients hospitalized into the cardiac intensive care unit for acute heart failure.
Eur Heart J Acute Cardiovasc Care. 2021 Jun 30;10(5):497-502 (IF=???, CI=0).

30. Murasato Y, Yamaji K, Kohsaka S, Wada H, Ishii H, Kinoshita Y, Shite J, Hikichi Y, Amano T, Ikari Y.
Percutaneous coronary intervention in side branch coronary arteries: Insights from the Japanese nationwide registry.
Int J Cardiol Heart Vasc. 2021 Aug 18;36:100856 (IF=???, CI=0).

31. Yamagishi M, Tamaki N, Akasaka T, Ikeda T, Ueshima K, Uemura S, Otsuji Y, Kihara Y, Kimura K, Kimura T, Kusama Y, Kumita S, Sakuma H, Jinzaki M, Daida H, Takeishi Y, Tada H, Chikamori T, Tsujita K, Teraoka K, Nakajima K, Nakata T, Nakatani S, Nogami A, Node K, Nohara A, Hirayama A, Funabushi N, Miura M, Mochizuki T, Yokoi H, Yoshioka K, Watanabe M, Asanuma T, Ishikawa Y, Ohara T, Kaikita K, Kasai T, Kato E, Kamiyama H, Kawashiri M, Kiso K, Kitagawa K, Kido T, Kinoshita T, Kiriyama T, Kume T, Kurata A, Kurisu S, Kosuge M, Kodani E, Sato A, Shiono Y, Shiomi H, Taki J, Takeuchi M, Tanaka A, Tanaka N, Tanaka R, Nakahashi T, Nakahara T, Nomura A, Hashimoto A, Hayashi K, Higashi M, Hiro T, Fukamachi D, Matsuo H, Matsumoto N, Miyauchi K, Miyagawa M, Yamada Y, Yoshinaga K, Wada H, Watanabe T, Ozaki Y, Kohsaka S, Shimizu W, Yasuda S, Yoshino H, Japanese Circulation Society Working Group.
JCS 2018 guideline on diagnosis of chronic coronary heart diseases.
Circ J. 2021 Mar 25;85(4):402-572 (IF=???, CI=0).

32. Ito T, Yamaji K, Kohsaka S, Ishii H, Wada H, Amano T, Fujita H, Seo Y, Ikari Y.
Effect of Procedural Volume on In-Hospital Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention in Patients With Chronic Kidney Disease (from the Japanese National Clinical Data [J-PCI Registry])
Am J Cardiol. 2021 Dec 7;S0002-9149(21)01098-5

英文症例報告

1. Kawaguchi T, Yatsu S*, Shiozawa T, Suwa S.
Successful implantation of a leadless pacemaker in a patient with complete atrioventricular block and congenital absence of superior vena cava: a case report.
Eur Heart J Case Rep. 2021 May 12;5(5):ytab167.
2. Takeuchi I, Shitara J, Yanagawa Y.
A high-echoic layer surrounding the heart suggesting cardiac tamponade by clotting.
Aorta (Stanford). 2021 Jun;9(3):116-117.

海外学会

1. Takahashi D, Wada H, Ogita M, Yasuda K, Nishio R, Takeuchi M, Takahashi N, Yatsu S, Shitara J, Tsuboi S, Dohi T, Suwa S, Miyauchi K, Daida H, Minamino T.
Impact of lipoprotein(a) as residual risk on long-term cardiovascular outcomes in patients with acute coronary syndrome treated with statin.
ESC2020, 2021/8/27-8/30
2. Sonoda T, Wada H, Ogita M, Dohi T, Suwa S, Miyauchi K, Daida H, Minamino T.
Impact of lipoprotein(a) as residual risk on long-term cardiovascular outcomes in patients with acute coronary syndrome treated with statin
AHA2021, 2021/11/13-11/15
3. Sonoda T, Wada H, Yasuda K, Nishio R, Takeuchi M, Takahashi N, Yatsu S, Shitara J, Tsuboi S, Ogita M, Dohi T, Suwa S, Miyauchi K, Daida H, Minamino T.
Clinical Features and Outcome-Predictors of Patients with Out-of-Hospital Cardiac Arrest Complicating Acute Myocardial Infarction.
AHA2021, 2021/11/13-11/15

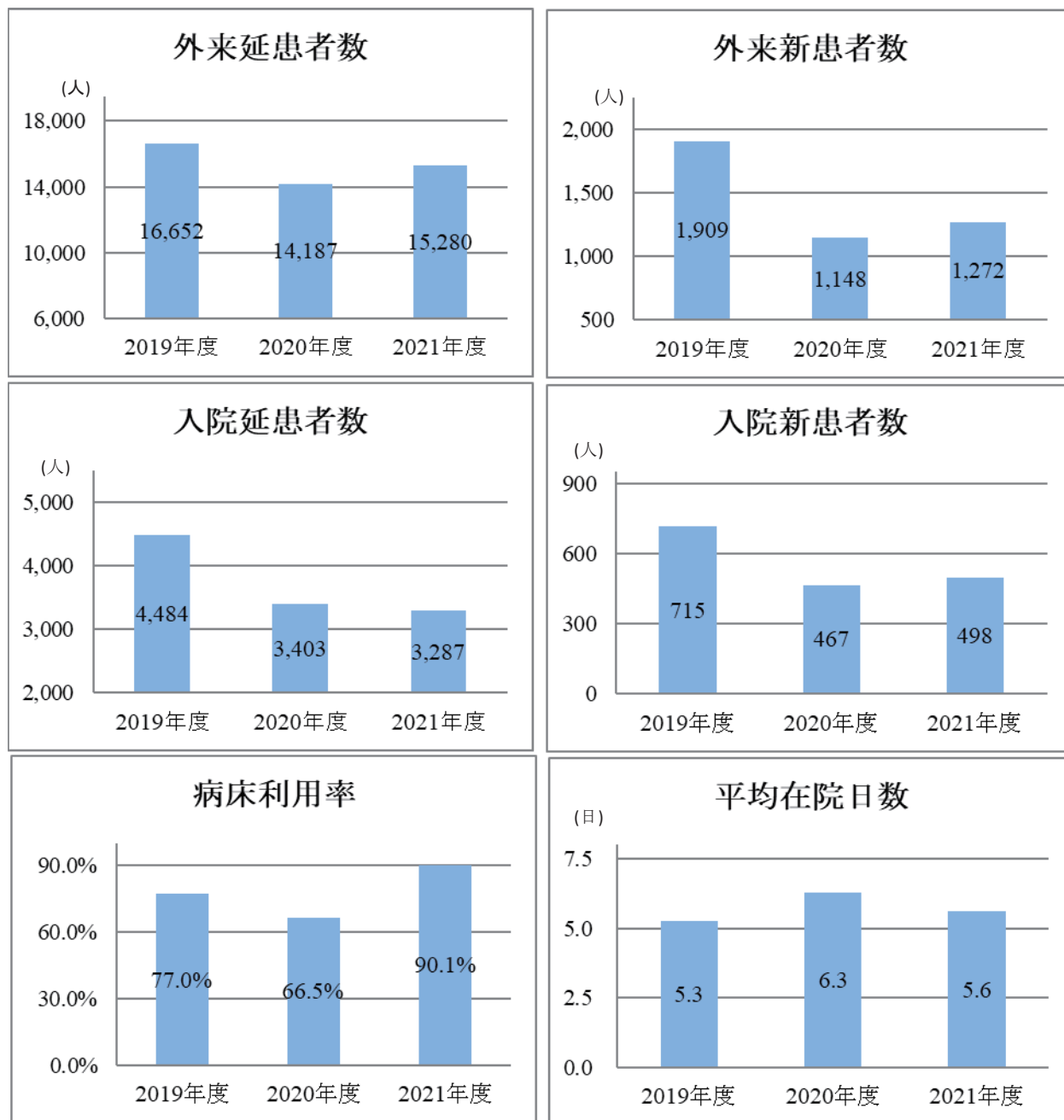
国内学会

1. 西尾亮太、和田英樹、荻田学、野崎侑衣、高橋大悟、安田健太郎、竹内充裕、園田健人、谷津翔一朗、設樂準、諏訪哲. Emergent PCI for NSTEMI patient with LCX proximal and LAD ostium CTO lesion. 第 29 回 CVIT2020 (Web 開催)、2021/2/18-2/21
2. 守屋 壮志、磯田 菊生、土肥 智貴、高橋 徳仁、遠藤 裕久、土井 信一郎、西山 大樹、華藤 芳輝、岡井 巖、岩田 洋、岡崎 真也. Significant decrease in lipid core burden index following balloon dilation was associated with the leakage of cholesterol crystals.
第 29 回 CVIT2020 (Web 開催)、2021/2/18-2/21

3. 園田健人、和田英樹、荻田学、野崎侑衣、高橋大悟、安田健太郎、西尾亮太、竹内充裕、谷津翔一郎、設樂準、諏訪哲. Significant changes in coronary angiography after non-cardiac surgery and optical coherence tomography findings in the same stenotic lesion. 第 29 回 CVIT2020 (Web 開催)、2021/2/18-2/21
4. Takahashi D, Wada H, Ogita M, Yasuda K, Nishio R, Takeuchi M, Takahashi N, Yatsu S, Shitara J, Tsuboi S, Dohi T, Suwa S, Miyauchi K, Daida H, Minamino T. Impact of lipoprotein(a) as residual risk on long-term cardiovascular outcomes in patients with acute coronary syndrome treated with statin. 第 85 回日本循環器学会学術集、横浜、2021/3/26-3/28 (ハイブリッド開催)
5. 五藤千奈、谷津翔一郎、設樂準、辻村祐一郎、守屋壮志、西尾亮太、石川剛、安田健太郎、園田健人、高野信太郎、和田英樹、塩澤知之、荻田学、諏訪哲
静脈血栓症から肺動脈奇形を介して急性心筋梗塞を呈したと考えられた一例
第 84 回日本循環器学会東海地方会、2021/7/10(Web 開催)
6. 野崎 侑衣, 荻田 学, 谷津 翔一郎, 高橋 大悟, 安田 健太郎, 園田 健人, 和田 英樹, 諏訪 哲, 宮内 克己, 代田 浩之, 南野 徹. 心原性ショックを呈する ST 上昇型心筋梗塞に対する primary PCI が及ぼす予後の検討. 第 69 回日本心臓病学会学術集会、2021/9/17-9/19(ハイブリッド開催)
7. 中村 優, 設樂 準, 真 スレーシュワル, 守屋 壮志, 石川 剛, 安田 健太郎, 園田 健人, 高野 信太郎, 和田 英樹, 塩澤 知之, 荻田 学, 諏訪 哲. 保存的加療により改善した化膿性心膜炎の一例. 第 69 回日本心臓病学会学術集会、2021/9/17-9/19(ハイブリッド開催)
8. 守屋壮志、和田英樹、荻田学、中村優、真優スレーシュワル、石川剛、安田健太郎、園田健人、設樂準、諏訪哲.OCT にて右冠動脈に複数のプラーク破綻像を観察した急性心筋梗塞の一例、第 45 回 CVIT 東海北陸地方会、2021/10/17 (Web 開催)
9. 小野里匠也、守屋壮志、中村優、真優スレーシュワル、石川剛、安田健太郎、園田健人、設樂準、和田英樹、荻田学、諏訪哲. 妊娠・出産を契機に発症し、自然軽快した Libman-sacks 心内膜炎の一例、第 158 回日本循環器学会東海北陸地方会

2-8 小児科

診療実績



研究・教育活動

原著

1. Baba Y, Matsuda A, Takaoka Y, Miyabayashi K, Yamada H, Yoneyama T, Yamazaki S, Inage E, Ohtsuka Y, Kantake M, Shimizu T. Role of IL-1RL1/ST2 in infantile asthma. *J Clin Cell Immunol* 12:631-636. 2021
2. 有井みのる, 有井直人. 日本に滞在する外国人へのプライマリケアにおける問題点の考察. *小児科* 62:965-970. 2021

3. 宮崎萌香, 馬場洋介, 寒竹正人, 清水俊明. 莢膜血清型 23B 型肺炎球菌による細菌性髄膜炎を発症した小児例-血清型および MLST 解析の検討-. アレルギーの臨床 41:53-57. 2021

総説

1. 佐藤真教, 神保圭佑. 【移行期医療について考える】移行期医療の現状と課題について 消化器疾患. 小児科臨床 74:694-698. 2021

講演

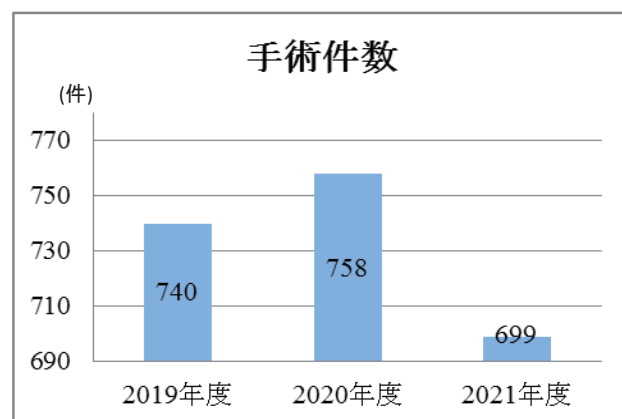
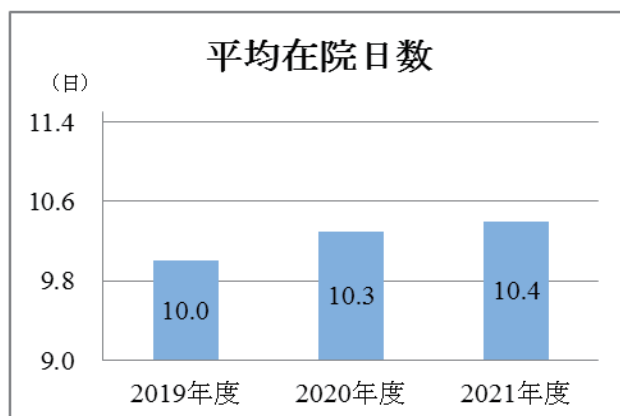
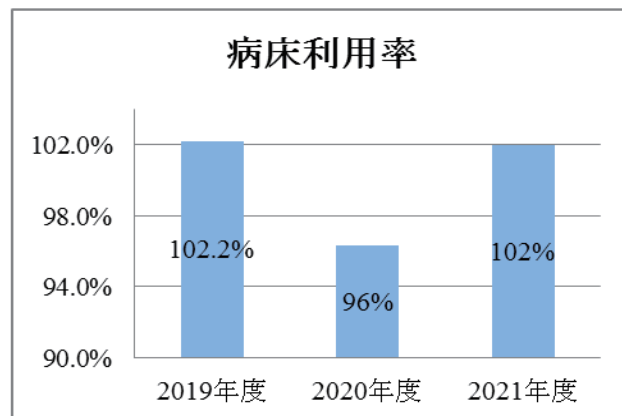
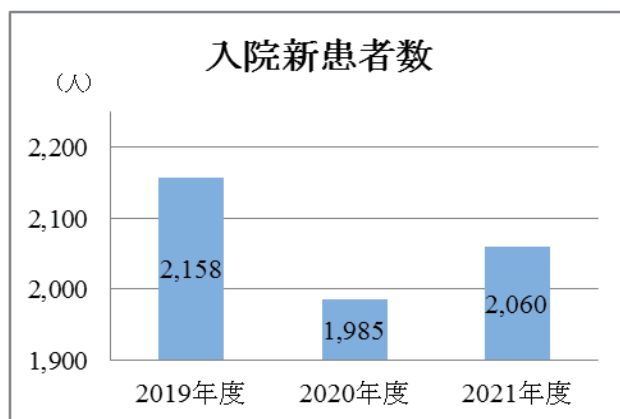
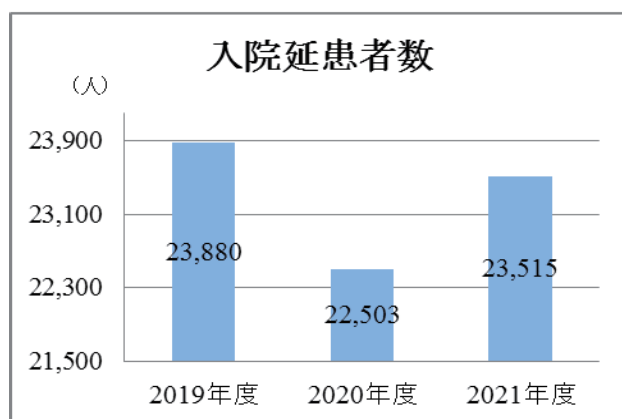
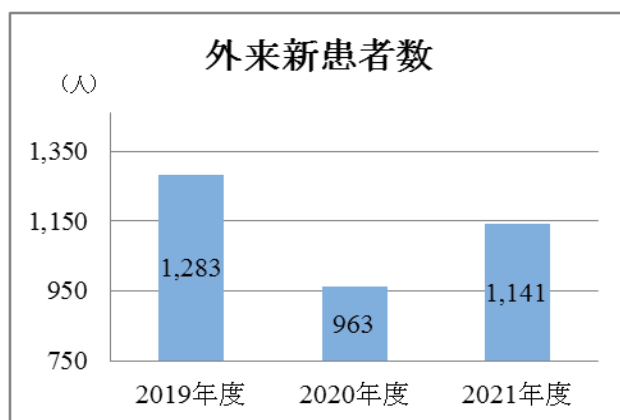
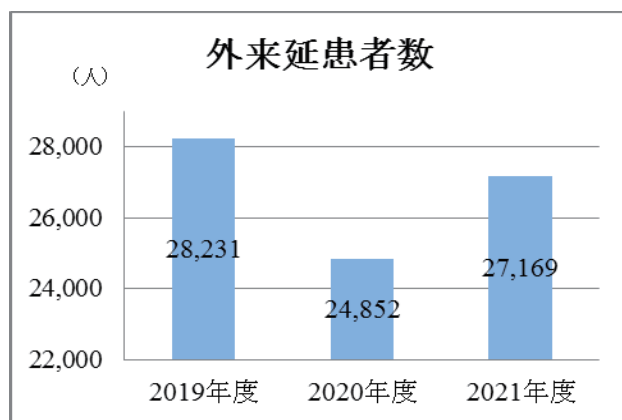
1. 有井直人. てんかん発作について. 静岡県東部特別支援学校伊東分校勉強会, 伊東. 2021.7.14.
2. 有井直人. 筋ジストロフィーとは? デュシェンヌ型筋ジストロフィーをはじめとした小児の筋ジストロフィーについて. 静岡県東部 DMD Web フォーラム, Web 開催. 2021.9.3.
3. 有井直人. 小児のけいれん. 小児健康教室, 川口 (Web 開催). 2021.12.8.
4. 馬場洋介. 小児における重症喘息の病態と 2 型免疫応答. 静岡県東部小児喘息 Web セミナー, Web 開催. 2021.5.21.
5. 馬場洋介. 小児アトピー性皮膚炎における 2 型免疫応答と遺伝子転写調節. ふじのくにアトピー性皮膚炎セミナー, Web 開催. 2021.10.15.
6. 馬場洋介. 牛乳アレルギーと小児の発達. 第 45 回小児成長研究会, Web 開催. 2022.3.11.

学会発表

1. 宮林和紀, 馬場洋介, 石田翔二, 江原尚弘, 横倉友諒, 稲毛英介, 大塚宜一, 寒竹正人, 清水俊明. 乳蛋白による即時型食物アレルギーにおける Baked milk 摂取症例の検討. 第 124 回日本小児科学会学術集会, ハイブリッド開催 (京都). 2021.4.16.
2. 宮林和紀, 馬場洋介, 米山俊之, 山崎晋, 本庄明日香, 稲毛英介, 工藤孝広, 大塚宜一, 清水俊明. Baked milk による牛乳の即時型食物アレルギー児に対する経口免疫誘導の後方視的検討. 第 70 回日本アレルギー学会学術大会, ハイブリッド開催 (横浜). 2021.10.9.
3. 宮林和紀, 馬場洋介, 石田翔二, 江原尚弘, 山崎晋, 稲毛英介, 工藤孝広, 大塚宜一, 清水俊明. 新生児集中治療室における保育器管理での新生児皮膚経皮水分蒸散量の検討. 第 58 回日本小児アレルギー学会学術大会, ハイブリッド開催 (横浜). 2021.11.14.
4. 羽根将之, 高岡優里, 石田翔二, 江原尚弘, 宮林和紀, 馬場洋介. Baked milk による少量食物経口負荷試験の予後. 第 81 回 東海小児アレルギー談話会, ハイブリッド開催 (名古屋). 2022.2.26
5. 江原尚弘, 羽根将之, 高岡優里, 石田翔二, 宮林和紀, 馬場洋介. 新生児サイトメガロウイルス感染症後にみられた食物蛋白誘発胃腸炎の 1 例. 第 3 回日本アレルギー学会東海地方会, ハイブリッド開催 (静岡). 2022.3.5

2-9 一般外科

診療実績



学会発表

- 1、 伊藤智彰：発表（web）「肺腫瘍モデルマウス A/J を用いた胎児期ストレスによる成人期肺腫瘍発症への FOXP3 の関与」第 121 回日本外科学会.2021.4.9
- 2、 田中顕一郎：発表（web）「BRCA1/2 変異陽性再発乳癌に対しオラパリブを投与した症例、自験例と本邦報告例の集計」2021.6.18
- 3、 田中顕一郎：ポスター発表（web）「高齢乳癌患者においてリンパ球絶対数と好中球/リンパ球比はエリブリン投与の予後予測因子となり得るか？」第 29 回日本乳癌学会学術総会 2021.7.7
- 4、 村井勇太、田中顕一郎、牛山裕美子、小池周一、板倉萌、仁平高朔、渡邊武大、小泉明博、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、佐藤浩一、和田了：ポスター発表(web)「肉芽腫性乳腺炎の 2 例」第 29 回日本乳癌学会学術総会 2021.7.7
- 5、 板倉萌：ポスター発表(web)「トラスツマブデルクテスカンを投与した一例」第 29 回日本乳癌学会学術総会 2021.7.7
- 6、 仁平高朔：ポスター発表(web)「食道静脈瘤出血合併の高リスク症例に対し術後創部出血、感染を保存的に治療し得た一例」第 29 回日本乳癌学会学術総会 2021.7.7
- 7、 渡邊武大：ポスター発表（web）「治療に難渋した扁平上皮癌の 1 例」第 29 回日本乳癌学会学術総会 2021.7.7
- 8、 伊藤智彰、櫻庭駿介、上田脩平、加藤永記、山本陸、小泉明博、櫛田知志、前川博、佐藤浩一：ポスター発表（web）「Geriatric Nutritional Risk Index(GNRI)による当院での胃癌手術患者の短期成績・長期予後予測の有用性」第 76 回日本消化器外科学会総会 2021.7.8
- 9、 板倉萌、田中顕一郎、牛山裕美子、小池周一、仁平高朔、渡邊武大、小泉明博、村井勇太、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、和田了、佐藤浩一、齊藤光江：「2 次性白血病を発症した進行乳癌の一例」ポスター発表（web）第 18 回日本乳癌学会中部地方会、2021.9.4
- 10、 牛山裕美子、田中顕一郎、板倉萌、小池周一、仁平高朔、渡邊武大、小泉明博、村井勇太、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、和田了、佐藤浩一、齊藤光江：「乳房全切除術後、局所再発した 1 例」ポスター発表（web）第 18 回日本乳癌学会中部地方会、2021.9.4
- 11、 櫛田知志、佐藤浩一、前川博、櫻田睦、伊藤智彰、櫻庭駿介、上田脩平、加藤永記、山本陸、小泉明博、村井勇太：「当科において側臥位胸腔鏡下食道切除から腹臥位胸腔鏡下食道切除へ安全に移行できたか」ポスター発表（web）第 75 回日本食道学会学術集会 2021.9.23
- 12、 櫻庭駿介、村井勇太、小泉明博、山本陸、加藤永記、上田脩平、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、佐藤浩一：「心嚢穿刺により治癒し得た突発性食道潰瘍心嚢腔穿通の一例」ポスター発表（web）第 75 回日本食道学会学術集会 2021.9.23
- 13、 伊藤智彰：「術前 Body mass index による当院でも胃癌手術患者の長期予後予測への有用性」発表（web）第 83 回日本臨床外科学会 2021.11.18
- 14、 小泉明博：「成人腸回転異常症に対し腹腔鏡下 Ladd 手術を施行した 1 例」発表（web）第 83 回日本臨床外科学会 2021.11.18
- 15、 村井勇太：「当院で経験した原発性虫垂癌 4 例の検討」ポスター発表（web）第 83 回日本臨床外科学会 2021.11.18
- 16、 渡邊武大：「術前診断に難渋した後腹膜血管腫の一切切除」ポスター発表（web）第 83 回日本臨

床外科学会 2021.11.18

- 17、伊藤智彰：「技術認定医のいない環境でも具術認定医（胃）取得までの道」発表（web）第 34 回日本内視鏡外科学会 2021,12.3
- 18、渡邊武大、佐藤浩一、前川博、田中顕一郎、櫛田知志、櫻田睦、伊藤智彰、櫻庭駿介、上田脩平、加藤永記、山本陸、小泉明博、村井勇太、板倉萌、仁平高朔：「成人型 still 病を伴った胃癌術後の腹膜内腫瘍の一例」静岡県外科医会第 244 回集談会 日本臨床外科学会静岡県支部 2021.12.18
- 19、牛山裕美子、板倉萌、田中顕一郎、小池周一、仁平高朔、渡邊武大、小泉明博、村井勇太、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫛田知志、櫻田睦、前川博、佐藤浩一：「右肉芽腫性乳腺炎の一例」静岡県外科医会第 244 回集談会 日本臨床外科学会静岡県支部 2021.12.18
- 20、村井勇太：「Segmental arterial mediolysis による左胃大網動脈瘤破裂に対してカテーテル的動脈塞栓治療で治癒し得た 1 例」発表（web）第 58 回腹部救急外科学会 2022,3.24
- 21、渡邊武大、小池周一、牛山裕美子、板倉萌、仁平高朔、小泉明博、村井勇太、中匡洋、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、伊藤智彰、櫻田睦、櫛田知志、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：「治療に難渋した宿便による閉塞性大腸炎の一例」発表（web）第 58 回腹部救急外科学会 2022,3.24
- 22、村井勇太、岩澤卓弥、伊藤智彰、加藤永記、山本陸、上田脩平、櫻庭駿介、櫻田睦、櫛田知志、田中顕一郎、前川博、佐藤浩一：「低栄養及びグルタミンによる大腸癌の抗がん剤治療への影響」発表（web）日本薬学会第 142 年会 2022,3.26

英文著書

- 1、 Ito Tomoaki "Establishment of a non-invasive detecting test for pancreatic cancer using urine" Impact, Volume 2021, Number 8, October 2021, pp. 12-13 (2) <http://doi.org/10.21820/23987073.2021.8.12>
- 2、 Shun Ishiyama, Casey Kissel, Xin Guo, Alexis Howard, Harumi Saeki, Tomoaki Ito, Polina Sysa-Shah, Hajime Orita, Kazuhiro Sakamoto, Kathleen Gabrielson: A Syngeneic Orthotopic Osteosarcoma Sprague Dawley Rat Model with Amputation to Control Metastasis Rate. jove.com January 2021
- 3、 Sugimoto K, Sakamoto K, Ii Y, Amemiya K, Sugo H, Ito T, Munakata S, Takahashi M, Kojima Y, Tomiki Y, Sato K, Saiura A, Kawasaki S: Significance of postoperative adjuvant chemotherapy with an oxaliplatin-based regimen after simultaneous curative resection for colorectal cancer and synchronous colorectal liver metastasis: a propensity score matching analysis. BMC Surg. 2021;21(1):188.
- 4、 Saeki H, Ito T, Ishiyama S, Guo XIN, Sysa-Shah P, Orita H, Sato K, Hino O, Hayakawa T, Gabrielson E, Gabrielson K. Animal Models of Prenatal Stress. Juntendo Medical Journal. 2021;67(2):124-30.
- 5、 Ito Tomoaki, Tomoyuki Kushida, Mutsumi Sakurada, Kenichiro Tanaka, Koichi Sato, Hiroshi Maekawa "Complete wedge resection for duodenal gastrointestinal stromal tumour: A case series of three patients" <https://doi.org/10.1016/j.ijscr.2021.106674>, 4th December 2021

International Journal of Surgery Case Reports

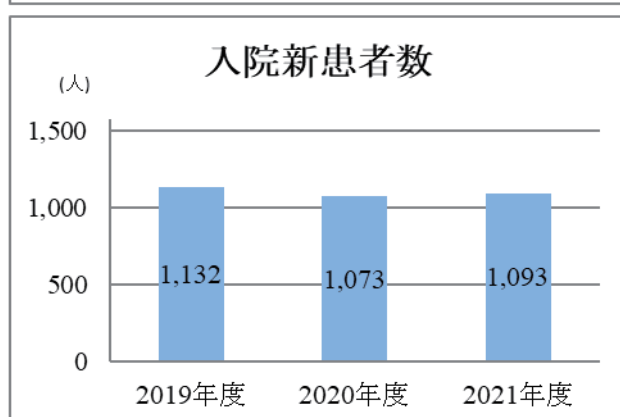
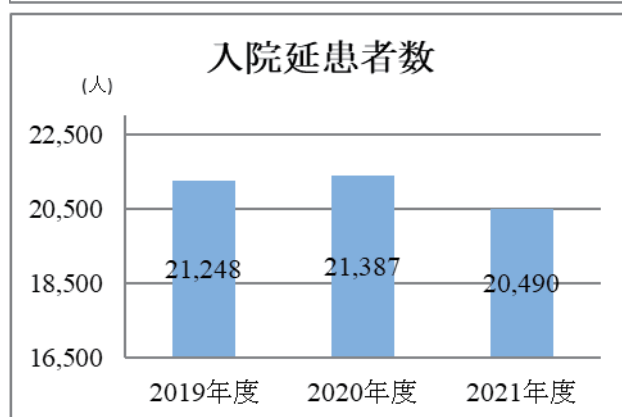
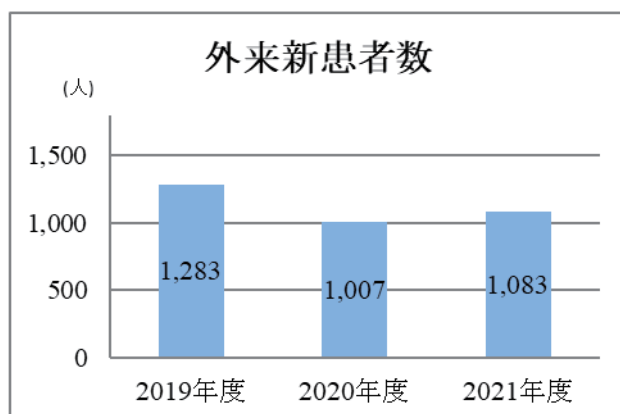
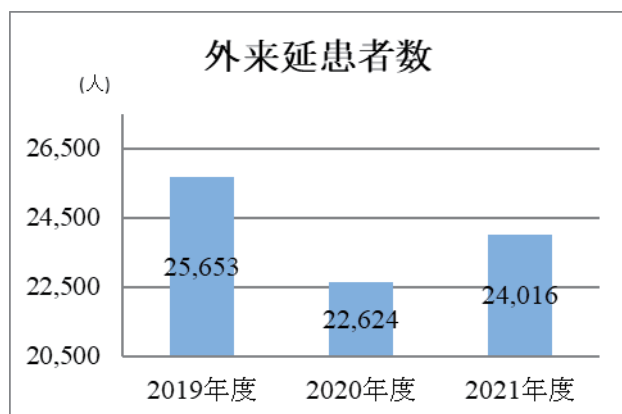
- 6、 Ito Tomoaki, Tomoyuki Kushida, Mutsumi Sakurada, Kenichiro Tanaka, Koichi Sato, Hiroshi Maekawa: “Complete wedge resection for duodenal gastrointestinal stromal tumour: A case series of three patients” International Journal of Surgery Case Reports Volume90, Science Direct, <https://doi.org/10.1016/j.ijscr.2021.106674>, January 2022

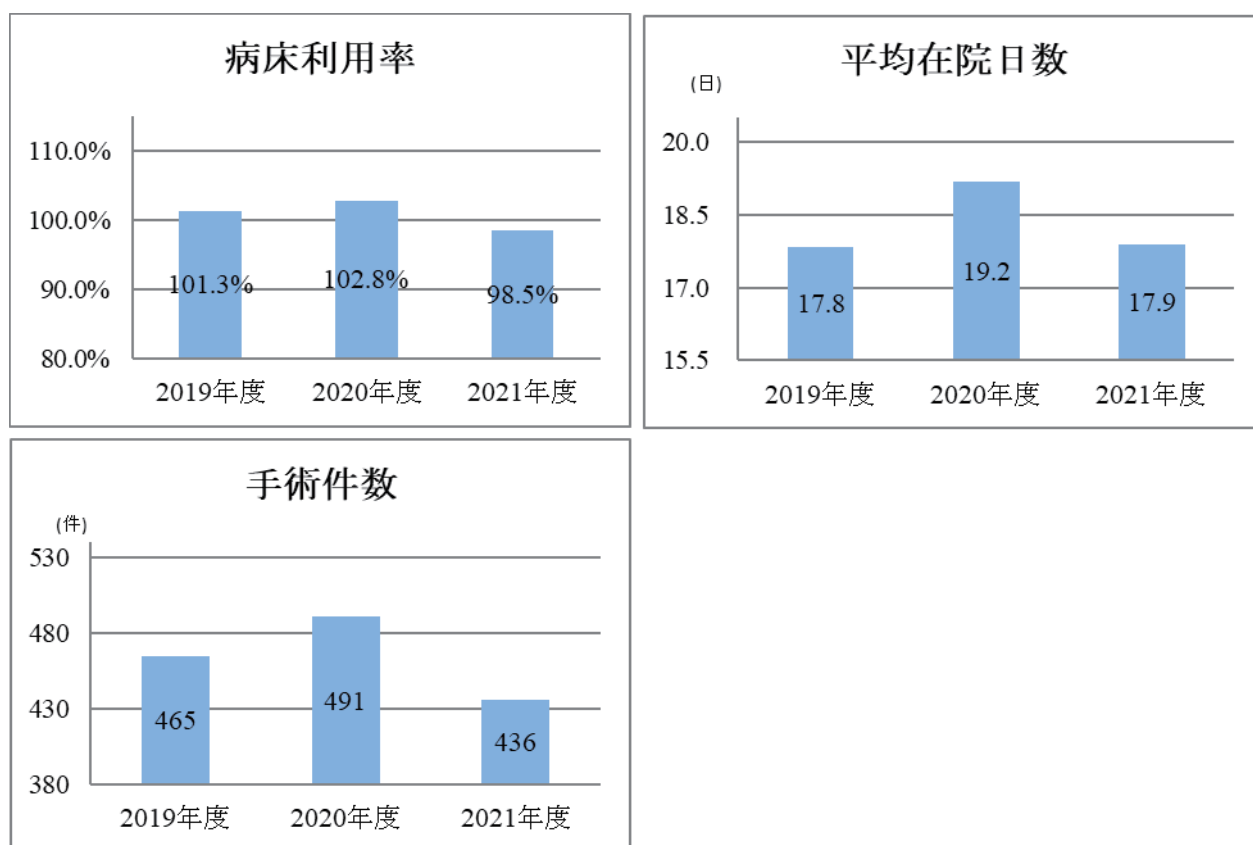
2-10 脳神経外科

診療実績

病床数	57 床
外来新患者数	1,074 人
年間入院数	1,115 人
手術総数	590 件
腫瘍（脳、脊髄、眼窩）	44
動脈瘤（開頭術/血管内治療）	70
AVM	4
血行再建術（CEA/CAS/バイパス術）	32
外傷	149
感染症	15
脊髄・脊椎疾患	5
機能外科	5
血栓溶解/血栓回収術	65
緊急手術数	353（59.8%）
集光照射	13

（グラフ：年度（4月～翌3月）集計）





研究実績

英文原著

1. Mori K, Watanabe S, Nakao Y, Yamamoto T, Toyooka T, Wada K : Complex and continuous change in hypothetical risk of rupture of intracranial cerebral aneurysms—Bleb mandala—. Interdisciplinary Neurosurgery:Advanced Techniques and Case Management, 25 ,2021
2. Fujita N, Ueno H, Watanabe M, Nakao Y, Yamamoto T: Significance of endoscopic hematoma evacuation in elderly patients with spontaneous putaminal hemorrhage. Surg Neurol Int. 2021 Mar 30;12:121. doi: 10.25259/SNI_872_2020. eCollection 2021.
3. Kawamura K, Tokugawa J, Watanabe M, Fujita N, Teramoto S, Kimura T, Ito Y, Nakao Y, Yamamoto T.: Persistent Primitive Hypoglossal Artery with Ipsilateral Symptomatic Carotid Artery Stenosis and Cerebral Aneurysm. J Stroke Cerebrovasc Dis. 2021 Nov;30(11):106099. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2021.106099. Epub 2021 Sep 15.
4. Takaki Y, Tsutsumi S, Teramoto S, Nonaka S, Okura H, Suzuki T, Ishii H. Supratentorial extraventricular ependymoma presenting calvarial erosion: A report of 3 cases. Radiol Case Rep. 2021 Aug 7;16(10):3003-3006. doi: 10.1016/j.radcr.2021.07.030. PMID: 34401042; PMCID: PMC8358130.
5. Makino K, Tsutsumi S, Takaki Y, Nonaka S, Okura H, Ishii H. Infantile acute subdural hemorrhage probably caused by injury to the diploic channels. Radiol Case Rep. 2021 Aug 5;16(10):2981-2983. doi: 10.1016/j.radcr.2021.07.023. PMID: 34401037; PMCID: PMC8353404.

6. Makino K, Tsutsumi S, Takaki Y, Nonaka S, Okura H, Ishii H. Late orbital metastasis from colon cancer complicated by multiple tumors in the breast, lung, liver, and spine. Radiol Case Rep. 2021 Oct 28;17(1):5-12. doi: 10.1016/j.radcr.2021.09.057. PMID: 34760033; PMCID: PMC8567180.
7. Okura H, Takaki Y, Makino K, Nonaka S, Tsutsumi S, Ishii H. An unprecedented case of penetrating head trauma caused by shoji (a Japanese-style paper sliding door). Trauma Case Rep. 2021 Sep 10;36:100533. doi: 10.1016/j.tcr.2021.100533. PMID: 34584924; PMCID: PMC8452884.
8. Makino K, Tsutsumi S, Takaki Y, Nonaka S, Okura H, Ishii H. An infantile case of posterior fossa arachnoid cyst presenting with marked engorgement of contralateral supraorbital vein. Radiol Case Rep. 2021 Oct 2;16(12):3680-3684. doi: 10.1016/j.radcr.2021.08.062. PMID: 34630800; PMCID: PMC8493502.

和文原著

1. 赤須 功、田中将大、松崎肅統、山川功太、北川 亮、酒井 淳、沼澤真一、伊藤康信、渡邊貞義、山本拓史、豊岡輝繁、和田孝次郎、森健太郎：シルビウス裂深部の正常異形静脈（common vertical trunk）の存在は short M1 中大脳動脈瘤 clipping 術に伴う虚血性合併症率を高める．脳卒中の外科, 49 : 174-179, 2021

和文著書

1. 山本拓史：「脳卒中治療ガイドライン 2021」の改訂ポイント．臨床栄養，医歯薬出版株式会社，898-902, Vol.139 No.7 , Dec, 2021

学会発表

1. 池村涼吾，上野英明，杉山裕紀，足立知司，長谷川浩，中尾保秋，山本拓史：右片麻痺で発症した低カリウム血症性ミオパチーの1例．第99回日本脳神経外科学会中部支部学術集会，WEB 開催，Apl. 3, 2021
2. 山本拓史：脳卒中関連てんかんのマネジメントを考える．第41回日本脳神経外科コンgres総会ランチョンセミナー，神奈川，May. 14, 2021
3. 山本拓史：脳卒中関連てんかんに対する AMPA 受容体阻害薬の可能性．第39回 The Mt.Fuji Workshop on CVD ランチョンセミナー，WEB 開催，Aug. 28
4. 吉田昂平，眞上俊亮，中尾保秋，杉山裕紀，児玉琢磨，池村涼吾，中嶋伸太郎，新井 晶，足立知司，上野英明，山本拓史：High Flow Bypass と Parent Artery Occlusion を併用し根治した外傷性頰動脈海綿静脈洞瘻の一例．第100回日本脳神経外科学会中部支部学術集会，WEB 開催，Sep. 18, 2021
5. 眞上俊亮：脳室内出血で発症した central neurocytoma の一例．一般社団法人日本脳神経外科学会第80回学術総会，WEB 開催，2021
6. 中嶋伸太郎：当院における CASPER の使用成績．一般社団法人日本脳神経外科学会第80回学術総

会, WEB 開催, 2021

7. 山本拓史, 渡部剛也, 荒川芳輝, 徳重一雄, 中島信幸, 峯 裕, 山城茂雄:手術エキスパートによる内視鏡下血腫除去術の現状と治療成績に関する多施設共同登録研究 RICH trend 中間報告. 第 28 回一般社団法人日本神経内視鏡学会, 愛知, Nov. 18, 2021
8. 上野英明, 足立知司, 眞上俊亮, 中尾保秋, 山本拓史:小脳出血に対する内視鏡下血腫除去術の検討. 第 28 回一般社団法人日本神経内視鏡学会, Nov. 18, 2021
9. 眞上俊亮:外傷性頸動脈海綿静脈洞瘻に対して high flow bypass を行い母血管閉塞術を行った一例. 第 37 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術集会, WEB, Nov. 2021
10. 中嶋伸太郎: 当院における CASPER の使用成績. 第 37 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術集会, WEB, Nov. 2021
11. 山本拓史: Doctor Heli の搭乗経験を脳神経外科救急診療に生かすために. 第 27 回日本脳神経外科救急学会, Feb. 5, 2022
12. 植木泰仁, 吉田昂平, 児玉琢磨, 池村涼吾, 新井 晶, 眞上俊亮, 足立知司, 上野英明, 中尾保秋, 山本拓史: High Flow Bypass と Parent Artery Occlusion を併用し根治した外傷性内頸動脈海綿静脈洞瘻の一例. 第 45 回日本脳神経外傷学会, Feb. 2022

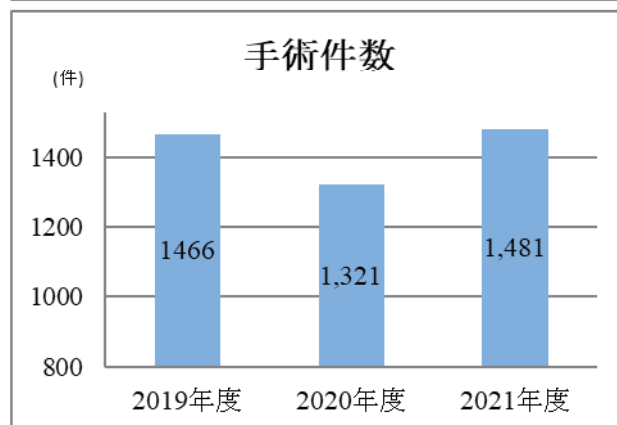
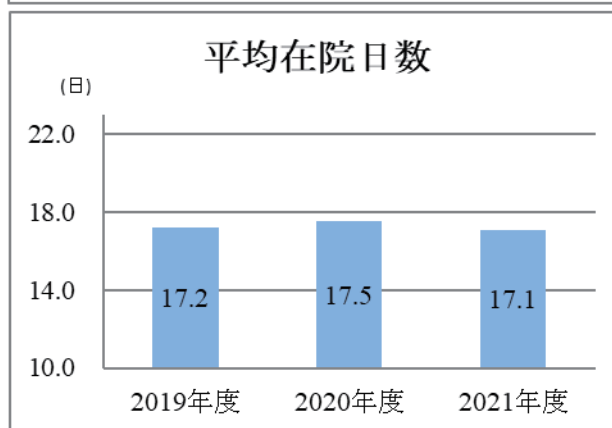
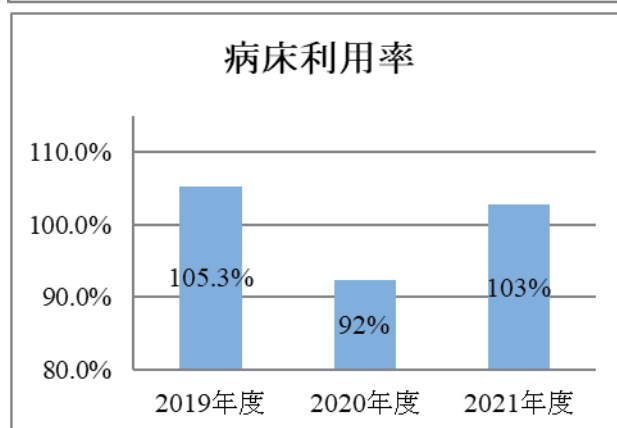
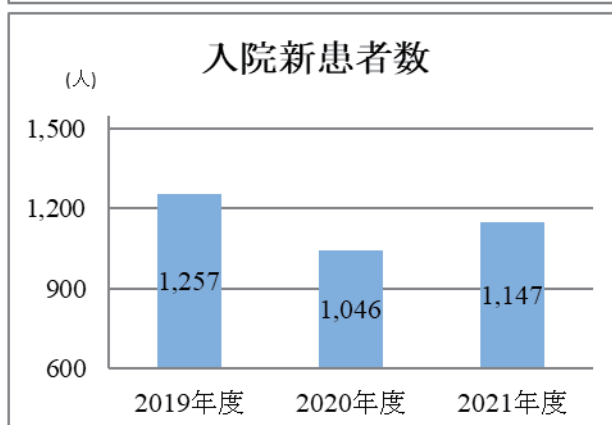
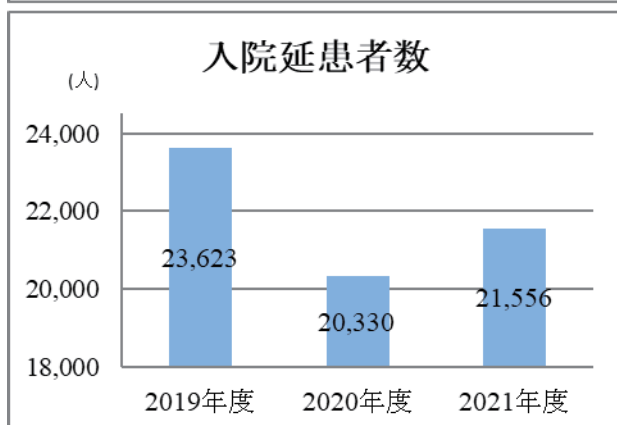
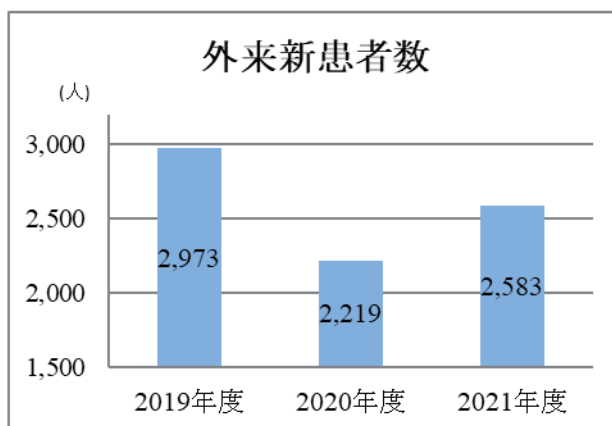
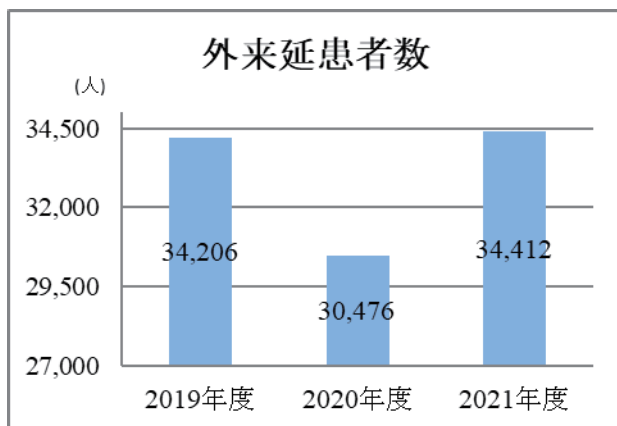
講演会

1. 山本拓史: 脳関連疾患に伴うてんかんへの早期治療介入の意義～基礎・臨床から見えてきたペランパネルの可能性～. 脳神経外科医が知っておきたいてんかん診療 WEB セミナー in 埼玉, Jul. 6, 2021
2. 山本拓史: 脳卒中急性期マネージメントと 2 次予防. 脳卒中 Web セミナー, Jul. 7, 2021
3. 山本拓史: 脳関連疾患に伴うてんかんへの早期治療介入の意義～基礎・臨床から見えてきたペランパネルの可能性～. PrimaryCare & Expertnetwork Web Seminar, Jul. 9, 2021
4. 山本拓史: DOAC 時代の抗凝固療法の適応と使い方 健康寿命延伸につながる処方とアドヒアランス改善の工夫. イグザレト WEB カンファレンス, Jul. 27, 2021
5. 山本拓史: 脳卒中における Seizure マネージメント～AMPA 受容体阻害薬の可能性～. 脳神経外科デジタルモノセラピーカンファレンス in 三重, WEB, Aug. 6, 2021
6. 山本拓史: 脳卒中後てんかん治療のマネジメント～ペランパネル単剤の使用経験を踏まえて～. 尾張西部てんかんセミナーデジタルモノセラピーカンファレンス, WEB, Aug. 24, 2021
7. 山本拓史: 脳卒中関連てんかんのマネージメントを考える. てんかん診療デジタルモノセラピーカンファレンス in 静岡, WEB, Sep. 1, 2021
8. 山本拓史: 脳卒中における Seizure マネージメント～AMPA 受容体阻害薬の可能性～. 脳卒中とてんかん Expert MT, WEB, Sep. 6, 2021
9. 中尾保秋: 脳卒中ガイドライン 2021 について. 脳卒中治療 Web 講演会～病診連携～, WEB, Sep. 28, 2021
10. 眞上俊亮: 脳卒中治療における脳血管内治療の役割について. 脳卒中治療 Web 講演会～病診連携～, WEB, Sep. 28, 2021
11. 山本拓史: 見逃せない脳卒中関連頭痛とその対応. Stroke/Migraine Web Seminar in SHIZUOKA, WEB, Sep. 29, 2021

12. 山本拓史：脳卒中の栄養管理. 令和3年度 NST Web セミナー, Nov. 2, 2021
13. 中尾保秋：出血性脳血管障害. 興和株式会社 WEB 配信社内研修会, Nov. 2, 2021
14. 上野英明：脳卒中における Seizure マネージメント～AMPA 受容体阻害薬の可能性～. 第 326 回東部 NS 会, Dec. 7, 2021
15. 山本拓史：高齢化時代の心原性脳塞栓症～脳卒中二次予防を考える～. 脳卒中 WEB セミナー, Dec. 15, 2021
16. 山本拓史：DOAC 時代の抗凝固療法の適応と使い方～健康寿命延伸につながる処方とアドヒアランス改善の工夫～. Xarelto 10th Anniversary, Jan. 18, 2022
17. 山本拓史：脳卒中における Seizure マネージメント～AMPA 受容体阻害薬の可能性～. 長崎県北脳神経外科エキスパートミーティング—脳卒中与てんかん発作—. Jan. 18, 2022
18. 山本拓史：脳卒中における Seizure マネージメント～AMPA 受容体阻害薬の可能性～. デジタルモノセラピーカンファレンス in 愛媛, Feb. 1, 2022
19. 山本拓史：脳卒中における Seizure マネージメント～AMPA 受容体阻害薬の可能性. 脳卒中診療医のためのけいれん・てんかんセミナーin 広島, Feb. 16, 2022
20. 山本拓史：虚血性脳卒中に対する抗血栓療 Up to Date. 多職種連携オンライン Meeting, Feb. 28, 2022
21. 山本拓史：脳卒中における Seizure マネージメント～AMPA 受容体阻害薬の可能性～. 脳卒中後てんかん Expert Meeting in 茨城, Mar. 7, 2022
22. 山本拓史：脳卒中における Seizure マネージメント～AMPA 受容体阻害薬の可能性～. 脳卒中後てんかん診療セミナーin 神戸, Mar. 14, 2022
23. 山本拓史：静岡県における循環器病対策推進計画について. 健康寿命延伸のための脳卒中診療オンラインセミナー, Mar. 28, 2022

2-11 整形外科

診療実績



研究・教育活動

英文原著

- 1, Juri Teramoto , Akio Kanda , Itaru Morohashi , Atsuhiko Mogami , Osamu Obayashi , Muneaki Ishijima. A pregnant woman with multiple vertebral fractures due to Cushing's syndrome: A case report J Orthop Sci. 2021 Nov 17; S0949-2658(21).
- 2, Teramoto J, Kanda A, Morohashi I, Mogami A, Obayashi O, Ishijima M: A pregnant woman with multiple vertebral fractures due to Cushing's syndrome: A case report. J Orthop Sci. 2021 Nov 17 :S0949-2658(21).
- 3, Chikuda, Hirotsuka*,,,,A, itoi,,, et al. Chikuda, H., Koyama, Y., Matsubayashi, Y., Ogata, T., Ohtsu, H., Sugita, S., ... & Yoshii, T. (2021). Effect of Early vs Delayed Surgical Treatment on Motor Recovery in Incomplete Cervical Spinal Cord Injury With Preexisting Cervical Stenosis: A Randomized Clinical Trial. *JAMA network open*, 4(11), e2133604-e2133604

和文原著

- 1, 守屋 秀一, 最上 敦彦, 分島 智子, 諸橋 達, 神田 章男, 大林 治. 大腿骨転子部骨折に対するフックピンネイルの治療成績. 骨折 2021;43(2):321-324
- 2, 市原 理司, 鈴木 雅生, 分島 智子, 長尾 聡哉, 最上 敦彦. 橈骨遠位端骨折-最近の治療と課題-【最新の治療 橈骨遠位端骨折治療におけるフランス発の新規医療材料導入の意義 日本人の体形に即した橈骨遠位端骨折治療用キットの開発と今後の展望 シンプルな手術の実現とスクリュー突出による術後合併症を減らす取り組み. Orthopaedics 2021;34(1):85-93
- 3, 中村 泰大, 岩瀬 弘明, 西嶋 智子, 千野 孔三, 金子 和夫. Cross Limb Vascular Shunt が有効であった膝窩動脈損傷の1例. 日本外傷学会雑誌 2020;34(4):128-131
- 4, 守屋 秀一, 黒川 大介, 田中 稔. 肩甲骨関節窩骨折と烏口突起重複骨折を合併した一例. 肩関節 45 巻 2 号 Page426-429(2021. 11)
- 5, 守屋 秀一, 最上 敦彦, 大林 治, PTH 製剤使用後の非定型大腿骨骨折に対して術後にロモソズマブを使用した 2 例(原著論文/症例報告)、骨折 43 巻 2 号 Page329-333(2021. 03)
- 6, 上原弘久, 守屋秀一、スポーツ選手の鎖骨骨幹部骨折に対するプレート固定術の治療成績-前方設置群と上方設置群の比較- 肩関節 2020 年 44 巻 2 号 p310-313
- 7, 待山 祐一郎, 諸橋 達, 佐々木 響子, 石橋 仁志, 松尾 智次, 亀田 壮, 最上 敦彦, 大林 治: 神経鞘内ガングリオンにより足根管症候群を生じた一例 日本足の外科学会雑誌 41: 321-322, 2021.
- 8, 石橋 仁志, 諸橋 達, 佐々木 響子, 待山 祐一郎, 亀田 壮, 松尾 智次, 最上 敦彦, 大林 治: 強剛母趾に対して cheilectomy および中足骨遠位短縮骨切り術を行った 4 例 日本足の外科学会雑誌 42: 294-297, 2021.
- 9, 佐々木 響子, 待山 祐一郎, 石橋 仁志, 松尾 智次, 亀田 壮, 諸橋 達, 最上 敦彦, 大林 治: 外反母趾に対する新しい基節骨水平骨切り術 日本足の外科学会雑誌 42: 144-150, 2021.

10, 諸橋 達, 神田 章男, 最上 敦彦変形性股関節症に対する理学療法の効果と病期・画像評価との関係, Hip Joint 47: 332-336, 2021.

11, 西村 佑, 佐藤 太一, 本間 康弘, 岩瀬 秀明, 諸橋 達, 大林 治人工股関節全置換術におけるステム挿入状態評価のための打検ハンマの開発 臨床バイオメカニクス 42: 117-123, 2021.

和文総説

1, 神田章男, 【整形外科 外来・当直 エマージェンシーマニュアル】外傷編 股関節の外傷 大腿骨ステム周囲骨折. 臨床整形外科 56 巻 5 号. P321-324. 2021. 3.

2, Michael L. Brennan, Eric D. Farrell, Conor Kleweno, Lisa A. Taitzman, 分島 智子訳:患者体位と手術原則; 患者の体位. ハーバービュー 骨折の手術治療 原著第2版, M. Bradford Henley, Michael F. Githens, Michael J. Gardner 編. 最上 敦彦監修. 羊土社, 東京. 2-25, 2021

3, 守屋秀一, 岩本 航, 肩のスポーツ外傷(鎖骨骨折、烏口突起骨折、上腕骨近位骨端線離開、投球骨折、肩関節周囲筋肉離れ、Burner 症候群) 整形外科医のための肩のスポーツ診療のすべて, 日本医事新報社, p371-394

4, 大林治 整形外科, エマージェンシー マニュアル 膝の外傷 外傷性膝蓋骨 脱臼(解説・特集) 臨床整形外科 56(5):564-565, 2021

5, 諸橋 達, 【整形外科 外来・当直 エマージェンシーマニュアル】外傷編 足の外傷 踵骨骨折(解説/特集) 臨床整形外科 56: 583-587, 2021.

6, 糸井陽, 感染症が疑われる患者のみかた 化膿性脊椎(椎間板)炎・腸腰筋膿瘍(整形外科 外来・当直 エマージェンシーマニュアル)ー(疾患編). 臨床整形外科, 56(5), 736-740.

和文著書

1, 分島 智子, 外傷編; 股関節の外傷; 股関節脱臼骨折. 整形外科 外来・当直 エマージェンシーマニュアル, 最上 敦彦編. 臨床整形外科:医学書院(56)5:538-541, 2021

2, 【整形外科 外来・当直 エマージェンシーマニュアル】外傷編 肩の外傷 肩甲骨骨折(解説/特集) 守屋 秀一(順天堂大学医学部附属静岡病院 整形外科) 臨床整形外科 (0557-0433) 56 巻 5 号 Page450-453 (2021. 05)

国内学会発表

1, 諸橋達、佐々木京子、待山祐一郎、大林治、 外反母趾に対するAkin法を改良した基節骨骨切り術, 第194回静岡県整形外科医会集談会、静岡、2021 年 3 月 13 日

2, 待山祐一郎、神田章男、大林治、最上敦彦、諸橋達、Schanzosteotomy 術後 50 年で施行した大腿骨転子下骨切り併用人工股関節全置換術、第 194 回静岡県整形外科医会集談会、静岡、2021 年 3 月 13 日

3, 鶴上浩規、糸井陽、大林治、スポーツを行う若者に生じる脊髄終始症候群の診断遅延の原因、第 194 回静岡県整形外科医会集談会、静岡、2021 年 3 月 13 日

4, 糸井陽、寺本樹里、石橋仁志、大林治、広報から TLIF ケージを挿入する PVCR-骨粗鬆症椎体骨折による後弯変形に対する矯正・再建術、第 11 回日本成人脊椎変形学会、岩手、2021 年 3 月 19 日-20 日

- 5, 糸井陽、骨粗鬆症椎体骨折のMRIとCTにおける画像診断の信頼性の評価、第50回日本脊椎脊髄病学会学術集会、京都、2021年4月22日-24日
- 6, 本間 康弘, 石井 聖也, 白銀 優一, 馬場 智規, 幡野 佐己依, 渡 泰士, 諸橋 達, 岩瀬 秀明, 金子 和夫, 石島 旨章, 人工股関節全置換術におけるセメントレスカップ挿入時叩打音の定量的分析、第47回日本整形外科学会学術集会、東京、2021年5月20日-23日
- 7, 寺本樹里、神田章男、大林治、最上敦彦、諸橋達、妊娠中に多発椎体骨折をきたしたCushing症候群の1例、第47回日本骨折治療学会学術集会兵庫、2021年7月2-3日。
- 8, 最上敦彦、総論-各治療法の選択基準ならびに問題点、第47回日本骨折治療学会学術集会、兵庫、2021年7月2日-3日
- 9, 洪雅敏、Marfan症候群を基礎疾患に持つ小児の大腿骨頸部骨折の1例、(ポスター)、第47回日本骨折治療学会学術集会、兵庫、2021年7月2日-3日
- 10, 分島 智子, 守屋 秀一, 神田 章男, 諸橋 達, 最上 敦彦, 大林 治. 重度四肢外傷における軟部組織評価の新ツール Tenting(テンティング)とは? , 第47回骨折治療学会学術集会、兵庫、2021年7月2日-7月3日
- 11, 守屋秀一、最上敦彦、大林治、上腕骨近位端骨折に対するリバーズ型人工肩関節全置換術の術後成績、第47回骨折治療学会学術集会、兵庫、2021年7月2日-7月3日
- 12, 神田章男 大林治 最上敦彦 諸橋達 遠位シリンダー形状セメントレスシステム (Arcos®ワンピースシステム) を用いた大腿骨転子下短縮骨切り併用人工股関節全置換術, 第51回日本人工関節学会, 神奈川、2021年7月7-8日。
- 13, 糸井陽、後方からLIFケージを挿入するPVCr-骨粗鬆症性椎体骨折変形癒合に対する矯正・再建術-第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会、京都、2021年9月3日-4日
- 14, 高岡宏行、骨軟部に発生した高リン酸性間葉系腫瘍による腫瘍性骨軟化症の2例、第70回東日本整形災害外科学会、岩手、2021年9月17日-18日
- 15, 守屋秀一、鶴上浩規、波多江文俊、最上敦彦、鏡視下上方関節包再建術(ASCR)での大腿筋膜採取で大腿外側皮神経障害が生じた一例、第48回日本肩関節学会、愛知、2021年10月29日-30日
- 16, 鶴上浩規、守屋秀、波多江文俊、最上敦彦、肩関節後方脱臼骨折の骨接合術に上方アプローチを追加した一例、第48回日本肩関節学会、愛知、2021年10月29日-30日
- 17, 最上敦彦、上腕骨近位端骨折の治療-後遺障害を減らすための方策-第48回日本股関節学会学術集会、奈良、2021年10月22日-23日
- 18, 波多江文俊、守屋秀一、鶴上浩規、最上敦彦、非常に希な棘上筋肉離れの1例、第48回日本肩関節学会、愛知、2021年10月29日-30日

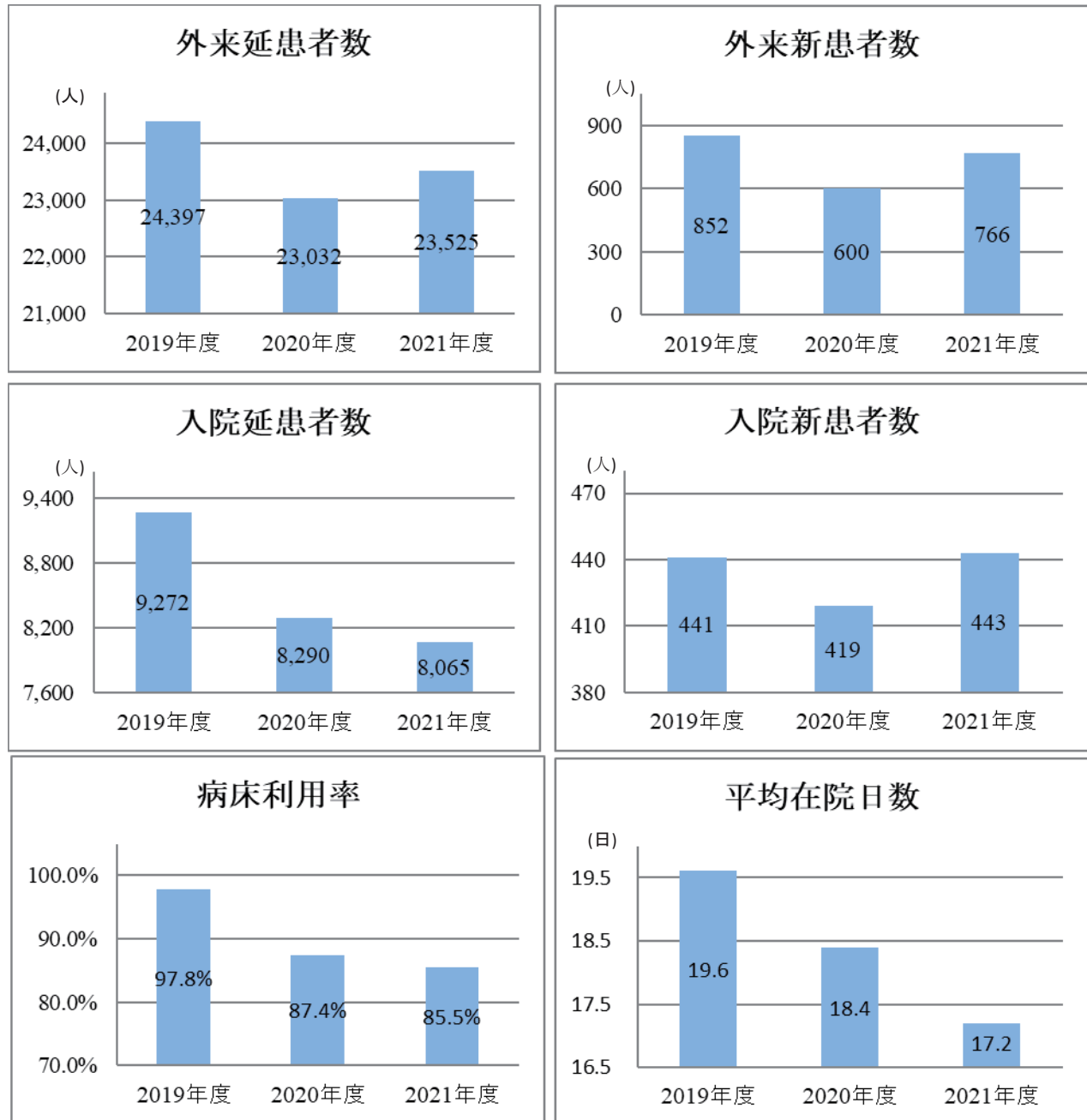
- 19, 寺本樹里 神田章男 諸橋達 最上敦彦 大林治 石島旨章 ペルテス様扁平骨頭に対する大腿骨外反・伸展・減捻骨切り併用偏心性寛骨臼回転骨切り術—バイオメカニクスの考察— 第48回日本股関節学会学術集会、奈良、2021年10月22-23日
- 20, 波多江 文俊, 神田 章男, 諸橋 達, 最上 敦彦, 大林 治. 同側大腿骨骨幹部骨折を合併した大腿骨頸部骨折に対するショートステム optimys の有用性. 第48回日本股関節学会学術集会、奈良、2021年10月22-23日.
- 21, 波多江文俊、神田章男、諸橋達、最上敦彦、大林治、同側大腿骨骨幹部骨折に合併した大腿骨頸部骨折に対するショートステム optimys の有用性、第48回日本股関節学会学術集会、奈良、2021年10月22日-23日
諸橋達、神田章男、最上敦彦、金子和夫、変形性股関節症に対するAP療法の効果、第48回日本股関節学会学術集会、奈良、2021年10月22日-23日
- 22, 神田章男、究極の骨温存・軟部組織温存を目指す人工股関節全置換術、第48回日本股関節学会学術集会、奈良、2021年10月22日-23日
- 23, 糸井陽、腸骨梁を温存させたまま同青国2本入れる腸骨スクリュー法(MBT-DIS法)、第11回最小侵襲脊椎治療学会、東京、2021年10月29日
- 24, 田代 憲, 諸橋 達, 松尾 智次, 亀田 壮, 大林 治、片肢性骨端異形成症の治療経験とその検討、日本足の外科学会学術集会、東京、2021年11月11日-12日
- 25, 諸橋 達, 最上 敦彦, 松尾 智次, 亀田 壮, 大林 治、DT00、LT0に対する髓内釘による固定、日本足の外科学会学術集会、東京、2021年11月11日-12日
- 26, 最上敦彦、肘関節骨折に対する創外固定、第83回JABO研修会、オンライン、2021年11月14日

特別講演・招待講演

- 1, 宇田川和彦、筒井完明. 演者：松井裕帝、分島智子、対比地加奈子、松本匡洋、佐藤亮、林光太、木啓介、鈴木雅生、林悠太、反町光太郎. 重度四肢外傷 web スターターセミナー基礎編 2021, 2021年5月9日（講演）
- 2, 最上敦彦、大腿骨骨折に対する至適髓内釘固定法～転子部から顆部・顆上まで～第11回大分骨折治療研究会、大分、2021年7月29日
- 3, 神田章男、血友病患者に対する整形外科的アプローチ～血液内科医とのコラボレーション～. 第18回静岡県血友病治療ネットワーク、静岡、2021年10月16日
- 4, 神田章男、光明セミナー4 究極の骨温存・軟部組織温存を目指す人工股関節全置換術—Curved Short Stemの可能性—. 第48回日本股関節学会学術集会、奈良、2021年10月22日.
- 5, 神田章男、Curved Short Stem optimys subsidence 症例から学ぶステム設置～正しいステムサイズ選択で大柄患者への適応～. optimys users meeting. 神奈川、2021年11月7日
大林 治、骨粗鬆治療の最近の診断と治療、伊東市医師会学術集会、静岡、2021. 01. 20

2-12 脳神経内科

診療実績



【はじめに】

2021年度の静岡病院脳神経内科では、新型コロナウイルスの蔓延の中、医局員の先生方共々、忙しい日々を送ってまいりましたが、大きな問題もなく順調な運営に協力して頂き感謝申し上げます。

当科は引き続き、静岡県東部地区の数少ない神経内科専門の診療科の使命を全うすべく、以下の点に注意し診療活動を行っております。外来診療では、初診や紹介患者は来院してから待ち時間を

最小限にするよう、可及的速やかな初期対応を継続しております。外来患者数も徐々に増加傾向であります。入院患者の診療でも医師同士の連携を密に行い、私も1日1回は必ず病棟を自分で回診するなどのサポートを継続し、医療安全の面でも最善を尽くして参ります。

研究面では、恵まれた環境を生かして約18年の間1度も欠かさず地方会発表を継続し、発表例を含め、臨床上意義のある症例は論文として発表して参りました。少しずつ論文化を継続しております。

初期研修医の教育も重要です。静岡病院は1ヶ月ずつのローテーションなので、まず神経学のエッセンシャルを吸収していただければと思います。1年目に脳内をローテーションして興味を持ち、2年目にも選択してくれる研修医も出てきて、大変ありがたいことであると感じます。2020年は、静岡病院への学生さん（M4からM5）のローテーションがなく、残念でしたが、来年度以降のラウンドでは、教育をしっかり行い、静岡病院の初期研修医を増やし、さらには神経学教室への入局者増加に貢献したいと考えております。

当科の人事ですが、藤巻基紀と石黒 雄太医師らが中核として、診療及び教育にリーダーシップを発揮してくれています。藤巻医師は、留学の経験を活かし後進の指導及び静岡病院の各科と緊密に連携しリーダーシップを発揮しております。石黒医師は、医局の中心として診療のみならずローテーションの医師、研修医の指導を熱心に行っております。これまで地域医療活動への貢献としまして、自治医大出身の下田メディカルセンター勤務の医師を週1日受け入れ、専門医として教育を行っていましたが、残念ながら今期で終了となっております。今後、機会があればまた再開したいと考えております。これまでの歴代教授・医局長・教室の諸先生のご理解に感謝するとともに、今後とも一層のご指導・ご支援を賜ればありがたく存じます。

【スタッフ（R1年12月現在）】

野田和幸（科長 前任准教授）、大熊泰之（教授）、藤巻基紀（医局長・助教）、石黒雄太（病棟医長・助手）、2名の助手はローテーションで、卒後3-5年目の各先生が3ヶ月ごとに2名ずつ勤務し、病棟・救急外来等で活躍してくれました。

【診療データ】

外来患者数は、昨年と比較すると増加傾向ですが、2019年の状態への回復はもう少しというところですが、引き続き努力しております。在院日数は短縮傾向です。

例年通り沼津、三島、伊豆半島全域をはじめ、熱海、湯河原、御殿場、裾野、富士、富士宮などから通院しておられます。静岡市、東京都、山梨県からもパーキンソン病や運動障害の患者さんが通院されました。富士市の池辺クリニック、静岡市の城西クリニック、富士宮市の東静岡神経センター、三島市の森本神経内科クリニックといった、当科出身の諸先生方からも随時ご紹介頂き、大変光栄に思います。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

【週間外来表（30 年 12 月現在）】

	曜日	月	火	水	木	金	土
午前	1 診	藤巻	野田	石黒	野田	藤巻	交代制
	2 診	初診医	石黒	初診医（野田）	大熊	大熊	第 4 遠隔診療（野田）
午後	1 診	藤巻		石黒	野田	藤巻	
		ボトックス			藤巻(筋電図)		

病棟は 4 B 病棟で眼科と脳神経内科の 2 科体制であります。看護師さんらスタッフも眼科は動ける患者さんが多いものの入退院が激しく、脳神経内科は介護度が高く大変だと思いますが、慣れてきたようです。入院患者の総数は 500 人（兼科含む）で昨年と横ばいでした。パーキンソン病の入院患者が最も多く、次いで脳梗塞の患者でした。その次が ALS、痙攣などの運となっております。その他、ほぼ神経学のすべての領域の症例を診療しております。平均在院日数は、ほぼ年間を通じて 20 日以内達成を継続できており、MSW や退院支援ナースの働きには常に感謝しています。

病病連携、病診連携の重要性も常に認識しています。また長岡リハビリテーション病院、松崎研一郎院長はじめスタッフの皆様には、患者さんだけでなく教室員が毎度お世話になっております。さらに日頃からお世話になっている病院・医院の先生方や施設の方々にも心から御礼申し上げます。

【研究】

（1）パーキンソン病等 Movement disorders の病態および治療に関する研究：

大熊は関東パーキンソン病勉強会の主要メンバーとして、数々の共同研究に参加してきました。パーキンソン病の姿勢異常の研究では自治医大ステーションクリニック藤本先生が論文投稿目前まで来ています。また新しい共同研究として、東京女子医大飯嶋先生を中心に嗅覚障害とレム睡眠行動異常(RBD)を中心に調べており、登録が終了し、解析中です。

重度嗅覚障害をとまなうパーキンソン病患者において、ドネペジルが認知症発症を予防できるかどうかを前向きに調べる DASH-PD 試験も無事終了しました(厚生労働科学研究費補助金[現 AMED 臨床研究・治験推進研究事業]；平成 24 年～28 年度[分担研究者])。イベント発生率が少ない関係で 1 年間延長になりましたが、当院では全国で 4 番目に多い 12 例をエントリーしてフォローしています（大熊、野田）。さらにドネペジルの歩行に対する効果を客観的にみるために、患者さんの携帯歩行計記録を行っています（大熊）。

大熊はオランダの Prof. Bas Bloem と共同で、日内変動とすくみ足を有するパーキンソン病における転倒の前方視的調査を行いました。また携帯歩行計を用いてパーキンソン病や関連疾患の歩行解析を行っています。パーキンソン病患者さんの家庭での転倒とすくみ足を客観的に評価する試みを継続しています。

野田は不随意運動を呈する例をこれまでに多数英文で症例報告しました。今後も診療と並行して、症例報告を継続しようと考えております。

さらに、徳島大学主導での高用量 E0302 の筋萎縮性側索硬化症に対する第Ⅲ相試験-医師主導治験-に参加し、症例を登録いたしました。引き続き、アンケート調査への協力も参加する予定です。先行研究は JAMANEurology 2022 に掲載されました。本年度より静岡東部地域での遠隔診療を開始しております。

(2) 脳血管障害に関する研究：

本年度より、順天堂浦安病院 脳神経内科、当院脳神経外科と共同で、急性期脳梗塞に対する認知機能評価とその機能的予後につき、検討を開始しました。

(3) 神経免疫学的研究：

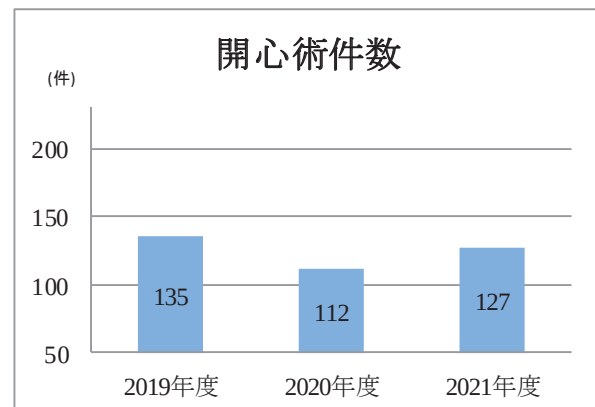
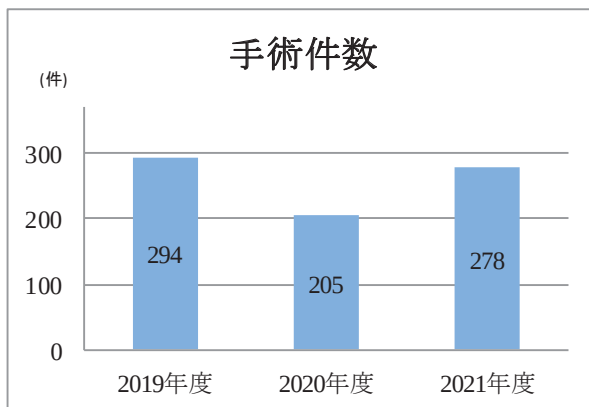
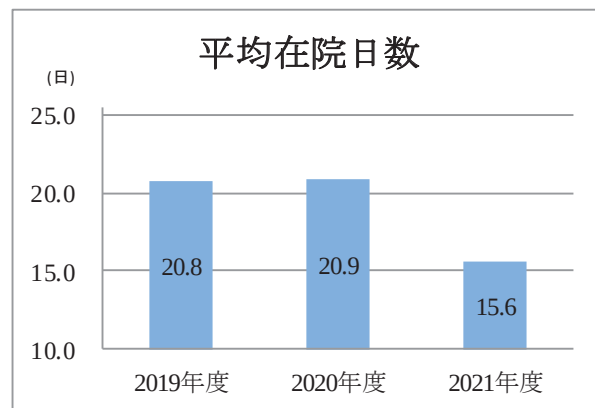
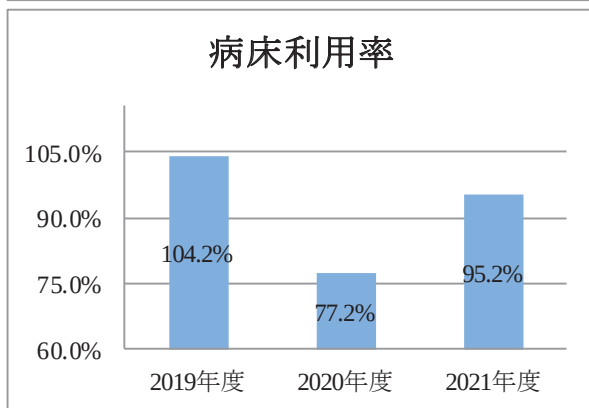
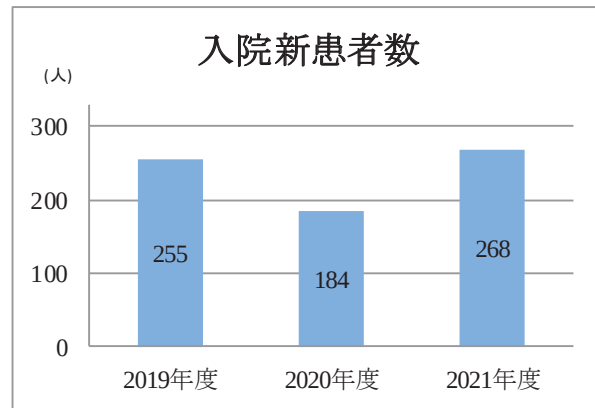
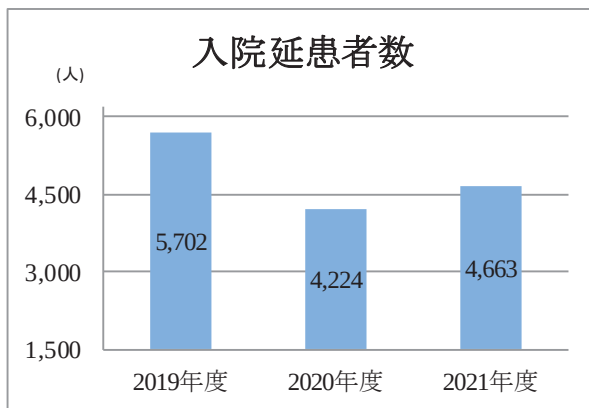
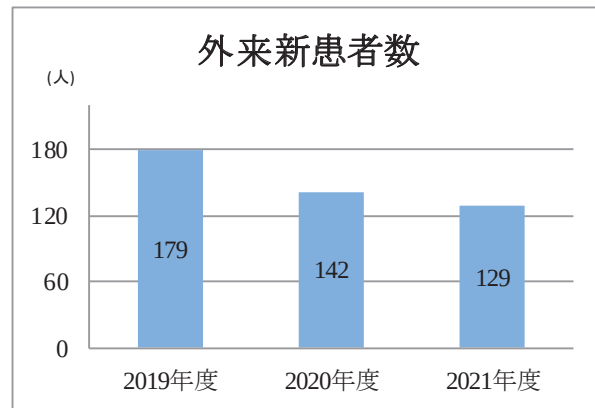
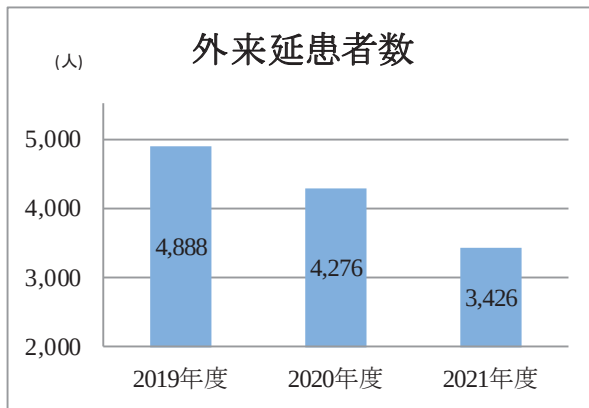
多発性硬化症に対して使用できるようになった種々の Disease modifying therapy(DMT)を試みて症例を蓄積しています。

【研究業績、活動等】

日本神経学会関東地方会への年 4 回の報告は継続しております。

2-13 心臓血管外科

診療実績



診療活動

順天堂大学医学部附属静岡病院心臓血管外科では、平成 2021 年度の 1 年間で心臓・大血管（腹部大動脈を含まない）手術 127 例、腹部大動脈瘤やその他の手術を含めて計 278 例の手術を実施しました。緊急手術はそのうち 59 例でした。2021 年は新たなチームでスタートした年であり、診療成績の向上と治療方法の拡充が達成できました。

当科は現在 5 人のスタッフで診療を行っております。診療圏は伊豆半島を含む静岡県東部地域ですが、心臓血管外科診療を行う施設は多くありません。一方で地域の高齢化は進んでおり、循環器治療が必要な患者様が多くいらっしゃいます。さらに首都圏と比較しても高齢者、全身疾患や併存症を有する患者様の割合が多いことも特徴です。このようなリスクの高い患者様に対しても大学附属病院の利点である他診療科および多職種との強力な連携を築き診療を行っております。循環器内科との合同カンファレンス、麻酔科・手術室・集中治療室・臨床工学室との多職種カンファレンスを毎週開催しております。

次年度目標

高齢化に伴い著しく増加している弁膜症に対する低侵襲治療に力を入れております。

重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁植え込み術（TAVI; Transcatheter Aortic Valve Implantation）が開始されました（2022 年）。2021 年にはハイブリッド手術室が整備されたことと、順天堂医院でこれまでに TAVI 治療を経験してきた認定実施医がスタッフとして着任したことから、開始当初より質の高い治療が可能となります。従来の外科的大動脈弁置換術が困難である高齢者や frail 症例に対しても、治療が可能となります。

僧帽弁疾患や大動脈弁疾患に対しては小切開や内視鏡で行う低侵襲心臓手術（MICS ; Minimally Invasive Cardiac Surgery）を積極的行っております。順天堂グループの優れた成績を維持しながら低侵襲化に取り組むことに特に力を入れております。内視鏡下手術も順調に症例数を重ねており 2023 年には静岡病院でロボット心臓手術が実施できるように準備を行っております。

低侵襲治療分野においては動脈瘤に対する内視鏡手術のみならず血管内治療も症例数が増加しその治療成績も向上しております。動脈瘤に対するステントグラフトは耐術能に悖る患者様や frail 症例に対して行われる血管内治療ではありますが、従来の開胸手術とともにその成績は良好です。

近年、冠動脈インターベンションの適応拡大に伴い減少している冠動脈バイパス術（CABG）ではありますが、当科の心拍動下に血行再建を行うオフポンプ治療と長期予後を見据えたグラフト選択による CABG は術後の回復も早く、患者様やご紹介いただいた先生方に高い評価を頂いております。そのために遠方からの患者様も多くお越しになり、症例数は増加しております。

その他、地域の特性から動脈解離、動脈瘤などの急性動脈症候群に対する緊急手術も数多く手掛けておりその成績も良好です。こうした疾患に対しては、従来の開胸手術、ステントグラフト治療あるいは両方の治療を組み合わせることで、救命率の向上だけでなく遠隔期予後の改善も目標として治療を行っております。

2022 年度も引き続き、臨床面においては手術成績の向上により重点を置くこと、TAVI やロボット心臓手術などの先進的な医療を提供できる県東部地域の基幹病院としての地位を確固たるものとすることを目標といたします。また学術活動もさらに活性化し、静岡病院から世界に向けた研究成果を発信で

きるよう尽力して参ります。

診療・研究・教育の 3 分野で、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構における基幹施設にふさわしい活動を年間通じて継続してまいりますので、みなさま方からのご指導・ご鞭撻を今後ともよろしくお願い申し上げます。

研究・教育活動

① 原著（英文）

1. Yamamoto T, Endo D, Yamaoka H, Matsushita S, Kajimoto K, Asai T, Amano A. A new technique that prevents paravalvular leakage after aortic valve replacement using a rapid-deployment valve system. *J Card Surg.* 2021 Jul;36(7):2225-2232.
2. Kadokura Y, Hayashida M, Kakemizu-Watanabe M, Yamamoto M, Endo D, Oishi A, Nakanishi K, Hata H. Cerebral oxygen saturation (rSO₂) during cardiopulmonary bypass (CPB) measured using the INVOS oximeter closely correlates with baseline rSO₂. *J Artif Organs.* 2021 Dec;24(4):433-441.
3. Oda R, Nakanishi K, Kawasaki S, Amano A. Atrial septal defect and patent ductus arteriosus closure in an 8-month-old patient with Silver-Russell syndrome. *Clin Case Rep* 2021 Jul 19;9(7):e04455.
4. Oda R, Endo D, Yamamoto T, Amano A. Quadricuspid Aortic Valve and Anomalous Aortic Origin of the Right Coronary Artery. *Circ Rep.* 2021 Sep 23;3(11):682-683.

② 学会発表（国内）

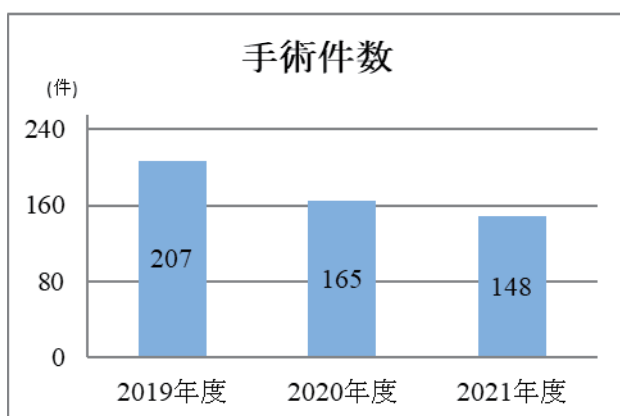
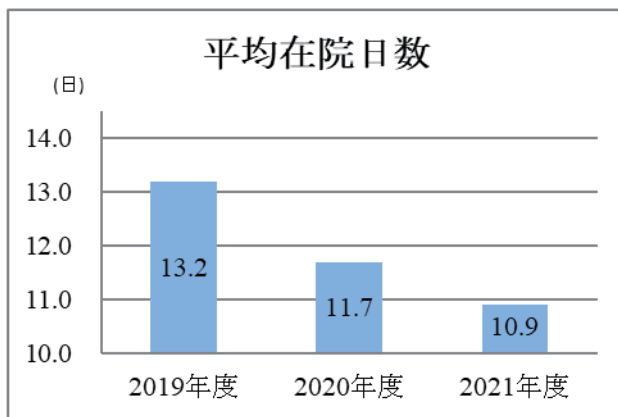
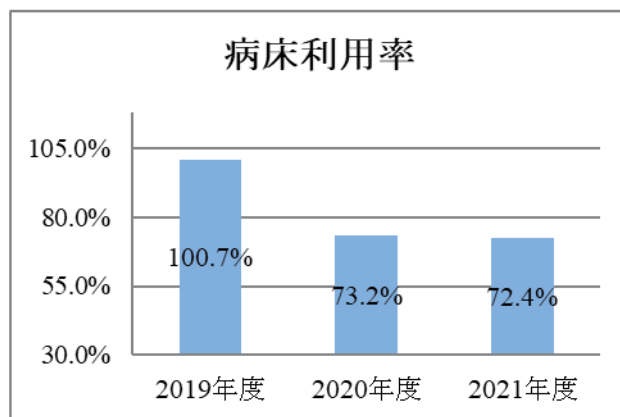
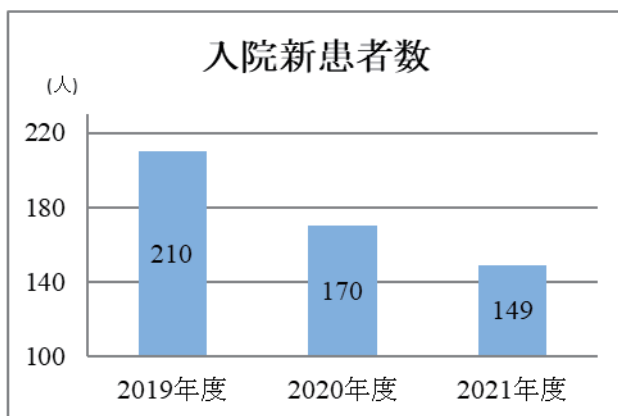
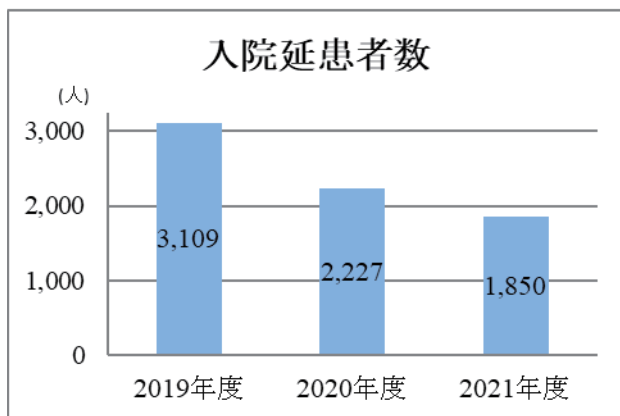
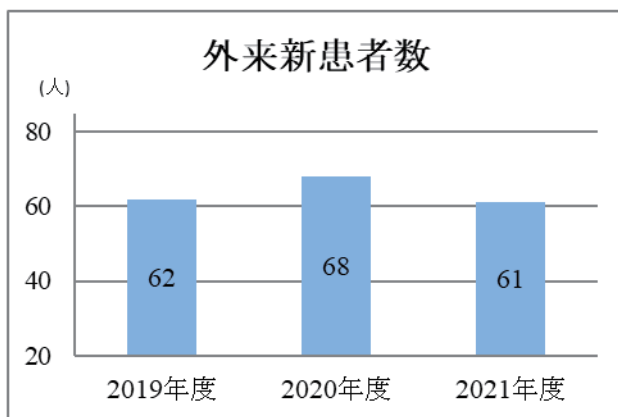
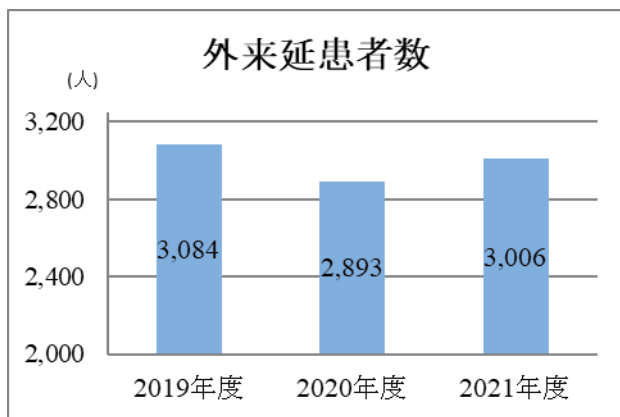
1. 梶本完, 山本平, 稲葉博隆, 大野峻哉, 大石淳実, 遠藤大介, 李智榮, 西田浩介, 嶋田晶江, 畑博明, 浅井徹, 天野篤 : Results of surgical revascularization in coronary artery disease with LMCA from the Juntendo multicenter CABG registry. 第 51 回日本心臓血管外科学会定期学術集会, シンポジウム, 京都, 2021
2. 上川祐輝, 大石淳実, 浅井徹, 山本平, 嶋田晶江, 遠藤大介, 西田浩介, 李智榮, 天野篤 : Clostridium perfringens による感染性大動脈瘤. 第 185 回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 東京, 2021
3. 上川祐輝, 梶本完, 小田遼馬, 大石淳実 : 慢性期 Stanford type B の解離性大動脈瘤に対する治療戦略. 第 65 回静岡県心臓血管外科医会, 静岡, 2021
4. 梶本完, 大石淳実, 小田遼馬, 上川祐輝 : Scientific exploration of rapid and high-quality coronary anastomotic techniques on the beating heart. 第 26 回 日本冠動脈外科学会学術大会, ビデオシンポジウム, 山口, 2021
5. 梶本完, 山本平, 大石淳実, 上川祐輝, 小田遼馬, 遠藤大介, 町田洋一郎, 佐藤友一郎, 西田浩介, 畑博明, 浅井徹, 天野篤 : 回旋枝領域に対する動脈グラフト 10 年間の長期成績 : 内胸動脈と橈骨動脈. 第 74 回日本胸部外科学会, ディベート, 東京, 2021
6. 梶本完, 山本平, 大石淳実, 上川祐輝, 小田遼馬, 遠藤大介, 嶋田晶江, 西田浩介, 李智榮, 町田洋一郎, 佐藤友一郎, 土肥静之, 畑博明, 稲葉博隆, 浅井徹, 天野篤 : 左室収縮機能障害

を伴う冠動脈疾患の外科的血行再建：off-pump versus on-pump CABG. 第 74 回日本胸部外科学会, シンポジウム, 東京, 2021

7. 小田遼馬, 梶本完, 大石淳実、上川祐輝、遠藤大介, 西田浩介、李智榮、畑博明, 山本平、稲葉博隆、浅井徹, 天野篤：Long-term results of mitral valve plasty with ePTFE artificial chordae. 第 74 回日本胸部外科学会, 口演, 東京, 2021
8. 大石淳実, 梶本完、山本平、上川祐輝、小田遼馬、遠藤大介, 嶋田晶江、西田浩介、李智榮、町田洋一郎、佐藤友一郎、土肥静之、畑博明, 稲葉博隆、浅井徹, 天野篤：Patient outcomes of total arch replacement for thoracic aortic diseases and how to use the Frozen Elephant Trunk: a single-institution experience. 第 74 回日本胸部外科学会, 東京, 2021
9. 上川祐輝、松下訓、稲葉博隆、桑木賢次、山本平、梶本完、大石淳実、中西啓介、遠藤大介、西田浩介、李智榮、小田遼馬、浅井徹、天野篤：Better improvement in left ventricular function of the resected myocardium after septal myectomy for patients with aortic valve replacement. 第 74 回日本胸部外科学会, 東京, 2021

2-14 呼吸器外科

診療実績



研究・教育活動

英文原著

1. Hideomi Ichinokawa, Kazuya Takamochi, Mariko Fukui, Aritoshi Hattori, Takeshi Matsunaga, Kenji Suzuki. Surgical results and prognosis of lung cancer in elderly Japanese patients aged over 85 years: A comparison with patients aged 80-84 years. Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2021 Jan;69(1):67-75.

英文症例報告

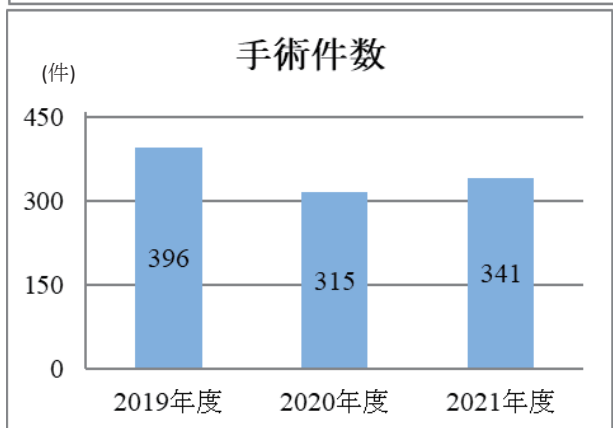
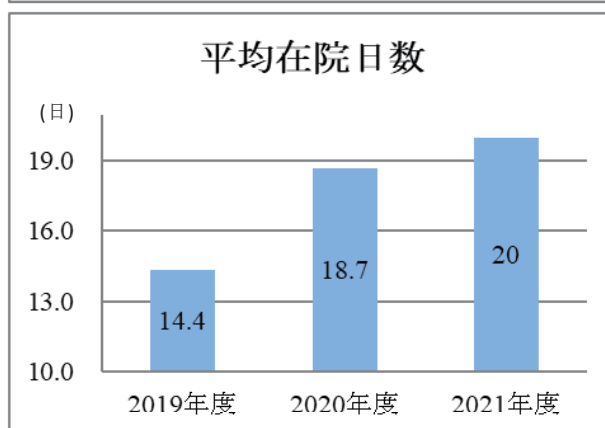
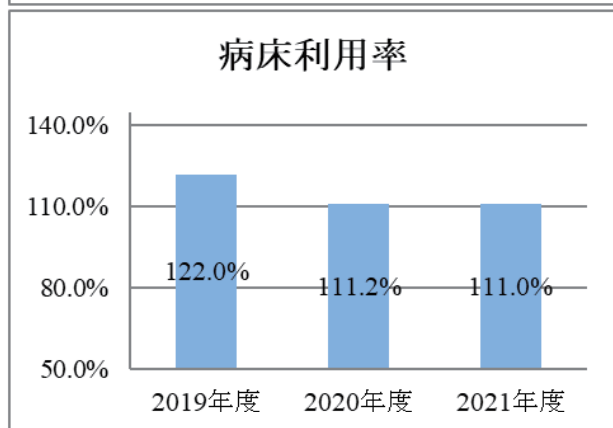
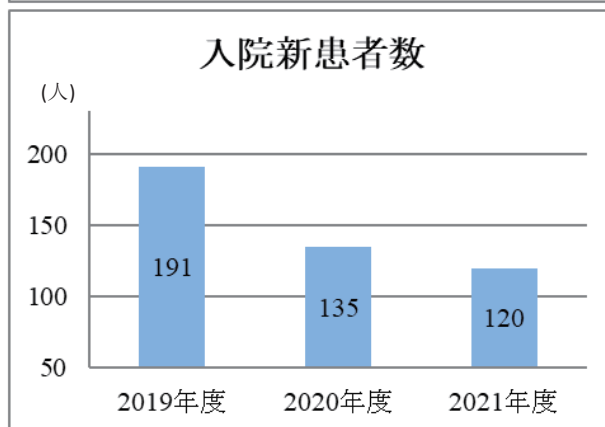
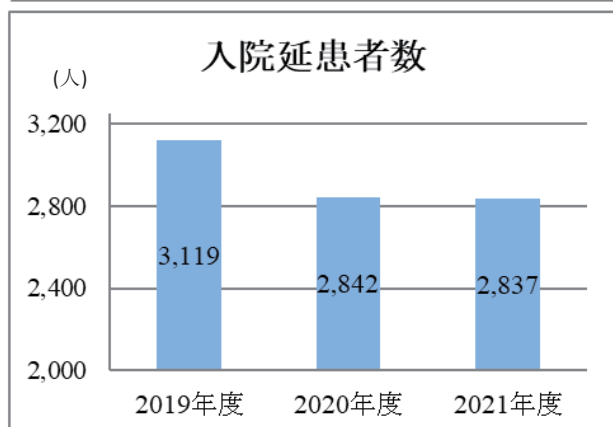
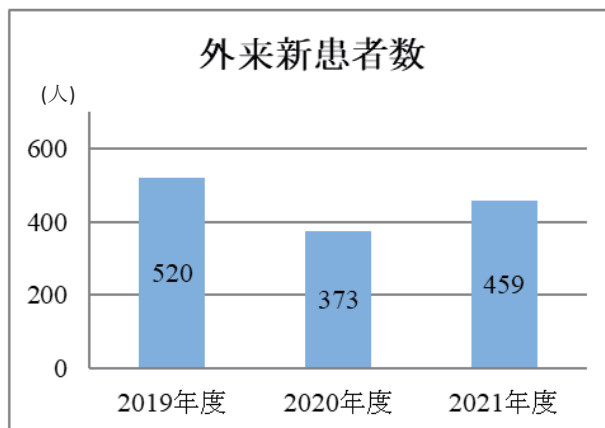
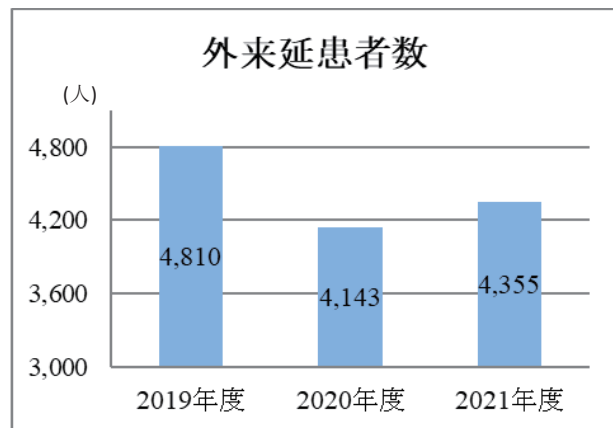
1. Hideomi Ichinokawa, Kazuya Takamochi, Kazunori Hata, Mariko Fukui, Aritoshi Hattori, Takeshi Matsunaga, Tohru Asai, Kenji Suzuki. Pulmonary Arterial Sarcoma With a Wide Range of Endovascular Intima Invasion Microscopically. Ann Thorac Surg. 2021 Nov;112(5): e373-e375.
2. Hideomi Ichinokawa, Yusuke Nagasaki, Yutaro Koike, Kenji Suzuki. Left pneumonectomy for primary lung cancer with Trousseau's syndrome. BMJ Case Rep. 2021 Mar 22;14(3): e240927.

学会発表

1. 原発性肺動脈内膜肉腫の切除症例に対する外科治療の問題点と対策、市之川英臣、高持一矢、秦一倫、福井麻里子、服部有俊、松永健志、鈴木健司、第 38 回日本呼吸器外科学会総会、長崎、2021 年 5 月 21 日
2. Interatrial groove 剥離により完全切除し得た右肺癌の一例 櫻井幹生、鈴木未希子、平山俊希、静岡呼吸器外科医会令和 3 年度夏季例会 静岡
3. 間質性肺炎合併肺癌は 2 回目の手術（異時性肺癌）に耐えられるのか？市之川英臣、高持一矢、福井麻里子、服部有俊、松永健志、鈴木健司、第 62 回日本肺癌学会総会、横浜、2021 年 11 月 28 日
4. 曾和 嵩，服部 有俊，計良 拓夢，上田 琢也，秦 一倫，市之川 英臣，福井 麻里子，松永 健志，林 大久生，高持 一矢，鈴木 健司：画像上 pure-GGO を呈した肺腺癌に対し部分切除術を施行後、12 年の経過で局所断端再発を来した一例 第 191 回肺癌学会関東支部学術集会、東京、2021 年 12 月 18 日

2-15 形成外科

診療実績



研究・教育活動

学会発表（国際）

伊藤智之

Our surgical concept for soft tissue reconstruction in the feet using free flaps

第 5 回アジア太平洋マイクロサージェリー学会 (2021 年つくば)

学会発表（国内）

伊藤智之

深下腹壁動脈穿通枝皮弁(DIEP)による乳房再建術後に深部静脈血栓症(VTE)を生じて加療を要した一例

第 302 回 関東形成外科学会東京地方会 (2022 年東京)

【和文論文（症例報告、Proceeding その他）】

- 1 内山美津希、林礼人、上森友樹、野尻岳、東名怜、溝渕亮、末原義之、斎藤剛、金子高英
明細胞肉腫との鑑別が困難であった鼠径部原発不明悪性黒色腫の 1 例-遺伝子パネルを踏まえて-
日系会誌 2022.1

【国内学会（パネルディスカッション）】

- 1 内山美津希、林礼人、上森友樹、野尻岳、東名怜、溝渕亮、末原義之、高森健二、須賀康、
金子隆英

左鼠径部の急速な増大経過を認める皮下腫瘍に対して診断に苦慮した 1 例

第 36 回日本皮膚外科学会総会・学術集会

第 39 回日本臨床皮膚外科学会総会・学術集会(2021 年 鹿児島)

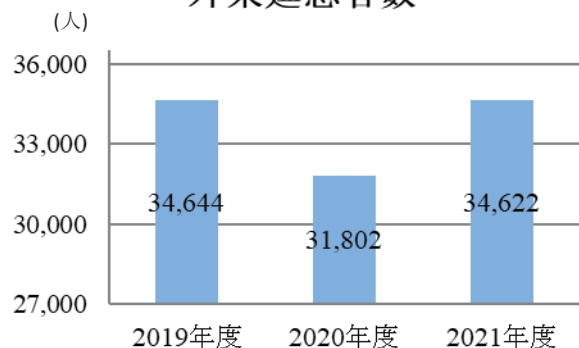
【国内学会（ポスター演題）】

- 1 内山美津希、林 礼人、上森友樹、東名 怜、野尻 岳、溝渕 亮、末原義之、金子高英
明細胞癌との鑑別が困難であった鼠径部原発不明転移性悪性黒色腫の治療経験
第 64 回日本形成外科学会総会・学術集会 (2021 年 東京)

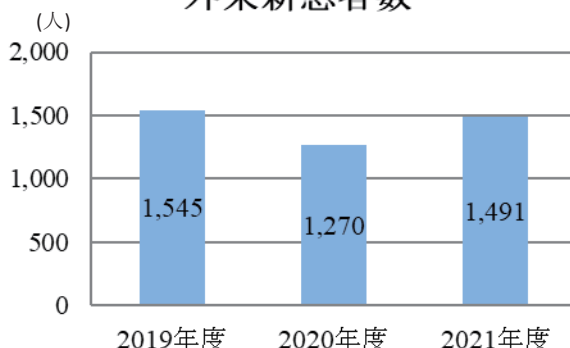
2-16 眼科

診療実績

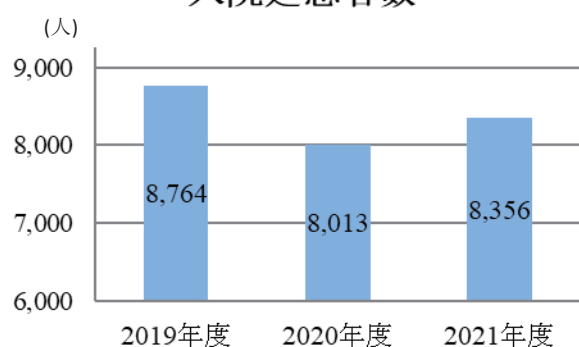
外来延患者数



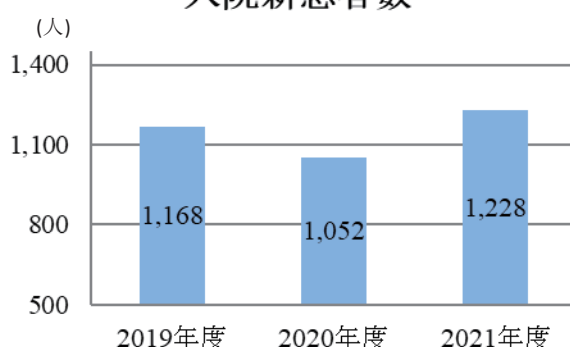
外来新患者数



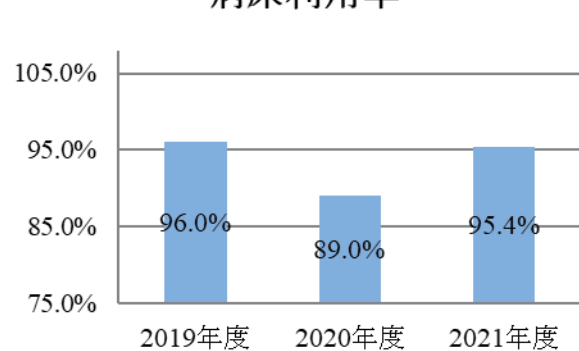
入院延患者数



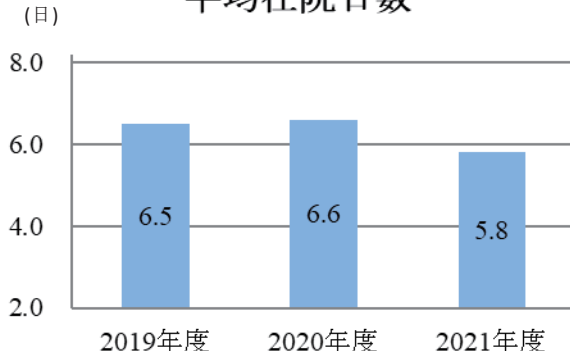
入院新患者数



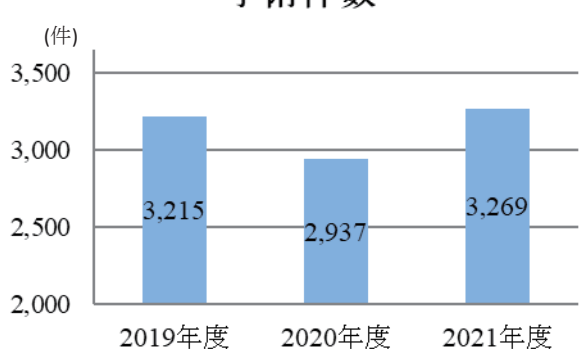
病床利用率



平均在院日数



手術件数



研究・教育活動

原著（和文）

1. 杉田丈夫, 土至田 宏, 朝岡聖子, 市川浩平, 林 雄介, 松崎有修, 平井麻紀, 太田俊彦:
角膜擦過物の検鏡が治療効果判定に役立った真菌性角膜潰瘍の 1 例, 臨床眼科, 2021.08;
75(8):1111-1116

原著（英文）

1. Asaoka S, Kasuga T, Matsunaga T, Hayashi Y, Asada Y, Iwamoto S, Hirakata T, Honda R, Obazawa H, Sasaki H, Ohta T, Matsuda A. :Operative Complications of Glaucoma Drainage Implant Tube Insertion Through the Sulcus for Pseudophakic Eye., Journal of Glaucoma. 2021 Apr 1;30(4):169-174.
2. Shigeyasu C, Yamada M, Fukuda M, Koh S, Suzuki T, Toshida H, Oie Y, Nejima R, Eguchi H, Kawasaki R, Nishida K; Research Group of Severe Contact Lens-associated Ocular Complications. Severe Ocular Complications Associated with Wearing of Contact Lens in Japan. Eye Contact Lens. 2022 Feb 1;48(2):63-68

総説

1. 市川浩平, 松崎有修, 太田俊彦:手術器具 エイエフ-1 iMics 1(MP70), IOL & RS, 2021.03;
35(1):133-140
2. 土至田 宏:患者さんのデータ&話から導け!点眼薬クイズ(第 5 回) 角膜・ドライアイの点眼薬,
眼科ケア 2021.03;23(3):177, 264-267
3. 土至田宏:【オルソケラトロジーアップデート】OK の度数・レンズ変更の判断といつまで使用を推奨
するか, IOL & RS;2021.03; 35(1):53-60
4. 土至田 宏:【老視治療アップデート】コンタクトレンズによる老視矯正, IOL & RS 2021.06; 35(2):
193-203
5. 土至田宏:コンタクトレンズ用語集(第 34 回) プリズムバラスト, 日本コンタクトレンズ学会誌,
2021.06; 63(2):72
6. 土至田宏:【最新主要文献でみる眼科学レビュー2021-'22】視機能 眼鏡・コンタクトレンズ,
眼科学レビュー, 2021.07; 2021-'22 巻:253-259
7. 太田俊彦:コンサルテーションコーナー エキスパートに聞く「回答 1」. IOL & RS, 2021.09; 35(3):
155~156
8. 宇野敏彦, 江口洋, 鈴木崇, 土至田宏:Back to the future:コンタクトレンズ関連角膜感染症/
CL バトルロイヤル スペシャル, 2021 年 06 月, 63(2), p41-48
9. 土至田宏:CL ケア教室第 75 回 レンズを扱う前の手指洗浄・手指消毒, 日本コンタクトレンズ学
会誌, 2021.09; 63(3): 112-115
10. 土至田宏:コンタクトレンズ用語集(第 35 回) ダブルスラブオフ, 日本コンタクトレンズ学会誌,
2021.09; 63(3):137
11. 土至田宏:進化するコンタクトレンズアラカルト, Ophthalmology Update, 2021 年 10 月号, p7-9
12. 市川浩平, 太田俊彦:【この症例このまま診ていい大丈夫? 病診連携に基づく疾患別眼科診療
ガイド】眼内レンズ偏位・落下 . 臨床眼科, 2021.10.31; 75(11) 増刊号:153~158

報告

1. 黒田浩平, 土至田宏, 廣澤邦彦, 市川浩平, 林雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀, 太田俊彦: ドライアイ重症例に対する涙小管焼灼と涙点縫合の併用による観血的涙点閉鎖術, 第 76 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2021.1.16.
2. 小野純治, 土至田宏, 太田俊彦: 当院におけるレティンスコンフォート®の臨床成績. 第 76 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2021.1.16.
3. 笠原知人, 土至田宏, 小野純治, 太田俊彦: 不正乱視対応特殊デザインソフトコンタクトレンズ「ユーソフト」有効例の検討, 第 77 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2021.8.21.
4. 小野純治, 土至田宏, 太田俊彦: レティンスコンフォート®とパンオブティクス®の臨床成績比較. 第 77 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2021.8.21.
5. 大谷洋揮, 市川浩平, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦: 当院における分層黄斑円孔の病型別術後成績に関する検討, 第 77 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2021.8.21.

著書

1. 太田俊彦: 白内障, 眼科疾患, 今日の治療指針 私はこう治療している 2021, 医学書院, 2021.01, 1570-1571
2. 土至田宏: 視機能 眼鏡・コンタクトレンズ, 最新主要文献でみる眼科学レビュー2021-'22, 総合医学社, 2021, 253-259
3. 土至田宏, 前田直之: コンタクトレンズの医学的側面, コンタクトレンズ販売営業所管理者講習会テキスト, 財団法人医療機器センター, 2021.05, 1-24
4. 笠原知人, 土至田宏, 小野純治, 太田俊彦: 不正乱視対応特殊デザインソフトコンタクトレンズ「ユーソフト」有効例の検討, 第 77 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2021.8.21.
5. 小野純治, 土至田宏, 太田俊彦: レティンスコンフォート®とパンオブティクス®の臨床成績比較. 第 77 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2021.8.21.
6. 大谷洋揮, 市川浩平, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦: 当院における分層黄斑円孔の病型別術後成績に関する検討, 第 77 回静岡県眼科医会集談会, 静岡市, 2021.8.21.

特別講演・招待講演

1. 太田俊彦: 「眼内レンズ二次挿入術の過去と現在、これから」. 第 44 回日本眼科手術学会学術総会, 京都府, 2021.1.30. (特別講演)
2. 太田俊彦, 稲村幹夫, 市川一夫, 鈴木久晴, 柴琢也: 「CCC を極める!」, 第 44 回日本眼科手術学会学術総会, 京都府, 2021.1.29~31. (インストラクションコース)
3. 太田俊彦, 山根真, 松島博之, 西村栄一: 「明日からできる! 眼内レンズ強膜内固定術のすべて」, 第 44 回日本眼科手術学会学術総会, 京都府, 2021.1.29~31 (インストラクションコース)
4. 太田俊彦: 眼内レンズ強膜内固定&強膜縫着固定術「鑷子法アップデート」, 第 44 回日本眼科手術学会学術総会, 京都府, 2021.1.29~31. (法人企画)
5. 太田俊彦: 白内障手術の術後合併症とその対処法「強膜内固定術関連合併症と対処法」. 第 44 回日本眼科手術学会学術総会, 京都府, 2021.1.29.~31. (教育セミナー)
6. 土至田宏: CL による老視矯正の理論と実践「乱視眼に対する老視矯正」, 第 125 回日本眼科学会総会, 大阪府, 2021.4.8~11. (教育セミナー)
7. 土至田宏: 原理と角膜への影響, 第 125 回日本眼科学会, Web 開催, 2021.4.8~11. (オルソケタロジー講習会)

8. 太田俊彦:「久しぶりの白内障眼内レンズ手術！！」,《強膜内固定》『白内障手術のトラブルシューティング』,第18回おっしょい眼科手術の会,Web開催,2021.5.6.(特別講演)
9. 土至田宏:コンタクトレンズの医学的側面,財団法人医療機器センター主催コンタクトレンズ販売営業所管理者講習会,2021.5.12(講習会)
10. 太田俊彦:27G 鑷子を用いた新しい強膜内固定術.「新しい時代の眼内レンズ強膜内固定術」,第36回JSCRS学術総会,2021.6.26.(会長企画2)
11. 太田俊彦:新しい時代の眼内レンズ強膜内固定,「27G 鑷子を用いた新しい強膜内固定術」,第36回JSCRS学術総会,東京都,2021.6.25~27.(座長・会長企画)
12. 太田俊彦:IOL二次挿入術の合併症対策,「眼内レンズ強膜内固定術の合併症と対処法」,第36回JSCRS学術総会,東京都,2021.6.25~27.(座長・教育セミナー)
13. 土至田宏:原理と角膜への影響,第63回日本コンタクトレンズ学会,仙台市,2021.7.23~25.(オルソケタロジー講習会)
14. 土至田 宏:快適なQOLのためのCL処方「アレルギーでも快適にCLライフ」,第63回日本コンタクトレンズ学会,仙台市,2021.7.23~25.(コンタクトレンズ講習会)
15. 土至田宏:「ついに登場!抗アレルギー薬含有コンタクトレンズ」第63回日本コンタクトレンズ学会,仙台市,2021.7.23~25.(ランチョンセミナー)
16. 土至田宏:遠近両用CLの流儀「遠近両用SCLの実力と可能性を考える」第63回日本コンタクトレンズ学会,仙台市,2021.7.23~25.(イブニングセミナー) 土至田 宏:原理と角膜への影響 第63回日本コンタクトレンズ学会,仙台市,2021.7.23~25.(オルソケタロジー講習会)
17. 土至田 宏:快適なQOLのためのCL処方「アレルギーでも快適にCLライフ」,第63回日本コンタクトレンズ学会,仙台市,2021.7.23~25.(コンタクトレンズ講習会)
18. 土至田宏:「ついに登場!抗アレルギー薬含有コンタクトレンズ」第63回日本コンタクトレンズ学会,仙台市,2021.7.23~25.(ランチョンセミナー)
19. 土至田宏:遠近両用CLの流儀「遠近両用SCLの実力と可能性を考える」第63回日本コンタクトレンズ学会,仙台市,2021.7.23~25.(イブニングセミナー)
20. 太田俊彦,江口秀一郎,小早川信一郎,松島博之,西村栄一:これから始める強膜内固定術A to Z,第75回日本臨床眼科学会,福岡県,2021.10.28~31.(インストラクションコース)
21. 土至田 宏,外園千恵,佐渡一成,糸井素純,平岡孝浩,宮本裕子:コンタクトレンズの役に立つお話,第75回日本臨床眼科学会,福岡県,2021.10.28~31.(インストラクションコース)
22. 土至田 宏:原理と角膜への影響,第75回日本臨床眼科学会,福岡県,2021.10.28~31.(オルソケタロジー講習会,Web講習会)
23. 土至田宏:新時代のコンタクトレンズ:抗アレルギー薬含有コンタクトレンズ,第4回日本眼科アレルギー学会学術集会,東京都,2021.12.11~12.(ランチョンセミナー)
24. 土至田宏:「アレルギーでも快適にCLライフ~アレルギーケア®の登場でどう変わるか」第1回鹿児島県コンタクトレンズセミナー2021,2021.12(Web開催)(セミナー)
25. 太田俊彦:「エキスパートが語るZEISSの手術顕微鏡・細隙灯顕微鏡・白内障デバイス」核分割デバイスmiLOOPの使用経験,カールツァイスメディテック社 共催セミナー,第10回JSCRSウィンターセミナー,Web開催,2021.12.13~2022.1.14

学会発表(国内)

1. 平井麻紀,土至田宏,太田俊彦:「眼瞼下垂手術が緑内障患者に与える影響に関する検討」,第44回日本眼科手術学会学術総会,京都府,2021.1.29~31.(一般演題)
2. 林雄介,朝岡聖子,市川浩平,杉田丈夫,松崎有修,平井麻紀,土至田 宏,太田俊彦:「続発性緑内障に対しマイクロフックによる線維柱帯切開術が有効であった1例」,

- 第 44 回日本眼科手術学会学術総会, 京都府, 2021.1.29~31. (学術展示)
3. 杉田丈夫, 黒田浩平, 市川浩平, 林 雄介, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田 宏, 太田俊彦:
「L-ポケット切開を用いた小切開 ICCE」, 第 44 回日本眼科手術学会学術総会, 京都府,
2021.1.29~31. (一般演題)
 4. 黒田浩平, 土至田 宏, 市川浩平, 林 雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀, 太田俊彦:
「ドライアイ重症例に対する涙小管焼灼と涙点縫合の併用による観血的涙点閉鎖術-第 2 報」,
第 44 回日本眼科手術学会学術総会, 京都府, 2021.1.29~31. (一般演題)
 5. 笠原知人, 土至田 宏, 太田俊彦: ハード・ソフトハイブリッド型コンタクトレンズ「ユーソフト」が乱視
矯正に有効であった角膜不正乱視の 1 例. 症例検討会, 順天堂大学, 2021.5.19
 6. 平井麻紀: 当院における眼瞼手術, 第 22 回『JON 研究会』講演会, 東京都(ハイブリッド開催),
2021.6.19.
 7. 杉田丈夫, 土至田宏, 太田俊彦, 小野順治(小野眼科クリニック): 低加入度数分節眼内レンズと
単焦点眼内レンズの臨床成績の比較, 第 36 回 JSCRS 学術総会, 東京都, 2021.6.25~27.
(一般演題)
 8. 市川浩平, 太田俊彦, 黒田浩平, 廣澤邦彦, 朝岡聖子, 林 雄介, 杉田丈夫, 松崎有修,
平井麻紀, 土至田宏: 水晶体亜脱臼例に対して L-ポケット切開併用小切開 ICCE を施行した
1 例, 第 36 回 JSCRS 学術総会, 東京都, 2021.6.25~27. (ケースレポート)
 9. 黒田浩平, 太田俊彦, 廣澤邦彦, 市川浩平, 林 雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田
宏: Advanced T-fixation technique の術後成績, 第 36 回 JSCRS 学術総会, 東京都,
2021.6.25~27. (一般演題)
 10. 土至田宏: 原理と角膜への影響, 第 63 回日本コンタクトレンズ学会, 仙台市, 2021.7.23~25.
(オルソケタロジー講習会)
 11. 土至田宏: 連続眼圧測定用コンタクトレンズ、トリガーフィッシュの装用経験, 第 63 回日本コンタクト
レンズ学会, 仙台市, 2021.7.23~25. (一般講演)
 12. 土至田宏: 快適な QOL のための CL 処方「アレルギーでも快適に CL ライフ」, 第 63 回日本コンタ
クトレンズ学会, 仙台市, 2021.7.23~25. (コンタクトレンズ講習会)
 13. 土至田宏, 廣澤邦彦, 朝岡聖子, 市川浩平, 林 雄介, 松崎有修, 杉田丈夫, 平井麻紀,
太田俊彦: 入院を要した角膜潰瘍例の検討, 第 57 回日本眼感染症学会, 仙台市, 2021.7.23~
25. (一般講演)
 14. 土至田宏, 笠原知人, 太田俊彦, 小野純治: 不正乱視対応特殊デザインソフトコンタクトレンズ
「ユーソフト」有効例の検討, 第 75 回日本臨床眼科学会, 福岡県, 2021.10.28~31. (一般講演)
 15. 土至田宏, 外園千恵, 佐渡一成, 糸井素純, 平岡孝浩, 宮本裕子: コンタクトレンズの役に立つお
話, 第 75 回日本臨床眼科学会, 福岡県, 2021.10.28~31. (インストラクションコース)
 16. 平井麻紀, 黒田浩平, 朝岡聖子, 市川浩平, 杉田丈夫, 松崎有修, 土至田宏, 太田俊彦:
順天堂静岡病院における未熟児網膜症治療例の検討, 第 75 回日本臨床眼科学会,
福岡県, 2021.10.28~31. (一般講演)
 17. 杉田丈夫, 黒田浩平, 朝岡聖子, 市川浩平, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦:
Advanced T-fixation technique の術後成績, 第 75 回日本臨床眼科学会, 福岡県, 2021.10.28~
31. (一般講演)
 18. 朝岡聖子, 松田彰, 春日俊光, 林雄介, 浅田洋輔, 市川浩平, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀,
土至田宏, 太田俊彦: アーメド緑内障バルブ毛様溝挿入術後の角膜内皮への影響,
第 75 回日本臨床眼科学会, 福岡県, 2021.10.28~31. (一般講演)
 19. 黒田浩平, 市川浩平, 朝岡聖子, 杉田丈夫, 松崎 有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦:
当院における過去 14 年間の開放性眼外傷の検討, 第 75 回日本臨床眼科学会,
福岡県, 2021.10.28~31. (一般講演)

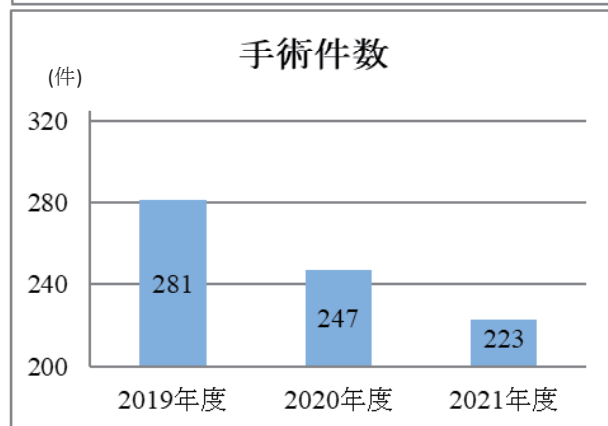
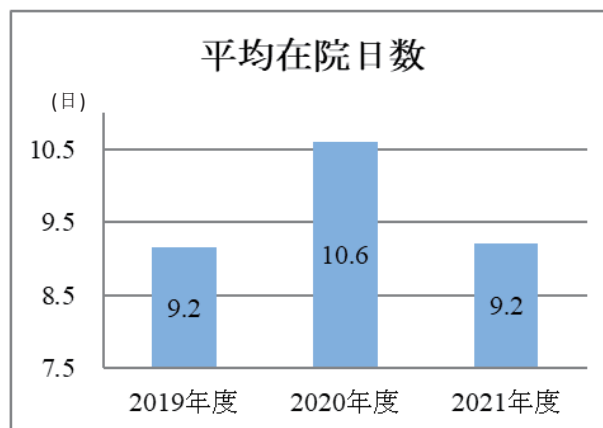
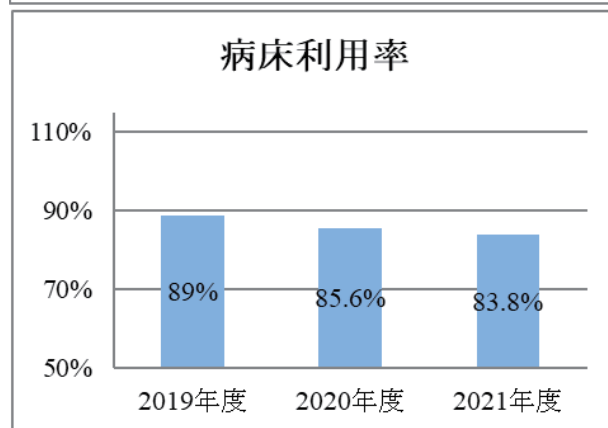
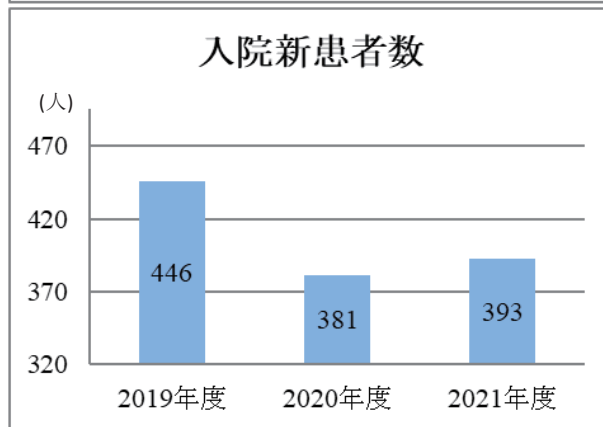
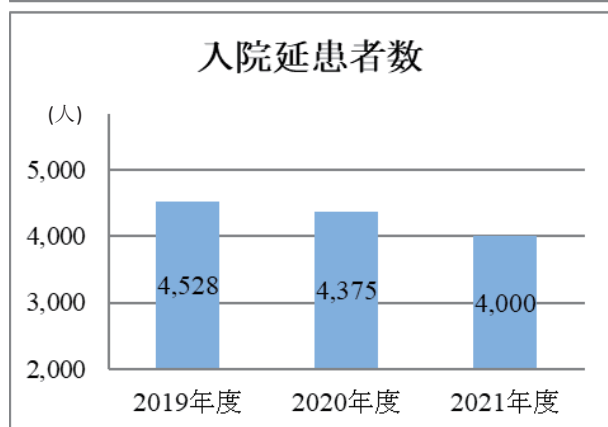
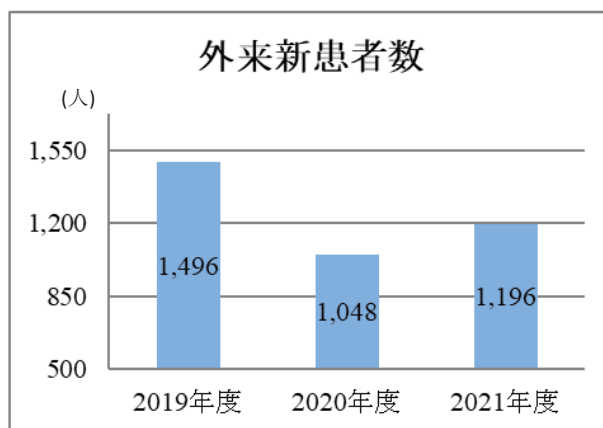
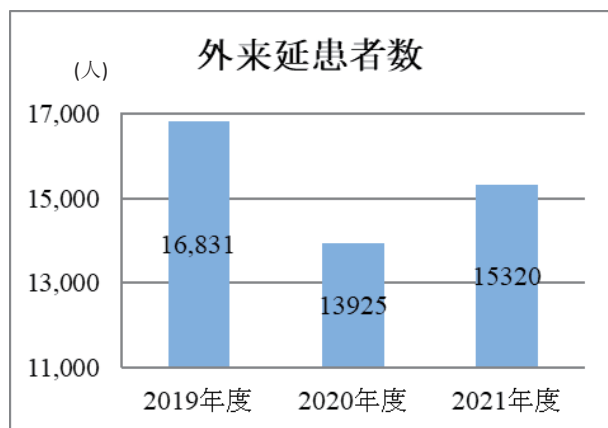
20. 土至田宏:ヒアルロン酸マイクロニードルシート of 角膜上皮障害治療への試み, 第 41 回日本眼薬理学会, 金沢市, 2021.11.6~7. (一般講演)
21. 大谷洋揮, 市川浩平, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦:当院における分層黄斑円孔の病型別術後成績に関する検討, 第 60 回日本網膜硝子体学会集会, 東京都, 2021.12.3~5. (一般講演)
22. 土至田宏:新時代のコンタクトレンズ:抗アレルギー薬含有コンタクトレンズ, 第 4 回日本眼科アレルギー学会学術集会, 東京都, 2021.12.11~12. (ランチョンセミナー・パネルディスカッション)
23. 笠原知人, 大谷洋揮, 市川浩平, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦:当院における分層黄斑円孔の病型別術後成績に関する検討, : 症例検討会, 順天堂大学, 2021.12.18
24. 市川浩平:「私のとっておきの手術のコツ」27G 鑷子併用フレンジ固定変法. 第 10 回 JSCRS ウィンターセミナー, Web 開催, 2021.12.13~2022.1.14
25. 土至田宏, 朝岡聖子, 大谷洋揮, 市川浩平, 松崎有修, 杉田丈夫, 平井麻紀, 太田俊彦:手術を要した角膜潰瘍重症例と非手術例との比較検討. 第 45 回日本眼科手術学会学術総会, Web 開催, 2022.01.28~30(学術展示)
26. 杉田丈夫, 朝岡聖子, 市川浩平, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦: 27G 鑷子併用フレンジ固定変法の術後成績. 第 45 回日本眼科手術学会学術総会, Web 開催, 2022.01.28~30(一般講演)
27. 朝岡聖子, 松田彰, 林雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀, 土至田宏, 太田俊彦: アーメド緑内障バルブ挿入術後に発症した黄斑浮腫の 1 例. 第 45 回日本眼科手術学会学術総会, Web 開催, 2022.01.28~30(学術展示)

その他

1. 土至田宏: TODAY'S FOCUS「子どものコンタクト使用に関するトラブル増加中！」Japan FM Network, Oh! Happy Morning. 2021.1.20.放送
2. 土至田宏: TODAY'S FOCUS「子どものコンタクト使用に関するトラブル増加中！」Japan FM Network, Oh! Happy Morning. 2021.1.20.放送
3. 土至田宏:眼科領域の救急, 静岡県消防学校, 2021.2.15.
4. 土至田宏:乱視眼に対する老視矯正, 日本眼科学会雑誌 125 巻臨増, 113, 2021.03
5. 黒田浩平, 土至田 宏, 廣澤邦彦, 市川浩平, 林 雄介, 杉田丈夫, 松崎有修, 平井麻紀, 太田俊彦:ドライアイ重症例に対する涙小管焼灼と涙点縫合の併用による観血的涙点閉鎖術, 眼科臨床紀要, 14(6), 391, 2021.06
6. 土至田宏:医療ルネサンス No.7549 「コンタクトレンズ. 4 傷ついた角膜を治療」 読売新聞朝刊 2021.6.21.号, 21
7. 土至田宏:大手小町「コンタクトレンズの度数に限界は? コロナで急速に進む視力低下3つの対策」読売新聞サイト(2021.7.21.配信開始)
8. 土至田宏: 近視視力低下に対し遠近両用トーリック SCL 処方が奏功した正乱視症例, Ophthalmology Update, 2021. 10 月号, 9-10
9. 土至田宏:「アレルギー性結膜疾患患者に適する CL 装用法」 メディカルトリビューン社サイト
10. 土至田宏:第 63 回日本コンタクトレンズ学会総会ランチョンセミナー14 レポート「ついに登場! 抗アレルギー薬含有コンタクトレンズ」ジョンソンエンドジョンソン・セミナーレポート. 2021 年冬, 2-4

2-17 耳鼻咽喉科

診療実績



研究・教育活動

英文原著

Kusunoki T, Homma H, Kidokoro Y, Yoshikawa A, Tanaka K, Kubo S, Wada R, Ikeda K.

A Case of Nasopharyngeal tuberculosis with cervical Lymph node tuberculosis suspected of cervical malignant disease at the first examination. Clinics and Practice 2021;11:43-46

Hara S, Kusunoki T, Nakagawa H, Toyoda Y, Nojiri S, Kamiya K, Furukawa M, Takata Y, Okada H, Anzai T, Matsumoto F, Ikeda K. Association between earwax-determinant genotypes and acquired middle ear cholesteatoma in a Japanese population. Otolaryngol Head Neck Surg 2021 Mar 16; 1945998211000374. doi: 10.1177/01945998211000374. Online ahead of print.

Kusunoki T, Homma H, Kidokoro Y, Yoshikawa A, Tanaka K, Kubo S, Ryo Wada R
Mediastinum lymph node metastasis with superior vena cave syndrome J Clin Case Stu 2021;6(2)
:dx.doi.org/10.16966/2471-4925.225

Kusunoki T, Wada R. Thyroid follicular adenoma with tracheal stenosis J Clin Case Stu 2021;
6(4): :dx.doi.org/10.16966/2471-4925.231

和文原著

城所淑信、楠 威志:深頸部感染症と鑑別を要した学齢期の川崎病 耳鼻臨床 114 : 320-321 ; 2021.

楠 威志 : 顔面多発刺創によるステノン管損傷から唾液嚢腫を併発した症例 耳鼻臨床 114 : 818-819 ; 2021

楠 威志 : 災害時医療機関機能停止時における、気道系疾患に対する「自宅でできる腹式呼吸を重点に置いた音声訓練法」の有用性. 令和 2 年度静岡災害医学研究センター紀要 26 ; 2021 .

賀屋勝太、楠 威志、本間博友、城所淑信、荒井慎平: 鼻性頭蓋内合併症を疑い施行された鼻内視鏡手術により診断された未治療の下垂体腺腫の一例 日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会誌 1 : 111-115 ; 2021

城所淑信、楠 威志:節外性 NK/T 細胞リンパ腫・鼻型例 耳鼻臨床 115 : 186-187 ; 2022.

芳川瑛久、楠 威志:菌性頸部膿瘍症例の検討 耳鼻臨床 115 : 368-369 ; 2022.

楠 威志:緊急手術を要したポリープ声帯症例の検討 額鏡 62:2-3;2022.

和文著書 (分担筆頭者)

楠 威志 : 鼻呼吸と腹式呼吸の重要性 心と体 保健総合大百科 少年写真新聞社 東京 2021. P140

科研費

楠 威志 2021 年度科学研究費補助金 基盤研究 C 新規

楠 威志 2018 年度科学研究費補助金 基盤研究 C 継続

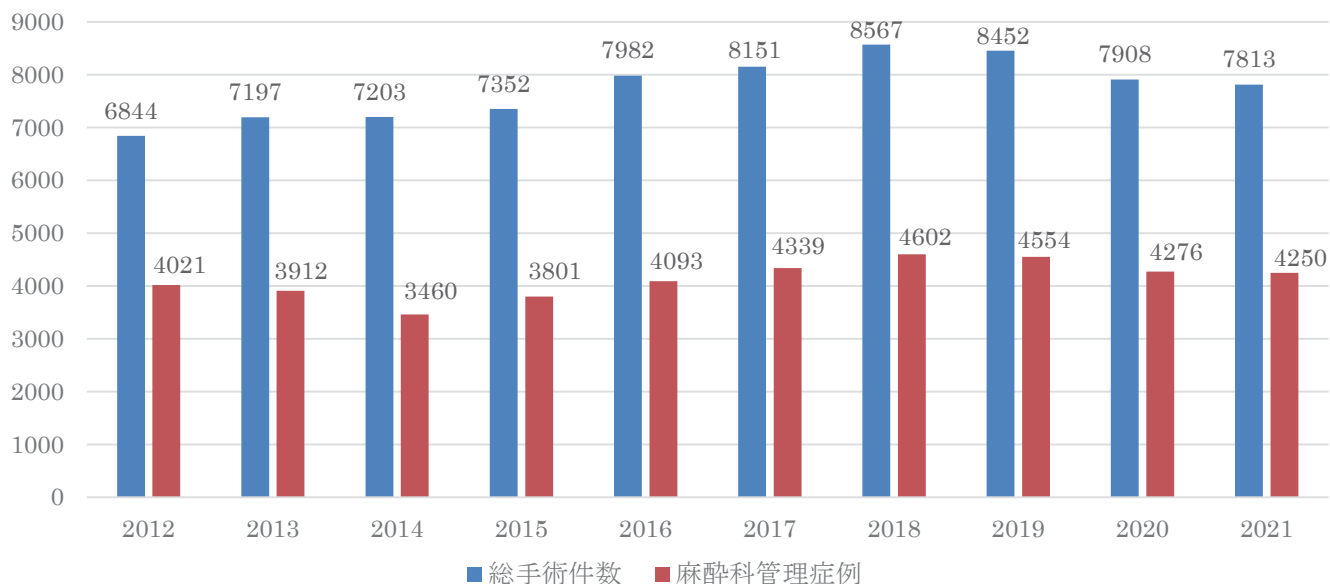
本間博友 2019 年度科学研究費補助金 基盤研究 C 継続

城所淑信 2018 年度科学研究費補助金 若手研究 継続

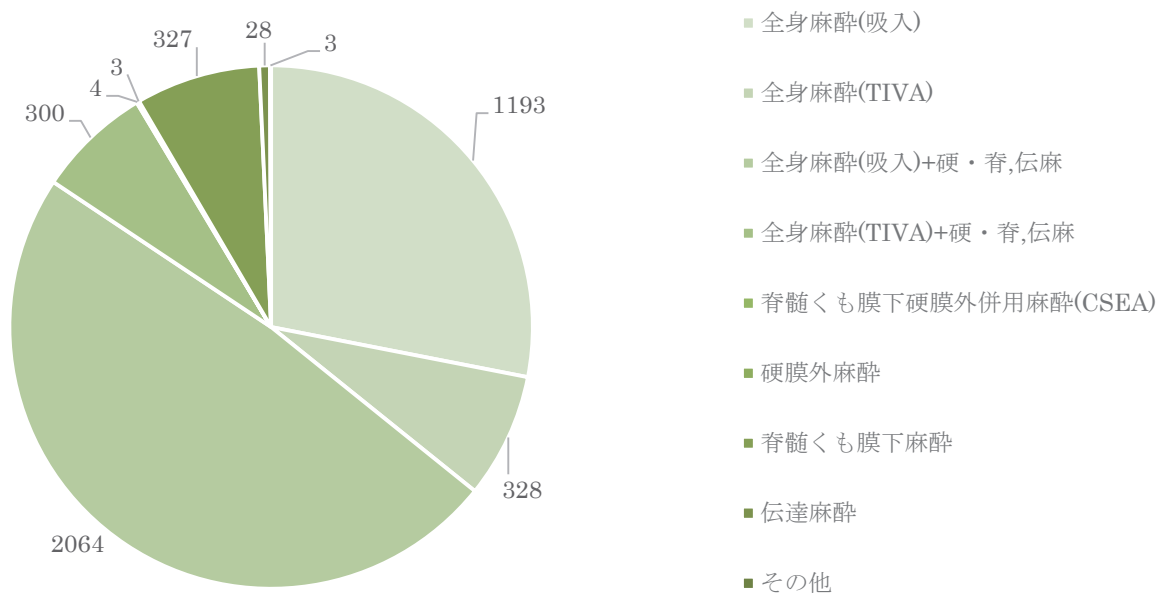
2-18 麻酔科・ペインクリニック

診療実績

総手術件数と麻酔科管理症例の推移



2021年麻酔法別手術件数（麻酔科管理症例数）



教育研究活動

1. 原著（英文）

- ・ Masateru Kumemura, Takeshi Omae, Naotake Yanagisawa, Sonoko Sakuraba, Keito Koh, Efficacy of Erector Spinae Plane Block after Trunk Surgery: A Stratified Randomized Observer-Blinded Comparative Study, Juntendo med.J., 2021.67(2), 173-180

2. 総説

- ・ Takeshi Omae,MD, Keith A Candiotti,MD, Keito,Koh,MD, Masateru,Kumemura,MD, Sonoko Sakuraba,MD, Chie Iwatsubo,MD, Mariko Yasui,MD, Yosuke Katsuda,MD, Perioperative management of hypertrophic cardiomyopathy for patients undergoing noncardiac surgery — Perioperative management of HCM—, Circ Cont.,2021;42(1):17-30
- ・ A.Okazaki, Retirement ; When I Joined Izunagaoka Hospital in 1986, I did not think I would be in Izunagaoka until I reached retirement age, Juntendo med.J.,2021.67(5):427-431

3. 著書

- ・ 櫻庭園子, 久米村正輝, 徹底分析シリーズ 硬膜外さいこう 胸部手術には胸部傍脊椎ブロックを超音波ガイド下時代の鎮痛法, Lisa.,2021.28(8):802-806
- ・ 洪景都, 英語文献抄訳, Prevalence of chronic pain among adults in in the United states., ペインクリニック, 2021.42(10):1235

4. 学会発表 (国内)

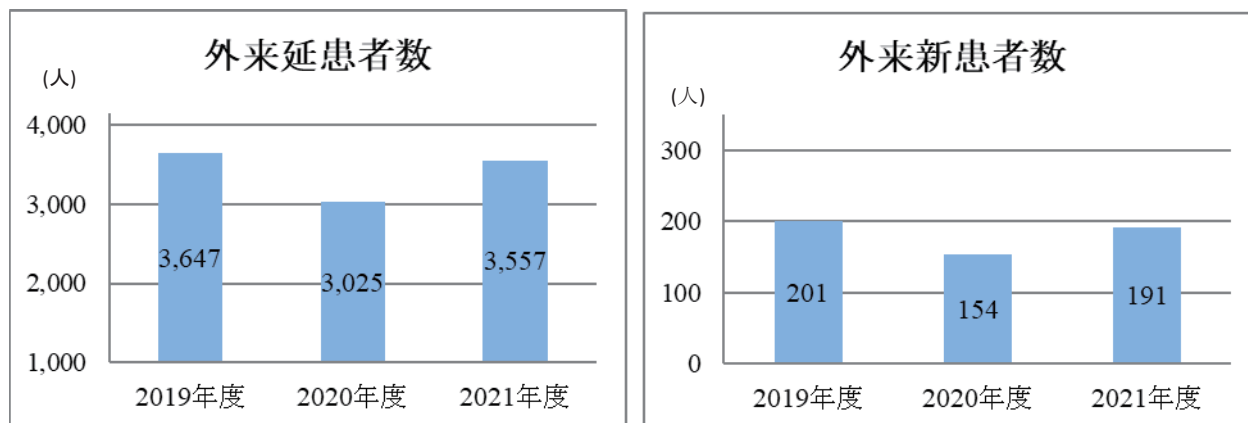
- ・ 川口幹裕, 櫻庭園子, 久米村正輝, 洪景都, 山崎翔, 米本周平, 野尻宗子, 人工股関節置換術の術後鎮痛としての神経ブロックと関節内カクテル注射の比較検討 —後ろ向き観察研究—, 日本区域麻酔学会第8回学術集会, 岡山市, 2021年4月9-10日
- ・ 岩佐美, 久米村正輝, 櫻庭園子, 米本周平, 洪景都, 特発性血小板減少症患者の開腹手術後の鎮痛に持続TAPAブロックが有効であった1症例, 日本区域麻酔学会 第8回学術集会, 岡山市, 2021年4月9-10日
- ・ 山崎翔, 尾前毅, 岩佐美, 桃井千恵, 米本周平, アンギオテンシン受容体拮抗薬は周術期心房細動発症を抑制するか, 日本心臓血管麻酔学会 第26回学術大会, Web開催, 2021年10月23-24
- ・ 岩佐美, 尾前毅, 吉河惇, 山崎翔, 米本周平, 僧帽弁形成術後のSAMに対してシベンゾリンが有用であった2症例, 日本心臓血管麻酔学会 第26回学術大会, Web開催, 2021年10月23-24
- ・ 舘山亜弥, 山崎翔, 川口幹裕, 岩佐美, 久米村正輝, 尾前毅, 硬膜外麻酔施行後に下肢の脱力を認めた一例, 日本臨床麻酔学会 第41回大会学術集会, 札幌市, 2021年11月5-6日
- ・ 岩佐美, 久米村正輝, 太田正孝, 米本周平, 帝王切開術後の創部痛と切開方向の関連性の検討, 日本臨床麻酔学会 第41回大会学術集会, 札幌市, 2021年11月5-6日
- ・ 太田正孝, 久米村正輝, 筋電図式筋弛緩モニタリングにより予想外の筋弛緩効果残存が確認された一例, 日本臨床麻酔学会 第41回大会学術集会, 札幌市, 2021年11月5-6日

5. 講演等

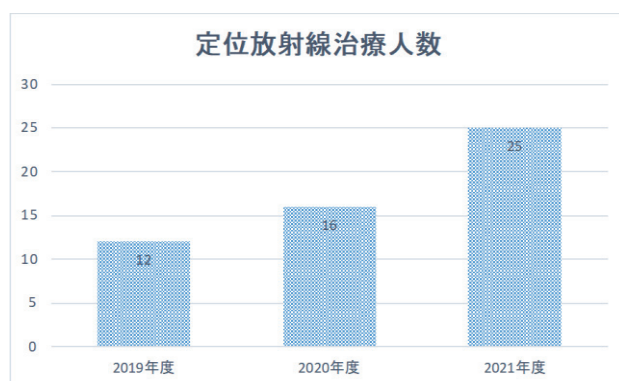
- ・ 久米村正輝, 腕神経叢と股関節手術を極める, 日本区域麻酔学会 第8回学術集会, 岡山市, 2021年4月9日, ハンズオンワークショップ インストラクター
- ・ 久米村正輝, 超音波ガイド下末梢神経ブロックについて, 日本メディカルネクスト(株)社内講演会, 東京都, 2021年11月19日

2-19 放射線科

業務実績



診療実績



研究活動

【学会発表】

- 川本晃史、内視鏡的切除・手術困難である cT1aN0M0 食道癌に対する根治的放射線治療の成績、第 75 回日本食道学会学術集会、東京、2021 年 9 月 23 日
- 川本晃史、pT4 甲状腺乳頭癌に対する術後補助的外部放射線治療の長期治療成績、第 64 回日本甲状腺学会学術集会、東京、2021 年 11 月 18 日
- 川本晃史、pT4 甲状腺乳頭癌に対する術後補助的外部放射線治療の長期治療成績、放射線腫瘍学会第 34 回、仙台、2021 年 11 月 12 日
- 川本晃史、乳房全摘術後照射時に使用する 1 mm 厚組織等価性ボラスの前向き実行可能性研究、放射線腫瘍学会第 34 回、仙台、2021 年 11 月 12 日

【論文発表】

- Kawamoto T, Shikama N, Kurokawa C, Hara N, Oshima M, Sasai K. Dosimetric assessment of bolus for postmastectomy radiotherapy. Med Dosim 46: e1-e4, 2021.

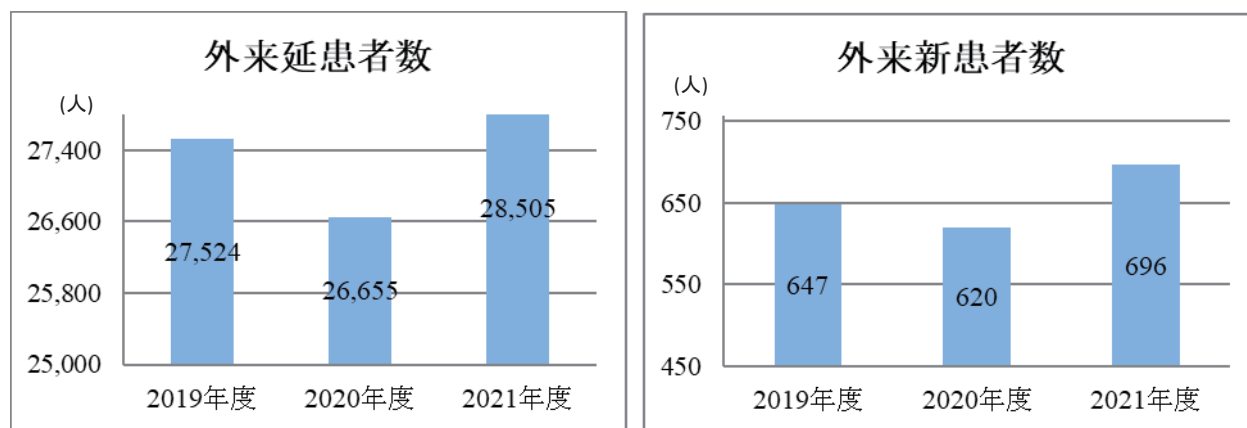
- Kawamoto T, Shikama N, Kurokawa C, Hara N, Oshima M, Sasai K. A prospective feasibility study of a 1-mm bolus for postmastectomy radiotherapy. BMC cancer 21: 109, 2021.
- Kawamoto T, Nakamura N, Saito T, Tonari A, Wada H, Harada H, Kubota H, Nagakura H, Heianna J, Miyazawa K, Yamada K, Tago M, Fushiki M, Nozaki M, Uchida N, Araki N, Sekii S, Kosugi T, Takahashi T, Shikama N. Palliative brachytherapy and external beam radiotherapy for dysphagia from esophageal cancer: A nationwide survey in Japan. Jpn J Clin Oncol 51: 950-955, 2021.

【表彰】

- 入江隆介、日本磁気共鳴医学会優秀論文賞、日本磁気共鳴医学会、2021 年 9 月 29 日

2-20 メンタルクリニック

診療実績



診療活動

患者数は県内トップクラスの外来患者数を維持しています。新患数でも県内1を維持しています。病棟からのコンサルテーション数も多く、せん妄や抑うつなどを身体科と連携して治療しています。自殺企図患者などを救急科による身体的治療と並行して、必要に応じて地域の精神科病院に転院させるネットワークも構築され、順調に機能しています。他院で受け入れ困難な精神疾患患者の身体疾患も、各科と連携して受け入れています。

児童思春期の患者も引き続き多数来院しており、他院では対応できないケースを受け入れることも多くなっています。児童に限らず、近年は非薬物療法のニーズが高いことに応え、臨床心理士と連携して、ペアレントトレーニング・ソーシャルスキルトレーニング・認知行動療法・遊戯療法などの非薬物療法を充実させてきました。成人の発達障害患者も増加傾向にあり、成人のソーシャルスキルトレーニングはメンバーも増えています。児童の学習障害の治療プログラムも開始しました。2022年4月より開設する「こどものこころのケアセンター」も準備が整い、予定通り診療を開始します。

研究では、桐野は functional MRI と脳波の同時測定による functional connectivity の研究を継続しています。児童思春期のメンタルヘルスなどのテーマで講演依頼も多く、地域医療に貢献しています。

研究活動

英文原著

1. Andica C, Kamagata K, **Kirino E**, Uchida W, Murata S, Aoki S: Neurite orientation dispersion and density imaging reveals white matter microstructural alterations in adults with autism-spectrum disorder. *Mol. Autism*. 2021 Jun 30;12(1):48. doi: 10.1186/s13229-021-00456-4)
2. Tanaka S, **Kirino E**: The precuneus contributes to embodied scene construction for singing in an opera. *Frontiers in Human Neuroscience*. 2021 Oct 15;15:737742. doi: 10.3389/fnhum.2021.737742. eCollection 2021. PMID: 34720910
3. Tanaka S, **Kirino E**: Right-Lateralized Enhancement of the Auditory Cortical Network During Imagined Music Performance. *Frontiers in Neuroscience* 2022 Feb 10;16:739858. doi: 10.3389/fnins.2022.739858.

eCollection 2022.

4. Nagai Y, Nishioka M, Tanaka T, Shimano T, **Kirino E**, Suzuki T, Kato T. Identification of 22q11.2 deletion in a patient with schizophrenia and clinically diagnosed Rubinstein-Taybi syndrome. First published: 28 July 2022 <https://doi.org/10.1002/pcn5.34>

和文総説

1. **桐野衛二**: Default mode networkと統合失調症. (特集 Default mode network). 神経内科 94 (2): 218-224, 2021

英文報告

1. Tanaka S, **Kirino E**: Corrigendum: Increased functional connectivity of the angular gyrus during imagined music performance. Frontiers in Human Neuroscience. 2021; 15: 716376. Published online 2021 Jul 7. doi: 10.3389/fnhum.2021.716376

和文報告

1. **桐野衛二**: デフォルトモードネットワークと統合失調症. 令和2年度順天堂精神医学研究所紀要: 1-9, 2021
2. 稲見 理絵, **桐野衛二**, 田中 昌司, 臼井 千恵, 井上 令一: 統合失調症の脳内ネットワーク異常の rs-fMRI・脳波同時計測を用いた検討. 令和2年度順天堂精神医学研究所紀要: 10-18, 2021
3. 永井 康仁, 稲見 理絵, **桐野衛二**, 井上 令一: 成人自閉症スペクトラム障害患者における functional connectivityのrs-fMRIおよびDKI を用いた検討. 令和2年度順天堂精神医学研究所紀要: 84-91, 2021

英文学会発表

1. Kawata Y, **Kirino E**: Emotion Regulation Influences Sports-Specific Decision Making under Negative Emotion among Baseball Players: An fMRI Study. The International Society of Sport Psychology (ISSP) 15th World Congress. Sep 30-Oct 4, 2021

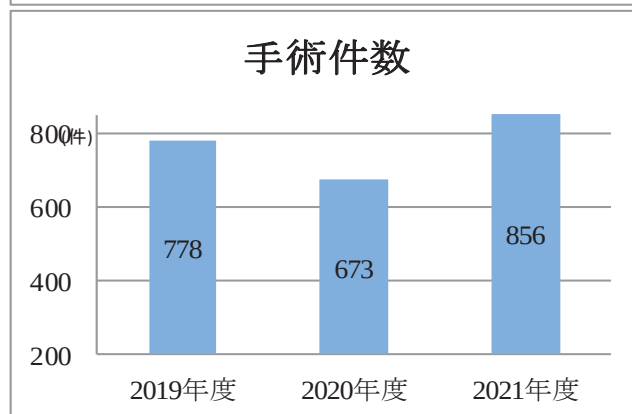
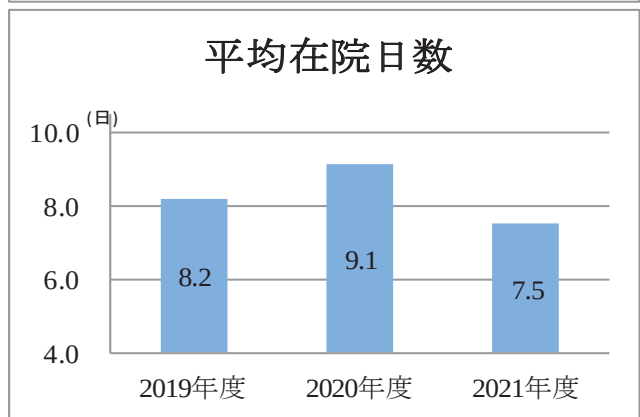
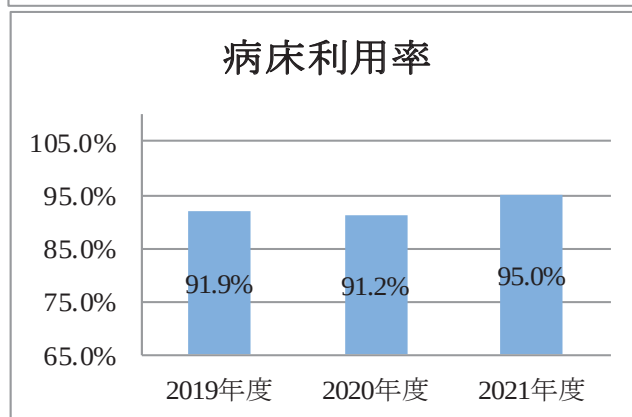
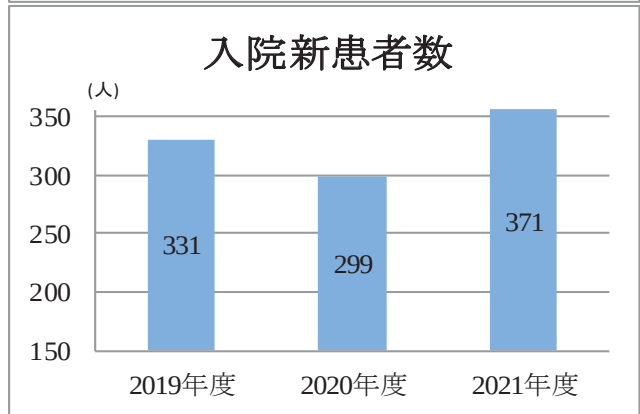
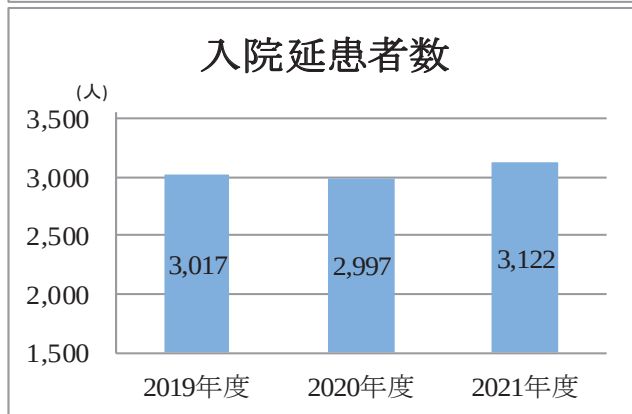
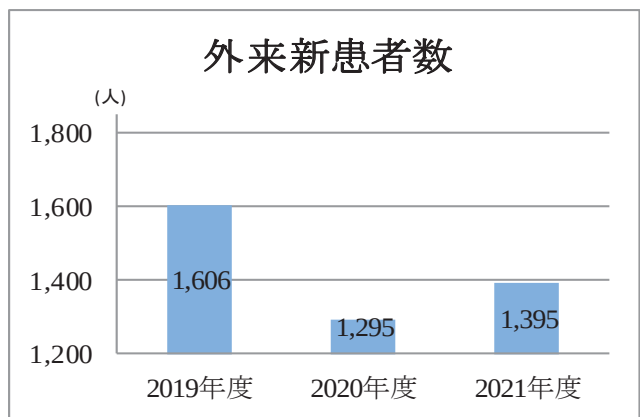
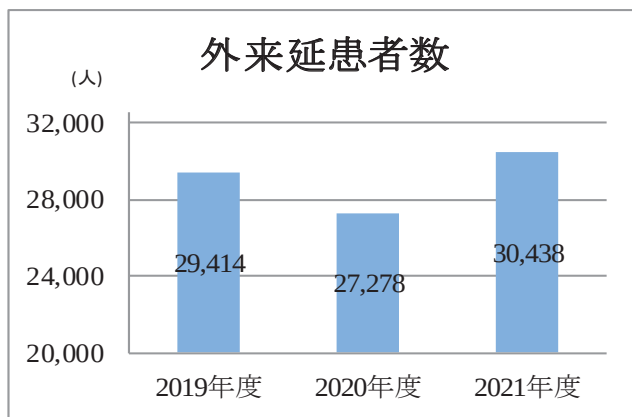
和文学会発表

1. 新井貴士, 鎌形康司, 内田航, 斎藤勇也, **桐野衛二**, 青木茂樹: Neurite orientation dispersion and density imagingを用いた自閉症スペクトラム障害における灰白質微細構造変化の評価. 第23回 ヒト脳機能マッピング学会 2021
2. 新井貴士, 鎌形康司, 内田航, クリスティーナ・アンディカ, 斎藤勇也, 堀正明, **桐野衛二**, 青木茂樹ほか: 成人自閉症スペクトラム障害における灰白質微細構造変化. 第49回 日本磁気共鳴医学会大会 2021
3. 臼井千恵, **桐野衛二**, 稲見理絵, 井上令一, 永井 康仁: 安静時fMRIを用いた線維筋痛症患者に対する音楽効果の検討 第117回日本精神神経学会学術総会, 京都, 2021年9月19-21日(オンデマンド発表)
4. 須藤路子, 東根明人, 伊藤憲治, **桐野衛二**: 運動が幼児の言語能力の発達に与える効果 第 77 回 日本体力医学会大会, オンライン開催, 2022 年 9 月 21-23 日

主な競争的資金の獲得状況

1. 平成 31-令和 5 年度 基盤研究(C) (研究代表者 **桐野衛二**) 課題番号 19K08026 fMRI 脳波 拡散 MRI 同時計測による統合失調症 connectivity の検討 Simultaneous fMRI-EEG-DTI Recording of Functional Connectivity in Patients with Schizophrenia. ¥4,290,000 (直接経費¥3,300,000)
2. 令和 3 年度-令和 8 年度 基盤研究(C) (研究代表者 臼井千恵__分担研究者 **桐野衛二** 他) 携帯アプリを用いた慢性疼痛増悪因子の解明及び予防的デジタルメディスン開発の研究

2-21 皮膚・アレルギー科



研究活動

原著（英文）

1. Kim J, Hasegawa T, Wada A, Maeda Y, Ikeda S: Keratinocyte-like cells trans-differentiated from human adipose-derived stem cells, facilitate skin wound healing in mice. *Ann Dermatol* 33:324-332,2021
2. Ikeda Y, Wada A, Hasegawa T, Yokota M, Koike M, Ikeda S: Melanocyte progeny cells reside in human subcutaneous adipose tissue. *PLoS One* 25:e0256622,2021

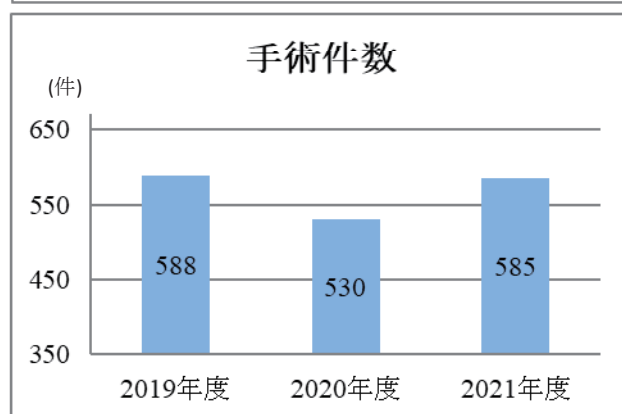
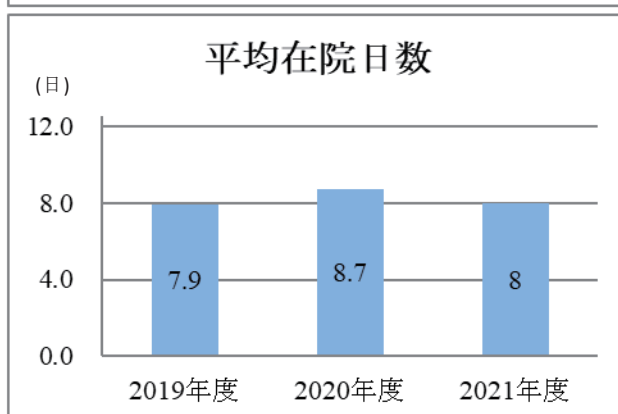
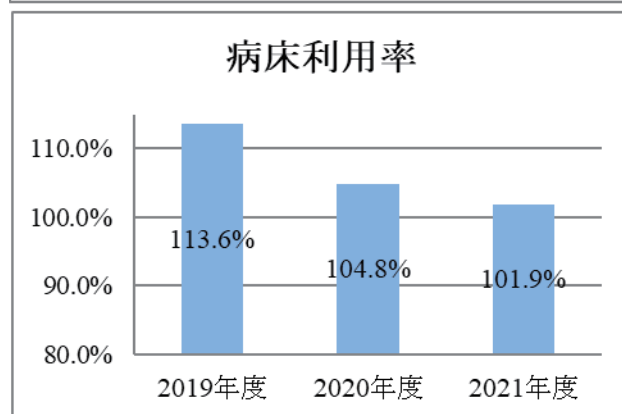
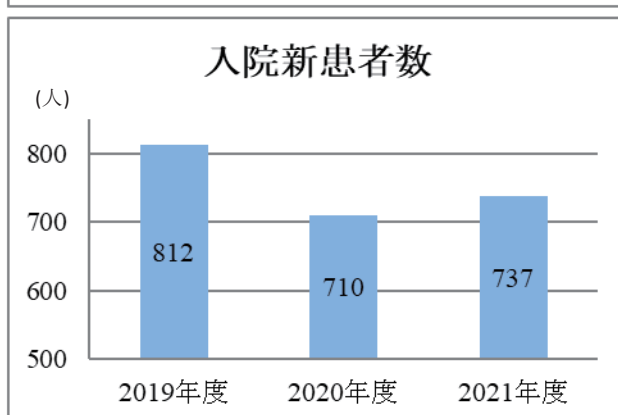
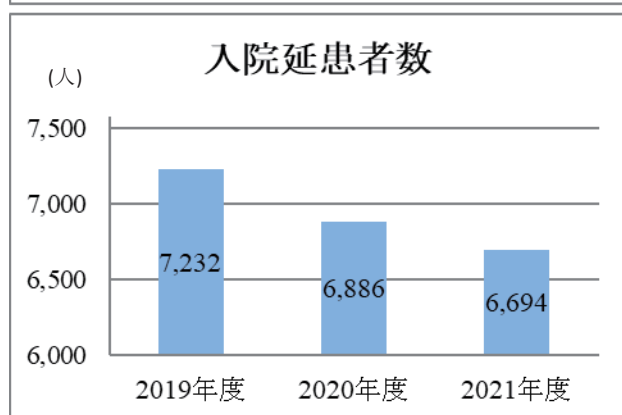
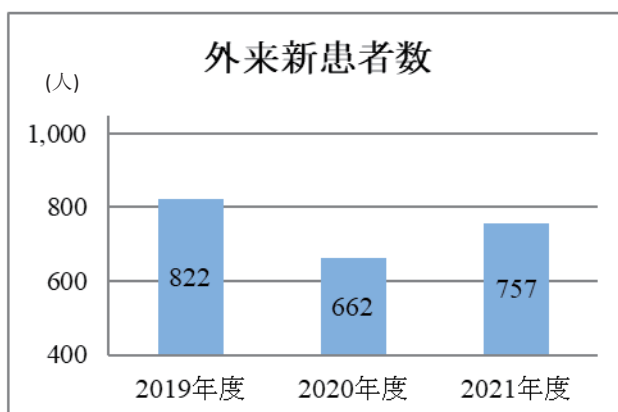
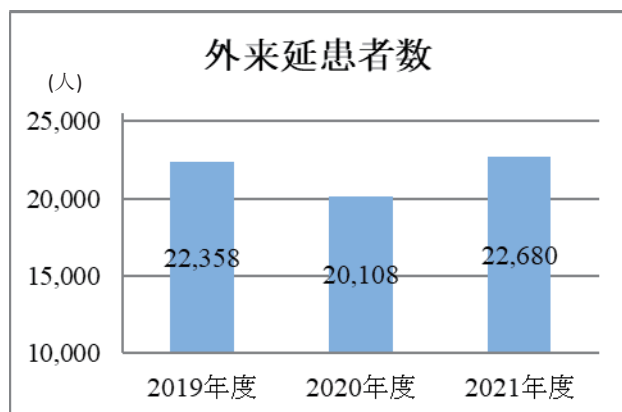
原著（和文）

1. 鈴木真理恵, 野口篤, 高田佳子, 野々垣香織, 長谷川敏男: 広範囲に多発性の病変を呈した顔面白癬. *皮膚科の臨床* 43:692-695,2021
2. 高田佳子, 野口篤, 千田香織, 長谷川敏男: 手掌に優位な分布を呈した Stevens-Johnson 症候群の 1 例. *日臨皮会誌* 38: 749-753, 2021

学会発表（国内）

1. 長谷川敏男: 炭酸ガスレーザーの表皮水疱症治療への応用. 第 32 回日本レーザー治療学会シンポジウム「皮膚科形成外科領域のレーザー治療 1」2021, Web
2. 池田有里, 和田章乃, 長谷川敏男, 横田睦美, 小池正人, 池田志孝: Identification of melanocyte progeny cells in human subcutaneous adipose tissue. 第 120 回日本皮膚科学会総会, 2021, 横浜
3. 木蜜徹, 土橋人士, 平澤祐輔, 長谷川敏男, 池田志孝: 良性対側性脂肪腫症 (Madelung 病) の 1 例. 第 120 回日本皮膚科学会総会, 2021, 横浜
4. 細井美都, 松田真佑香, 上井貴絵, 国峯真也, 野口篤, 長谷川敏男: 下肢に皮下結節が多発した *Mycobacterium chelonae* 感染症の 1 例. 第 131 回日本皮膚科学会静岡地方会, 2021, 静岡
5. 鎌田麻美, 平澤祐輔, 上井貴絵, 曾遥, 鈴木梨奈, 千田香織, 山梨治斗, 大熊慶湖, 長谷川敏男, 池田志孝: 留置型カテーテルを用いて長期維持透析を導入した劣性栄養障害型表皮水疱症の 2 症例. 第 85 回日本皮膚科学会東京支部学術大会, 2021, 東京
6. Matsuda A, Hasegawa T, Wada A, Ikeda S: Therapeutic potential of adipose-derived stem cells for the treatment of recessive dystrophic epidermolysis bullosa. The 45th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 2021, Web
7. Nukui Y, Hasegawa T, Wada A, Ikeda S: Adipose derived stem cells inhibit fibrotic effect of keloid derived dermal fibroblasts. The 45th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 2021, Web
8. 細井美都, 松田真佑香, 櫻井純一郎, 山梨治斗, 長谷川敏男: 冠動脈バイパス手術後に発症した壊疽性膿皮症の 1 例. 第 132 回日本皮膚科学会静岡地方会, 2021, Web

2-22 泌尿器科



診療活動

外来患者数、入院患者数、手術件数が増加した。また緊急処置を要する症例が多く他病院から紹介されてきた。膿腎症に対する、ステント留置は、国内でも極めて多い施設である。

前立腺全摘にロボット手術を導入し3年が経過した。膀胱頸部温存および膀胱—尿道吻合での連続吻合がより確実になった。術後の排尿状態も良好で、入院期間も短縮した。

腹腔鏡下に副腎腫瘍、腎癌および腎盂尿管癌の手術を行っている。褐色細胞腫など難易度の高い手術も行った。腹腔鏡下腎摘出は後腹膜アプローチが多かった。技術が安定し、合併症が少なかった

大きな腎癌に対して開腹で根治的腎摘除術を行っている。4センチ以下の小径腎癌では開腹による腎部分切除を積極的に行っている。

転移性腎癌、尿路上皮癌に対する分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤を多く行っている。

前立腺肥大症の手術の HoLEP は多くの手術症例を経験している。出血量、手術時間、術後のカテーテル抜去時間に他の手術に比べ優位性がある。また術後の排尿状態は極めて良好で、失禁もほとんどなかった。

経尿道的尿管結石破碎術においては、細径の尿管鏡によるホルミウムヤグレーザーを用いて破碎している。硬性鏡だけでなく軟性尿管鏡も用いて腎結石の治療を行っている。手術時間の短縮および破碎率が向上した。破碎した結石も、器具で体外に取り出すようにしている。

診療実績

(1) 腹腔鏡下手術

腹腔鏡下副腎摘除術 6 例

腹腔鏡下腎摘除術 14 例

腹腔鏡下腎尿管全摘除術 10 例

ロボット補助下腹腔鏡下前立腺全摘除 27 例

(2) 開腹手術

根治的腎摘除術 10 例

腎部分切除術 5 例

腎尿管全摘除術 6 例

膀胱全摘除術 6 例

前立腺全摘除術 1 例

高位精巣摘除 3 例

陰嚢水腫根治術 5 例

(3) 内視鏡手術

TUR-Bt 128 例

TUR-P 0 例

PVP 0 例

HoLEP 36 例

ESWL 10 例

TUL 108 例

PNL 0 例

尿管ステント留置 519 例

次年度目標

前立腺のロボット手術の件数を増加させる。膀胱全摘にロボット手術を導入する。

尿管結石のレーザー手術を増加させる。PNL 手術を開始する。

腹腔鏡手術およびロボット手術の若手術者を指導する。

前立腺肥大症に対する、PVP 手術を再開する。

研究・教育活動

医学部 M4 授業

藤田和彦 尿路感染症、泌尿器救急、外傷

斎藤恵介 排尿障害・尿失禁・前立腺肥大症

保健看護学部 授業

中島晶子 泌尿器総論

中島晶子 泌尿器非腫瘍性疾患

中島晶子 泌尿器腫瘍性疾患

2021 年 業績

総説

停留精巣、精巣捻転症

藤田和彦

今日の治療指針 2021 p1241-1242

医学書院、東京

学会発表

1 AUA (American Urological Association) Annual meeting 2021

Extended versus limited pelvic lymph node dissection yields no differences in 3-year disease free rates

SEP 10-13, LAS VEGAS, USA

Poster presentation

Naoya Nagaya, Joshua Sterling, Kevin Chua, Isaac Yi Kim

2 SIU 2021 41st Annual Congress

Effect of Extended Pelvic Lymph Node Dissection on Identifying LN metastasis in Prostate Cancer

Poster presentation

NOV 10-14, DUBAI

Naoya Nagaya, Joshua Sterling, Kevin Chua, Shigeo Horie, Isaac Yi Kim

3 The 25th JFCR-ISCC

The United States of America-Japan drug lag in urological cancer treatment: the pre-approval use of Enfortumab vedotin for a third-line treatment of advanced bladder cancer in Japan

Oral presentation

DEC 8-9, TOKYO

Naoya Nagaya, Masayoshi Nagata, Shigeo Horie

4 当院における腎外傷の検討

三好悠斗ほか

109 回日本泌尿器科学会総会

5 伊豆半島前立腺癌フォーラム

中島晶子 演者

藤田和彦 座長

前立腺癌の早期発見に向けての取り組み

P S A 測定の意義と泌尿器科連携のタイミング

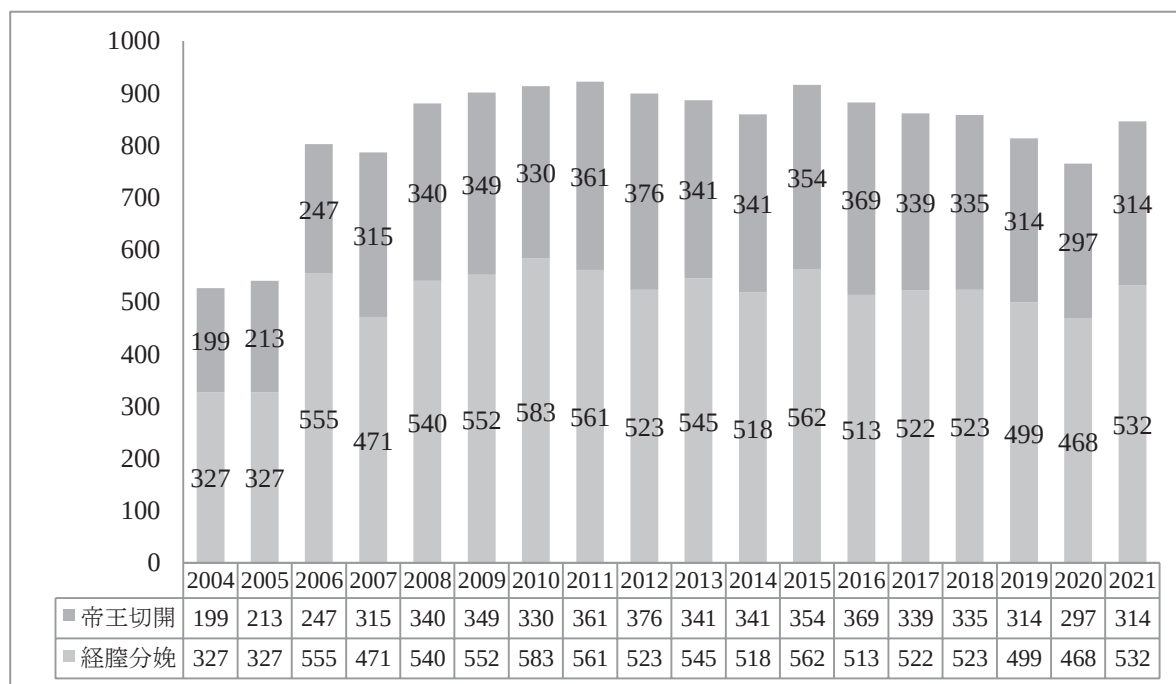
2-23 産婦人科・総合周産期母子医療センター

診療実績

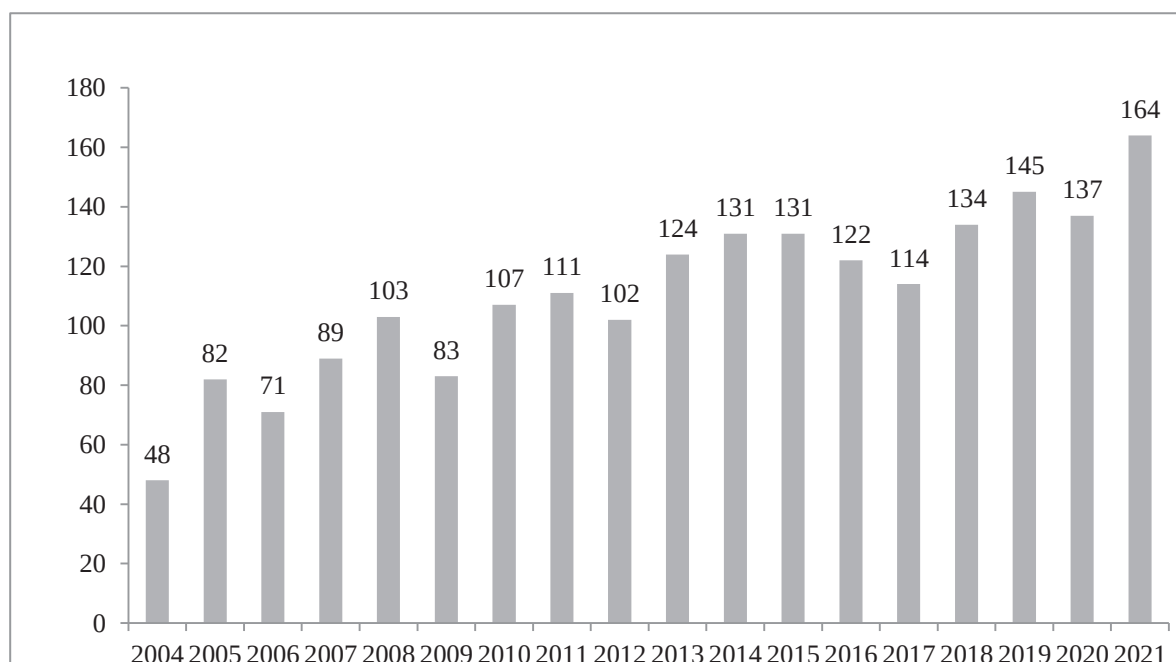
【手術件数】

		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
腹腔鏡	卵巣	59	65	83	79	80	90	100
	子宮	1	0	1	1	0	0	0
	子宮外妊娠	12	21	15	26	11	16	16
	その他	1	0	0	0	2	3	0
開腹手術	帝王切開術	354	369	334	330	314	297	314
	良性	199	309	341	265	229	172	141
	悪性	88	78	72	70	68	72	73
悪性手術内訳	子宮頸癌	20	15	5	12	6	7	11
	子宮体癌	39	36	39	32	29	26	27
	卵巣癌	20	25	23	25	28	37	29
	その他	9	2	5	1	5	2	6
腔式手術	円錐切除	16	36	34	30	30	24	41
	頸管縫縮術	13	14	16	21	8	3	14
	子宮脱根治術	5	13	9	9	6	7	9
	腔閉鎖術	14	24	10	9	4	1	5
	その他	9	8	13	8	9	13	20
合計		859	937	928	848	753	695	733

【分娩件数推移】



【母体搬送数推移】



研究活動

原著（英文）

1. Yanagawa Y, Tanaka T, Kaneda H, Omae T. Complete Maternal Recovery after Prolonged Cardiac Arrest Due to Atonic Postpartum Hemorrhaging. Emerg Trauma Shock., 2021; 14: 249-250

原著（和文）

1. 子宮仮性動脈瘤における治療戦略
瀬川将史, 田中里美, 牧野祐也, 加藤雅也, 伊藤早紀, 保田歩, 石田ゆり, 村瀬佳子, 矢田昌太郎, 金田容秀, 田中利隆
静岡産科婦人科学会雑誌, 2022; 11: 10-19

学会発表（国内）

1. Magnetic resonance imaging is useful for evaluating the bleeding risk of placenta previa accurately.
Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital
Kato Masaya, Tanaka Satomi, Segawa Masafumi, Makino Yuya, Kawata Misato, Ito Saki, Yasuda Ayumi, Ishida Yuri, Murase Yoshiko, Yata Shotaro, Kaneda Hiroshi, Tanaka Toshitaka.
第 73 回日本産科婦人科学会学術講演会, 新潟, 2021.4.22～25
2. Effectiveness of prenatal counseling for pregnant women with fetal trisomy 18.
Department of Obstetrics and Gynecology, Juntendo University Shizuoka Hospital
Makino Yuya, Tanaka Toshitaka, Kaneda Hiroshi, Tanaka Satomi, Yata Shotaro, Murase Yoshiko, Ishida Yuri, Yasuda Ayumi, Ito Saki, Kato Masaya, Kawata Misato, Segawa Masafumi.
第 73 回日本産科婦人科学会学術講演会, 新潟, 2021.4.22～25

3. 帝王切開後炎症反応高値で精査した結果発見された、卵巣静脈血栓症の1例。
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科
伊藤早紀, 田中利隆, 瀬川将史, 牧野祐也, 川田美里, 加藤雅也, 保田歩, 石田ゆり, 村瀬佳子, 田中里美, 金田容秀. 帝王切開後炎症反応高値で精査した結果発見された、卵巣静脈血栓症の1例.
第73回日本産科婦人科学会学術講演会, 新潟, 2021.4.22~25
4. 双胎妊娠における子宮収縮抑制薬と分娩時出血量の関連について
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科
秋葉純也, 田中里美, 菅原茉佑, 城戸優花, 符莉, 保田歩, 伊藤早紀, 村瀬佳子, 矢田昌太郎, 金田容秀, 田中利隆.
令和3年度静岡産婦人科学会春季学術集会, 静岡, 2021.5.30
5. Robson 分類を用いた当院帝王切開症例の適応と後方視的検討
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科
村瀬佳子, 田中利隆, 瀬川将史, 牧野祐也, 伊藤早紀, 加藤雅也, 保田歩, 石田ゆり, 田中里美, 矢田昌太郎, 金田容秀.
第141回関東連合産科婦人科学術集会, 東京, 2021.6.2
6. 妊娠中に高血糖及び多発胸腰椎骨折をきたし、分娩後に副腎性 Cushing 症候群の診断に至った一例
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科
瀬川将史, 矢田昌太郎, 牧野祐也, 保田歩, 伊藤早紀, 加藤雅也, 石田ゆり, 村瀬佳子, 田中里美, 金田容秀, 田中利隆.
第141回関東連合産科婦人科学術集会, 東京, 2021.6.2
7. 当院における妊娠34週未満に出生した胎児発育不全の検討
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科
田中里美, 瀬川将史, 牧野祐也, 加藤雅也, 伊藤早紀, 保田歩, 石田ゆり, 村瀬佳子, 矢田昌太郎, 金田容秀, 田中利隆.
第57回日本周産期・新生児医学会学術集会, 宮崎, 2021.7.11~13
8. 母体救急疾患の対応
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科
伊藤早紀, 菅原茉佑, 城戸優花, 符莉, 秋葉純也, 保田歩, 村瀬佳子, 田中里美, 金田容秀, 田中利隆.
母体救急疾患の対応.
第45回東部周産期研究会, Web 開催, 2021.7.15
9. 当院における出生前診断された13, 18トリソミーへの対応
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科
城戸優花, 田中利隆, 菅原茉佑, 笠原太郎, 秋葉純也, 保田歩, 村瀬佳子, 田中里美, 矢田昌太郎, 金田容秀.
第43回静岡県周産期新生児研究会. 静岡, 2021.10.2
10. 当院における無侵襲的出生前遺伝学的検査が母体血清マーカーおよび羊水検査に与えた影響
順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科
菅原茉佑, 村瀬佳子, 秋葉純也, 城戸優花, 笠原太郎, 保田歩, 矢田昌太郎, 田中里美, 金田容秀, 田中利隆.
令和3年度静岡産婦人科学会秋季学術集会, 静岡, 2021.11.14

11. 卵巣癌と Trousseau 症候群の関連因子についての検討

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

符莉, 矢田昌太郎, 菅原茉祐, 城戸優花, 秋葉純也, 保田歩, 伊藤早紀, 村瀬佳子, 田中里美, 金田容秀, 田中利隆.

第 142 回関東連合産科婦人科学術集会, 横浜, 2021.11.20~21

12. 見逃してはいけない産科疾患 (妊娠高血圧症候群)

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

村瀬佳子, 菅原茉祐, 城戸優花, 笠原太郎, 保田歩, 矢田昌太郎, 田中里美, 金田容秀, 田中利隆.

第 46 回東部周産期研究会, Web 開催, 2021.12.2

13. 産科から見た周産期感染症 (妊婦梅毒, サイトメガロウイルス, トキソプラズマ感染症)

順天堂大学医学部附属静岡病院 産婦人科

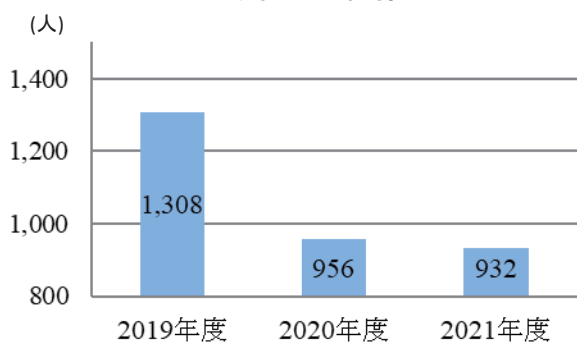
菅原茉祐, 城戸優花, 笠原太郎, 保田歩, 村瀬佳子, 矢田昌太郎, 田中里美, 金田容秀, 田中利隆.

第 47 回東部周産期研究会, Web 開催, 2022.2.24

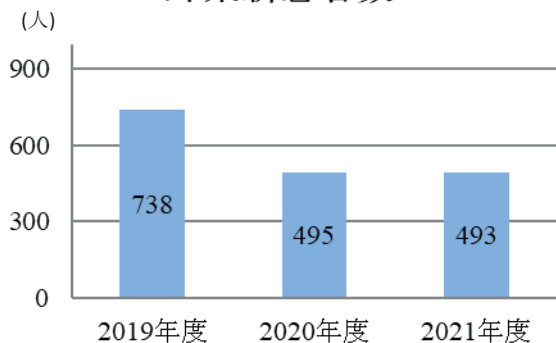
2-24 救急診療科

診療実績

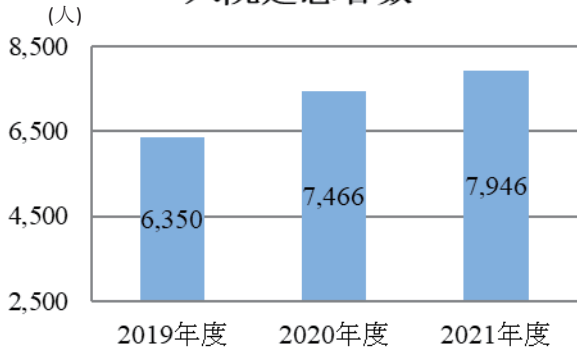
外来延患者数



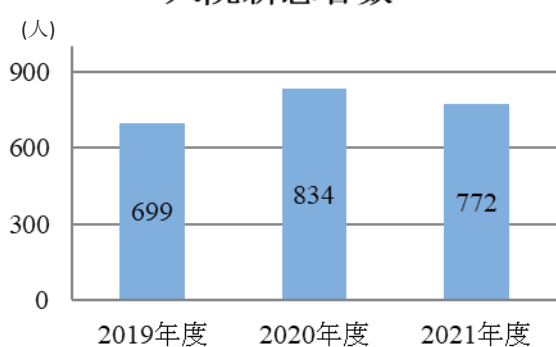
外来新患者数



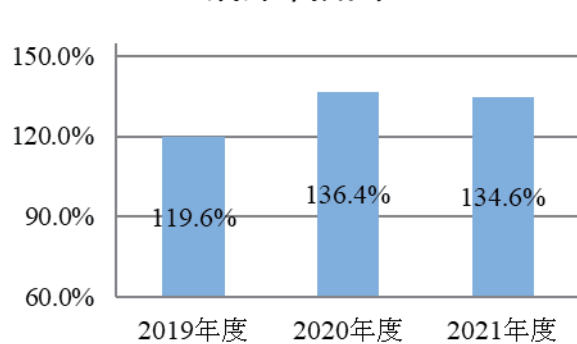
入院延患者数



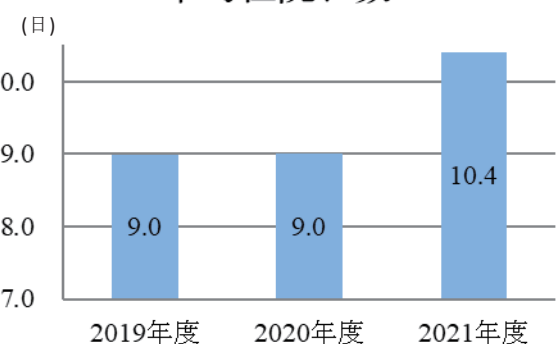
入院新患者数



病床利用率



平均在院日数



英文発表

1. Muramatsu KI, Ishikawa K, Komatsu A, Jitsuiki K, Yanagawa Y. Severe COVID-19 Pneumonia Treated by Intensive Immune Suppression Therapy With a Combination of Steroid Pulse and Tocilizumab Followed by a Tapering Dose of Steroid Therapy During the Delta (B.1.617.2) Variant Outbreak: A Successfully Treated Case. *Cureus*. 2021 Nov 7;13(11):e19340.
2. Yanagawa Y, Nagasawa H, Morishima K, Tada S, Katsumata T, Iida T, Sakurai M, Kato H, Nozawa Y, Nagasawa Y, Horii K, Ishibashi M, Jitsuiki K, Ohsaka H, Sato K. Activity of a Medical Relief Team from Shizuoka Hospital that was Dispatched to the Atami Debris Flow in 2021. *Juntendo Medical Journal* 2021; 67:542-546.
3. Tada S, Jitsuiki K, Ohsaka H, Yanagawa Y. Benefits and Drawbacks of Using Hotels as Shelters After a Landslide. *Disaster Med Public Health Prep*. 2021 Dec 10:1-4. doi: 10.1017/dmp.2021.335. Online ahead of print.
4. Yanagawa Y, Jitsuiki K, Ota S, Muramatsu KI, Kushida Y, Nagasawa H, Takeuchi I, Ohsaka H, Omori K, Ishikawa K. Significance of medical intervention for non-traumatic hemorrhagic cardiac tamponade. *Am J Emerg Med*. 2021 Dec;50:636-639. doi: 10.1016/j.ajem.2021.09.030. Epub 2021 Sep 24.
5. Ohsaka H, Jitsuiki K, Takahashi D, Yanagawa Y. Concurrence of Intracranial Hemorrhaging and Stanford Type A Acute Aortic Dissection. *J Emerg Trauma Shock*. 2021 Jul-Sep;14(3):191-192. doi: 10.4103/JETS.JETS_50_21. Epub 2021 Sep 30.
6. Ota S, Jitsuiki K, Muramatsu KI, Kushida Y, Nagasawa H, Ohsaka H, Omori K, Yanagawa Y. The utility of physician-staffed helicopters for managing individuals who experience severe isolated head trauma. *J Rural Med*. 2021 Oct;16(4):245-249. doi: 10.2185/jrm.2021-016. Epub 2021 Oct 1.
7. Takeuchi I, Shitara J, Yanagawa Y. A High-Echoic Layer Surrounding the Heart Suggesting Cardiac Tamponade by Clotting. *Aorta (Stamford)*. 2021 Jun;9(3):116-117. doi: 10.1055/s-0041-1729912. Epub 2021 Oct 12.
8. Takada R, Yanagawa Y, Takeuchi I. A Case of Splenic Injury Caused by a Blow from a Dolphin's Tail Fin. *Wilderness Environ Med*. 2021 Dec;32(4):557-559. doi: 10.1016/j.wem.2021.07.002. Epub 2021 Aug 19.
9. Yanagawa Y, Jitsuiki K, Kushida Y, Omori K. A Successful Outcome in a Case of Cardiac Arrest due to Drowning with Severe Acidosis. *J Emerg Trauma Shock*. 2021 Apr-Jun;14(2):118-119. doi: 10.4103/JETS.JETS_174_20. Epub 2021 Apr 27.
10. Nagasawa H, Shibahashi K, Omori K, Yanagawa Y. The effect of prehospital intravenous access in traumatic shock: a Japanese nationwide cohort study. *Acute Med Surg*. 2021 Jul 18;8(1):e681. doi: 10.1002/ams2.681. eCollection 2021 Jan-Dec.
11. Yanagawa Y. Current status of hyperbaric oxygen therapy for COVID-19. *Acute Med Surg*. 2021 Jul 8;8(1):e678. doi: 10.1002/ams2.678. eCollection 2021 Jan-Dec.
12. Hamada M, Nagasawa H, Muramatsu KI, Jitsuiki K, Yanagawa Y. Asymmetry of Edema Formation: The Possibility of a Somatic Mosaic. *Cureus*. 2021 May 30;13(5):e15335. doi: 10.7759/cureus.15335.

eCollection 2021 May.

13. Kiriya M, Jitsuiki K, Muramatsu KI, Furusawa H, Moriya S, Yanagawa Y. Posttraumatic Pancreatitis Four Days after Renal Injury with Massive Retroperitoneal Hematoma. *Case Rep Emerg Med.* 2021 May 7;2021:6693259. doi: 10.1155/2021/6693259. eCollection 2021.
14. Yanagawa Y, Murai Y, Kushida Y, Sakurada M. Transient Trabecular Formation in the Bladder and Delayed Free Air due to Traumatic Intraperitoneal Bladder Rupture. *Cureus.* 2021 Apr 16;13(4):e14520. doi: 10.7759/cureus.14520.
15. Ota S, Jitsuiki K, Muramatsu KI, Kushida Y, Nagasawa H, Yasuda K, Ohsaka H, Omori K, Yanagawa Y. Analysis of the dispatch of physician staffed-helicopters in the COVID-19 pandemic. *Am J Emerg Med.* 2021 May 11:S0735-6757(21)00401-0. doi: 10.1016/j.ajem.2021.05.018. Online ahead of print.
16. Nagasawa H, Omori K, Yanagawa Y. A case of median sacral artery avulsion injury by L4-5 lateral dislocation fracture. *Trauma Case Rep.* 2021 Apr 21;33:100484. doi: 10.1016/j.tcr.2021.100484. eCollection 2021 Jun.
17. Yanagawa Y, Nagasawa H, Jitsuiki K, Omori K. Successful Observational Management of a Patient with Blunt Abdominal Trauma with the Traumatic Vacuum Phenomenon. *J Emerg Trauma Shock.* 2021 Jan-Mar;14(1):58-60. doi: 10.4103/JETS.JETS_27_21. Epub 2021 Mar 23.
18. Yanagawa Y, Takeuchi I, Ishiyama J. Ultrasound in the diagnosis of acute-phase decompression sickness. *Radiol Case Rep.* 2021 Jan 9;16(3):698-700. doi: 10.1016/j.radcr.2021.01.004. eCollection 2021 Mar.
19. Jitsuiki K, Omori K, Muramatsu KI, Ikegami S, Kushida Y, Nagawasa H, Takeuchi I, Ohsaka H, Oode Y, Yanagawa Y. Experience Using a Forehead Continuous Deep Temperature Monitoring System During Air Evacuation. *Air Med J.* 2021 Jan-Feb;40(1):79-80. doi: 10.1016/j.amj.2020.10.006. Epub 2020 Nov 24.
20. Jitsuiki K, Kushida Y, Nishio R, Yanagawa Y. Gas in Joints After Diving: Computed Tomography May Be Useful for Diagnosing Decompression Sickness. *Wilderness Environ Med.* 2021 Mar;32(1):70-73. doi: 10.1016/j.wem.2020.09.006. Epub 2020 Dec 10.
21. Kushida Y, Jitsuiki K, Muramatsu KI, Ikegami S, Nagasawa H, Takeuchi I, Ohsaka H, Oode Y, Omori K, Yanagawa Y. A comparison of physician-staffed helicopters and ground ambulances transport for the outcome of severe thoracic trauma patients. *Am J Emerg Med.* 2021 Jul;45:358-360. doi: 10.1016/j.ajem.2020.08.088. Epub 2020 Sep 16.
22. Muramatsu KI, Omori K, Kushida Y, Nagasawa H, Takeuchi I, Jitsuiki K, Shitara J, Ohsaka H, Oode Y, Yanagawa Y. An analysis of patients with acute aortic dissection who were transported by physician-staffed helicopter. *Am J Emerg Med.* 2021 Jun;44:330-332. doi: 10.1016/j.ajem.2020.04.034. Epub 2020 Apr 15.
23. Yanagawa Y, Takeuchi I, Ishiyama J. Ultrasound in the diagnosis of acute-phase decompression sickness. *Radiol Case Rep.* 2021 Jan 9;16(3):698-700. doi: 10.1016/j.radcr.2021.01.004.
24. Yanagawa Y, Ohsaka H, Jitsuiki K. An Analysis of Media Resources during Typhoon Hagibis. *Am J Public Heal Res.* 2021, 9(2), 63-70.
25. Takeuchi I, Jitsuiki K, Yanagawa Y. Favorable Course after a Second Infusion of Antivenin Using Premedication. *Am J Med Case Reports.* 2021, 9(2), 137-139.
26. Suzuki H, Yanagawa Y. A Case of Sepsis and Acute Kidney Injury Caused by Uterine Prolapse. *Am J Med Case Reports.* 2021, 9(2), 92-94.
27. Goto C, Watanabe A, Yanagawa Y. Acute Subdural Hematoma with Negative Fibrin/Fibrinogen Degradation

Product Findings. Am J Med Case Reports. 2021, 9(1), 22-23.

28. Kawai K, Nagasawa H, Yanagawa Y. Usefulness of Ultrasound for Differentiating between Decompression Sickness and Drowning in the Emergency Room. Am J Med Case Reports. 2022, 10(1), 7-9.
29. Ueno H, Yanagawa Y. Trousseau's Syndrome Caused by Bladder Cancer. Am J Med Case Reports. 2021, 9(12), 722-724.
30. Ohsaka H, Jitsuiki K, Nagasawa H, Yanagawa Y. Amputation of the Bilateral Legs due to the Lower Limbs Continuously Hanging Upside down after Becoming Trapped in a Chest of Drawers. Am J Med Case Reports. 2021, 9(11), 540-543.
31. Muramatsu K, Jitsuiki K, Furusawa H, Nagasawa H, Ohsaka H, Yanagawa Y. Cushing Syndrome Complicated by Multiple Pathological Spinal Fractures and Posterior Reversible Encephalopathy Syndrome in the Post-delivery Phase. Am J Med Case Reports. 2021, 9(10), 502-506.
32. Muramatsu K, Nagasawa H, Ota S, Jitsuiki K, Ohsaka H, Yanagawa Y. Fatal Case of Dysphagia Induced by Neurofibromatosis Type II. Am J Med Case Reports. 2021, 9(10), 507-508.
33. Takada A, Jitsuiki K, Muramatsu K, Yanagawa Y. A Fatal Fulminant Legionella Pneumonia in Which CT Findings Had Been Negative the Previous Day. Am J Med Case Reports. 2021, 9(9), 464-466.
34. Matsuda H, Jitsuiki K, Muramatsu K, Nagasawa H, Takeuchi I, Yanagawa Y. Hypoparathyroidism with Cartwheel-like Change in Thoracic Vertebral Body. Am J Med Case Reports. 2021, 9(8), 386-388.
35. Hamada M, Jitsuiki K, Ikegami S, Ohsaka H, Yanagawa Y. Acute Respiratory Distress Syndrome Induced by COVID-19 successfully Treated by Multidisciplinary Treatment Including Steroid Pulse Therapy. Am J Med Case Reports. 2021, 9(6), 331-334.

和文発表

1. 柳川 洋一. 血管確保に関するブラインド手技 My experience による鎖骨下静脈穿刺方法.救急医学 2021;45:620-625.
2. 石川浩平、胸部外傷合併症 -膿胸、肋骨骨折端に伴う大動脈損傷-. 救急医学 2021;45:13: 1885-1894.
3. 柳川洋一. コロナ禍の救急診療. 青山学院高等部同窓会誌 2021;80:6.
4. 柳川洋一. コロナ物語. 防衛医科大学校同窓会誌 2021;63

学会発表

1. 村松賢一, 日域佳、池上さや, 長澤宏樹, 串田好宏, 竹内郁人, 大坂裕通, 大出靖将, 大森一彦, 柳川洋一: 出産後に posterior reversible encephalopathy syndrome を合併し、クッシング症候群の存在が明らかとなった一例. 第 26 回日本脳神経外科救急学会 名古屋 2021 年 2 月 5 日.
2. 渡邊碧音, 渡邊瑞也, 堀越恒, 新井晶, 北村高之, 中尾保秋, 山本拓史、竹内郁人、柳川洋一:水中毒により pseudosubarachnoid hemorrhage を呈した 1 例. 第 26 回日本脳神経外科救急学会 名古屋 2021 年 2 月 5 日.

3. 柳川洋一、間所俊介、村松賢一、串田好宏、長澤宏樹、池上さや、竹内郁人、大坂裕通、日域佳、大森一彦、大出靖将. ダメージコントロールを行った胸部外傷が、術後に膿胸、気腫性胃炎、気腫性膀胱炎を合併した一例. 第 48 回日本集中治療医学会学術集会. Web 2021 年 2 月 12-14 日
4. 石川浩平、岡本健、田中裕. 気管切開孔閉鎖後、遅発性声門下狭窄に伴う気道緊急を来した 1 例. 第 48 回日本集中治療医学会学術集会. Web 2021 年 2 月 12-14 日
5. 大坂裕通, 柳川洋一: 台風 19 号の浸水被害に対して情報収集活動した DMAT の活動から上がった問題点. 第 26 回日本災害医学会総会・学術集会 Web 2021 年 3 月 15-17 日
6. 柳川洋一、村松賢一、串田好宏、長澤宏樹、池上さや、竹内郁人、日域佳、大坂裕通、大出靖将、大森一彦、村井勇太*, 櫻田睦. Non-tuberculosis cold abscess. Presented by English. 第 12 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 Web 2021 年 5 月 21-23 日
7. 串田 好宏, 村松 賢一, 高橋 大悟, 長澤 宏樹, 池上 さや, 日域 佳, 大坂 裕通, 大森 一彦, 大出靖将, 柳川 洋一. 重症胸部外傷における、ヘリ搬送及び救急車搬送の比較. 第 35 回 日本外傷学会総会・学術集会 Web 2021 年 5 月 27-28 日 日本外傷学会雑誌 2021;35:158.
8. 柳川洋一 COVID-19 に対する高気圧酸素治療に関する文献的考察. 第 20 回日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会学術集会 蒲田 2021 年 6 月 26 日
9. 竹内郁人 超音波診断が減圧症診断に有用だった一例. 第 20 回日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会学術集会 蒲田 2021 年 6 月 26 日
10. 柳川 洋一、日域 佳、村松 賢一、長澤 宏樹、大坂 裕通、石川 浩平. COVID-19 流行時の減圧症患者へのドクターヘリ対応. 第 55 回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会 沖縄 2021 年 10 月 15-16 日
11. 鬼塚 味佳、多田 真也、柳川 洋一. ダイビング事故チェックリストの運用における問題点. 第 55 回日本高気圧環境・潜水医学会学術総会 沖縄 2021 年 10 月 15-16 日
12. 柳川洋一、太田宗一郎、村松賢一、串田好宏、長澤宏樹、竹内郁人、大坂裕通、日域佳、石川浩平. 静岡県東部ドクターヘリは日本の安全保障に間接的に貢献している. 第 28 回日本航空医療学会総会 熊本 2021 年 11 月 19-20 日
13. 大坂裕通 村松賢一 長澤宏樹 日域佳 石川浩平 柳川洋一. 静岡県東部ドクターヘリ運航のコロナ禍における変化の考察. 第 28 回日本航空医療学会総会 熊本 2021 年 11 月 19-20 日
14. 石川浩平 長澤宏樹 村松賢一 大坂裕通 柳川洋一. 出血性ショックに対する病院前赤血球輸血投与の有効性の検討. 第 28 回日本航空医療学会総会 熊本 2021 年 11 月 19-20 日
15. 長澤宏樹 村松賢一 大坂裕通 石川浩平 柳川洋一 当院における病院前輸血の報告. 第 28 回日本航空医療学会総会 熊本 2021 年 11 月 19-20 日
16. 石川浩平、太田宗一郎、村松賢一、串田好宏、長澤宏樹、日域佳、大坂裕通、柳川洋一. 止血に難渋した肝損傷Ⅲb に胆汁漏を併発し ENBD チューブ長期留置となった一例. 第 49 回日本救急医学会総会・学術集会 東京 2021 年 11 月 21-23 日
17. 柳川洋一、太田宗一郎、村松賢一、串田好宏、長澤宏樹、竹内郁人、日域佳、大坂裕通、大森一彦. Multiple boards を保有して、救急診療に当たる意義. 第 49 回日本救急医学会総会・学術集会 東京 2021 年 11 月 21-23 日
18. 大坂裕通、串田好宏 太田宗一郎 村松賢一 長澤宏樹 日域佳 石川浩平 大森一彦 和田了 柳川洋一. 炎症性筋線維芽細胞性腫瘍により、急死した一例. 第 49 回日本救急医学会総会・学術集会 東京 2021 年 11 月 21-23 日

19. 村松賢一、柳川洋一. ドクターヘリで搬送した大動脈解離の検討. 第 49 回日本救急医学会総会・学術集会 東京 2021 年 11 月 21-23 日
20. 濱田通果、柳川洋一. Somatic mosaic の可能性がある非対称的な浮腫性変化のあった一例. 第 49 回日本救急医学会総会・学術集会 東京 2021 年 11 月 21-23 日
21. 太田 宗一郎、石川 浩平、村松 賢一、串田 好宏、長澤 宏樹、竹内 郁人、日域 佳、園田 健人、大坂 裕通、柳川 洋一. 病院前診療から集学的治療まで一貫した連鎖により救命し得た外傷性出血性ショックの一例. 第 24 回日本救急医学会 中部地方会 総会・学術集会 Web 2021 年 12 月 4 日
22. 柳川 洋一、太田 宗一郎、村松 賢一、串田 好宏、長澤 宏樹、竹内 郁人、日域 佳、大坂 裕通、石川 浩平. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技静岡会場の venue medical officer の事前準備の紹介. 第 24 回日本救急医学会 中部地方会 総会・学術集会 Web 2021 年 12 月 4 日
23. 石川浩平. 4tトラックに轢過された開放性骨盤骨折の 1 例 静岡県東部ドクターヘリ事後検証会. 伊豆の国市 2021 年 11 月 29 日

講演

1. 柳川洋一. 東海地区 COVID-19 を考える. Web 2021 年 3 月 18 日
2. 柳川洋一. アナフィラキシーショック. 田方医師会 2021 年 3 月 25 日
3. 柳川洋一. オリンピック・パラリンピックのマウンテンバイクとトラック競技時のコロナ予防対応を含めた医療提供の実際と熱海土石流災害対応に関して. 御殿場医師会 2021 年 11 月 15 日

テレビ放映

1. 柳川洋一. コロナで一変した世界で-開幕まで半年開幕まで半年 オリンピックは. NHK News 7. 2021 年 1 月 24 日
2. 柳川洋一. 静岡県東部の医療状況とオリンピック. NHK 静岡. 2021 年 1 月 25 日
3. 柳川洋一. 静岡県東部の医療状況とオリンピック. テレビ朝日「サタデーステーション」. 2021 年 7 月 17 日
4. 柳川洋一. 新型コロナ禍で開催されるオリンピック.TBS 「あさチャン」2021 年 7 月 21 日

マスコミ取材

1. ロイター 柳川洋一. Olympics-Venue medical officers want no spectators amid COVID-19 fears. ロイター記事. 2021 年 6 月 20 日
<https://www.reuters.com/article/us-olympics-2020-medics-idAFKCN2DW04C?fbclid=IwAR1AWQbVkJFajyfOrkLeOHWTgdJgO0luPuVwm8a-18O0DPID9of21IFCcGdw>

2. ロイター 柳川 洋一. Japanese medics welcome bar on spectators but warn risks remain.
ロイター 記事 . 2021 年 7 月 9 日
<https://www.reuters.com/lifestyle/sports/japanese-medics-welcome-bar-spectators-warn-risks-remain-2021-07-08/>
3. 柳川洋一. クラスターや熱中症……、夏の繁忙期と重なる苦労も - 柳川洋一・東京五輪・パラリンピック自転車競技 VMO に聞く. M3.com 2021 年 7 月 <https://www.m3.com/news/iryoishin/940009>
4. 柳川洋一. 東京五輪、医療体制も臨戦 観客入れ開催の静岡県内. 静岡新聞. 2021 7 月 21 日
<https://www.at-s.com/sp/news/article/shizuoka/932416.html>
5. 柳川洋一. 順天堂大教授、感染拡大を懸念 「パラ無観客望ましい」. 中日新聞. 2021 年 8 月 12 日 <https://www.chunichi.co.jp/amp/article/309461>

社会貢献

1. 柳川洋一. コロナクラスター発生施設支援. 伊豆の国市. 令和 3 年 2 月
2. 柳川洋一、大坂裕通、日域佳、長澤宏樹. 熱海土砂災害派遣. 令和 3 年 7 月 4 日 - 17 日.
3. 柳川洋一. 東京オリンピック 2020 自転車競技会場テストイベント. ベロドローム. 4 月 25 日
4. 太田宗一郎、村松賢一、串田好宏、長澤宏樹、竹内郁人、大坂裕通、日域佳、石川浩平、柳川洋一.
東京オリンピック 2020 静岡県自転車競技会場並びに選手村派遣. 令和 3 年 7 月 13 日 - 8 月 30 日
5. 柳川洋一. 令和 3 年度中部ブロック DMAT 技能維持研修講師. Web 12 月 13 日

2-25 病理診断科

診療実績

2021 年度

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)

組織診断：6822 例

細胞診断：8653 例

病理解剖断：4 例

研究・教育活動

【英文原著】

1. Kusunoki T, Homma H, Kidokoro Y, Yoshikawa A, Tanaka K, Kubo S, Wada R, Ikeda K :
A Case of Nasopharyngeal Tuberculosis with Cervical Lymph Node Tuberculosis Suspected
of Cervical Malignant Disease at the First Examination. Clin Pract. 2021 : 21.
2. Ogawa T, Ogaki K, Daida K, Nishimaki T, Ando M, Kawajiri S, Wada R, Noda K,
Hattori N, Okuma Y : Progressive encephalomyelitis with rigidity and myoclonus
and myasthenia gravis comorbid status with thymoma.
Movement Disorders Clinical Practice, 2021.
3. Kusunoki, T, Homma H, Kidokoro Y, Yoshikawa A, Tanaka K, Kubo S, Wada R :
Mediastinum Lymph Node Metastasis with Superior Vena Cava Syndrome.
Journal of Clinical Case Studies (Open Access). 6, 2021.
4. Kusunoki T, Wada R : Thyroid Follicular Adenoma with Tracheal Stenosis.
J Clin Case Stu 6(4), 2021.
5. Shimizu Y, Wakabayashi K, Iwasaki H, Kishida C, Seki S, Okuma T, Iwakami N,
Iwasawa T, Maekawa H, Tomino Y, Wada R, Suzuki Y : Immunotactoid Glomerulopathy
with Nontuberculous Mycobacterial Infection: A Novel Association.
Case Rep Nephrol Dial 11:136–46, 2021.

【和文総説】

1. 八尾隆史、和田 了、岡野 莊：内視鏡的粘膜切除が確定診断に有用な消化管疾患の病理学的特徴.
消化器内科 3:57-63, 2021

【和文著書】

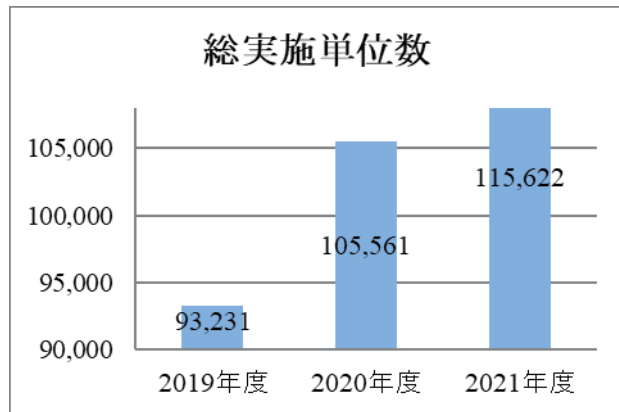
1. 和田 了：転移性腫瘍. 腫瘍病理鑑別アトラス, 大腸癌第 2 版. 文光堂, 東京, p204-207, 2021

【講演 (主なもの) 】

1. 和田 了：日常的病理診断業務を起点とした研究結果から導かれた大腸癌発生仮説－Paneth 細胞含有型・大腸腺腫の臨床病理学的解析から－（順天堂大学退職記念講演）2021.3.31（東京都）

2-26 リハビリテーション科

業務実績



研究・教育活動

論文

1. Ishiwatari M, Honaga K, Tanuma A, Takakura T, Hatori K, Kurosu A, Fujiwara T: Trunk Impairment as a Predictor of Activities of Daily Living in Acute Stroke. *Front Neurol* 12: doi: 10.3389/fneur.2021.665592, 2021.
2. Yonenaga Y, Naito T, Okayama T, Kitagawa M, Mitsunashi N, Ishii T, Fuseya H, Inano T, Morikawa A, Sugiyama M, Mori K, Notsu A, Kawabata T, Ono A, Kenmotsu H, Murakami H, Tanuma A, Takahashi T: Impact of Physical Inactivity on the Risk of Disability and Hospitalization in Older Patients with Advanced Lung Cancer. *J Multidiscip Healthc* 14: 1521-1532, 2021.
3. Fukushima T, Tsuji T, Watanabe N, Sakurai T, Matsuoka A, Kojima K, Yahiro S, Oki M, Okita Y, Yokota S, Nakano J, Sugihara S, Sato H, Kawakami J, Kagaya H, Tanuma A, Sekine R, Mori K, Zenda S, Kawai A: The current status of inpatient cancer rehabilitation provided by designated cancer hospitals in Japan. *Jpn J Clin Oncol* 51(7): 1094-1099, 2021.
4. Tatematsu N, Naito T, Okayama T, Tsuji T, Iwamura A, Tanuma A, Mitsunaga S, Miura S, Omae K, Mori K, Takayama K: Development of home-based resistance training for older patients with advanced cancer: The exercise component of the nutrition and exercise treatment for advanced cancer program. *J Geriatr Oncol* 12(6): 952-955, 2021.
5. Okayama T, Naito T, Yonenaga Y, Ohashi T, Kitagawa M, Mitsunashi N, Ishi T, Fuseya H, Aoyama T, Notsu A, Mori K, Mamesaya N, Kawamura T, Kobayashi H, Omori S, Wakuda K, Ono A, Kenmotsu H, Murakami H, Tanuma A, Takahashi T: Clinical impact of walking capacity on the risk of disability and hospitalizations among elderly patients with advanced lung cancer. *Support Care Cancer* 29(7): 3961-3970, 2021.
6. Fukushima T, Tsuji T, Watanabe N, Sakurai T, St AM, St KK, Yahiro S, Oki M, Okita Y, Yokota S, Nakano J, Sugihara S, Sato H, Kawakami J, Kagaya H, Tanuma A, Sekine R, Mori K, Zenda S, Kawai A: Cancer rehabilitation provided by designated cancer hospitals in Japan: The current state of outpatient setting and coordination after discharge. *Prog Rehabil Med*: doi: 10.2490/prm.20220006, 2022.

7. Ueda S, Aoki H, Yasuda Y, Nishiyama A, Hayashi Y, Honaga K, Tanuma A, Takakura T, Kurosu A, Hatori K, Hayashi A, Fujiwara T: The MMT of elbow flexion and the AFE predict impairment and disability at 3 weeks in patients with acute stroke. Front Neurol: doi: 10.3389/fneur.2022.831800, 2022.

著書

1. 田沼明：脳腫瘍 1.脳腫瘍の特徴・診療・リハビリテーション診療の概要. 辻哲也（編），がんのリハビリテーションマニュアル 周術期から緩和ケアまで 第2版, pp40-44, 医学書院, 2021.
2. 米永悠祐, 田尻寿子, 田沼明：脳腫瘍 2.リハビリテーションアプローチ 1.運動障害. 辻哲也（編），がんのリハビリテーションマニュアル 周術期から緩和ケアまで 第2版, pp45-52, 医学書院, 2021.
3. 安藤牧子, 田沼明：脳腫瘍 2.リハビリテーションアプローチ 2.高次脳機能障害. 辻哲也（編），がんのリハビリテーションマニュアル 周術期から緩和ケアまで 第2版, pp53-58, 医学書院, 2021.
4. 安藤牧子, 田沼明：脳腫瘍 2.リハビリテーションアプローチ 3.摂食嚥下障害. 辻哲也（編），がんのリハビリテーションマニュアル 周術期から緩和ケアまで 第2版, pp59-61, 医学書院, 2021.
5. 米永悠祐, 田尻寿子, 田沼明：脳腫瘍ケース紹介. 辻哲也（編），がんのリハビリテーションマニュアル 周術期から緩和ケアまで 第2版, pp62-63, 医学書院, 2021.
6. 上野順也, 田沼明：肺がん 2.リハビリテーションアプローチ. 辻哲也（編），がんのリハビリテーションマニュアル 周術期から緩和ケアまで 第2版, pp113-118, 医学書院, 2021.
7. 田沼明：原発性骨・軟部腫瘍, 脊髄腫瘍の特徴・診療・リハビリテーション診療の概要. 辻哲也（編），がんのリハビリテーションマニュアル 周術期から緩和ケアまで 第2版, pp190-192, 医学書院, 2021.

翻訳

1. 田沼明, 辻哲也：身体活動. 高橋都, 佐々木治一郎, 久村和穂（監訳），がんサバイバーシップ学, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2021, pp275-293.

講演

1. 渡邊大輔：SURUGA-Care-Study からみえてきた心不全患者のリハビリテーションの実態と課題. 第24回静岡県理学療法士学会, web, 2021/5/22-23
2. 田沼明：がんのリハビリテーション医療. 日本リハビリテーション医学会中部・東海地方会第7回若手医師のためのリハビリセミナー, web, 2021/8/28
3. 小林敦郎：投球障害におけるフィールドワークの重要性—訪問事業を中心に—. 第18回日本肩の運動機能研究会, 名古屋, 2021/10/29-30
4. 小林敦郎：スポーツ理学療法の可能性. 第37回東海北陸理学療法学会大会, web, 2021/10/30-31
5. 田沼明：副神経障害. 第5回日本リハビリテーション医学会学術集会, 名古屋, 2021/11/12-14

学会発表

1. 鳥屋優太, 渡邊大輔, 河原一剛, 阿妻伸幸, 宮下春紀, 塩澤知之：心不全パスの導入は早期歩行開始に有効か. 第24回静岡県理学療法士学会, web, 2021/5/22-23
2. 石井啓太：致死的な低酸素血症に対しMI-Eを使用した呼吸リハビリテーションで呼吸状態の維持とQuality of Deathに寄与できた多系統萎縮症の1例. 第24回静岡県理学療法士学会, web, 2021/5/22-23
3. 阿妻伸幸, 宮下春紀, 河原一剛, 鳥屋優太, 渡邊大輔：ICU患者における早期リハ開始時の血清アルブミンが歩行獲得率に与える影響. 第24回静岡県理学療法士学会, web, 2021/5/22-23
4. 山田凌平, 宮下春紀, 阿妻伸幸, 河原一剛, 鳥屋優太, 渡邊大輔：METsを指標とした運動処方が運

動機能維持に有効であった拡張型心筋症の一症例. 第 24 回静岡県理学療法士学会, web, 2021/5/22-23

5. 小林敦郎, 渡邊嘉也, 井上純爾, 田沼明, 寺門厚彦, 大林治: トップパラサイクリストにおけるペダリング動作時の筋電図学的解析. 第 58 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 京都, 2021/6/10-13
6. 海東健太, 田沼明: 高位気管切開による影響が考えられた不顕性誤嚥の 1 例. 第 26・27 合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 名古屋, 2021/8/19-8/21
7. 山田凌平, 石井啓太, 星野泰延, 野田和幸, 田沼明: Stiff person syndrome に対する理学療法経験~症状増悪期からの介入が ADL 向上に有用であった 1 例~. 第 37 回東海北陸理学療法学術大会, web, 2021/10/30-31
8. 田沼明: 骨盤転移を有する子宮体癌患者の自宅復帰に向けてリハビリテーションを施行した 1 症例 (症例検討). 第 50 回日本リハビリテーション医学会中部・東海地方会, web, 2022/1/22
9. 海東健太, 田沼明: 頸椎前方固定術後に嚥下困難感を訴えた 3 例に対する言語聴覚士の関わり-PVST の腫脹に着目して-. 第 45 回日本嚥下医学会総会学術集会, 福岡, 2022/2/24-2/25
10. 八木陸人, 河原一剛, 鳥屋優太, 若林啓一, 清水芳男: 透析導入期におけるバランス練習が ADL 改善に繋がった糖尿病性腎臓病の一症例. 第 12 回腎臓リハビリテーション学会学術集会, 岡山, 2022/3/26-27

2-27 臨床検査科

(特任教授 田内一民)

診療実績

1. 日本医師会精度管理調査での点数 96.0 点、
2. 静岡県医師会精度管理調査は全て A ランクで問題点なし。
3. 日臨技精度管理調査では 99.6 点、全て (A) 評価で問題点なし。
4. 臨床検査技師を対象に勉強会「知得会」を開催 (第 75～82 回)。
5. 院内の検査データの意義、検査結果の考え方について作成した検査説明パンフレット「検査結果の見方・考え方」を改訂 (2021. 3 改訂版)。採血室・受付等に配布。
6. ALP、LD 測定法変更 (IFCC 法)。3 か月併記後 2021. 1 より変更。

研究・教育活動

1. 第 38 回 (2021 年度) 静岡県臨床検査精度管理調査報告書、2021.10
2. 日本総合健診医学会第 49 年次 (2021 年度) 臨床検査精度管理報告書、2022.3
3. 日本総合健診医学会施設調査票集計結果報告 (2020 年度)、日本総合健診医学会誌 48 (6) 2021 549～574
4. 優良施設認定の現状、日本総合健診医学会誌 48 (5) 2021 441
5. 優良施設認定実査概況と実施施設の実地審査に対するアンケート結果報告、日本総合健診医学会誌 48 (6) 2021 540
6. 順天堂大学医学部附属病院における新型コロナウイルス PCR 検査の体制整備と検査状況、日本臨床検査医学会誌 69 (6) 2021 415～419
7. 尿検査、健診・人間ドックハンドブック (改訂 7 版) 中外医学社、森正樹・門脇孝編、150～164、2022.2

3. 部門報告

3-1 薬剤科

業務実績

薬剤師：34名うちGCPセンター（調剤業務兼務）に3名、薬剤管理指導業務担当8名、手術室業務1名、注射薬払い出しおよび無菌製剤業務1名、外来および入院調剤業務18名、外来・入院化学療法2名、医薬品情報室1名にて業務をおこなっている。（2022年3月31日現在）

1. 業務内容

- | | |
|------------|--|
| ① 調剤 | 外来・入院調剤 |
| ② 製剤 | 約束処方・院内特殊製剤 |
| ③ 注射薬の取り揃え | 入院一般注射薬・化学療法用注射薬（外来・入院とも） |
| ④ 注射薬の無菌製剤 | 中心静脈栄養・化学療法（外来・入院とも） |
| ⑤ 薬品管理 | 薬品発注・在庫管理・麻薬管理 |
| ⑥ 医薬品情報提供 | 院内医薬品集(昨年度より電子化)の発行・新規採用薬中止薬の案内・副作用情報等の収集・提供 |
| ⑦ 薬剤管理指導業務 | 科ごとに薬剤師を担当させているが、ICU・CCUは持参薬管理のみ
ブレイバイド報告 |
| ⑧ 手術室業務 | 麻酔薬の準備・使用後の確認など麻酔科医業務支援および麻薬管理 |
| ⑨ その他 | 学会発表など |

1. 調剤業務

処方内容については、調剤監査システムにて相互作用、重複投与等のチェックを行った後処方せんを発行し調剤を実施している。外来および退院処方については「薬剤情報提供書（あなたのおくすり）」を添付して患者への医薬品情報提供を実施している。合わせて、お薬手帳用薬剤一覧も毎回発行・配布している。外来処方せんは院内にて調剤を行い、院外処方せんについては希望者のみとしている。本年度から調剤室内のレイアウトと調剤方法を変更し待ち時間短縮を図っている。

● 2021年度調剤業務（処方せん枚数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外来	25,889	23,850	25,916	26,405	25,997	26,351	26,635	20,061	27,562	25,556	24,362	29,085
入院	13,620	13,387	13,265	13,688	13,909	13,227	14,026	13,906	14,159	13,738	12,172	13,980
合計	39,509	37,237	39,181	40,093	39,906	39,578	40,661	39,967	41,721	39,294	36,534	40,065
院外	943	880	940	1,025	1,029	1,047	1,050	1,061	1,070	1,048	1,024	1,214

2. 製剤

院内製剤は点眼薬、点鼻薬、点耳薬、軟膏、処置薬などを調製している無菌的な操作の必要なものはクリーンベンチ内で調製している。

3. 注射薬の取り揃え

入院一般注射薬：前日までにオーダーされている注射薬を個人別にセットし、専用カートにて各病棟に払い出す。金曜日は土曜日・日曜日分を、土曜日は月曜日分のセットをしている。

●2021 年度注射薬処方箋枚数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
外来	2,652	2,670	2,768	2,968	2,883	2,799	3,019	2,878	3,011	2,891	2,512	2,821
入院	18,971	19,120	18,282	17,971	18,905	17,632	20,185	19,489	21,453	20,503	17,917	20,516

4. 注射薬の無菌製剤

外来・入院化学療法：前日までにオーダーされている外来化学療法の注射薬を個人別にセットし、担当者がレジメン内容の監査を行なう。

実施日当日は治療続行の指示に従って、がん治療センターの安全キャビネット内で直前に混注業務を行っている。中心静脈栄養（IVH）：当日 13:00 まで（土曜及び休日は 8:00）にオーダーされたものを、クリーンベンチ内で調製し病棟に払い出している

●2021 年度無菌製剤件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
外来化学療法	694	629	699	741	634	583	545	507	473	516	471	541
入院化学療法	196	146	152	160	166	127	159	172	130	155	169	188
IVH	45	66	45	50	78	53	64	82	49	67	77	93

5. 薬品管理

採用薬は 2022 年 3 月 31 日時点で内服薬：947 品目・注射薬：513 品目、合計 1,460 品目である。

6. 医薬品情報提供業務

医薬品の安全かつ、適正使用のための情報収集および情報提供を実施。

院内医薬品集(電子版)の作成（毎月更新）・新規採用薬、採用中止薬、包装・剤形変更の情報は薬剤科からのお知らせにて院内配布（電子版も併せ）。

7. 薬剤管理指導業務

内科、外科、脳外科、産婦人科、眼科、耳鼻科、整形外科、泌尿器科、神経内科、呼吸器外科、形成外科及び皮膚科に、科ごとに配置している。持参薬の検索、服薬指導、薬歴から相互作用、併用禁忌などの薬学的管理を行なっている。2021 年 7 月より新たに皮膚科を開始している。

医療安全対策のひとつとしてプリアボイド報告（薬学的ケアの実施によって、

副作用・相互作用・治療効果不十分などを回避あるいは軽減した事例の報告）を行っており 2021 年度は 1,481 件（前年比 89.4%）の報告を行った。

●2021 年度薬剤管理指導算定件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
算定件数	1, 110	1, 057	1, 125	1, 176	1, 176	1, 276	1, 220	1, 197	1, 145	1, 115	912	1, 202

8. その他

論文

DRd 療法におけるダラツムマブ投与時間短縮の安全性の検討

高橋 直也(順天堂大学医学部附属静岡病院 薬剤科),

植松 卓也, 磯 知輝, 南雲 昭人, 菊地 麻里, 小池 道明

日本病院薬剤師会雑誌(1341-8815)57 巻 9 号 Page952-958(2021.09)

2022 年度の目標

- ① 研究活動の充実と臨床スキル（薬学的管理）の向上
6 病院合同研究会の開催 人事交流によるキャリアパスの取得など。
- ② 改正薬剤師法に準拠した医薬品適正使用および医療安全への貢献（継続）
- ③ 業務の効率化や安全性重視のためのロボット化・AI の導入。（継続）
- ④ 薬学部開設および増床に向けた体制づくり

3-2 栄養科

業務実績

(1) 栄養管理業務

- ① 医師の指示のもとに、外来患者および入院患者への栄養食事指導を実施した。
糖尿病の教育入院(2週間)が毎週定期的にあり、入院中には患者に寄り添った栄養食事指導を行い、退院後も定期的にフォローアップを行った。糖尿病療養指導士の習得は4名である。
栄養指導実施件数は2019年度3,593件 2020年度3,668件 2021年度3,995件であった。
2022年度診療報酬改定に伴い、早期算定に向け準備を開始した。
- ② 栄養サポートチーム(NST)を中心に患者の栄養状態改善を図る為、毎週木曜日にNST回診を実施した。管理栄養士が活動をまとめる中でNSTリンクナースに指導を行い、低栄養患者に対してNST介入できるよう見直しを行った。NST専任要件を満たす医師3名、NST専門療法士習得者は、管理栄養士2名、看護師3名、薬剤師1名となり、それぞれの立場から専門性を発揮し連携を深めた。
- ③ 摂食嚥下支援チームの活動として当院スタッフに向けて「つばめNewsLetter」を2回発行した。週一回のチームカンファレンスを実施した。摂食嚥下リンクナースの指導を通して、摂食機能療法の普及を行い算定数増加に繋げた。新たに2名の脳卒中リハビリテーション看護認定看護師がチームに加わり、摂食嚥下機能回復体制加算取得に向け体制を構築した。

(2) 給食管理業務

- ① 適時適温給食の実施、安心して安全な食事の提供を行なった。
- ② 医師の指示に従い、また患者の状態に寄り添った個々人の対応を行なった。
- ③ 年4回の嗜好調査により患者の希望を捉え、献立作成に生かした。
- ④ 選択メニューを実施し、患者満足度を向上させた。

①給食実施状況 (単位:食)

区分	食種名	食数
一般食	常食	166,510
	授乳食	8,463
	お祝い膳	814
	学童食	1,333
	小児食	2,434
	離乳食	959
	軟食	62,638
	流動食	5,027
	小計	248,178
特別食	エネルギー塩分食	63,386
	糖質調整食	37,677
	蛋白コントロール食	21,614
	胃腸病食	18,050
	脂質制限食	8,440
	低残渣食	3,383
	無菌食	184
	注腸食	12
	濃厚流動食	44,322
	ミルク	25,718
	小計	222,786
患者合計		470,964
職員合計		86,125
付添い合計		1,521
おやつ合計		2,334
5回食合計		1,406

②栄養食事指導実施状況 (単位:件)

区分	指導名	入院	外来	合計
個人指導	糖尿病食	582	1056	1638
	腎臓病食	124	94	218
	減塩食	794	106	900
	肝臓病食	84	20	104
	胃腸病食	389	34	423
	肥満食	4	17	21
	脂質異常食	13	66	79
	痛風食	1	1	2
	貧血食	4	2	6
	高血圧食	1	0	1
	その他	325	147	472
	小計	2321	1543	3864
集団指導	指導名	回数	人数	
	糖尿病教室	22	78	
	心臓病教室	17	53	
	糖尿病会食	0	0	
	母親教室	0	0	

③NST介入延べ人数(各科別)

診療科	延べ人数
膠原病内科	5
消化器内科	82
呼吸器内科	59
血液内科	73
腎臓内科	39
糖尿・内分泌内科	5
外科	107
脳神経外科	65
循環器科	104
心臓血管外科	48
呼吸器外科	5
脳神経内科	37
整形外科	28
形成外科	37
救急診療科	89
小児科	1
眼科	0
耳鼻咽喉科	3
産婦人科	19
皮膚科	14
泌尿器科	16
メンタルクリニック	0
合計	836

3-3 放射線室

放射線室は、診療放射線技師 33 名(男性 27 名、女性 6 名)と、事務員 5 名にて構成されている。
診療放射線技師の勤務シフトは、早出 3 名、遅出 1 名、準夜 2 名、深夜 2 名、更に ON CALL2 名で行い、24 時間、業務が滞らないよう努めている。

(基本方針)

- (1) 良質な医療情報（画像）の提供。
- (2) 患者に寄り添い、患者中心の検査を実施。
- (3) つねに学び、考え、新しい事への挑戦。
- (4) 医療人として医師、患者から信頼される診療放射線技師。

(目 標)

- (1) 検査の必要性を理解し、間違いのない医療情報を提供する。
- (2) 患者に応じて、最良の検査方法を選択、施行する。
- (3) 各種認定資格取得、学術発表を目指す。
- (4) 医師、他の医療スタッフと連携して、質の高いチーム医療を提供する。

(機器構成：2021 年度)

機器名	設置台数
一般撮影装置	5 台
移動型X線装置	6 台
骨密度測定器	1 台
乳房撮影装置	1 台
X 線 TV 装置	3 台
血管撮影装置	3 台
CT 装置	4 台
MRI 装置	3 台
ガンマーカメラ	1 台
PET-CT	1 台
放射線治療装置（リニアック）	1 台
放射線治療計画用CT装置	1 台

業務実績（検査数）

	2020 年度	2021 年度
一般撮影	71,790	78,111
ポータ	30,823	29,805
骨密度	1,670	1,695
マンモ	1,288	1,371
X 線 TV	3,652	3,666
血管撮影	2,014	2,226
C T	41,480	43,744
MRI	14,258	15,415
RI検査	870	889
PET/CT	824	847
放射線治療	5,664	5,402
合 計	174,333	183,171

(業務実績)

前年度と比較し、総件数で約 105%の業務量であった。特に MRI においては、約 108%であった。

(放射線技師を目指す学生への取り組み)

今年度より、順天堂大学保健医療学部診療放射線学科の実習病院として、学生を受け入れている。

(資格取得実績)

医学物理士	1 名
第一種放射線取扱主任者	4 名
日本血管撮影 IVR 専門診療放射線技師	3 名
磁気共鳴専門技術者	1 名
放射線治療専門放射線技師	2 名
放射線治療品質管理師	1 名
救急撮影認定技師	3 名
マンモグラフィ技術認定資格者	5 名
X 線 CT 認定技師	4 名
第一種作業環境測定士	2 名
臨床実習指導者	4 名
放射線機器管理士	2 名
放射線管理士	3 名
災害支援認定診療放射線技師	1 名
医療画像情報精度管理士	1 名
画像等手術支援認定放射線技師	4 名
修士課程 修了者	3 名

(学術研究、発表実績)

タイトル	学会名	場所	発表年月日	発表者・共同演者
「放射線技術科学の多様性 JSRT 会員の声 + α 」	日本放射線技術学会 学術大会	パシフィコ 横浜	2021/4/18	中村登紀子
	シンポジスト講演			
「研究を楽しく行うために～ 動くことで気づくこと～」	日本放射線技術学会 中部支部	WEB	2021/9/15	中村登紀子
	ステップアップセミナー 講演			

Digital Breast Tomosynthesis における被ばく線量管理のための半価層測定法の提案	第 46 回日本放射線技術学会	熊本城ホール	2021/10/15-17	中村登紀子 伊藤 周子
Innovative suggestion to the assessment of half value layer for dose control in digital breast tomosynthesis	秋季学術大会			
Reducing the psychological burden on radiographers during mammography examinations of patients showing symptoms of an infectious disease amid the COVID-19 pandemic.	第23回 アジアオセアニア 放射線学術大会	WEB	2021/11/12-14	Tokiko Nakamura, Manami Sugiyama Kenichiro Tanaka, Misa Ando, Moe Itakura
マンモグラフィにおける線量測定	山形県放射線技師会	WEB	2021/7/31	中村登紀子
	第50回乳房撮影研究会講演			
Innovative suggestion to the assessment of half value layer for	2022 欧州放射線 医学会	WEB	2022/3/2-6	Tokiko Nakamura
Quality control in digital breast tomosynthesis				
技術奨励賞 計測分野	日本放射線技術学会	WEB	2021/4/17	中村登紀子
救急診療における Aquilion Exceed LB の使用経験	中部マルチスライス CT シンポジウム	WEB	2021/10/2	平入哲也
外傷全身 CT 撮影と外傷 IVR 症例	救急災害撮影研究会	静岡市	2021/12/4	平入哲也
骨盤部の造影 MRI 検査について	第 13 回静岡県 MRI 技術研究会	WEB	2021/12/8	清水匡大
当院における線量管理ソフトの使用 経験と現状	第 12 回静岡 CT 研究会	WEB	2021/5/26	杉山巧也
救急外来 CT Aquilion Exceed LB と画像処理中ワークステーション Vitrea	Radfan12 月号	雑誌	2021/12/1	杉山巧也

(論文実績)

タイトル	学会
フィリピン共和国の都市部におけるマンモグラフィ乳がん 検診に関する意識調査と医療保険制度	日本乳癌検診学会誌
Awareness survey about mammography breast cancer screening in urban areas of	
the Philippines; based on the Health Care Insurance System.	
A Potential Solution to Assess the Absorbed Dose at Any Point in Breast During	RADIOLOGY AND MEDICAL DIAGNOSTIC IMAGING
Digital Breast Tomosynthesis (DBT) Imaging Using a Novel Monte Carlo Simulation Software	
Quantitative Assessment of Iodine Intensity of Different Types of Lesions in the	RADIOLOGY AND MEDICAL DIAGNOSTIC IMAGING
Low-Energy (LE) Image of Contrast-Enhanced Spectral Mammography(CESM)	
Influence of double layer filter on mean glandular dose (MGD) and imaging quality in	Radiography
low energy image of contrast enhanced spectral mammmography (LE-CESM)	

3-4 検査室

業務実績

2021 年度検査件数

	検体検査数	病理検査数 細胞診数	生理検査数 腹部エコー数	採血件数	委託検査数	総検査数
4 月	379,228	1,248	4,584	9,632	13,236	407,928
5 月	358,890	1,161	4,933	8,798	13,088	386,870
6 月	383,222	1,401	5,100	9,478	12,479	411,680
7 月	388,572	1,347	4,707	9,915	12,988	417,529
8 月	377,947	1,209	4,328	9,304	12,374	405,162
9 月	391,935	1,411	4,941	9,938	12,155	420,380
10 月	407,665	1,401	5,177	10,338	13,648	438,229
11 月	378,682	1,288	4,630	9,358	11,924	405,874
12 月	398,203	1,360	4,676	9,898	13,278	427,415
1 月	389,436	1,195	4,671	9,435	11,460	416,197
2 月	351,919	1,055	4,219	8,809	10,977	376,979
3 月	424,791	1,411	5,240	11,015	12,959	455,416
計	4,630,490	15,479	57,206	115,918	150,566	4,969,659
平均	385,874	1,290	4,767	9,660	12,547	414,138

検体検査数の内訳

	生化学	血清	一般	輸血検査 血型	血液 凝固	細菌	計
4 月	273,541	36,861	14,862	3,778	48,242	6,051	383,335
5 月	257,456	34,931	13,442	3,606	47,131	5,893	362,459
6 月	276,573	37,021	14,578	3,693	49,410	5,743	387,018
7 月	280,163	38,072	15,276	3,765	49,271	6,118	392,665
8 月	272,333	36,013	14,840	3,639	49,064	6,509	382,398
9 月	282,223	38,782	14,694	3,937	50,421	6,091	396,148
10 月	293,856	39,849	15,035	4,237	52,588	6,395	411,960
11 月	273,245	36,696	14,229	3,764	48,660	6,098	382,692
12 月	287,724	38,190	14,930	4,063	51,369	6,017	402,293
1 月	280,513	37,571	14,455	4,134	50,421	6,758	393,852
2 月	253,616	33,706	12,895	3,603	45,602	5,963	355,385
3 月	306,635	40,601	15,918	4,063	54,298	6,483	427,998
計	3,337,878	448,293	175,154	46,282	596,477	74,119	4,678,203
平均	278,157	37,358	14,596	3,857	49,706	6,177	389,850

研究活動

1. 順天堂6病院技師長会、各分科会において業務の標準化を進める
2. 毎月1回の検査室内勉強会(知得会)の開催 若手技師のプレゼンテーション
3. 日本臨床検査標準協議会より精度保証施設認定

資格取得状況

- | | |
|-------------------|-------|
| 1. 二級臨床検査士資格(延べ数) | 22 資格 |
| 2. 緊急検査士 | 11 名 |
| 3. 細胞検査士 | 3 名 |
| 4. 超音波認定技師 | 3 名 |
| 5. 認定病理検査士 | 1 名 |
| 6. 認定血液検査士 | 1 名 |
| 7. 衛生工学衛生管理者 | 1名 |
| 8. 遺伝子分析科学認定士(初級) | 2 名 |
| 9. 認定精度管理検査士 | 1 名 |

3-5 手術室

業務実績

1. 手術件数の推移

2021 年の年間手術件数 8,401 件、定時外も含む稼働率は、81.04%であった。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2019 年	697	661	668	796	730	699	762	699	739	706	657	741	8,555
2020 年	661	537	665	688	672	633	709	579	660	643	598	768	7,813
2021 年	751	671	718	701	670	669	682	742	711	688	601	797	8,401

2. 手術室の有効利用

手術のインターバルは 29 分であり、手術室の稼働率は良好であった。

今後も各部門と連携し、A 棟手術室を含め有効利用に努める。

3. 手術室看護師の業務効率化

前年度に引き続き、鋭利物混入の確認や廃棄の補助、機材の同時カウントにより時間短縮を図った。キット内容を再修正したことで、術前準備の短縮ができた。また、病棟との申し送りを麻酔科と協働することで時間短縮が図れたことにより、術前外来の開始、術前訪問・術後訪問件数の増加・術間短縮にもつながった。さらに、衛生材料を一部既製品での運用に変更したことで業務の短縮、人員の確保、在庫管理がスムーズかつ簡素化ができ、効率的に業務が行えている。

今後も、業務効率化のために業務の評価、修正や手術キットの見直しを適宜行っていく。また、定期的に手術室マニュアルの見直し修正を継続する。

4. 手術室看護師の知識と技術向上

手術室では、術前・術後訪問を積極的に行い、予定手術患者に全件実施している。緊急手術時にも患者の状況に合わせて訪問を行っている。術前訪問で得られた情報をもとに手術室環境の整備、周手術期の看護に活用している。また、術後訪問を実施することにより看護の振り返りを行い、手術看護の質の向上を目指している。入院前から外来での早期介入を行うことにより、患者自身が手術に向けて心身の準備ができ、行動変容に繋がるよう教育的な関わりを行っている。これらを継続し、周術期の安全と術後早期回復に向けて、より安全に安心な手術を受けてもらえる体制作りをしていく。サインイン・タイムアウト実施率 100%継続し、安全の確保をしていくとともに、術中二次障害予防に対して、手術看護師の専門性に特化した看護の質の向上を図るため、手術中の定期的な除圧や正しいポジショニングなどスキルアップに努めていく。

5. コスト削減の推進

各診療科、用度課と連携をとり、手術室内の診療材料、衛生材料などの在庫の見直しを行った。

3-6 血液浄化センター

業務内容

透析専門医師 2 名・常勤医師 2 名・看護師 8 名・臨床工学技士 9 名、看護助手 1 名により運営された。移動困難な重症例は病室へ出張し、血液浄化療法を施行した。合併症の加療のため入院した維持透析患者の血液透析の管理を行い、他科からの依頼による単純血漿交換・二重濾過血漿分離交換・エンドトキシン吸着・血液吸着・顆粒球吸着などの血液浄化療法および腹水の濃縮還元療法を行った。近年、外科領域・神経内科・膠原病内科などにおけるエンドトキシン吸着・二重濾過膜血漿交換・血液吸着などの件数が増加し、血液浄化療法の適応が拡大している。また、悪性腫瘍の治療中に発症する急性腎障害や末期腎不全へなど Onconeurology 分野の業務が増加している。近年、血液透析導入患者の年齢が高くなるに従い、透析を安定して行えるようになっても、退院後の通院透析が困難な患者さんが増えており、リハビリテーション目的の転院が増加している。

診療実績

	HD	ECUM	PMX	PE	DFPP	血漿吸着	血液吸着	CHDF	CART	合計
28 年度	6,006	62	136	27	5	29	164	968	58	7,455
29 年度	5,650	80	168	56	31	144	161	1,021	77	7,388
30 年度	5,714	99	131	19	111	61	141	1,017	109	7,402
R1 年度	5,804	123	113	63	40	124	96	1,071	103	7,537
R2 年度	5,451	145	126	39	43	64	109	909	71	6,947
R3 年度	5,930	44	57	12	38	46	78	876	122	7,203

研究・教育活動

論文 英文・原著

1. Shimizu Y, Wakabayashi K, Iwasaki H, Kishida C, Seki S, Okuma T, Iwakami N, Iwasawa T, Maekawa H, Tomino Y, Wada R, Suzuki Y. Immunotactoid Glomerulopathy with Nontuberculous Mycobacterial Infection: A Novel Association. Case Rep Nephrol Dial 2021;17;11(2):136-146

学会発表・国内

1. 清水芳男、萩原慶、青木良輔、前田拓也、若林啓一、鈴木祐介. 透析患者の痒みと網膜神経線維層厚の関連. 第66回日本透析医学会学術集会・総会. 2021年6月4日-6日.
2. 林陽子、清水芳男、濱田千江子、鈴木祐介. 伊豆半島における慢性腎臓病（CKD）患者の初診時から透析導入に至るまでの経過と性差（第2報）. 第66回日本透析医学会学術集会・総会 2021年6月4日-6日.
3. 池田 尚基、若林 啓一、加藤 有紗、平沢 智美、安部 憲一郎、清水 芳男. 膿瘍を伴う化膿性大胸筋炎を契機にCKDの増悪をきたした糖尿病性腎症の一例. 第52回静岡腎不全研究会. 2021年10月24日. グランシップ
4. 小笠 智美、加藤 有紗、池田 尚貴、若林 啓一、清水 芳男. 診断に苦慮したTubulointerstitial nephritis uveitis (TINU) syndrome の一例. 第64回静岡腎セミナー. 2021年3月12日

3-7 臨床工学室

業務実績

人工心肺装置操作業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
業務件数	9	8	10	8	8	12	12	5	13	6	9	6	106

血液浄化業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
HD	430	464	484	515	499	493	560	515	454	508	478	530	5,930
ECUM	5	2	3	1	4	5	5	2	7	7	0	3	44
PMX	11	6	3	5	8	0	3	4	0	7	2	8	57
PE	6	3	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	12
DFPP	11	3	0	0	5	2	2	4	5	0	1	5	38
PA	7	10	0	5	2	1	0	2	5	9	0	5	46
HA	5	12	15	9	0	6	5	5	13	5	0	3	78
CHDF	44	108	59	56	127	87	60	58	49	52	47	129	876
CART	12	11	12	11	10	9	10	12	9	8	9	9	122
合計	531	619	577	602	657	603	645	602	542	596	537	692	7,203

高気圧酸素療法業務実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
業務件数	54	28	22	14	14	13	11	60	29	24	25	30	324

心臓カテーテル室業務実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ポリグラフ	CAG	27	24	18	12	20	12	23	22	12	17	13	18	218
	PCI	38	42	48	36	49	40	49	56	43	44	40	57	542
	PPI	3	4	2	3	3	2	4	6	1	2	1	2	33
	PTA	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	右心カテ	0	0	1	5	1	2	1	5	2	2	0	1	20
	左心カテ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	3
	両心カテ	2	6	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	12
	EPS	18	14	16	14	11	16	19	19	23	12	22	20	204
	Abration	18	14	16	14	11	16	18	19	22	12	22	17	199

IVUS		27	24	36	29	32	32	40	47	24	28	24	32	375
FFR		11	20	16	11	22	10	14	17	18	16	11	17	183
OCT		25	24	20	13	12	11	22	23	15	17	17	27	226
Rota		10	1	2	3	4	0	4	1	2	1	2	2	32
CROSSER		0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3
IABP		4	4	1	4	4	2	2	3	7	4	5	8	48
ELCA		0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	12	2	17
Pacemaker	植え込み	11	10	16	13	7	11	8	7	11	7	4	9	114
	交換	1	4	2	1	3	3	3	4	4	1	2	2	30
ICD	植え込み	2	2	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	8
	交換	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	4
CRT	植え込み	0	0	2	0	1	1	1	3	0	0	0	1	9
	交換	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ループレコーダー		0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1	4
SICD		0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
PCPS		1	1	0	1	2	1	0	0	1	2	0	3	12
V-V ECMO		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

手術室業務実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
圧ライン作成		9	12	10	8	8	12	12	6	15	7	10	9	101
術中 CS		27	24	24	19	15	25	20	23	33	19	19	20	268
術中術後 CS		15	13	21	20	14	19	16	14	12	17	12	19	192
術後 CS		4	1	6	5	4	8	6	5	6	6	4	4	59
神経 モニタリング	Tc-MEP	26	17	17	18	21	18	16	16	15	19	13	16	212
	D-MEP	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	SEP	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	ABR	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	4
	AMR	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	VEP	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4
NIM		0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	5
マイクロ		23	18	18	10	14	19	16	12	14	14	6	10	174
ナビゲーション		3	5	4	2	1	3	5	3	5	4	1	4	40
Da-Vinch		0	0	0	0	0	2	0	4	6	3	6	9	30

3-8 輸血室

業務実績（2021 年度）

年間輸血検査件数

・血液型検査（ABO、Rh）	12,112 件	（時間外 4,895 件）
・不規則抗体検査	10,725 件	（時間外 4,144 件）
・交差適合試験	8,833 件	（時間外 3,118 件）
・クリオプレシピテート調製	216 件	
・新生児用輸血小分け調製	28 件	
・緊急 O 型赤血球輸血対応	79 件	

年間輸血使用量

赤血球製剤 13,044 単位、自己血 752 単位、新鮮凍結血漿 3,924 単位、
血小板製剤 13,650 単位 クリオプレシピテート 522 単位

診療科別輸血使用量

	赤血球製剤	自己血	新鮮凍結血漿	血小板製剤	クリオプレシピテート
血液内科	3,340	0	144	9,560	0
心臓血管外科	1,824	8	1,168	1,440	70
循環器科	798	0	114	130	4
外科	1,250	0	440	520	0
救急診療科	1,126	0	416	370	176
整形外科	770	690	48	110	0
消化器内科	774	0	104	130	4
産婦人科	784	54	392	220	44
脳神経外科	721	0	100	150	4
泌尿器科	316	0	10	310	0
腎臓内科	263	0	184	60	0
呼吸器外科	20	0	2	0	0
呼吸器内科	148	0	6	30	0
新生児科	51	0	14	0	2
形成外科	216	0	0	80	33
麻酔科	398	4	230	240	218
膠原病内科	77	0	10	30	0
皮膚科	30	0	6	10	0

耳鼻咽喉科	30	0	0	40	0
小児科	29	0	10	10	0
糖尿病・内分泌内科	42	0	4	10	0
脳神経内科	40	0	0	20	0
眼科	0	0	0	10	0
放射線科	0	0	0	0	00
メンタルクリニック	0	0	0	0	0
計	13,044	752	3,934	13,650	522

廃棄（有効期限切れ、払い出し後の未使用・温度管理不備）

赤血球製剤 2 単位（廃棄率 0.015 %）

新鮮凍結血漿 18 単位（廃棄率 0.4 %）

血小板製剤 20 単位（廃棄率 0.14 %）

研究活動

学会発表（国内）

第 69 回 日本輸血・細胞治療学会学術総会（令和 3 年 東京）

「ダブルチェックで見逃された輸血適合票、検査ラベルの張り間違い
～レジリエンスエンジニアリングの視点から安全を再考する～」

岩尾 憲明 土屋 明実 芳賀 繁

論文

「聴衆参加型の事例検討会による輸血研修の意義 ～「さあ困った！こんな時どうする？」の
経験から～」

岩尾 憲明、友田 豊、奥田 誠

日本輸血細胞治療学会誌 67(1): 33-42, 2021

「血液型糖転移酵素活性低下に伴う A,B 抗原の発現減弱」

土屋明実、岩尾 憲明、白須智奈美、片山瑞希

日本輸血細胞治療学会誌 67(5): 529-530, 2021

3-9 (0) 看護部

【理念】

「仁」の心をもって、患者さんとご家族が満足できる最善の看護を目指す

【行動指針】

1. 専門職として倫理を遵守し、思いやりのある看護を実践する
2. 根拠に基づく安全な看護を提供する
3. 教育・実践・研究を通して看護の発展に貢献する
4. 他の医療職者と協働し、健全な病院運営に参画する
5. 地域と連携した看護を推進する

【ビジョン】

看護部は看護部理念・行動指針に基づき、大学附属病院、基幹病院の看護師として、自律した看護師の育成と看護の質向上を目指す

【2021 年度 目標】

1. 患者さんの尊厳を守り、安全で質の高い看護を提供する
2. 地域と連携し、暮らしに視点をおいた切れ目のない看護を提供する
3. 働きがい・働きやすさを感じられる健康で安全な職場環境をつくる

【2021 年度 目標の評価】

目標 1 に関しては、活動をしていく中で、当院の身体拘束に関するガイドナインの作成が浮上し、また、倫理に関わる知識の必要性が課題となり、昨年度は看護管理者会議で、本年度は主任会での倫理研修会開催を企画するに至った。誤薬に関する課題に対しては、医師との情報共有が必須であり、現在、医療安全・危機管理委員会終了後、安全管理室との検討会を実施している。その中で、リスク要因としてのシステムの在り方、医師の指示だし方法など病院全体としての危機管理が検討できている。褥瘡対策においても看護管理者の介入が進み、自重褥瘡、医療関連機器圧迫創傷件数とも減少傾向にある。各ワーキンググループにおいて次年度課題が具体的に上がっているため、ワーキンググループ活動を継続していきたいと考えている。

目標 2 に関しては、入退院支援室との連携が盛んであり、また、地域連携においては他施設の強力な医師の異動という好機会に恵まれ、以前より活発に地域連携活動が進んでいる。入院時前支援としての手術室看護師の介入を含め、患者さんが安心して入院できる環境を整えていきたいと考える。

目標 3 に関しては、特定行為研修への参加も増加し、領域も拡大している。また、時間外労働時間は 8 分ではあるが減少しているものの、離職率が 9.6→11.3%へと上昇してしまった。原因として、2020 年度はコロナ禍において移動を見合わせていた数名が他施設への移動となったこと、FD により当院を退職した者が 4 名→8 名へと上昇したこと、中途採用看護師の定着率が悪く、既卒看護師の採用者が多いと、その分退職者も増加する傾向にあること、などが考えられる。

次年度も職員の働きやすさ、やりがいが向上する看護部運営となるよう取り組んでいきたいと考える。

2021年度 看護部目標と指標(QI: Quality Indicator)結果

2022.3.25 看護部

目標1) 患者さんの尊厳を守り、安全で質の高い看護を提供する

① 褥瘡発生率を低下させる	1. 主要評価項目	結果	目標値	
		2021年度	6か月後	1年後
	①新規褥瘡発生割合(月間) 分子 新規褥瘡発生患者数 分母 入院患者数	0.51%	0.81%	0.76%
	②新規MDRPU発生割合(月間) 分子 新規MDRPU発生患者数 分母 入院患者数	0.51%	1.20%	1.10%
	2. 副次評価項目	結果	目標値	
		2021年度	6か月後	1年後
	①ハイリスクケア患者加算算定患者割合(月間) 分子 新規褥瘡発生患者のハイリスクケア患者加算算定数 分母 新規褥瘡発生患者のハイリスクケア患者数	84.6%	93.5%	95.0%

状態変化によって褥瘡ハイリスクとなった患者の褥瘡再評価が実施できるシステムを病棟ごとに構築。また、スタッフによる褥瘡ハイリスク患者のアセスメントに差があるため、褥瘡管理者と協働してハイリスクの周知とアセスメント向上の教育機会を設ける

② 転倒転落発生率を低下させる	1. 主要評価項目	結果	目標値	
		2021年度	6か月後	1年後
	①3b以上の転倒転落発生率(年間) 分子 3b以上の転倒転落発生数 分母 転倒転落インシデントアクシデント報告件数	0.03%	0.035%	0.03%
	2. 副次評価項目	結果	目標値	
		2021年度	6か月後	1年後
	①病棟の危険度Ⅱ以上患者の転倒転落割合(年間) 分子 危険度Ⅱ以上の転倒転落患者数 分母 危険度Ⅱ以上の入院患者数	0.21%	0.24%	0.20%
	②病棟の危険度Ⅱ以上患者の環境整備実施割合(年間) 分子 危険度Ⅱ以上の環境整備実施件数 分母 危険度Ⅱ以上の入院患者数	92.4%(全部署)	60%(全部署)	75%(全部署)

危険度Ⅱ以上患者の転倒転落割合を低減させるために、外的危険要因の除去(環境整備)、及び、患者教育の一環として転倒予防体操を導入

③ 誤薬発生率を低下させる	1. 主要評価項目	結果	目標値	
		2021年度	6か月後	1年後
	①誤薬発生率(年間) 分子 誤薬事故発生件数 分母 在院患者のべ人数	1.66%	2.18%	2.00%
	2. 副次評価項目	結果	目標値	
		2021年度	6か月後	1年後
	①点滴事故発生件数(年間)	169件	90件以下(-20%)	182件以下(-20%)
	②内服事故発生件数(年間)	79件	55件以下(-10%)	111件以下(-10%)

④ 身体拘束割合を低下させる	1. 主要評価項目	結果	目標値	
		2021年度	6か月後	1年後
	①身体拘束患者割合(月間) 分子 身体拘束実施患者数 分母 入院患者数	一般: 9.0% 特定: 50.0%	一般: 13.1% 特定: 53.3%	一般: 12.4% 特定: 50.5%
	2. 副次評価項目	結果	目標値	
		2021年度	6か月後	1年後
	①身体拘束実施日数割合(月間) 分子 患者一人あたり身体拘束平均実施日数 分母 平均在院日数	一般: 12.4% 特定: 60.3%	一般: 12% 特定: 50%	一般: 10% 特定: 40%
	②身体拘束に迷うと回答するスタッフ割合(6か月・1年) 分子 判断に迷うと回答するスタッフ数 分母 対象スタッフ数	開始時: 92.4% 解除時: 93.1%	開始時: 80% 解除時: 81%	開始時: 70% 解除時: 70%

①に関して: 救命デバイスと栄養目的の胃管により身体拘束が長期化し自己抜去予防のため拘束解除が遅延している

②に関して: 身体拘束3原則の教育により意識が高まっているが、明確な身体拘束運用ガイドラインがないため次年度作成

目標2) 地域と連携し、暮らしに視点をのいた切れ目のない看護を提供する

⑤ 入院・外来と地域との連携件数を増加させる	1. 主要評価項目	結果	目標値	
		2021年度	6か月後	1年後
	①地域支援事業者との連携率(病棟) 分子 地域支援事業者との面談数(介護連携+共同指導) 分母 介護保険認定患者数(介入有の患者)	55%	26%	30%
	②医療機関と地域の情報連携シート活用件数(地域→外来) ③医療機関と地域の情報連携シート活用件数(外来→地域)	138件 174件	120件 80件	130件 100件
	2. 副次評価項目	結果	目標値	
		2021年度	6か月後	1年後
	①退院支援計画書再立案率(病棟) 分子 退院支援スクリーニングシートの再評価数(計画書あり) 分母 院内多職種退院支援カンファレンス実施件数	32%	25%	27%
	②在宅療養困難な患者の支援率(外来) 分子 地域や支援室・相談室へ繋いだ件数 分母 入院予定(予約)以外の外来患者スクリーニング件数	11%	—	—

2021年度 看護部委員年間評価

	成果指標	目標値	結果	年間評価
医療安全	誤薬発生率	2.00‰	1.66‰	リンクナースを「誤薬」「転倒転落」「患者誤認」の3つのグループに分けて活動した。誤薬グループ、転倒転落グループは、師長ワーキンググループと協働して活動を行った。誤薬グループは誤薬事故が多かった急速滴下事故を減らすための教育活動や、無実施を減らすための点滴準備方法の見直しに着手し、事故件数の減少に繋がった。転倒転落グループは、外的要因・内的要因どちらにも対策ができるよう、環境チェック体制を整えと同時に、患者を巻き込んだ対策を目指して予防体操の導入に向けた準備を行った。環境チェックの実施率は上昇し、外的要因による転倒事故に繋がっている。患者誤認グループは、患者誤認事故の分析を行い、個人的な要因だけでなく、事故の背景にも目を向けて対策を考えられるように活動を行った。ポスター配布による注意喚起を行ったが、患者誤認事故減少に繋がるような活動はできなかった。次年度は、誤薬と患者誤認の活動を合体し、決められたルールを遵守できる組織づくりを目指した活動を行い、転倒転落については、準備を進めてきた予防体操を実施して、患者を巻き込んだ予防策の定着を目指したい。
	3b以上転倒転落率	0.03‰	0.03‰	
	リンクナース目標達成度	80%	71.4%	
	急速滴下事故発生件数	42件	18件	
	転倒転落発生時の環境チェック実施率	75%	94%	
	教育活動アンケート ①1、2年目の知識・技術定着度 ②リンクナース教育活動	①90点以上 ②100%実施	①知識:82点 技術83.4点 ②91.4%	
	医療安全危機管理委員会参加率	100%	97%	
	各部署でのインシデント事例の共有	全員3回/年	全員3回/年	
感染対策	CLI-BSI感染率が改善した部署数	13/13部署	10/13部署	今年度は手指衛生に重点を置き活動した。業務量調査から部署毎に目標回数を設定し、毎月のラウンド時に目標シートの進捗状況を確認した。手指衛生回数は前年度に比べ約2倍増加した。しかし、遵守率は増加しておらず、リンクナースの監査方法や指導方法を確認する必要がある。コアメンバーで手技確認を実施していく。PPEと手指衛生の実技テストは全看護職員が合格しており、基本的技術は習得できたと考える。環境監査はICTラウンドの結果をフィードバックし、ラウンド時に改善状況を確認した。点滴台の環境整備ができていない部署が多く、ラウンド時に重点的に確認し、指導していく必要がある。VRE感染の対策は早急に取り組む事項である。正しい看護技術(オムツ交換等)が提供できているか手技の確認をリンクナースと協働し、実施していく。そのことによりVREだけでなくCLL-BSやUTIの感染抑制に繋がっていく。
	UTI感染率が改善した部署数	10/14部署	7/13部署	
	年間活動計画書の点数	80点	80点	
	環境監査点数	80点	平均 点滴台:50点 汚物室87点 共有物品:81点	
	手指衛生回数	21回	28回	
	手指衛生遵守率	50%	32%	
	実技テストの合格率	100%	100%	
褥瘡予防対策	褥瘡発生件数	150件以下	160件	2022年の活動を振り返りと師長ワーキングの分析結果より課題としてアセスメント力が挙げられた。褥瘡ハイレスクアセスメントにてリスクを把握し、ケア介入を行うことを目標とした。結果、褥瘡発生者の中で、褥瘡発生者ハイレスク状態にあると把握されていた患者は93%であった。しかし、ポジショニンググローブ・スライディングシートの遵守率は66%と目標値に届いておらず、ケアの的確な提供に課題が残る、発生数の目標値まで減少には至っていない。次年度は引き続き、リスクの把握と的確な技術提供を行っていくことが課題である。
	医療関連機器圧迫創傷発生件数	200件以下	202件	
	体位変換介入患者とハイレスクケア患者数の一致率	90%以上	93%	
	病棟ごとテーマにあげた医療関連機器圧迫創傷の発生数	80%以下	32%	
	ポジショニンググローブ・スライディングシートの遵守率	80%以上	66%	
	ナーシングスキル・動画視聴	90%合格	91%	
災害対策	病棟スタッフリストとマッピングの毎月更新	期日までに更新	65.0%	名簿の更新は期日までに行っている部署は65%だった。随時できていない部署には用紙を配り声かけを行ったがスタッフ移動などで周知できなかった。アクションカードは現カードの共通カードの作成ができたが、部署別にあったものができず、また、災害対策マニュアルが新棟建設に伴い改訂ができていないこともあり、次年度にもう一度カードの見直しを行うこととした。管理師長のアクションカードの活用はシミュレーションは行えなかったが、読み合わせを行い課題をもらい今後活用していく。取り組みは部署で行ってもらい意識付けに繋がった。
	スタッフ用のアクションカードの見直し修正	部署に合わせたアクションカードの作成	共通のカード作成部署別カード未完成	
	日直・夜勤管理師長のアクションカードの活用	シミュレーションの参加	読み合わせ	
	参集基準、病棟部門の応援要件について知る	部署での研修会開催	100.00%	

記録検討委員会	クリニカルパス	パスの使用率	48.50%	44.70%	パス使用率は、44.7%と目標達成には至らず、昨年の使用率と大きく変わらなかった。新規パスの増加も目標値にあげたが、2021年度はDPCパフォーマンス率を検証することで既存のパスを見直しすることに重点を置き活動した。その結果、見直し件数は目標よりも多く見直すことができた。各診療科と協力し行っていたと考える。しかし、前年度まで使用率の良かったパスが活用されていないことなどもあり、検証会を重ねることでより実践に即しパスが見直されていくことを期待したい。今年度もパス大会の開催も見送ることとなったが、学習会はDPCについて行うことができた。
		患者パス見直し件数	50件以上	88件	
		新規患者パス件数	30件増加	23件増加	
		既存パスの見直し件数	50件以上	106件	
		新規パス件数	30件以上	119件増加	
		パス検証会	100%実施	100%	
		勉強会開催件数	1回	1回	
	記録	入院診療計画書と看護計画の連動	80%	99%	せん妄ケア加算の算定件数は前年度を上回り算定されている。認知症ケア加算は前年度を下回る結果となっている。対照となる各部署に認知症ケア加算対象研修終了者が3名以上配置されているため、活発な活動が行われ、看護記録に正しく残せるように認知症・せん妄リンクナース会と協力していく必要がある。看護記録監査では、年2回の監査を各部署で実施することができ、監査結果も目標を上回っている。入院診療計画書と看護記録の連動は99%で実施できており、次年度も引き続き継続できるようにリンクナースとともに働きかける。電子カルテ更新に向けての看護記録マニュアルの洗い出しについては、今年度実施できていないため、次年度に持ち越し実施していく予定。
		診療報酬に関連した看護記録	せん妄:9,100件/年 認知症:400件/年	せん妄:10028件 認知症:件	
		現任研修での看護記録研修	オンユアマーク 看護記録STEP1 看護記録STEP2	3研修ともに実施終了	
		記録監査項目・評価基準の見直し	看護記録マニュアルの洗い出し	次年度持ち越し	
		各部署での記録監査の実施	年2回実施	2回実施	
		記録監査結果の向上	看護記録監査記載率80%以上	86.50%	
	必要度	必要度割合の維持	一般:29%以上、重症:70%以上、ハイケア:80%以上	一般:33.5% 重症:(ICU・CCU:83.5% HCU:15.4%) ハイケア:92.6%	必要度割合は目標値を達成できており、自部署監査実施と監査内容の改善も目標達成できている。主にA項目は一般の「呼吸ケア」、重症系の「汎用もれ」、ハイケアユニットの「輸血・血液製剤の管理に関する指示」にて改善。B項目は「移乗」に関するテンプレートを使用した記録の周知ができ、大幅に改善された。院内研修は100%到達できなかったがそれに近い割合で学習が進められている。今年度の目標はおおむね達成できた。
		自部署監査	12回/年	12回/年	
		院内研修(3時間1時間含む)	重症ハイケア一般に所属する全看護師100%	98.90%	
		監査結果の向上	A項目記録なし1/3以下、B項目漏れは40件以下	A項目記録なしは一部改善、B項目は大幅に改善	
専門職業人		ご来院の皆様の声 苦情率	22%以下	10.50%	目標値は全項目において達成できた。コロナへの対応が定着してきたこともあり、苦情率も低下がみられた。身だしなみ、接遇については同じ項目で遵守できていない傾向にある。各部署で目標を明確にし達成に向けて取り組んでいく必要がある。今年度はユニフォームをルール通りに出せるようリンクナースで点検を実施した。少しずつではあるが改善がみられているが、問題となる項目の傾向は把握できてきたため次年度も引き続き実施していく。順天堂職員として社会人基礎力をふまえたルールの遵守、品位ある対応ができることを目指した活動を次年度も継続していく。
		身だしなみ 部署評価	全項目1.99%以下	全項目1.59%以下 (身だしなみ0.45%)	
		品位ある対応 部署評価	(3.89%以下)	(品位ある対応2.73%)	
キャリア開発委員会		ラダー昇格率	23%以上	26%	目標値を全成果指標達成できた。例年の現任研修に新たな研修を追加(リーダーシップ研修STEP2)したため、研修終了後の評価を含め、現場で活用できているか確認しあった。またマネジメントラダーの行動指針を落とし込み、主任会や管理会議を通じて伝達し管理者と共有しあえたことで、マネジメントラダーの評価時に役立つことができた。主任会コンピテンシー勉強会においては、評価項目の抽出を行い主任会に参加することで、リーダーに求められる実践能力の向上に関わることができた。次年度も引き続き、リーダーに求められる実践能力の向上に向けた取り組みを強化していく。
		研究投稿数	2演題以上	6演題 (静岡県看護学会3演題、東部地区支部3演題)	
		コンピテンシー課題抽出	毎月1事例実施	実施	
		マネジメントラダー行動指針の落とし込み	実施	実施	
		現任教育研修内容のフィードバック	実施	実施	
		教育に対する学習会提示	毎月実施	実施	
基準手順委員会		看護基準・手順の活用率	80%以上	5%	今年度は、主任に対して看護基準・手順の活用に関するアンケートを実施した。その結果、ほぼ活用できていない実態が明らかとなった。理由は、どこに保管されているかわからないことや活用する側が看護基準・手順の必要性を理解していないことにより活用に至っていないことがわかった。申請パンフレットの精査に関しては、従来の手順で精査を実施していたが、看護部部内会からの差し戻しが多く迅速な申請対応ができなかった。理由として、パンフレット作成のフォーマットや基準が明確でないことにより各病棟バラツキを認め質の保証が担保できていないことが考えられた。研修参加や伝達講習は達成できた。以上のことから、次年度は看護基準・手順活用に向けた主任教育とパンフレット作成チェックリストの作成・活用を目指す。
		申請パンフレットの精査	申請数すべて	15件	
		基準手順5項目見直し	5項目の見直し	2項目終了 3項目次年度へ	
		委員会での情報収集、共有	事後報告会の実施率100%	100%	
		院内、院外研修参加率	1名以上	1名	

2021年度看護部責任者・他部門看護師責任者の配置

2021.4.1

病棟	定床数	主な診療科	師長	主任
NICU	12	新生児	長谷川智美	大木直美 勝又理恵
GCU	18	新生児		
2C	16	COVID	長友節子	
3A/救外	20	ICU/CCU	佐々木史乃	多田真也 森島克明 中村沙織
3E	20	混合	鈴木英子	鬼塚味佳
3EICU	7	HCU	島田奈津美	山崎裕也 土佐谷忍
3B	38	耳鼻・泌尿器・整形	村田文明	三島めぐみ 菊池あやか
3C	37	消内・外	古屋曜子	飯田沙耶香
4B	47	脳内・眼	田村美紀	田爪千里 福澤恵美
4C	33	呼内・腎内 皮膚	杉山美和	本間友美 森みどり
5A/MFIGU	33	産婦人	三枝英美	三角百合子 石井彰子
5B	46	整形	土屋智洋	石倉美穂子 松本千加奈
5C	44	膠内・血内・ 呼内・糖内・ 産婦人	櫻井操	加藤和歌子 渡邊美佐子
6A	56	脳外・形成・ 救急	松尾正人	松岡なつみ 倉田洋美 田代範人
7A	56	外・呼外	鈴木美佐	天野淳 大川安由美
8A	52	血内・循環器・心外	山本希	飯田敏秀 佐野まいむ
9A	36	混合	宮澤初美	望月佳澄 田代まり絵

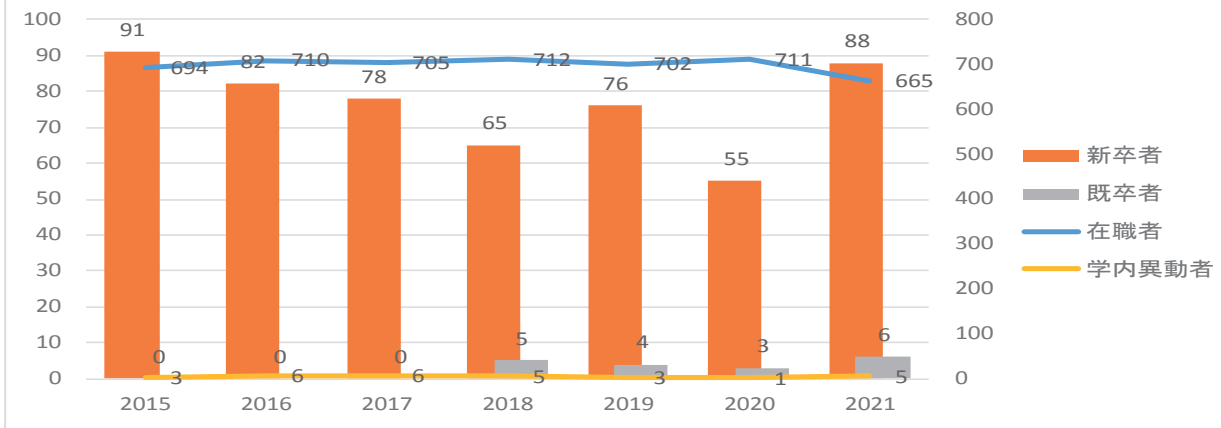
看護部	役職	氏名
	部長	田中ひとみ
看護総務課	課長	矢田みどり
入院業務課	課長	野澤陽子
手術室外来業務課	課長	濱口真知子
看護安全管理課	課長	荻島真弓
看護教育課	課長	堀込克代
	師長	杉山希

外来部門	診療科	師長	主任
外来A	心外・循環内・ 外・脳外・呼 外・整形・形成	間部幸	森久美
外来D	泌尿器・産婦・ 眼・皮膚 アレルギー		一杉あけみ 増田友香
外来B 血液浄化センター	耳鼻・小児・ 新生児・脳内	土井尚美	瀧田千草
外来C	消内・呼内・ 血内・腎内・ 膠内リウマチ・ 糖内内分泌・ 麻酔ペイン・ メンタル		稲葉亜衣
救外		加藤清美	勝間田敏宏 石田桃子
検査	内視鏡 血管撮影		山本優子
手術室		山口礼	藤本ゆうこ 内田佳月 小島恭子

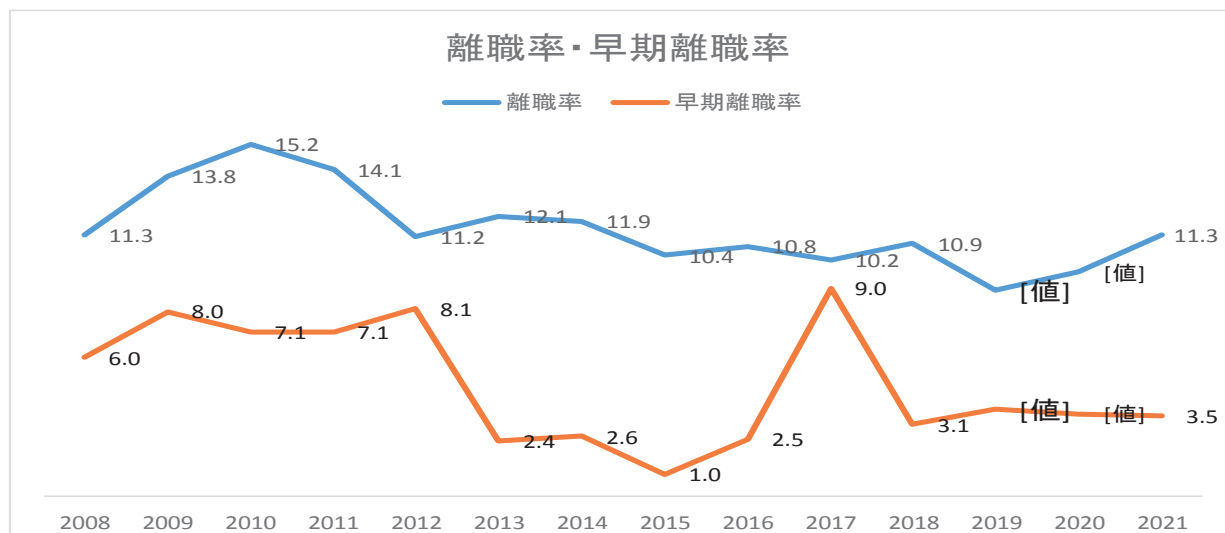
他部門	師長	主任
医療サービス支援センター	医療福祉相談室	山下小夜子
	患者看護相談室	渡邊光香 渡辺ひとみ 渡邊あつ子
医療安全推進センター	医療安全管理室	高橋真紀子
	感染対策室	長富美恵子
がん治療センター	放射線治療室	谷口真紀
	化学療法室	菊地麻里
	緩和ケア	
	がん患者相談室	

2021年 看護部年報

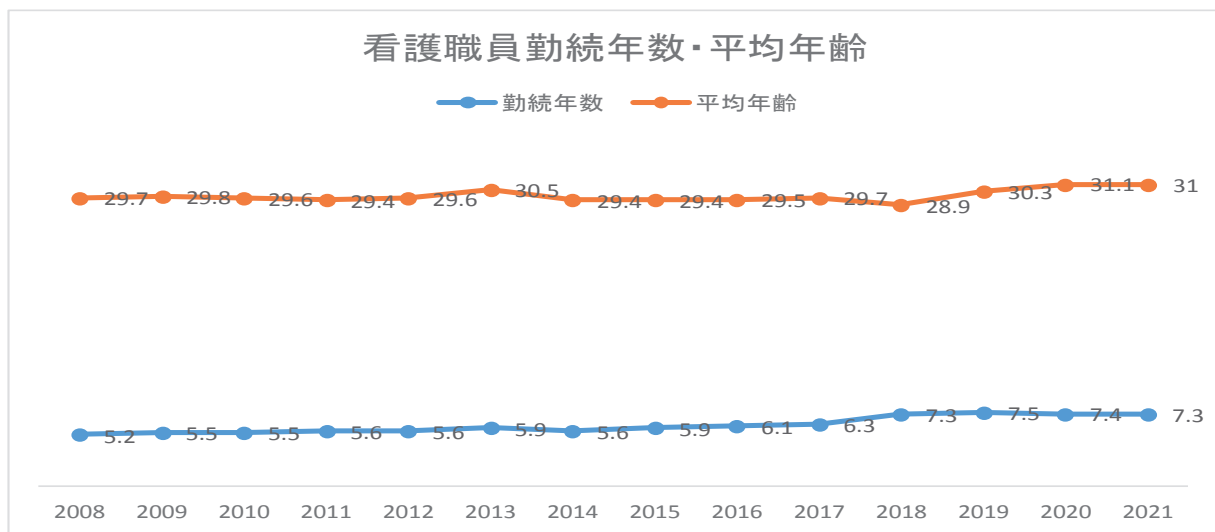
看護師数と新卒、既卒採用者内訳



離職率・早期離職率



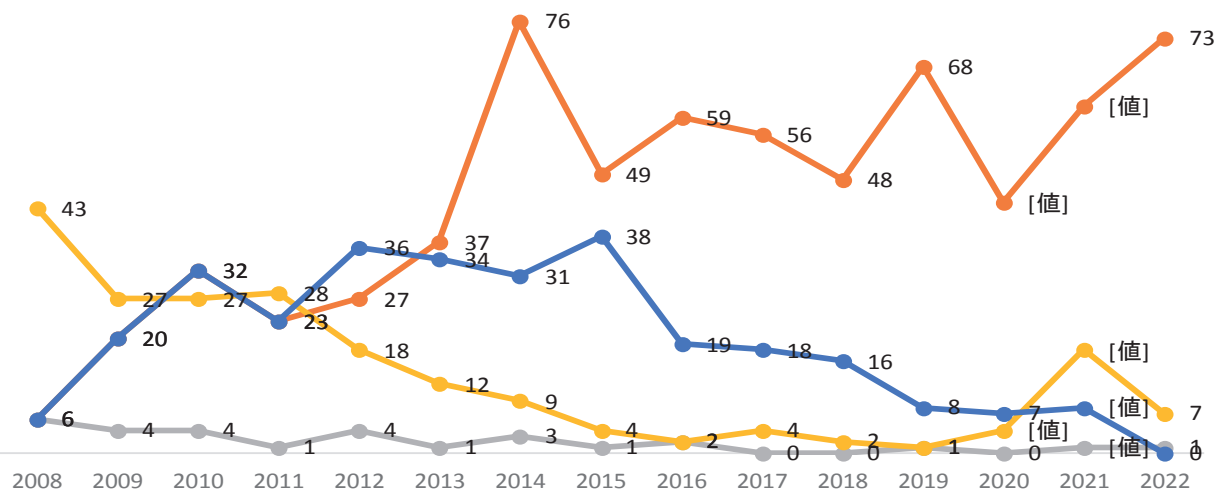
看護職員勤続年数・平均年齢



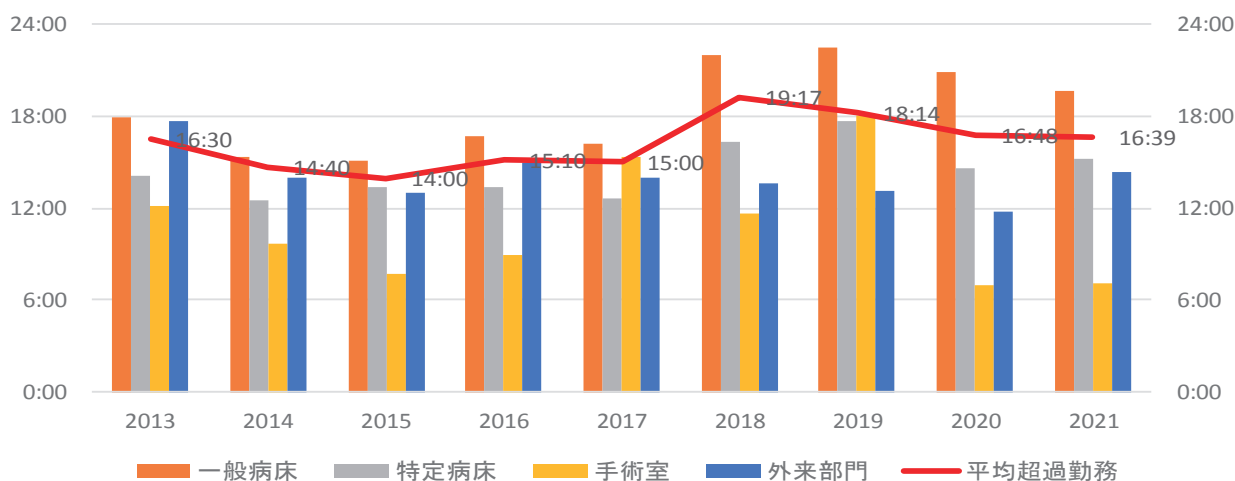
新入職看護職員 卒業校種別推移

4/1現在

大学 短期大学 専門学校 5年一貫校

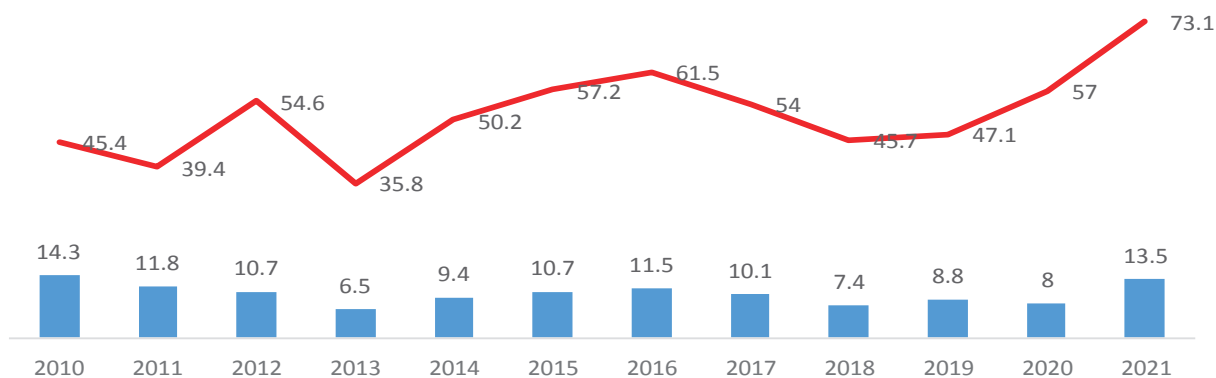


部署別時間外勤務時間

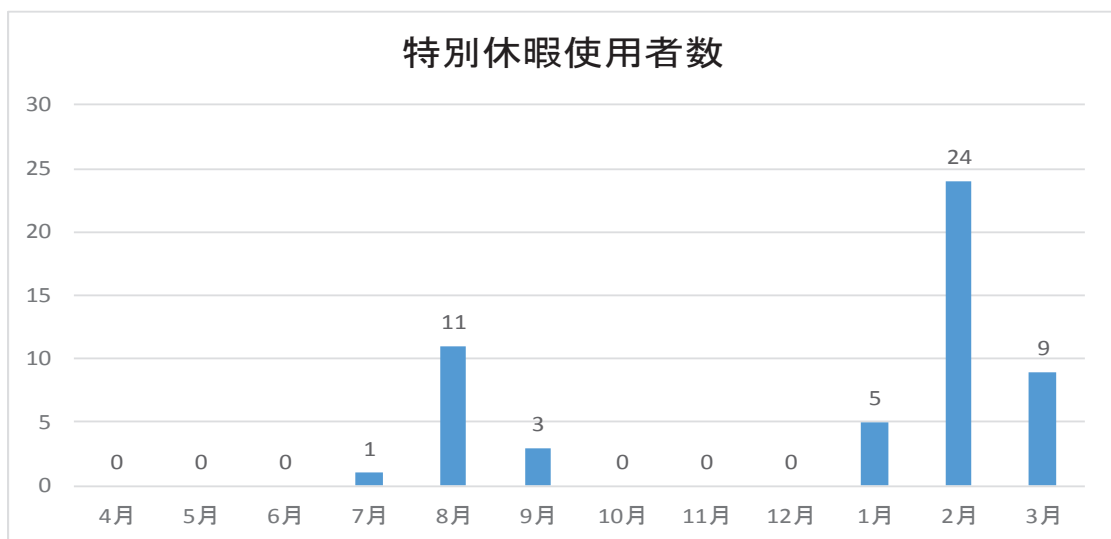
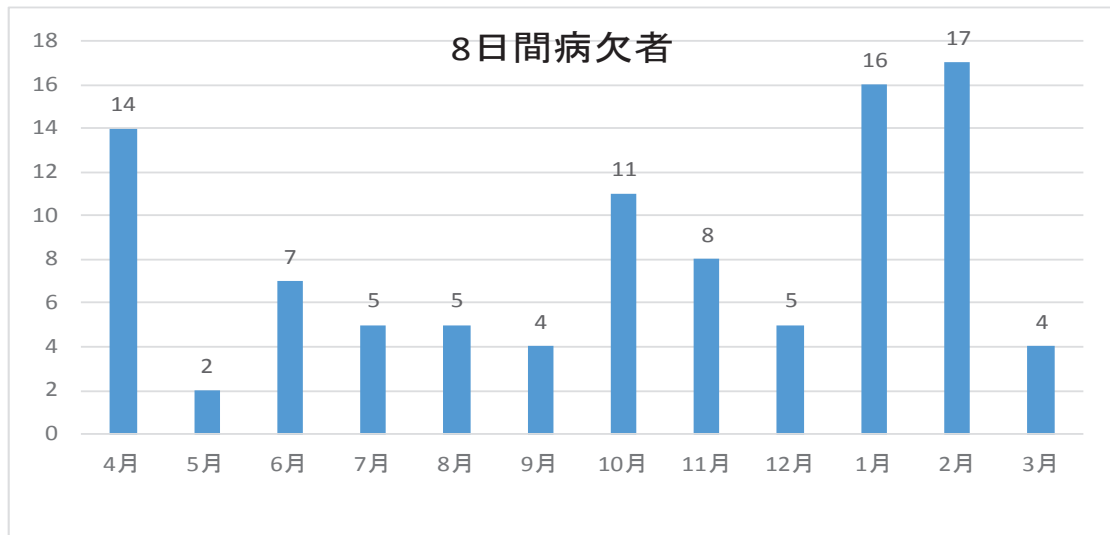


年休取得率と平均取得日数

平均取得日数 有休休暇取得率



COVID-19関係病欠者



2021 看護部の動向

2022/3/31

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
就職	新卒	88					1				1			90	
	既卒	6		1	2	1		1	1		1			13	
	パート看護師													0	
	パート助産師													0	
	学内異動者	5												5	
退職	新卒				1	2								3	
	既卒	1		9	7	2	1	2		9	3	6	32	72	
	准看護師													0	
	学内異動者												8	8	
	介護福祉士					1								1	
	看護補助者												1	1	
看護職者内訳	常勤看護師	632	672	672	664	657	651	651	653	646	643	638	638		651.4
	常勤助産師	38	38	37	36	36	37	40	37	36	36	35	35		36.8
	パート看護師	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3		2.2
	パート助産師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0.0
	時間短縮勤務	30	32	34	36	37	38	37	34	35	36	35	35		34.9
	准看護師	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7		7.0
	合計	709	751	752	745	739	735	737	733	726	724	718	718		732.3
介護福祉士		20	20	20	20	19	18	18	18	18	18	18	18		18.8
看護補助者（内派遣）		86(76)	85(75)	83(73)	88(77)	86(76)	92(81)	94(83)	96(86)	96(86)	95(85)	95(85)	95(85)		
病棟クランク		19	18	19	18	18	20	18	19	19	19	19	18		18.7
平均超勤時間		14:48	14:30	15:16	16:03	17:53	15:56	18:18	17:05	17:34	17:56	16:01	18:38		16:39
一般病棟看護師数		360	360	363	356	349	343	355	355	346	332	331	331		
特定病棟看護師数		202	201	202	203	200	201	199	192	192	188	188	188		
外来看護師数（Q外含）		98	99	99	101	100	102	104	100	99	100	101	103		
手術看護師数		48	48	48	45	45	45	45	45	45	45	43	43		
B:看護師実労働者数		708	708	712	705	694	691	703	692	682	665	663	665		690.7
休職者	産休（看・助産）	5	2	5	8	15	16	13	12	10	11	14	16		10.6
	産休（介・助）														
	育休（看・助産）	29	29	26	24	20	21	32	32	35	36	33	33		29.2
	育休（介・助）														
	病欠（看・助産）	2	2	9	13	4	7	6	7	4	7	3	2		5.5
	病欠（介・助）												1		1.0
	休職						1	1	2	2	2	1	1		1.4
A:合計		36	33	40	45	39	45	52	53	51	56	51	53		46.2
C:看護部		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7		7.0
D:出向		24	24	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23		23.2
D:出向		23	23	23	23	23	23	23	24	25	24	24	24		

2021年度 一般病棟入院基本料1 各部署平均夜勤時間 ・ 夜勤専従者配置表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
3 B	73.6	72.9	72.6	77.0	74.7	64.4	72.7	68.9	66.4	67.0	67.4	76.0	71.1
4 B	67.5	70	64.6	71.8	69.7	70.8	66	63.4	64.7	69.7	60.5	68	67.2
4 C	73.1	71.4	67.2	71.4	65.2	66.1	59.1	58.2	71.1	72.3	71.5	75.1	68.5
3 C→5A	70.2	61.3	59.2	62.7	67.1	70.4	70.7	76.2	79.2	77.8	69.6	81.1	70.5
5 B	62.6	54.2	49.4	52.7	50.4	53.6	55.3	50.4	52	55.5	56.7	65.4	54.9
5 C	73	68.7	71.6	74.4	70.4	66.5	68.2	68	71.4	71.7	65.8	69	69.9
6 A	74.1	77.9	74.6	70.1	73.1	74.6	77.4	74.5	78.8	77.2	69.9	76.6	74.9
5 A→6H	69.7	77.6	71	71	70.5	68.6	68	69.5	64.8	76.6	66.9	67.7	70.2
7 A	77	73	67.7	65	69.3	66.5	69.4	68.3	67.5	67.4	57.3	71	68.3
8 A	74.6	68.6	66	70.6	64.2	60.6	64.3	62.7	64.9	67.5	68.5	71.1	67.0
9 A	62	67.6	70.4	70.6	72.9	69.6	70.7	67.8	66	68.9	62.2	77	68.8
平均	70.4	69.1	66.6	68.1	67	66.2	66.9	65.9	67.5	69.3	62.9	71.8	67.6
夜勤専従者人数	21	18	24	20	24	18	20	20	21	20	16	19	20.1

2021年度 特定病棟平均夜勤時間

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
NICU	3対1	100.0	96.2	86.4	89.3	87.5	94.4	95.3	91.7	99.1	100.8	91.1	100.2	94.3
GCU	6対1	71.4	94.4	88	94.9	82.5	80	86.8	84	89.2	89.4	82	100.1	86.9
3EICU→3AICU	4対1	93.6	79.5	83	86.2	95.4	86.7	93	89.4	92.5	95.2	87.8	100.7	90.3
3A→ICU/CCU	2対1	103.7	97	99.8	98.6	96.9	82.3	94.1	93.2	97.1	96.4	89.4	98.2	95.6
3E→HCU	4対1	105.9	94.8	99.1	101.1	97	97	98.5	91.4	95.5	96	88.9	100	97.1
MFICU	3対1	95.6	84.5	91.6	101.3	102	101.9	101	95.9	98.5	96.6	89.4	102	96.7
2C	5対1	96	110.2	106.6	99.2	99.2	97.7	99.2	96	111.1	110.6	97.9	100.5	102.0

3-9(2) 看護外来業務課

1. 外来

1) 「外来」と「病棟」、「外来」と「地域」の連携強化を目的に活動してきた。病棟との連携において、電子カルテ上で外来看護記録のタイトルを活用し看護を記載することが定着した。さらに多数患者に対応する中で、患者の問題を適確にとらえ簡潔明瞭に記録記載できるように、記録の質向上に努めた。また、退院後初診の患者が検査や受診で戸惑うことのないよう、病棟と外来の連携を充実させる目的で、病棟スタッフへの外来オリエンテーションの基盤作成をした。

病棟との定期的なカンファレンスは、患者の情報共有や業務連携について平均 53 件/月開催され連携を深めてきた。また病棟－在宅－外来とシームレスな連携を図る目的の、「入退院支援スクリーニングシート」は 254 件/月実施し、支援の必要な患者の情報を入退院支援室と情報共有している。

地域との連携においては、「地域連携シート」発信が 86 件/年、受信が 41 件/年と、「電話相談」発信件数が 116 件/年、受信が 151 件/年で、「地域連携シート」は有効活用されており、活用地域の拡大が検討されている。

今年度は外来受診患者延べ平均 1692 人/日（2021 年度平均）に対し、看護介入や地域と連携した支援が必要か自前の簡易ツールでアセスメントしたうえで、外来アセスメントシートを 52 件/月実施した。スタッフの意見を下に外来アセスメントシートの内容を一部修正しブラッシュアップして活用を促進した。今後の課題は、外来アセスメントシートの対象者を拡大し、必要な患者にタイムリーに支援を実施していくことである。

2) 「外来」と「病棟」の一元化を撤廃後 2 年が経過した。4 ブロックに編成した外来間、救急外来と検査室で、相互支援ができる体制を整えてきた。育児中の時短スタッフや体調不良者による、急遽の休みや超過勤務に対して、ブロック内での相互支援が定着してきている。今後も継続して支援体制を整え、外来全体での相互支援の拡大に向けて、教育体制を整えている。

3) 専門分野による看護指導件数

	2020 年度	2021 年度
骨粗鬆症指導件数	228 件	175 件
間歇導尿指導件数	29 件	24 件
禁煙看護指導件数	39 件	56 件
自己血輸血件数	284 件	367 件
糖尿病療養指導件数	125 件	197 件

4) 外来部門各資格者数（2021 年度 有資格取得者を含む）

- ・学会認定内視鏡検査技士（4 名）
- ・学会認定臨床輸血看護師（1 名）
- ・学会認定自己血輸血看護師（1 名）

- ・快適 CIC 指導士（間歇導尿指導）（1 名）
- ・静脈注射造影剤コース院内認定看護師（18 名）
- ・日本禁煙学会禁煙認定指導看護師（2 名）
- ・インターベンションエキスパートナース（2 名）
- ・日本リウマチ財団 リウマチケア看護師（1 名）
- ・肝疾患医療コーディネーター（7 名）
- ・特定化学物質作業主任者（7 名）
- ・有機溶剤作業主任者（3 名）
- ・糖尿病療養指導士（1 名）
- ・腎臓病療養指導士（1 名）

2. 手術室

- 1) 2021 年度の年間手術件数 8,401 件、定時外も含む稼働率は 81.8%であり、コロナ渦でクラスター発生の影響により手術が控えられたこともあったが、昨年度より 588 件/年増加している。

H 棟手術室の開設により、A 棟手術室と 2 カ所の手術室の運用となったが、計画的に準備を行い、混乱なく手術を実施することができた。拡大した手術室に対して、術間清掃内容や人員、部屋準備時の看護補助者業務について委託業者との調整を実施し、術間のインターバルを 30 分に継続できている。

- 2) 手術を安全に実施かつ手術室を効率よく運用するために、入退院支援室での入院前支援に加え、外科・整形外来での入院前支援の体制を整えた。入院前支援は、15 件/月の実施で、係わった患者の中で、「歯科受診した」「禁煙した」「歯みがき方法や回数を見なおした」などの手術後合併症予防に向けて行動変容があったのは 4 割から 5 割であった。

今後は、外来と手術室で協働し、外来看護師の術前オリエンテーションと手術室看護師の術前支援内容を精選して整理し、手術前支援の対象患者の拡大を目指したい。

- 3) 手術室での褥瘡発生件数は 2021 年度 9 件、2021 年度 9 件と増減なく、術中に発赤し重症化した件数は 0 件であった。手術室入室時・退室時の皮膚観察の徹底でスキントラブルの早期発見と迅速な対応に努め、また術中のポジショニングや可能な範囲で除圧の実施が出来ている。スキンケアに関しては、4～5 件/月の発生があり、術前から脆弱な皮膚状態であったり、全身状態の決して良好な状態でない症例に発生がある。医療チーム内での情報共有や術前の状態把握と術後訪問での検証を重ね、トラブルが最小限となるようにケアの検討を継続していきたい。

3. 滅菌室

新棟Ⅱ期建設終了までは、主要手術室の H 棟と滅菌室に距離があり、さらに A 棟手術室の対応で、委託業者の株式会社リジョイスカンパニーの業務が繁雑となった。予測の下で業務改善し、拡張・増床した手術室・関連エリアの清掃・手術室準備を実施できており、業者とのダブルチェックにより 2021 年度は鋭利物混入 0 件で、術間 30 分での手術室運用に大いに貢献している。

3-9(4) 看護教育課

2021 年度 現任教育必修研修一覧

月	日	研修時間 (受講人数によって時間変更あり 教案配布時に確認してください)	ラダー	研修名	研修内容 (教育要綱参照)	担当者 *担当責任者	アドバイザー	
4	動画視聴期間 4月9日～4月30日 (研修エントリーは動画視聴開始2ヶ月前)		I	指導者研修STEP1-①	動画聴講	渡邊美、天野	教育課	
5	6(木)	13:00～16:30	I	指導者研修STEP1-②	実地指導者(エルダー) になるために (講義・グループワーク)	渡邊美、天野	教育課	
	11(火)	8:30～12:00						
	13(木)	13:00～16:30						
	7(金)	8:30～12:00 13:00～16:30	新人看護 職員研修	フィジカルアセスメント STEP1	フィジカルイグザミネーション (講義・演習)	勝間田、稲葉 三角、渡邊あ	教育課	
	25(火)	(午前午後入れ替え)						
	17(月)	16:30～17:30	II	事例研究STEP2-①	計画書の書き方、プレゼン テーションについて(講義)	倉田	教育課	
	18(火)							
	20(木)	8:30～12:00 13:00～16:30	II	指導者研修STEP2 (2021年度 メンターに なられる方のみ)	メンターの役割について (講義・グループワーク)	内田、飯田紗	教育課	
	24(月)							
	31(月)							
27(木)	16:30～17:30	II～Ⅲ (選択研修)	臨床実習指導者研修1	講義(ZOOM予定)	本間、加藤、 松本、田代、 保健看護	教育課		
6	2(水)	16:30～17:30	I	事例研究STEP1	ケースレポートの書き方 (講義)	田爪、谷口	教育課	
	8(火)							
	15(火)							
	7(月)	9:00～12:00 13:00～16:00	新人看護 職員研修	急変対応	1次救命処置(講義・演習)	鬼塚、田代範、 鈴木恵、増永	教育課	
	10(木)	(午前午後入れ替え)						
	14(月)	8:30～12:00	II～Ⅲ (選択研修)	臨床実習指導者研修2	指導3観について(講義)	本間、加藤、 松本、田代、 保健看護	教育課	
	22(火)	13:00～14:00 14:10～15:10	介護福祉士 看護補助者	看護補助者技術研修	体位変換について(演習) ※6月・9月・12月いずれか 1日参加へ	瀧田、三島、 浦岡 (皮膚排泄ケアCN)	教育課	
	17(木)	13:00～16:00	IV	リーダーシップ研修 STEP4-①	SWOT分析 (講義・グループワーク)	山崎、森久	土屋師長	
	24(木)	9:00～12:00 13:00～16:00	新人看護 職員研修	3ヶ月の振り返り 多重課題	グループワーク	小島、中村	教育課	
	29(火)	(午前午後入れ替え)						
7	動画視聴7月1日～7月14日 (研修エントリーは動画視聴開始2ヶ月前)		IV	V	看護倫理STEP5-①	動画聴講	宮澤師長 池田(PCNS)	田村師長
	1(木)	8:30～12:00 13:00～16:30	II	リーダーシップ研修 STEP2	リーダーに必要なコミュニ ケーションスキル (講義・グループワーク)	大川、藤本 宮澤 (産業カウンセラー)	教育課	
	7(水)	(午前午後入れ替え)						
	19(月)	13:00～14:00 14:10～15:10	病棟クラーク	看護補助者技術研修	接遇マナー(演習)	望月佳、一杉	教育課	
	13(火)	9:00～12:00 13:00～16:00	新人看護職員 研修	看護記録STEP1	看護過程 (講義・グループワーク)	勝又理、 古屋師長	教育課	
	29(木)	(午前午後入れ替え)						
	15(木)	8:30～12:00	III	リーダーシップ研修 STEP3-①	問題解決技法 (講義・グループワーク)	多田、森み	土屋師長	
	8(木)	16:30～18:00	II～Ⅲ (選択研修)	指導者研修STEP3	研修計画立案について学ぶ (指導3観)講義	教育課		
26(月)								

8	3(火)	16:30～17:30	中途採用者フォローアップ研修(グループワーク)				教育課	教育課
	11(水)	16:30～17:00	Ⅳ	Ⅴ	看護倫理STEP5-①	意見交換会	宮澤師長 池田(PCNS)	田村師長
9	動画視聴9月10日～9月30日 (研修エントリーは動画視聴開始2ヶ月前)		Ⅱ		看護倫理STEP3-①	動画聴講	宮澤師長 池田(PCN)	田村師長
	1(水)	13:00～14:00 14:10～15:10	介護福祉士 看護補助者		看護補助者技術研修	体位変換について(演習) *6月・9月・12月いずれか 1日参加へ	瀧田、三島 浦岡 (皮膚排泄ケアCN)	教育課
	7(火)	9:00～12:00	Ⅰ		フィジカルアセスメント STEP2	講義・グループワーク	石田、石井、 大木、飯田敏	教育課
	14(火)	9:00～12:00 13:00～16:00 (午前午後入れ替え)						
	21(火)	16:30～17:30	Ⅲ		看護倫理STEP4-①	講義・グループワーク	宮澤師長 池田(PCNS)	田村師長
10	動画視聴 10月11日～10月31日 (研修エントリーは動画視聴開始2ヶ月前)		Ⅱ		看護記録STEP2	記録監査について (動画聴講)	勝又理、佐野	教育課
	4(月)	16:30～17:30	中途採用者フォローアップ研修(グループワーク)				教育課	教育課
	4(月)	9:00～12:00 13:00～16:00 (午前午後入れ替え)	Ⅱ		臨床推論	関連図、SBAR (講義・グループワーク)	土佐谷、森島	教育課
	12(火)	9:00～12:00 13:00～16:00 (午前午後入れ替え)	Ⅰ		フィジカルアセスメント STEP2	講義・グループワーク	石田、石井、 大木、飯田敏	教育課
	26(火)							
	20(水)	16:30～18:00	Ⅱ～Ⅲ (選択研修)		臨床実習指導者研修3	先輩指導者と語ろう (グループワーク)	本間、加藤、 松本、田代、 保健看護	教育課
	11	動画視聴 11月10日～11月30日		Ⅰ		看護倫理STEP2	動画聴講	宮澤師長 池田(PCNS)
9(火)		16:30～17:00 17:00～17:30 (入れ替え)	新人看護 職員研修		入退院支援・連携研修	退院支援スクリーニング シートについて	渡邊光、 渡辺ひ	教育課
30(火)								
29(月)		16:30～18:00	Ⅳ		リーダーシップ研修 STEP4-②	SWOT分析 成果発表	山崎、森久	土屋師長
12	10(金)	13:00～14:00 14:10～15:10	介護福祉士 看護補助者		看護補助者技術研修	体位変換について(演習) *6月・9月・12月いずれか 1日参加へ	瀧田、三島 浦岡 (皮膚排泄ケアCN)	教育課
	13(月)	13:00～16:30	Ⅱ		事例研究STEP2-②	事例発表会	倉田	教育課
	14(火)							
	動画視聴 12月10日～12月31日		新人看護 職員研修		逝去時の看護	動画聴講	教育課	教育課
	15(水)	9:00～12:00 13:00～16:00 (午前午後入れ替え)	Ⅲ		リーダーシップ研修 STEP3-②	問題解決技法 成果発表	多田、森み 土屋師長	土屋師長
	20(月)	16:30～18:00	Ⅲ		看護倫理STEP4-②	事例発表	宮澤師長 池田(PCNS)	田村師長
	21(火)							
1	24(月)	9:00～12:00 13:00～16:00 (午前午後入れ替え)	新人看護 職員研修		メンバーシップ研修	1年の振り返り (講義・グループワーク)	増田	教育課
	27(木)							
	24(月)	16:30～17:30	中途採用者フォローアップ研修(グループワーク)				教育課	教育課
	31(月)	16:30～17:30	介護福祉士 全員参加		介護ケーススタディー	事例発表	教育課	教育課

2	2(水)	16:30～17:30	Ⅱ	看護倫理STEP3-②	グループワーク	宮澤師長 池田(PCNS)	田村師長
	3(水)						
	4(金)						
	7(月)	8:30～12:00 13:00～16:30 (午前午後入れ替え)	Ⅰ	リーダーシップ研修 STEP1	リーダーになるための 心構え (講義・グループワーク)	石倉、菊地あ	土屋師長
	10(木)						
	14(月)	16:30～18:05	介護福祉士 全員参加	介護ケーススタディー	事例発表	教育課	教育課
3	22(火)	8:30～12:00 13:00～16:30 (午前午後入れ替え)	Ⅱ	指導者研修STEP2 (2022年度 メンターに なれる方)	メンターの役割について (講義・グループワーク)	内田、飯田沙	教育課
	14(月)	16:30～18:00	Ⅱ～Ⅲ (選択研修)	臨床実習指導者研修4	指導の振り返り 発表	本間、加藤、 松本、田代、 保健看護	教育課
	24(木)	16:30～17:30	中途採用者フォローアップ研修(グループワーク)			教育課	教育課

2021 年度 キャリアアップ研修計画

1. 学内認定看護師教育課程 静脈注射コース

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
7	12(月)	8:30～16:10	新人看護師以外	講義・演習	松岡、菊地、山本優、 教育課
9	6(月)			講義・演習	
12	20(月)			講義・演習	

2. リーダーシップ研修STEP5

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
5	26(水)	16:30～18:00	Ⅳ以上	①看護管理の基礎知識	看護部長
6	16(水)			②経営資源と管理の基礎知識	野澤課長
7	14(水)			③医療安全情報管理	荻島課長
9	22(水)			④ヘルスケアサービスにおける 看護の役割	濱口課長 / 櫻井師長
10	13(水)			⑤人材育成	教育課
11	17(水)			⑥看護実践における倫理	古屋師長
12	15(水)			⑦看護チームマネジメント	山口師長/鈴木美師長
1	21(金)			⑧労務管理の基礎知識	矢田課長 / 宮澤(産業カウンセラー)
次年度 繰り越し	2022年4月20日(水)			⑨業務改善計画発表	教育課
	2023年2月8日(水)			⑩業務改善発表会	教育課

3. 看護教育研究会

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
9	10(金)	16:30～18:00	Ⅱ以上	伝達講習・研究・取り組み発表	教育課
2	15(火)				
3	8(火)				

4.急変対応指導者育成コース

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
動画視聴10月1日～11月30日 (研修エントリーは視聴開始2ヶ月前)			I 以上	動画視聴	野澤、松尾、多田真 森島克、石田桃、鬼塚味 鈴木恵、田上佑、増永恵 杉山ゆ、内田千

5.褥瘡ケアコース

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
6	23(水)	16:30～17:30	II 以上	動画視聴	間部、浦岡歩
7	28(水)	16:30～17:30		演習	

6.ストーマケアコース

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
8	17(火)	16:30～17:30	II 以上	動画視聴	間部、浦岡歩
9	1(水)			動画視聴	
10	20(水)			演習	

7.摂食・嚥下障害看護コース

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
8	5(木)	16:30～17:30	II 以上	講義	大川安、福田由、沢田梢
9	2(木)			演習	
1	6(木)			実践事例発表	

8.認知症ケア加算対象研修修了者フォローアップ研修

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
10	1(金)	16:30～17:30	III 以上	グループワーク	古屋、認知症ケア学内認定

9.院内認定呼吸ケアナース研修

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
10	8(金)	8:30～16:40	人工呼吸器に携わる部署のリーダー看護師で 師長推薦のある者	講義・実技・シミュレーション	鈴木英、多田真、石田桃 土佐谷忍、富田美
11	12(金)			実技	
12	18(土)			シミュレーション	

10.呼吸ケアナースフォローアップ研修

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
11	4(木)	16:30～17:30	院内認定 呼吸ケアナース	講義・実技	鈴木英、多田真、石田桃 土佐谷忍、富田美
12	2(木)				
1	13(木)				

11.がん看護研修

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
10	6(水)	16:30～17:30	Ⅱ以上	講義	谷口真、菊地麻、中村佳 高島信、渡邊美
11	10(水)			講義	
12	1(水)			講義	

12.入退院支援・多職種連携

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
6	21(月)	16:30～17:30	チームリーダーを 担っている看護師	講義	入退院支援室/ 山下師長、渡邊光、渡辺ひ
7	19(月)	16:30～17:30		講義	
11	16(火)	16:30～17:30		事例検討発表	
12	3(金)	16:30～17:30		事例検討発表	

13.院内認定経鼻胃管挿入コース

月	日	研修時間	ラダー	研修内容(教育要綱参照)	担当者
1	18(火)	16:30～17:30	Ⅱ以上 師長推薦	講義・演習	荻島課長、教育課

2021 年度 院外教育活動

1. 学会・研究会発表

	テーマ	発表場所	発表者(部署)
1	静岡県東部災害拠点病院、消化器内科病棟看護職の災害時の知識調査	一般社団法人日本災害看護学会第23回年次大会	渡辺和信(5A) 松元里沙(5A) 勝間田敏宏(救外)
2	当院での地震災害時の参集 看護師の管理～地震災害発災時の参集看護師をシミュレートした結果の活用の考察～	一般社団法人日本災害看護学会第23回年次大会	勝間田敏宏(救外) 渡辺和信(5A)
3	特別支援学校の災害対策を考える研究集会プロジェクトチームの2020年活動報告	一般社団法人日本災害看護学会第23回年次大会	渡辺和信(5A)
4	当院での地震災害時の参集 看護師の管理～地震災害発災時の参集看護師をシミュレートした結果の活用の考察～	一般社団法人日本災害看護学会第23回年次大会	勝間田敏宏(救外) 渡辺和信(5A)
5	新人看護職が現実自己と看護師としての自己像との不一致の葛藤を乗り越え自己への信頼を取り戻す心理的成長過程	看護科学学会	宮澤久美子(外来)
6	チャットボットを用いた医療職の業務支援ツールの基本設計の検討	教育システム情報学会 2021年度第1回研究会	増永恵子(5A)
7	医療依存度の高い外国籍患児と両親への退院までの取り組み～大学病院から在宅への連携～	静岡県看護学会第9回	坪井隆司(5A) 渡辺和信(5A)
8	令和3年度重症心身障害児(者)対応看護従事者養成研修事例紹介医療ケアが必要な症例の退院調整～当院から伊豆医療福祉センターへ～	静岡県看護協会	長谷川智美(新生児)

9	社会的ハイリスク妊婦の当院における地域連携の課題 未受診妊婦の事例の報告と検証	静岡県看護協会	坪内志穂(6H)
10	COVID-19隔離病棟の看護実践	静岡県看護協会 東部地区支部	細小路光葉(9A)
11	手術安全チェックリスト遵守向上を目指して	静岡県看護協会 東部地区支部	藤本ゆうこ(手術)
12	新型コロナウイルス感染症患者の 手術を通して今後の課題	静岡県手術室看護研究会	山口礼(手術)
13	高齢な脳梗塞患者の自宅痰飲支援に向けた取り組み ～救命救急センターから行う退院支援調整～	第10回静岡県看護学会	森聖蘭(HCU)
14	医療職の業務支援を目的としたチャットボットの開発と形 成的評価	第16回医療系eラーニング 全国交流会	増永恵子(5A)
15	救命救急センター看護師のACPとDNARの捉え方～事 前指示書を持つ患者への関わりを通じて～	第17回日本クリティカルケア 看護学会	鈴木英子(HCU)
16	救急救命センターにおけるペアナーシング制の導入と 課題	第24回日本救急医学会中部 地方会総会学術集会	中村沙織(ICU/CCU)
17	熱海市土砂災害におけるホテル避難のメリット・デメリット	第27回日本災害医学会 総会・学術集会	多田真也(ICU/CCU)
18	安全な病院前輸血実施に向けた取り組む	第28回日本航空医療学会	小長谷真輝 (ICU/CCU)
19	セッション②座長 ケーススタディ3.4	第2階看護師特定行為 ケーススタディ検討会	多田真也(ICU/CCU)
20	在宅療養を希望する癌末期患者への退院支援	第39回静岡県東部地区支部 看護研究発表会	谷(渡邊)美優(3B)
21	手術を決定する外来からの介入の必要な項目の検証	第52回日本看護学術集会	山口礼(手術)
22	病棟管理者が行った身体拘束低減に向けた現状分析 ～看護師の身体拘束の判断に影響を与える因子に着目 して～	第52回日本看護学会 学術集会	鈴木英子(HCU)
23	急性期病院における身体拘束実施に対する中間管理 者としての課題～看護師のジレンマからの考案～	第52回日本看護学会 学術集会	古屋曜子(5A)
24	COVID-19病棟で働く看護師の不安項目と支援時期の 検証 ～産業カウンセラーによる面談を通して～	第52回日本看護学会 看護管理学術集会	堀込克代(看護部)
25	「ペアを組んで看護業務を実践することが新人看護師実 践能力向上に及ぼす効果」	第52回日本看護学会看護 管理学術集会	田中ひとみ(看護部)
26	「急性期病院における身体拘束実施に対する中間管理 者としての課題」示説	第52回日本看護学会看護 管理学術集会	島田奈津美(3AICU)
27	「病棟管理者が行った身体拘束低減に向けた現状分 析」示説	第52回日本看護学会看護 管理学術集会	島田奈津美(3AICU)
28	LINEチャットボットを用いた医療職の業務支援ツールの プロトタイプ開発	第53回日本医学教育学会 大会	増永恵子(5A)
29	ダイビング事故チェックリストの運用における問題点	第55回日本高気圧環境潜水 医学会学術総会	鬼塚味佳(HCU)
30	診療看護師(NP)と特定行為～特定行為研修終了者と 考えるコラボレーションの形～ 診療看護師(NP)の立場から	第7回日本NP学会学術集会	多田真也(ICU/CCU)

31	訪問看護ステーションで働く看護師の個人防護具 取り扱い上の課題	日本環境感染学会	平馬知実(2C)
32	アドバンス・ケア・プランニングにより1人暮らしの終末期 がん患者が在宅療養へ移行できた一例	日本緩和医療学会第3回 東海・北陸支部学術学会	高島信世(5A)
33	がん終末期の呼吸困難緩和に難渋した一例	日本緩和医療学会第3回 東海・北陸支部学術学会	高島信世(5A)
34	コロナ禍における看護管理者の実践 ～組織作りを重点にしたスタッフサポート～	日本救急医学会中部地方会	野澤陽子(看護部)
35	消化器内科看護に特化した支援ツールの設計 ～チャットボットを用いた単語検索～	日本教育工学会2021年 秋全国大会	増永恵子(5A)
36	オンラインによるフライトナース勉強会報告	日本航空医療学会総会	野澤陽子(看護部)
37	訪問看護ステーションで働く看護師の手指衛生の課題	日本在宅ケア学会	平馬知実(2C)
38	入退院を繰り返す患者への手術前外来からの介入が与 えるセルフケアの獲得への影響～尿路変更術を受ける 患者への看護連携～	第9回静岡県看護学会	下村加奈(3B)

2. 誌上発表

	テーマ	書籍・雑誌名	著者(部署)
1	災害支援ナースフォローアップ研修講義	神奈川県看護協会	長友節子(2C)
2	教育工学に基づいた災害看護教育プログラムの開発	災害医療研究センター紀要	渡辺和信(5A)
3	3つの知りたいがまとめてわかる！ 心電図・X線画像・採血 ナースのための検査データの読み方	学研メディカル秀潤社	増永恵子(5A)

2021年度 院外教育活動

3. 院外での講師としての教育活動

	活動内容	活動場所	担当者(部署)
1	疾病と治療 薬物治療Ⅱ	愛知医療大学大学院看護研究科	多田真也(ICU/CCU)
2	クリティカルケア特論	愛知医療大学大学院看護研究科	多田真也(ICU/CCU)
3	新生児蘇生法講習会	安達産婦人科	大木直美(新生児)
4	糖尿病性腎症について	伊豆市役所	渡邊あつ子 (患者相談)
5	がん教育”がんの基礎知識と予防”	伊豆総合高等学校土肥分校	渡邊美佐子(5A)
6	認知症高齢者に関わる看護倫理	看護連盟東部地区支部	古屋曜子(5A)
7	新生児蘇生法講習会	協立産婦人科医院	大木直美(新生児)
8	高齢者のフィジカルアセスメント	静岡県看護協会	古屋曜子(5A)
9	災害支援看護師の役割	静岡県看護協会	勝間田敏宏(救外)
10	認定看護管理者教育課セカンドレベル演習 コーディネーター	静岡県看護協会	荻島真弓(看護部)

11	助産管理(病棟編、外来編)講義とテスト作成	静岡県立看護専門学校	石井彰子(6H)
12	「看護の統合と実践Ⅱ」 災害看護	下田看護専門学校	渡邊和信(5A)
13	緩和ケア認定看護師について・ケアの実際	下田看護専門学校	高島信世(5A)
14	慢性看護特論 大学院ゲストスピーカー	順天堂大学大学院医療看護学部	田村美紀(4B)
15	慢性看護学特論Ⅲ	順天堂大学大学院医療看護学部 研究科	宮澤初美(9A)
16	慢性看護学特論 ゲストスピーカー	順天堂大学大学院医療看護学部 研究科	鈴木英子(HCU)
17	日本看護協会クリティカルケア認定看護学科	日本看護協会看護研修学校	鈴木英子(HCU)
18	「救急救命看護」	保健看護学部	渡邊和信(5A)
19	「ターミナルケア」 救急外来におけるターミナルケア	保健看護学部	渡邊和信(5A)
20	「成人看護方法論急性期Ⅱ」	保健看護学部	渡邊和信(5A)
21	高齢者看護方法論Ⅱ	保健看護学部	宮澤初美(9A)
22	「救急法の理論と実技」BLS/ICLSコース演習	保健看護学部	増永恵子(5A)
23	医療と看護管理	保健看護学部	堀込克代(看護部)
24	高齢者看護方法論Ⅱ「病院における認知症看護の 実際」	保健看護学部	古屋曜子
25	周産期ターミナルケア	保健看護学部	古谷華菜(6H)
26	ICLS	保健看護学部	中村沙織(ICU/CCU)
27	成人看護方法論	保健看護学部	田村美紀(4B)
28	医療と看護管理	保健看護学部	田中ひとみ(看護部)
29	救命救急看護	保健看護学部	多田真也(ICU/CCU)
30	救命救急看護	保健看護学部	鈴木めぐみ(救外)
31	基礎看護	保健看護学部	佐々木史乃 (ICU/CCU)
32	救急看護	保健看護学部	石田桃子(救外)
33	職業講座	三島北高校	矢田みどり(看護部)

3. 研修・臨地実習受け 入れ状況

施設	実習内容	期間
順天堂医療看護学部	ハイリスク新生児実習	7/26～8/6
	助産分娩実習	8/23～9/17

順天堂保健看護学部	基礎Ⅰ	前半:1/11～21 COVID 感染防止にて 1/17～21 中止
	基礎Ⅱ	8/23～9/17
	領域実習	10/4～12/17 1/17～COVID 感染拡大防止にて中 止
	総合実習	7/12～20
静岡県立看護専門学校	ハイリスク新生児	COVID 感染拡大防止にて中止
	助産分娩実習	9/27～12/24
東海大学	救急認定看護師教育課 程	1/6～2/10
神奈川県立保健福祉大学	看護管理研修	10/22
インターンシップ	就職前職場体験	COVID 感染防止にて中止

3-10 救命救急センター

業務内容

静岡県東部地域の救急医療の「最後の砦」の三次救急医療機関として、院内全診療科と各部門の協力・連携のもと、「断らない救急医療」の実践を継続している。二次救急医療についても駿東田方地域の広域輪番制で対応不能な場合は当センターが対応しており、同様に一次救急医療を担当する休日夜間急患センターなどの対象外地域や診療時間の空白時は、当センターが対応することが多い。

病院前救急医療としては、静岡県東部地域のドクターヘリ運航基地病院として、医師及び看護師の現場派遣と迅速な搬送を行うことで、特に伊豆半島と静岡市山間部の救急医療に重要な役割を果たしている。

入院診療ではICU13床、CCU7床を含む救急専用病床40床を利用し、重症傷病者の診療を行っている。

業務実績

2021年度

救急外来受診患者総数	11,998人
救急入院患者総数	5,512人
救急車搬送件数	6,034件
ドクターヘリ運航件数	866件

メディカルコントロール活動

消防機関とのメディカルコントロール（MC）体制を確保・発展するために、当院に搬送された症例を中心に、救急救命士の技術指導を行った。

次年度目標

- 救急搬送収容業務の円滑化と迅速化のため、救急応答事務員による救急対応体制への移行を順次実施する。
- 周辺地域における救急医療連携を強化し、医療情報ネットワークを構築する。
- ドクターヘリ活動と研究により積極的に介入し、適正かつ有効なドクターヘリ業務を推進する。
- コロナ感染拡大に伴う救急患者からの院内感染の発生を抑止する。
- 新救急救命センターへ円滑に業務体制を移行する。

3-11 ドクターヘリ運航対策室

業務内容

当院は静岡県東部地域のドクターヘリ運航基地病院である。当院のフライトドクター及びナースがヘリでいち早く救急現場の傷病者と接触し、トリアージと応急処置を行い、適切な医療施設を選定して、目的地まで安全に搬送できるよう注意深い観察と対応を行っている。平成 16 年の指定以降、出動件数は年々増加傾向であり、当院を中心とする半径 70 k m の医療圏から年間 700 件以上の重症救急患者の広域ヘリ搬送を実施し、その約 7 割の患者を当院の救命救急センターに収容している。

次年度目標

- ・ドクターヘリ活動周知、啓発活動の継続
- ・消防との更なる連携強化
- ・県防災ヘリとの連携強化
- ・大規模災害、A A C N 等の訓練への参加
- ・海上保安庁との連携強化
- ・自衛隊との連携強化

2021 年度ドクターヘリ出動件数・搬送人数

転 帰	人 数	
入 院	505	57.1%
外 来	201	22.7%
転 送	137	15.5%
キャンセル	41	4.6%
合 計	884	100%

要請内容	件 数
現場搬送	672
現場キャンセル	39
病院間搬送	153
病院間キャンセル	2
合 計	866

令和3年/令和4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	/1月	/2月	/3月	合計(人)
入 院	36	49	56	40	40	32	49	41	52	35	26	49	505
外 来	21	15	14	25	20	14	10	9	15	24	13	21	201
転 送	12	11	11	14	12	8	12	18	8	10	11	10	137
キャンセル	5	3	0	4	6	4	3	3	0	3	6	4	41
月別合計	74	78	81	83	78	58	74	71	75	72	56	84	884

令和3年/令和4年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	/1月	/2月	/3月	合計(件)
救急現場	57	60	60	62	63	46	57	51	60	55	40	61	672
転院搬送	11	15	20	15	7	8	14	14	13	14	9	13	153
キャンセル	5	3	0	4	6	4	3	3	0	3	6	4	41
月別合計	73	78	80	81	76	58	74	68	73	72	55	78	866

出動実績

I-1(件数)

出 動 内 容	
現 場	711 (キャンセル 39件含む)
病院間	155 (キャンセル2 件含む)
現 場	672
病院間	153
小 計	825
キャンセル	41
合 計	866

I-2(件数)

(消防本部別)

消 防 本 部 名	転 院 搬 送		現場出動	計
	病 院	診療所		
下田消防	53	10	138	201
駿東伊豆消防	15	6	234	255
熱海市消防	13	1	32	46
富士山南東消防	3	0	138	141
御殿場市・小山町消防	4	3	81	88
富士宮市消防	0	0	47	47
富士市消防	2	0	26	28
静岡市消防	0	0	15	15
その他消防	0	0	0	0
小 計	90	20	711	821
消防との合流なし	45	0	0	45
合 計	135	20	711	866

II-1(人数)(診療科別)

診 療 科 名	(人数)
循環器科	187
脳神経外科	108
整形外科	52
外 科	19
呼吸器内科	5
小児科	18
膠原病内科	0
呼吸器外科	0
腎臓内科	3
消化器内科	4
心臓血管外科	10
脳神経内科	9
産婦人科	4

← 急性心筋梗塞49人、心不全17人

← 脳内出血22人

眼科	1
泌尿器科	6
形成外科	0
耳鼻咽喉科	0
皮膚科	0
新生児科	3
血液内科	2
糖尿病・内分泌内科	0
救急診療科	412
合 計	843

／843名（キャンセル41件を除く）

※866件の出動中

2名診療 13件 4名診療 1件
3名診療 0件

Ⅱ－2（人数）

（収容先別）

出 動 別	当 院 _(人数)	他 院 _(人数)	合 計 _(人数)
現 場	537	81	618
病 院 間	102	51	153
小 計	639	132	771
現場のみ	10	62	72
合 計	639	132	843

疾患別搬送件数

内因性疾患	件 数	内因性疾患	件 数
急性冠症候群	91	ショック	6
心不全	23	子宮内胎児死亡	1
急性大動脈解離	25	腎盂腎炎	1
大動脈瘤	1	過換気症候群	1
大動脈瘤破裂	6	出血性ショック	2
完全房室ブロック	4	胸水	1
Ⅱ度房室ブロック	1	肝硬変	1
洞不全症候群	4	急性腹症	2
徐脈	11	下肢動脈閉塞症	1
心房細動	5	尿路感染症	2
不整脈	3	喘息	1
心室頻拍	2	横紋筋融解症	1
心室細動	11	感染症	1
心肺停止	38	脱水	2
心破裂	1	肝膿瘍	1
心タンポナーデ	1	ヒステリー発作	2
急性動脈閉塞症	1	腎動脈バイパス術後	1
肺塞栓症	3	急性胃腸炎	1
脳内出血	12	壊死性筋膜炎	2
くも膜下出血	12	大動脈離断	1
脳梗塞	18	頸部痛	1
意識消失発作	4	尿管結石症	2
脳腫瘍	2	食道閉鎖	1
けいれん発作	25	崁径ヘルニア	1
脳血管障害	4	白血病	1
意識障害	12	破水	1
一過性脳虚血発作	2	不明	2
失神	6		
脳卒中	61		
肺炎	8		
呼吸不全	3		
腸閉塞	2		
消化管穿孔	3		
消化管出血	4		
低血糖	4		
下血	1		
嘔吐症	1		
腎不全	1		
敗血症	10		
蘇生後脳症	1		
腸管壊死	1		
胸痛	3		
吐血	1		
不正出血	1		
喀血	1		
胆管炎	1		
低酸素血症	1		
多臓器不全	1		
性器出血	1	内因性疾患 小 計	478

外因性疾患	件 数	外因性疾患	件 数
交通外傷	5	背部打撲	2
頭部外傷	33	腹部打撲	1
腹部外傷	1	頸椎捻挫	3
多発外傷	14	手関節捻挫	1
胸部外傷	7	臀部挫創	1
眼球外傷	2	頸部挫創	1
転落外傷	8	手指挫創	7
頭蓋骨骨折	4	下肢挫創	6
下腿骨骨折	6	顔面挫創	2
頸椎骨折	2	前腕挫創	2
膝開放性骨折	1	足指挫創	2
胸腰椎骨折	4	胸部挫創	1
肋骨骨折	7	頭部挫創	6
骨盤骨折	20	四肢挫創	1
上腕骨骨折	3	上腕刺創	1
足指開放骨折	1	上腕挫滅創	1
肋骨多発骨折	3	頸部切創	1
肘部骨折	1	手指切創	2
下腿開放骨折	13	脳挫傷	2
胸骨骨折	3	擦過傷	1
腰椎骨折	10	動物咬傷	2
鎖骨骨折	3	肘部挫傷	1
膝蓋骨骨折	1	外傷性脳出血	1
肩甲骨骨折	1	脳振盪	9
大腿骨骨折	8	外傷性くも膜下出血	5
足関節骨折・脱臼	5	急性硬膜下血腫	2
肩骨折	1	外傷性気胸	3
足関節開放性骨折	6	血気胸	6
前腕骨折	4	減圧症	7
胸椎骨折	1	蜂刺症	3
大腿骨開放骨折	2	縊首	2
手指骨折	4	熱傷	9
脊椎骨折	1	熱中症	11
頸髄損傷	9	心肺停止	10
脊髄損傷	6	アナフィラキシー	13
上肢デグロービング損傷	4	低体温	2
下腿デグロービング損傷	1	溺水	12
肝損傷	2	薬物中毒	2
腹腔内損傷	3	窒息	8
下肢切断	2	一酸化炭素中毒	3
足指切断	1		
手指切断	17		
頭部打撲	3		
全身打撲	8		
腰部打撲	1		
肩打撲	1		
下腿打撲	1		
胸部打撲	6	外因性疾患 小 計	406
上肢打撲	1	内・外因性疾患 合 計	884

3-12 新生児センター

業務実績

総入院数と院内/院外出生の割合

	入院数
総入院数	379
院内出生	223
院外出生	156

出生体重別の入院数

	入院数
超低出生体重児 (1000g 未満)	15
極低出生体重児 (1000g-1500g 未満)	22

在胎週数別の入院数

在胎週数	入院数
22-23	2
24-27	13
28-33	33
34-36	75

新生児救急車

	出動件数
総出動件数	222
入院数	150
三角搬送	47

研究・教育活動

原著

1. 羽根将之, 横倉友諒, 宮林和紀, 井福真友美, 大川夏紀, 寒竹正人, 東海林宏道, 池野充, 福永英生, 清水俊明. 生後早期のエベロリムス投与が奏功した心横紋筋腫合併結節性硬化症の早産児双胎例. 日本周産期・新生児医学会雑誌 57:376-380. 2021

講演

1. 有井直人. てんかん発作について. 静岡県東部特別支援学校伊東分校勉強会, 伊東. 2021.7.14.
2. 有井直人. 筋ジストロフィーとは? デュシェンヌ型筋ジストロフィーをはじめとした小児の筋ジストロフィーについて. 静岡県東部 DMD Web フォーラム, Web 開催. 2021.9.3.
3. 有井直人 小児のけいれん. 小児健康教室, 川口 (Web 開催). 2021.12.8.

学会発表

1. 大川夏紀. 当科で導入した NHFC, HOT. 静岡小児 HOT 研究会, 静岡. 2021.6.12.
2. 荒井美輝, 横倉友諒, 坂野万里子, 林昂彦, 羽根将之, 宮林和紀, 井福真友美, 大川夏紀, 東海林宏道, 寒竹正人, 清水俊明. トキソプラズマ感染症との鑑別を要した先天性サイトメガロウイルス感染症の 1 例. 第 124 回日本小児科学会学術集会, ハイブリッド開催 (京都). 2021.4.17.
3. 荒井美輝, 東海林宏道, 池田奈帆, 大川夏紀, 西崎直人, 久田研, 寒竹正人, 大日方薫, 清水俊明. 在胎 25 週未満生存児における 6 歳までの身体発育についての検討. 第 65 回日本新生児成育医学会・学術集会, Web 開催. 2021.5.7-9.
4. 坂野万里子, 井福真友美, 大川夏紀, 林昂彦, 羽根将之, 齋藤雪香, 荒井美輝, 林和紀, 横倉友諒, 東海林宏道, 寒竹正人, 清水俊明. 筋強直性ジストロフィー母体から出生した先天性筋強直性ジストロフィーの超早産例. 第 124 回日本小児科学会学術集会, ハイブリッド開催 (京都). 2021.4.18.
5. 齋藤寛貴, 大川夏紀, 井福真友美, 齋藤雪香, 荒井美輝, 宮林和紀, 横倉友諒, 東海林宏道, 寒竹正人, 清水俊明. 超早産で出生した先天性筋強直性ジストロフィーの一例. 第 57 回日本周産期・新生児医学会学術集会, ハイブリッド開催 (宮崎). 2021.7.11-13.
6. 齋藤寛貴, 大川夏紀, 宮林和紀, 遠藤佳子, 松田慎平, 神山恵里佳, 西山樹, 石田翔二, 山崎晋, 池田奈帆, 春名英典, 田久保憲行, 有井直人, 清水俊明. 出生時の血清アルカリフォスファターゼ低値を契機に ALPL 遺伝子変異を同定した低ホスファターゼ症の 2 例. 第 54 回日本小児内分泌学会学術集会学術集会, Web 開催. 2021.10.28.
7. 齋藤寛貴, 大川夏紀, 矢賀部彩音, 松田慎平, 西田江璃子, 石田翔二, 西山樹, 池田奈帆, 有井直人. 当院における Ranibizumab の使用状況. 第 153 回日本小児科学会静岡地方会, Web 開催. 2021.11.14.
8. 松田慎平, 池田奈帆, 齋藤寛貴, 矢賀部彩音, 西田江璃子, 西山樹, 石田翔二, 大川夏紀, 有井直人. 見逃してはいけない新生児の SOS～呼吸障害編～. 第 46 回東部周産期研究会, Web 開催. 2021.12.2.

3-13 がん治療センター

業務実績

【がん治療センター運営委員会】 6回／年

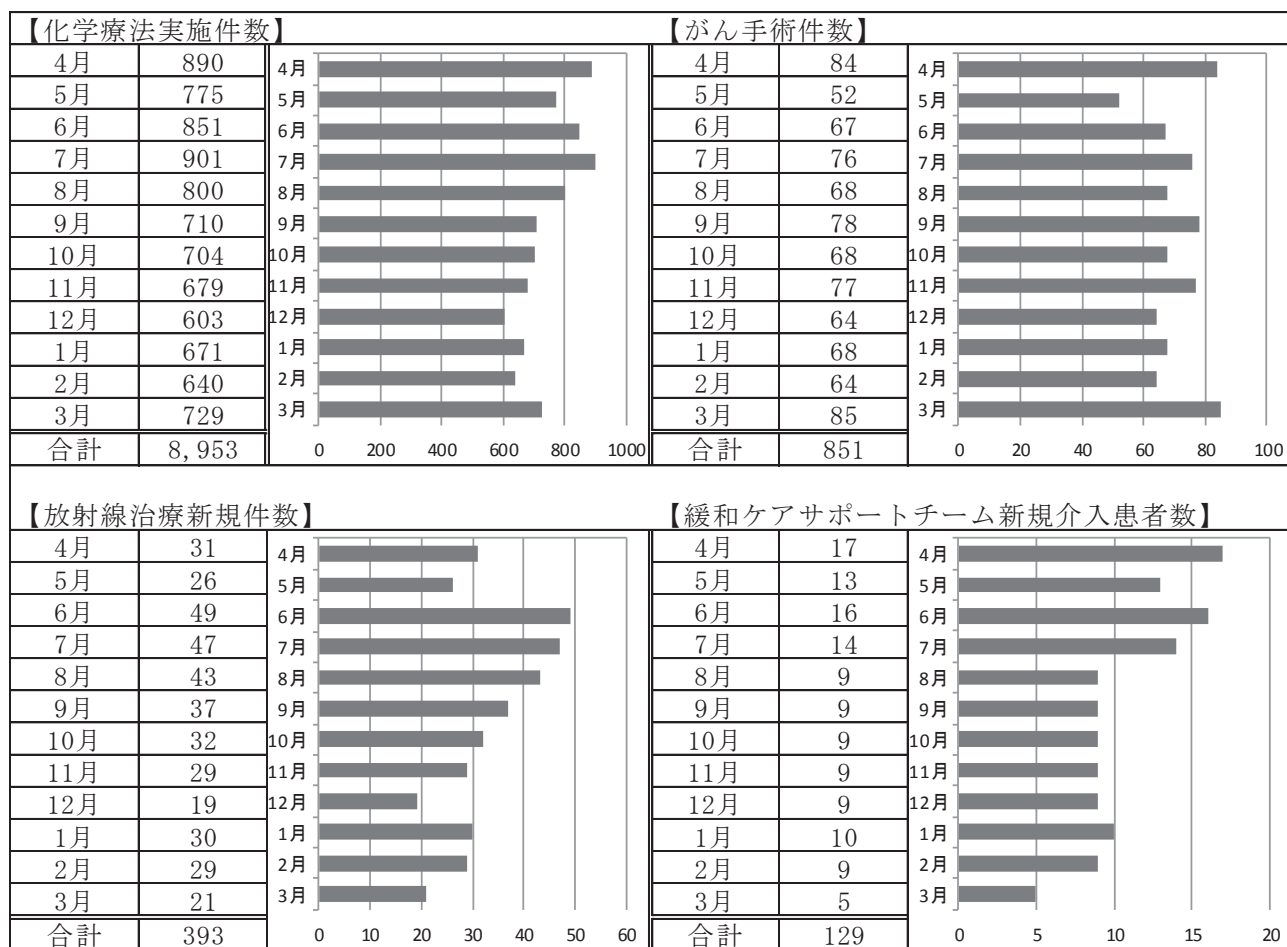
【がん診療委員会(カンサーボード・レジメン審査)】 12回／年

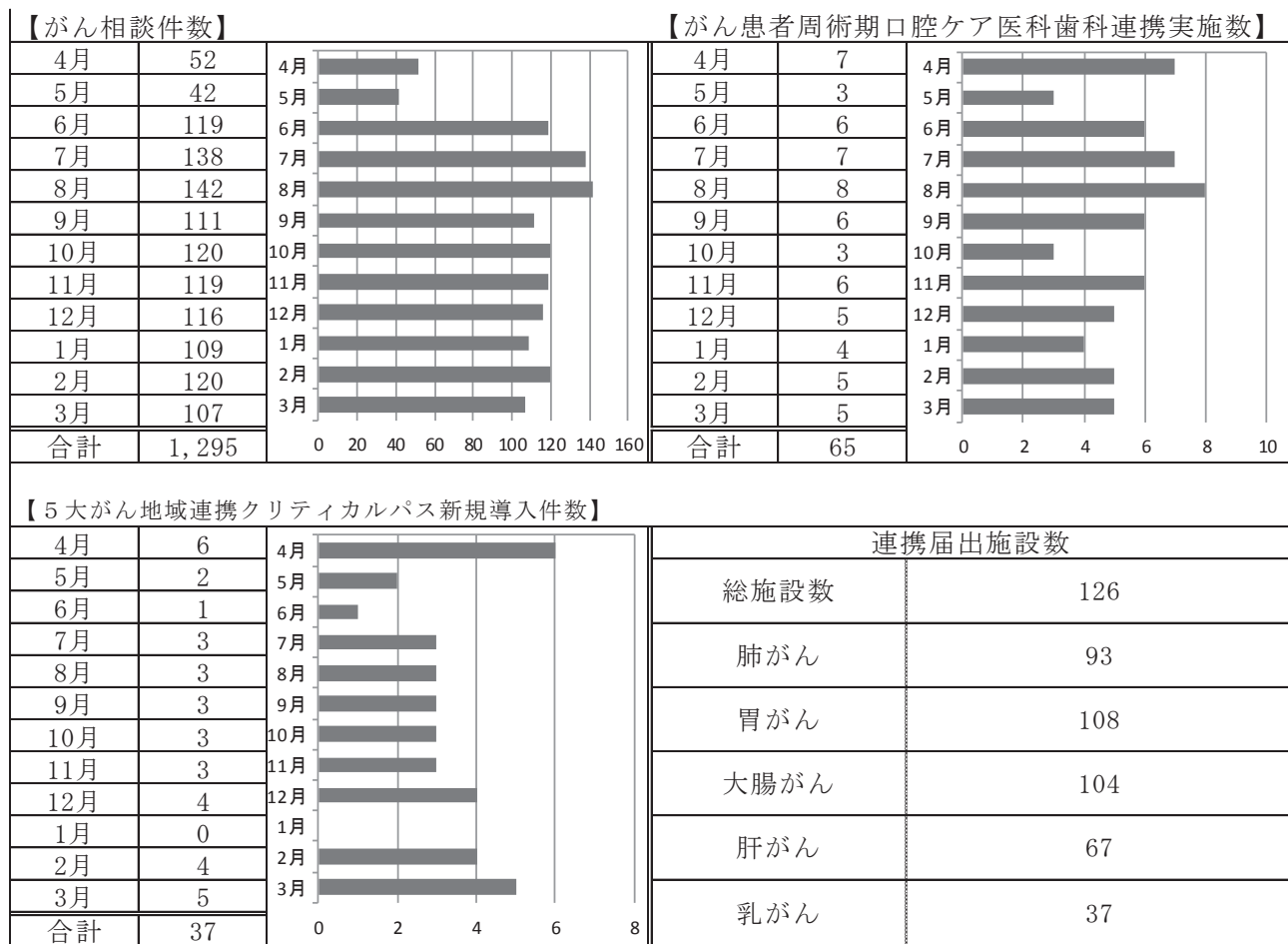
【周辺機関合同研修会・カンファレンス・連絡会等】

6月17日	カンサーボードカンファレンス
8月	がん治療研修会(動画配信) 乳がんの早期診断
10月	がん治療研修会(動画配信) がん薬物療法に伴う支持療法
10月21日	カンサーボードカンファレンス
12月	がん治療研修会(動画配信) 当院における緩和的放射線治療
2月	がん治療研修会(動画配信) 緩和ケアについて
2月17日	カンサーボードカンファレンス
3月12日	がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会

【がん登録件数】(2020.1.1～2020.12.31)

総登録数	5大がん内訳	肺がん	184	大腸がん	211	乳がん	94
1,590		胃がん	124	肝がん	60		





3-14 予防医学センター

(1) 人間ドック集計(2021 年度)

(1)-1人間ドック男女別、月集計表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比率(%)
日帰りコース	男	9	8	9	10	12	12	11	14	9	10	4	11	119	61.3%
	女	8	3	8	3	5	6	12	10	5	3	4	8	75	38.7%
	小計	17	11	17	13	17	18	23	24	14	13	8	19	194	
1泊2日コース	男	4	2	6	4	3	5	1	2	7	5	6	3	48	71.6%
	女	2	1	1	3	0	1	2	0	2	3	1	3	19	28.4%
	小計	6	0	7	7	3	6	3	3	8	7	3	6	67	
がんコース	男	2	1	0	1	0	1	2	0	1	0	1	1	10	62.5%
	女	0	1	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	6	37.5%
	小計	2	0	1	1	1	2	2	0	1	0	1	7	16	
PET-CTコース	男	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	5	100.0%
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	小計	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	5	
脳ドックコース	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(1)-2 人間ドック年齢別、男女別集計表

区分 \ 年齢		20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上	合計	比率(%)
総合日帰りコース	男	2	2	16	26	36	35	5	122	43.26%
	女	0	2	11	22	18	18	1	72	25.53%
	小計	2	4	27	48	54	53	6	194	68.79%
	比率(%)	0.71%	1.42%	9.57%	17.02%	19.15%	18.79%	2.13%	68.79%	
総合1泊2日コース	男	0	2	6	13	16	7	2	46	16.31%
	女	0	1	4	7	5	4	0	21	7.45%
	小計	0	3	10	20	21	11	2	67	23.76%
	比率(%)	0.00%	1.06%	3.55%	7.09%	7.45%	3.90%	0.71%	23.76%	
がんコース	男	0	1	2	1	2	1	3	10	3.55%
	女	0	1	1	2	1	1	0	6	2.13%
	小計	0	2	3	3	3	2	3	16	5.67%
	比率(%)	0.00%	0.71%	1.06%	1.06%	1.06%	0.71%	1.06%	5.67%	
PET-CTコース	男	0	0	0	1	1	3	0	5	1.77%
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
	小計	0	0	0	1	1	3	0	5	1.77%
	比率(%)	0.00%	0.00%	0.00%	0.35%	0.35%	1.06%	0.00%	1.77%	
脳ドックコース	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%
	比率(%)	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
合計	男	2	5	24	41	55	46	10	183	65%
	女	0	4	16	31	24	23	1	99	35%
	小計	2	9	40	72	79	69	11	282	100.0%
	比率(%)	0.71%	3.19%	14.18%	25.53%	28.01%	24.47%	3.90%	100.0%	

(1)-3 年齢別総合判定区分集計

区分	～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	61～65	66～	合計
A: 異常はありません	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B: わずかな変化を認めますが 日常生活上心配ありません	2	0	0	0	0	0	1	0	3
C: 経過観察を必要とします	0	1	2	2	1	1	2	0	9
D: 二次検査・精密検査を必要とします	2	6	8	8	8	4	7	6	49
E: 治療を必要とします	1	0	7	6	8	8	2	4	36
F: 治療・経過観察を継続してください	2	2	4	8	17	22	29	101	185
合 計	7	9	21	24	34	35	41	111	282

3-15 GCP センター

業務内容

当院では、治験や臨床研究が倫理的にまた安全に実施することができるか審査するために、治験審査委員会および倫理審査委員会が設けられています。GCP センターではその事務局を兼ねていて、治験の依頼者である製薬企業、臨床研究の実施者である医師等の相談にも対応しています。

また治験が安全にかつ円滑に実施されるために、治験コーディネーターが配置され実務をサポートしています。

業務実績

治 験

新規

治験を行う場合には、治験に参加される方々の安全と人権を守るために、国が定めた「医薬品の臨床試験の実施の基準（GCP といいます。）」を遵守しなければなりません。この GCP に従って、科学のおよび倫理的な観点から、治験の実施や継続について調査・審議するため、順天堂大学医学部附属静岡病院治験審査委員会を設置しています。本治験審査委員会により内容が審議され、病院長より許可された治験のみが実施されます。

	件数	予定症例数
治験	10 件	46 症例
製造販売後臨床試験	0 件	0 症例
合計	10 件	46 症例

治験審査委員会 毎月 1 回(8 月休会)、治験の倫理性・安全性・科学的妥当性について審査します。

	安全性 報告	内容変更	継続審査	重篤な 有害事象	逸脱 (除 緊急の 危険回避)	その他の 審議事項	報告事項
治験	119 件	71 件	11 件	8 件	3 件	13 件	50 件
製造販売後 臨床試験	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
合計	119 件	71 件	11 件	8 件	3 件	13 件	50 件

終了

治験審査委員会に、治験が GCP に従って実施され、終了したことが報告されます。

	件数	実施症例数	同意取得数
治験	4 件	5 症例	9 症例
製造販売後臨床試験	0 件	0 症例	0 症例
合計	4 件	5 症例	9 症例

監査・モニタリング受け入れ回数

製薬メーカー及びCROのモニターが治験実施施設へ来訪し、治験の進行状況を調査し情報収集する。治験が治験実施計画書・標準業務手順書(SOP)・GCP及び適用される規制要件に従って、実施・記録及び報告されている事を保証する活動。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
治験	4回	5回	8回	5回	1回	0回	7回	5回	4回	4回	0回	6回	49回
製造販売後 臨床試験	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
合計	4回	5回	8回	5回	1回	0回	7回	5回	4回	4回	0回	6回	49回

製造販売後調査

医薬品が治験後に承認されて販売された後、引き続き医薬品の有効性・安全性について調査します。

新規契約 34件	使用成績調査・特定使用成績調査	26件
	副作用詳細調査	8件

医学系研究倫理委員会

病気の原因、病態の理解及び患者さんの生活の質の向上を目的として実施される医学系研究であって、人を対象とするもの。

8月を除く毎月1回開催されて、倫理性・安全性・科学的妥当性について審査します。

新規	内容変更	実施状況	SAE報告	終了報告	安全性報告	その他
23件	42件	44件	0件	14件	2件	0件

倫理審査委員会

病気の原因、病態の理解及び患者さんの生活の質の向上を目的として実施される医学系研究であって、人を対象とするもの。

8月を除く毎月1回開催されて、倫理性・安全性・科学的妥当性について審査します。

新規	内容 変更	実施 状況	終了 報告	症例 報告	COI	特定 臨床 研究 報告	迅速 審査	製造 販売 後調 査	C 案件	P 案件	侵襲 的処 置の 新規 案件	その 他
11件	37件	21件	34件	8件	20件	33件	2件	7件	7件	3件	4件	3件

3-16 臨床研修センター

■研修内容

＜レクチャー＞

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため臨床研修医を対象とした、基本的な勉強会である「モーニングレクチャー」の時間を変更し「イブニングレクチャー」として23回、各科長クラスによるレポート提出症例に沿った内容を講義いただく「研修医レクチャー」を20回実施し、救急診療科を研修した研修医から、研修症例をまとめ発表していただく「救急診療科レクチャー」3回実施した。

又、インタラクティブなレクチャーとして、レジデントアワーを実施しており、内容については学会発表を行った研修医数名が、発表した症例を他の研修医に向けレクチャーし、研修医同士でディスカッションを行う。更に学会発表の指導を行った各科医師にご協力いただき、補足等の意見を述べていただくというもので、活発な意見交換がなされた。

【イブニングレクチャー】

	日	担当科	担当者		講義名
4月	8	呼吸器内科	原 宗央	准教授	肺炎
5月	6	感染対策室	鈴木 美沙子	主任	血液培養と耐性菌について
	13	脳神経外科	杉山 裕紀	助手	意識障害の初期対応
6月	3	消化器内科	佐藤 祥	助教	急性腹症～見逃してはいけない疾患～
	10	医療安全管理室	高橋 真紀子	師長	医療事故防止のために
7月	1	放射線科	入江 隆介	助教	知っておくと役立つMRIシーケンス
	8	脳神経内科	星野 泰延	助手	救急外来で必要な神経所見の取り方
8月	5	膠原病・リウマチ内科	片桐 彰	准教授	膠原病の基礎的な話
	12	形成外科	大森 愛	助手	形成外科で取り扱う疾患
9月	2	メンタルクリニック	桐野 衛二	教授	メンタルクリニックへのコンサルトのコツ
	9	血液内科	原田 早希子	助教	貧血の鑑別
10月	7	糖尿病・内分泌内科	荻原 健	先任准教授	研修医が知っておきたい血糖管理
	14	臨床検査科	田内 一民	特任教授	検査データの読み方・考え方
11月	4	新生児科	大川 夏紀	助教	研修医でもできるかも～新生児蘇生法～
	11	薬剤科	星野 剛史	薬剤師	オピオイドの使い方
12月	2	循環器内科	設楽 準	助教	急性心不全の病態・初期対応
	9	麻酔科	太田 正孝	助手	麻酔科でよく使う薬について
		血液内科（研修医1年目のみ）	岩尾 憲明	先任准教授	輸血を適切に実施するために基本的事項を再確認しよう
1月	6	皮膚・アレルギー科	長谷川 敏男	教授	ステロイド外用剤
	13	小児科	馬場 洋介	准教授	子どもの発疹～重要な疾患を見逃さないためのアプローチ～
2月	3	腎臓内科	安部 憲一朗	助手	低ナトリウム血症～急性期のマネジメント～
3月	3	呼吸器外科	平山 俊希	助教	肺癌
	10	産婦人科	秋葉 純也	助手	性感染症STDについて

【研修医レクチャー】

	日	担当科	医師		講義名
4月	12	産婦人科	田中 利隆	先任准教授	妊娠と薬について～妊娠・授乳と薬の知識～
	19	血液内科（研修医1年目のみ）	岩尾 憲明	先任准教授	適切な輸血の実施
5月	17	整形外科	鶴上 浩規	大学院生	腰痛
	24	小児科	齊藤 寛貴	助手	乳幼児の発達障害
6月	21	エチコン（縫合トレーニング）			
	28	呼吸器外科	平山 俊希	助教	肺癌
7月	26	腎臓内科	清水 芳男	先任准教授	浮腫
8月	16	麻酔科	長谷川 陽子	講師	終末期の徴候
	23	泌尿器科	斎藤 恵介	准教授	排尿障害
9月	27	消化器内科	谷口 源太郎	助手	嘔気・嘔吐
10月	18	呼吸器内科	原 宗央	准教授	咳・痰
	25	心臓血管外科	大石 淳実	助教	経カテーテル的大動脈弁植え込み術（TAVI）
11月	22	外科	前川 博	先任准教授	下血・血便
	29	膠原病・リウマチ内科	岡田 隆	助手	発熱
12月	13	眼科	土至田 宏	先任准教授	視力障害
1月	17	血液内科	小池 道明	教授	リンパ節腫脹
	24	脳神経内科	石黒 雄太	助手	痙攣
2月	14	耳鼻咽喉科	佐藤 将盛	助手	めまい
	21	救急診療科	柳川 洋一	教授	ショック
3月	14	メンタルクリニック	桐野 衛二	教授	興奮・せん妄・抑うつ

【救急診療科セミナー】

	日	医師	所属	講義名	
1月	31	救急診療科	遠藤 翼 佐野 永輝	研修医 〃	意識障害、低体温で救急搬送となりpolyglandular Deficiency 高ナトリウム血症を伴う糖尿病性ケトアシドーシスおよび
2月	28	救急診療科	阿部 央聖 橋川 武史	研修医 〃	熱傷 骨盤骨折に伴う出血性ショックから救命できた一例
3月	28	救急診療科	酒井 千佳 大久保 樹	研修医 〃	墜落外傷後の体動困難を契機に後天性血友病Aの診断に至った症例 解剖学的脾臓低形成を疑う侵襲性肺炎球菌感染症を合併した一例

【レジデントアワー】

	日	学会発表者	指導医		
9月	18	高田 隆治	柳川 洋一	救急診療科	門脈ガスを伴う気腫性胃炎の一例
		桐山 雅通	柳川 洋一	救急診療科	腎損傷、後腹膜血腫後に脾炎を合併した一例
3月	19	濱田 通果	柳川 洋一	救急診療科	Pregnancy with COVID-19 intensive immune suppression therapy
		池田 尚基	若林 啓一	腎臓内科	膿症を伴う化膿性大胸筋炎を契機にCKDの急性増悪を来した糖尿病性腎症の一例

＜CPC・CRCデスカンファレンス（臨床病理・臨床放射線合同カンファレンス）＞

年3回開催した。

No.	開催日	担当科	医師		備考
第1回	10月18日	病理診断科 放射線科 消化器内科	和田 了 松波 環 北 祐次	教授 助教 助手	アルコール性肝硬変+透析腎・糖尿病性腎症+心筋炎+肺出血
第2回	12月20日	病理診断科 放射線科	和田 了 松波 環	教授 助教	陳旧性心筋梗塞+心膜腔内血腫（冠状動脈バイパス術後）+急性脾炎+肺炎
第3回	2月21日	病理診断科 放射線科	和田 了 松波 環	教授 助教	子宮体部癌術後（局所再発+多発性転移）+右腎（透析腎）（cf. 左腎はドナーとして摘出後）+乳癌術後（再発なし）

＜日本救急医学会認定 ICLS コース＞

新型コロナの感染防止の観点より 10月8日、15日、11月12日の3日間に分散し、臨床研修医1年目全員参加にて実際に即したシミュレーション実習行った。

＜臨床研修医のための学術集会＞

7月2日 順天堂大学4基幹病院全研修医による学術集会がWEBにより開催され、静岡病院としてR1宮谷 和樹 先生による「潜在性乳癌を認めた Stiff person syndrome の60歳女性例」の発表と脳神経内科 星野 泰延先生による「脳神経内科が診る 傍腫瘍性神経症候群」のミニレクチャーを行った。

＜研修医・指導医のための研修会＞

新型コロナウイルスの感染防止の観点より、中止となった。

＜臨床研修修了証書授与式＞

令和3年3月17日 新型コロナウイルスの感染防止の観点より、順天堂大学4基幹病院合同で一部WEBにて行い、修了証書授与式は各附属病院での挙行となった。静岡病院では第一会議室にて研修医23名が授与された。

■研修管理委員会

令和3年3月4日 新型コロナウイルスの影響にて研修管理委員会は縮小し、令和3年度の研修報告が行われた。

■臨床研修病院合同説明会への参加

令和3年度は新型コロナの影響にてイベント開催が1回しかなかったが、WEBによる説明会に6回参加した。説明会では、医学生が当院研修医と、気軽に臨床研修について質問、相談できる雰囲気を作り、医学生に参加していただいた。

開催	場所	参加施設数	参加学生数	静岡病院訪問者数
4月	レジナビWEB6年生Week	45	468	36
7月	東海北陸地区臨床研修病院WEB合同説明会	-	909	148
10月	レジナビFairオンライン2021名古屋フェアWeek	41	275	87
11月	レジナビFairオンライン2021福岡フェアWeek	24	162	47
12月	レジナビFairオンライン2021東京フェアWeek	43	485	72
2月	レジナビFairオンライン2022名古屋フェア	23	302	72
3月	レジナビフェア2022東京春	68	479	55

■令和3年度 初期臨床研修医採用について

静岡県東部地域で地域医療の最前線で日々奮闘している順天堂大静岡病院で多くの研修医が研修することには大きな意義がある。しかし、現在の傾向として都会の順天堂の関連病院や母校以外のより優秀な研修医が集まる有名病院で研修する人達が増加してきている。

そうした現状の中で、静岡病院での研修を積極的に希望する研修医がしだいに増加しつつある。

静岡病院の特徴は、静岡県東部地区の基幹病院として、救急車やドクターヘリにより連日多くの患者が運ばれ、救急外来、病棟で多くの患者さんの治療を経験することができ、またその際に実践的に実技を習得することができる。科間の垣根が低く、迅速に全身の治療ができることにある。さらに指導医は専任のチューターを中心に、教育に力をいれており、レクチャー、症例発表会なども定期的に行った。その上、静岡病院では、研修医のための宿舎が整備され、部屋は広く、備品も整い、病院に近く、希望者全員が生活しているため、研修医同志の絆が形成し易く、相互に研鑽して有意義な研修生活を送っている。

<採用結果>

令和3年度医師臨床研修医は、基本プログラム22名、産婦人科・新生児・小児科プログラム1名、計23名を採用した。(令和4年度採用)

定員	本学	他学	男子	女子	合計	マッチング率
30名	17	11	20	8	28	93.33%

3-17 看護師特定行為研修センター

■業務内容

当院では厚生労働省から認可を得て、2020年4月に看護師特定行為研修センターを立ち上げ、特定看護師の育成を、5区分11行為（呼吸器（気道確保に係るもの）関連、呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連、創傷管理関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連）で開始し、2021年度からは、血糖コントロールに係る薬剤投与関連を加え、7区分13行為となりました。

当院以外の地域医療機関からも受講生を受け入れており、当研修センターの開設により、静岡県東部地域の看護師のレベルアップとともにキャリアアップにもつなげていきたいと考えております。

2022年度4月開講に向けて、パッケージの追加申請を行ないました。

■業務実績

受講生数：8名（院内8名、院外0名）

修了生：8名（院内8名、院外0名）

<看護師特定行為研修管理委員会>

開催日：2021年4月12日、9月27日、2022年3月4日

特定行為研修計画の作成、特定行為区分の相互間の調整、受講者の履修状況の管理、修了の際の評価等、特定行為研修の実施の統括管理が行われた

<看護師特定行為業務管理委員会>

開催日：2022年4月1日、5月24日、6月18日、12月13日、2022年3月28日

特定行為の実施の推進、特定看護師のフォローアップの統括管理が行われた

■開講区分

7区分13行為

特定行為区分	特定行為	定員	受講者数
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	5人	3人
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	5人	3人
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更		
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整		
	人工呼吸器からの離脱		
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	3人	2人
	創傷に対する陰圧閉鎖療法		
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	5人	4人

	橈骨動脈ラインの確保		
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	8 人	8 人
	脱水症状に対する輸液による補正		
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	5 人	3 人
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整	5 人	4 人

■研修スケジュール

共通科目：2021年4月～9月

区分別科目：2021年10月～2022年3月

開講式：2021年4月12日（月）

症例発表会：2022年2月28日（月）

修了式：2022年3月23日（水）

■研修内容

<共通科目>

研修日	時限	科目	授業種別	学習内容	学習内容(細)	担当指導者
4月19日 (月)	2時限	臨床薬理学	演習	1.薬物動態の理論と演習	薬物動態の演習	勝又
	3時限	臨床薬理学	演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習3.主要薬物の相互作用の理論と演習	精神神経系 演習	野田
	5時限	臨床病態生理学	演習	4.臨床病態生理学 演習	エネルギー	清水
	6時限	臨床病態生理学	演習	4.臨床病態生理学 演習	炎症	清水
5月6日 (木)	1時限	臨床推論	演習	2.臨床推論(症候学を含む)の理論と演習	ケーススタディ(1)	岩神(真)
	2時限	臨床推論	演習	2.臨床推論(症候学を含む)の理論と演習	ケーススタディ(2)	岩神(真)
	3時限	臨床推論	演習	2.臨床推論(症候学を含む)の理論と演習	ケーススタディ(3)	岩神(真)
5月21日 (金)	1時限	臨床推論	演習	3.医療面接の理論と演習・実習	演習:ロールプレイ(1)	中尾
	2時限	臨床推論	演習	3.医療面接の理論と演習・実習	演習:ロールプレイ(2)	中尾
	3時限	臨床推論	実習	3.医療面接の理論と演習・実習	医療面接の実習	中尾
	4時限	臨床薬理学	演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習3.主要薬物の相互作用の理論と演習	心・血管系 演習	水口
	5時限	臨床薬理学	演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習3.主要薬物の相互作用の理論と演習	呼吸器系 演習	山口
5月25日 (火)	1時限	臨床推論	演習	4.各種臨床検査の理論と演習	各種臨床検査の演習	岩神(直)
	2時限	臨床薬理学	演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習3.主要薬物の相互作用の理論と演習	消化器系 演習	杉本
	3時限	臨床薬理学	演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習3.主要薬物の相互作用の理論と演習	内分泌・代謝系 演習	木下
6月3日 (木)	2時限	臨床薬理学	演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習3.主要薬物の相互作用の理論と演習	骨・関節系／腎・泌尿器系 演習	小林
	3時限	臨床薬理学	演習	2.主要薬物の薬理作用・副作用の理論と演習3.主要薬物の相互作用の理論と演習	抗がん薬／抗菌薬 演習	杉本
	4時限	フィジカルアセスメント	演習	5.身体診察基本手技の演習・実習／部位別身体診察手技と所見の演習・実習	問診	若林
	5時限	フィジカルアセスメント	実習	5.身体診察基本手技の演習・実習／部位別身体診察手技と所見の演習・実習	適切な問診、意識の評価	若林
6月11日 (金)	1時限	疾病・臨床病態概論	演習	主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論	主要疾患の病態と臨床診断・治療の演習1	原
	2時限	疾病・臨床病態概論	演習	主要疾患の病態と臨床診断・治療の概論	主要疾患の病態と臨床診断・治療の演習2	中尾
	3時限	臨床薬理学	演習	4.主要薬物の安全管理と処方理論と演習	主要薬物の安全管理と処方の演習	菅尾
	4時限	フィジカルアセスメント	演習	5.身体診察基本手技の演習・実習／部位別身体診察手技と所見の演習・実習	全身状態・緊急度の評価	神田
	5時限	フィジカルアセスメント	演習	5.身体診察基本手技の演習・実習／部位別身体診察手技と所見の演習・実習	フィジカルアセスメント	神田
	7時限	フィジカルアセスメント	実習	5.身体診察基本手技の演習・実習／部位別身体診察手技と所見の演習・実習	腹部、胸部のアセスメント	大林

研修日	時限	科目	授業 種別	学習内容	学習内容(細)	担当 指導者
6月25日 (金)	1時限	疾病・臨床病態概論	演習	状況に応じた臨床診断・治療	1.救急医療の臨床診断・治療の特性と演習 救急医療の臨床診断・治療の演習	中尾
	2時限	疾病・臨床病態概論	演習	状況に応じた臨床診断・治療	2.在宅医療の臨床診断・治療の特性と演習 在宅医療の臨床診断・治療の演習	原
	3時限	医療安全学／特定行為実践	演習	1.特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証(Quality Care Assurance)を学ぶ	(4)ケアの質保証 (4)法的側面とケアの質保証に関する判例を分析する	多田
	4時限	医療安全学／特定行為実践	実習	1.特定行為実践に関する医療倫理、医療管理、医療安全、ケアの質保証(Quality Care Assurance)を学ぶ	(5)医療安全の実習 (1)特定行為実践に関連する医療安全の実習	多田
	5時限	臨床推論	演習	5.画像検査の理論と演習	画像検査の演習	大坂
	6時限	臨床推論	演習	6.臨床疫学の理論と演習	臨床疫学の演習	大坂
	7時限	臨床推論		超音波装置の取扱手技など		大坂
7月9日 (金)	1時限	医療安全学／特定行為実践	演習	2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践(IPW)(他職種との事例検討等の演習を含む)を学ぶ	(2)チーム医療の事例検討 (2)チームとしての最大を発揮する 演習	前川
	2時限	医療安全学／特定行為実践	実習	2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践(IPW)(他職種との事例検討等の演習を含む)を学ぶ	(5)チーム医療の実習と演習 (1)チーム医療の実習1	前川
	3時限	医療安全学／特定行為実践	実習	2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践(IPW)(他職種との事例検討等の演習を含む)を学ぶ	(5)チーム医療の実習と演習 (2)チーム医療の実習2	前川
	4時限	医療安全学／特定行為実践	演習	2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践(IPW)(他職種との事例検討等の演習を含む)を学ぶ	(5)チーム医療の実習と演習 (3)チーム医療の演習【実習の振り返り】1	前川
	5時限	医療安全学／特定行為実践	演習	2.特定行為研修を修了した看護師のチーム医療における役割発揮のための多職種協働実践(IPW)(他職種との事例検討等の演習を含む)を学ぶ	(5)チーム医療の実習と演習 (4)チーム医療の演習【実習の振り返り】2	前川
7月16日 (金)	1時限	医療安全学／特定行為実践	演習	3.特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ	(2)特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論と演習 演習	前川
	2時限	医療安全学／特定行為実践	実習	3.特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ	(2)特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論と演習 実習	前川
	3時限	医療安全学／特定行為実践	演習	3.特定行為実践のための関連法規、意思決定支援を学ぶ	(2)特定行為実践に関連する患者への説明と意思決定支援の理論と演習 演習【実習の振り返り】	前川
	4時限	医療安全学／特定行為実践	演習	4.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ	(2)手順書の作成演習 ベーパシミュレーションによる演習	前川
	5時限	医療安全学／特定行為実践	実習	4.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ	(4)手順書の作成・評価・改良 演習(1) 作成	前川
	6時限	医療安全学／特定行為実践	実習	4.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ	(4)手順書の作成・評価・改良 演習(2) 評価	前川
	7時限	医療安全学／特定行為実践	実習	4.根拠に基づいて手順書を医師、歯科医師等とともに作成し、実践後、手順書を評価し、見直すプロセスについて学ぶ	(4)手順書の作成・評価・改良 演習(3) 改良	前川
7月26日 (月)	1時限	医療安全学／特定行為実践	演習	5.特定行為実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査、	(2)特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ 演習(1)	前川
	2時限	医療安全学／特定行為実践	演習	5.特定行為実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査、	(2)特定行為の実践におけるアセスメント、仮説検証、意思決定、検査・診断過程を学ぶ 演習(2)	前川 堀込、萩島
	3時限	医療安全学／特定行為実践	演習	診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ	(3)特定行為実践のアウトカム 演習1	前川 堀込、萩島
	4時限	医療安全学／特定行為実践	演習	診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ	(3)特定行為実践のアウトカム 演習2	前川 堀込、萩島
9月3日 (金)	1時限	医療安全学／特定行為実践	実習	診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ	(4)特定行為の実践 実習1	前川
	2時限	医療安全学／特定行為実践	実習	診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ	(4)特定行為の実践 実習2	前川
	3時限	医療安全学／特定行為実践	演習	診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ	(4)特定行為の実践 演習1【実習の振り返り】	前川 堀込、杉山
	4時限	医療安全学／特定行為実践	演習	診断過程を学ぶ中で、これまでの内容を統合して学ぶ	(4)特定行為の実践 演習2【実習の振り返り】	前川 堀込、杉山
9月14日 (火)	1時限	臨床病態生理学	筆記 試験	5. 科目修了試験		多田
	2時限	臨床推論	筆記 試験	7. 科目修了試験		多田
	3時限	フィジカルアセスメント	筆記 試験	6. 科目修了試験		多田
	4時限	臨床薬理学	筆記 試験	5. 科目修了試験		多田
	5時限	疾病・臨床病態概論	筆記 試験	科目修了試験		多田
	6時限	医療安全学／特定行為実践	筆記 試験	科目修了試験		多田

<区分別科目>

研修日	時限	科目	授業 種別	学習内容	学習内容(細)	担当 指導者
10月12日 (火)	1～6 時限	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	筆記 試験	(共通)呼吸器(気道確保に係るもの)関連の基礎知識	基礎知識 修了試験	多田
		呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	筆記 試験	(共通)呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連の基礎知識	基礎知識 修了試験	多田
		動脈血液ガス分析関連	筆記 試験	(共通)動脈血液ガス分析関連の基礎知識	基礎知識 修了試験	多田
		栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	筆記 試験	(共通)栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	基礎知識 修了試験	多田
		創傷管理関連	筆記 試験	(共通)創傷管理関連の基礎知識	基礎知識 修了試験	多田
		創部ドレーン管理関連	筆記 試験	(共通)創部ドレーン管理関連の基礎知識	基礎知識 修了試験	多田
		血糖コントロールに係る薬剤投与関連	筆記 試験	(共通)血糖コントロールに係る薬剤投与関連の基礎知識	基礎知識 修了試験	多田

研修日	時限	科目	授業種別	学習内容	学習内容(細)	担当指導者
10月22日 (金)	1時限	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	演習	(B)非侵襲的陽圧換気の設定の変更	非侵襲的陽圧換気の設定の変更(ペーパーベシエント)(1)	原高橋
	2時限		演習	(B)非侵襲的陽圧換気の設定の変更	非侵襲的陽圧換気の設定の変更(ペーパーベシエント)(2)	原高橋
	3時限		演習	(A)侵襲的陽圧換気の設定の変更	侵襲的陽圧換気の設定の変更(ペーパーベシエント)(1)	大坂
	4時限		演習	(A)侵襲的陽圧換気の設定の変更	侵襲的陽圧換気の設定の変更(ペーパーベシエント)(2)	大坂
	5時限	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	演習	(A)経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整(OSCE前演習)	洪
10月26日 (火)	5時限	動脈血液ガス分析関連	演習	(A)直接動脈穿刺法による採血	直接動脈穿刺法による採血(OSCE前演習)	石川
	6時限	動脈血液ガス分析関連	演習	(B)橈骨動脈ラインの確保	橈骨動脈ラインの確保(OSCE前演習)	石川
10月28日 (木)	5時限	創傷管理関連	演習	(A)褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去(OSCE前演習)	苅部
11月1日 (月)	4時限	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	演習	(C)人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整(ペーパーベシエント)(1)	久米村高橋
	5時限	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	演習	(C)人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整(ペーパーベシエント)(2)	久米村高橋
11月2日 (火)	4時限	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	OSCE	(A)経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整(OSCE)	洪志賀(外部)、多田
	5時限					
	6時限					
11月4日 (木)	5時限	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	演習	(D)人工呼吸器からの離脱	人工呼吸器からの離脱(ペーパーベシエント)(1)	石川高橋
	6時限	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	演習	(D)人工呼吸器からの離脱	人工呼吸器からの離脱(ペーパーベシエント)(2)	石川高橋
11月9日 (火)	6時限	創傷管理関連	OSCE	(A)褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去(OSCE)	苅部、中川(外部)、間部、多田
	7時限					
11月10日 (水)	1時限	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	演習	(A)インスリンの投与量の調整	病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準(1)(ペーパーシミュレーションを含む)	荻原
	2時限	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	演習	(A)インスリンの投与量の調整	病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準(2)(ペーパーシミュレーションを含む)	荻原
	3時限	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	演習	(A)インスリンの投与量の調整	病態に応じたインスリン製剤の調整の判断基準(3)(ペーパーシミュレーションを含む)	荻原
	5時限	創傷管理関連	演習	(B)創傷に対する陰圧閉鎖療法	創傷に対する陰圧閉鎖療法の実施	苅部間部
11月18日 (木)	2時限	動脈血液ガス分析関連	OSCE	(A)直接動脈穿刺法による採血	直接動脈穿刺法による採血(OSCE)	大坂、神谷(外部)、多田
	3時限					
	4時限					
	5時限	動脈血液ガス分析関連	OSCE	(B)橈骨動脈ラインの確保	橈骨動脈ラインの確保(OSCE)	大坂、神谷(外部)、多田
	6時限					
11月22日 (月)	1時限	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	演習	(A)持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	<選択式>高カロリー輸液の判断基準(ペーパーシミュレーションを含む)	前川
	2時限	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	演習	(B)脱水症状に対する輸液による補正	<選択式>脱水症状に対する輸液による補正の判断基準(ペーパーシミュレーションを含む)	前川
	3時限	創部ドレーン管理関連	演習	(A)創部ドレーンの抜去	創部ドレーンの抜去(実習前の演習)	前川
11月29日 (月)～ 2月4日 (金)	随時	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	実習	(A)経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	5症例	各指導者
		呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	実習	(A)侵襲的陽圧換気の設定の変更 (B)非侵襲的陽圧換気の設定の変更 (C)人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 (D)人工呼吸器からの離脱	各5症例	各指導者
		動脈血液ガス分析関連	実習	(A)直接動脈穿刺法による採血 (B)橈骨動脈ラインの確保	各5症例	各指導者
		栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	実習	(A)持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 (B)脱水症状に対する輸液による補正	各5症例	各指導者
		創傷管理関連	実習	(A)褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 (B)創傷に対する陰圧閉鎖療法	各5症例	各指導者
		創部ドレーン管理関連	実習	(A)創部ドレーンの抜去	5症例	各指導者
		血糖コントロールに係る薬剤投与関連	実習	(A)インスリンの投与量の調整	5症例	各指導者

■広報活動

<看護師特定行為研修センター募集要項、パンフレットの作成、配布>

2021年8月 駿東田方医療圏、賀茂医療圏、熱海伊東医療圏、富士富士宮医療圏の68病院、訪問看護ステーション88施設に受講生募集要項、パンフレットを配布した

<2022 年度看護師特定行為研修オンライン説明会（Web 開催）>

診療看護師 多田 真也、特定看護師 岡本 有子、事務 田中 成和

2021 年 9 月 2 日（木）17：30 ～ 18：30 （第 2 会議室）

■次年度受講生募集活動

願書受付期間：2021 年 10 月 1 日（金）～ 2021 年 10 月 14 日（木）

筆記試験・面接：2021 年 12 月 3 日（金）

■その他の活動

<2021 年度特定行為研修修了者を対象としたフォローアップ研修会（Web 開催）>

参加：診療看護師 多田 真也、特定看護師 9 名

2021 年 12 月 13 日（月）13：00 ～ 17：00

主催：公益社団法人日本看護協会 看護研修学校

<第 2 回看護師特定行為研修会 ケーススタディ検討会（Web 開催）>

セッション②座長：診療看護師 多田 真也

参加：浦岡 歩、福田 貴裕、渡邊 あつ子

2021 年 12 月 19 日（日）9：30 ～ 13：00

主催：看護師特定行為研究会

<令和 3 年度特定行為研修に係る交流会（Web 開催：別館 2 階第 2 会議室）>

参加：院内多数

2022 年 1 月 12 日（木）14：00 ～ 16：00

主催：静岡県、公益社団法人静岡県看護協会

<千葉大学病院 特定行為研修修了者の育成配置活用に関する WEB シンポジウム>

特定行為は治療とケアをつなぐ看護である ―修了者の活用モデルの提示―

参加：院内多数

2022 年 1 月 14 日（水）17：30 ～ 19：00

共催：厚生労働省労働行政推進調査事業費補助金研究班、千葉大学大学院看護学研究科

<2021 年度 特定行為研修シンポジウム（Web 開催）>

参加：診療看護師 多田 真也

2022 年 2 月 16 日（水）14：30 ～ 16：30

主催：公益社団法人静岡県看護協会

<令和 3 年度特定行為研修指定研修機関意見交換会>

参加：診療看護師 多田 真也、田中ひとみ 看護部長

2022 年 3 月 15 日（火）14：00 ～ 16：00

場所：静岡県看護協会 第 1 研修室

主催：静岡県、公益社団法人静岡県看護協会

<第 6 回滋賀医科大学特定行為フォーラム>

2022 年 3 月 19 日（土）14：00 ～ 17：00

主催：滋賀医科大学

3-18 (1) 地域医療連携室

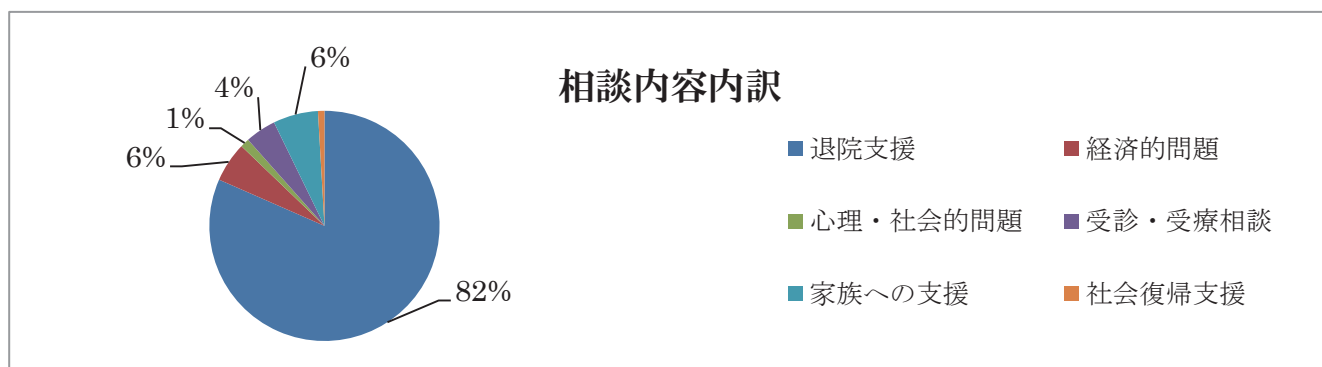
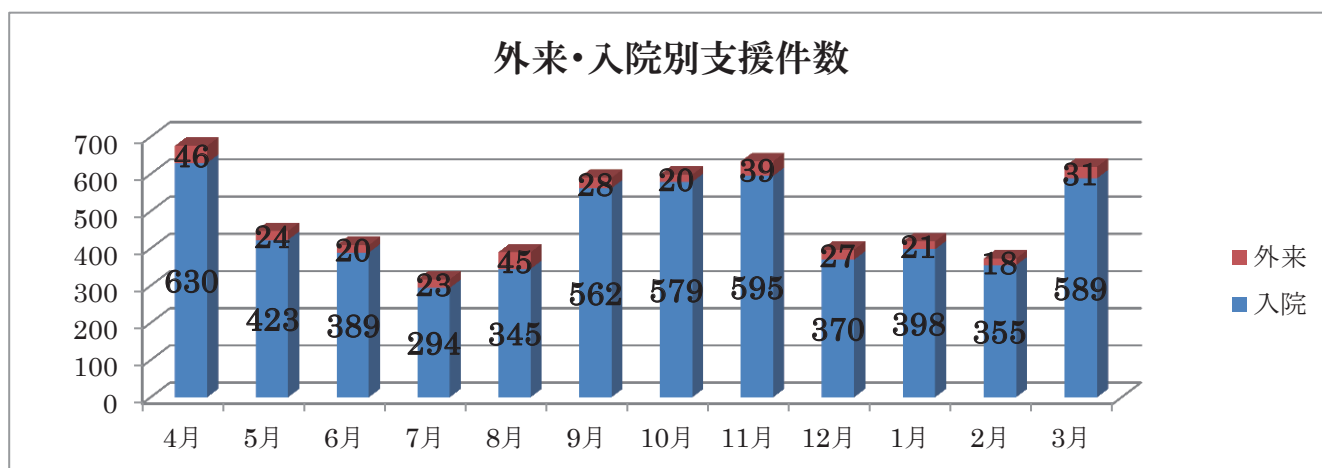
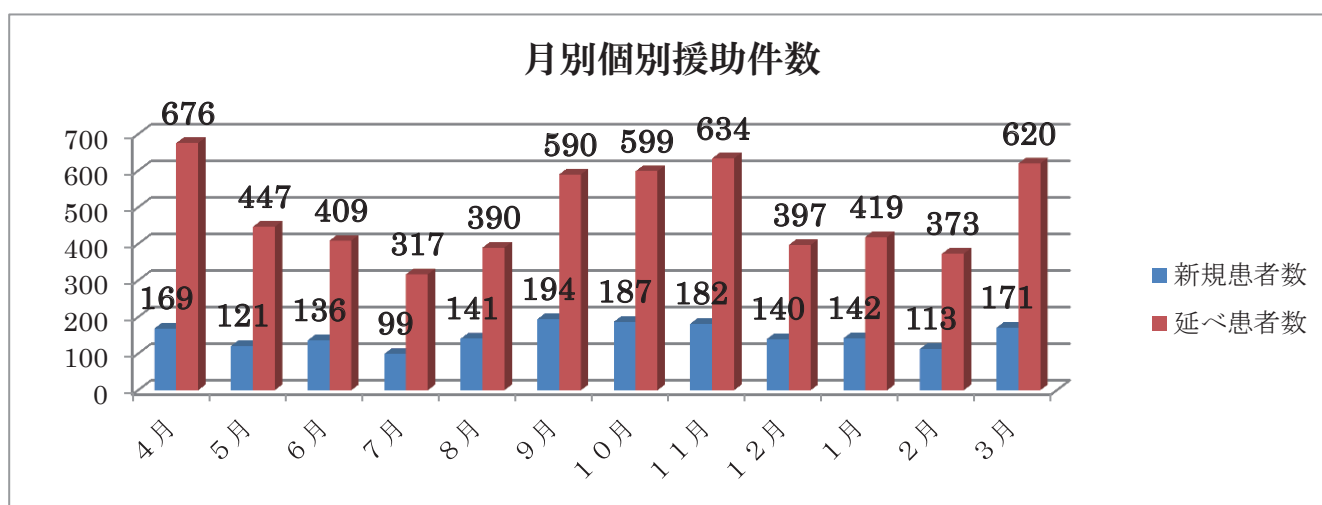
地域別紹介患者数

	2 次保健医療圏	市町村	2019 年度	2020 年度	2021 年度
静岡県	賀茂	下田市	624	598	688
		賀茂郡東伊豆町	215	193	228
		賀茂郡河津町	465	362	343
		賀茂郡南伊豆町	42	44	43
		賀茂郡松崎町	40	33	26
		賀茂郡西伊豆町	453	405	507
		小計	1,839	1,635	1,835
	熱海伊東	熱海市	562	538	518
		伊東市	2,024	1,946	2,032
		小計	2,586	2,484	2,550
	駿東田方	沼津市	2,553	2,085	2,292
		三島市	2,824	2,445	2,777
		御殿場市	997	866	1,150
		裾野市	761	698	783
		伊豆市	2,195	1,792	2,195
		伊豆の国市	3,104	2,794	3,033
		田方郡函南町	1,991	1,652	1,879
		駿東郡清水町	703	643	816
		駿東郡長泉町	746	663	758
		駿東郡小山町	39	33	41
		小計	15,913	13,671	15,724
	富士	富士宮市	96	93	96
		富士市	320	297	393
		小計	416	390	489
	その他		386	349	382
	県内合計		21,140	18,529	20,980
県外		955	749	817	
総計		22,095	19,278	21,797	

3-18 (2) 医療福祉相談室 (社会福祉士)

社会福祉士（ソーシャルワーカー）6名にて、入院・外来患者家族・地域に対し相談や調整業務を行っている。入院においては退院支援看護師と社会福祉士で病棟別に担当し対応している。主な業務としては、転院・退院支援（地域連携パス含む）・外来相談、各種福祉制度・社会保障制度の紹介、経済的問題の支援である。心理的・社会的背景や傷病によって生じる生活上の課題を把握し、社会資源を活用しながら個別的に支援を行っている。

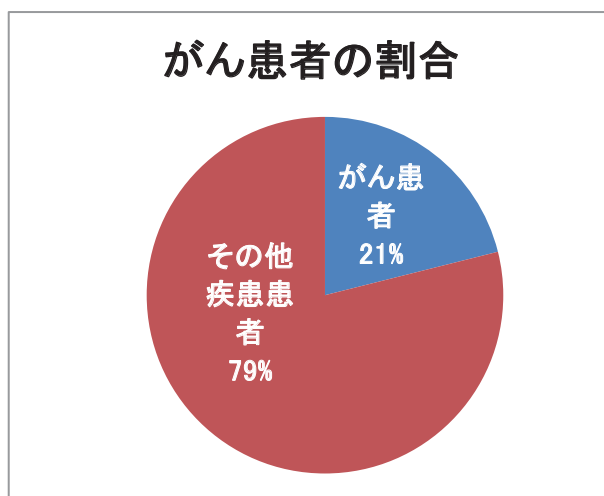
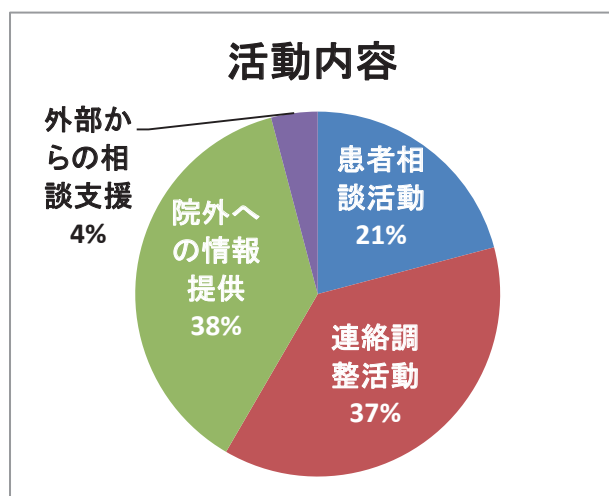
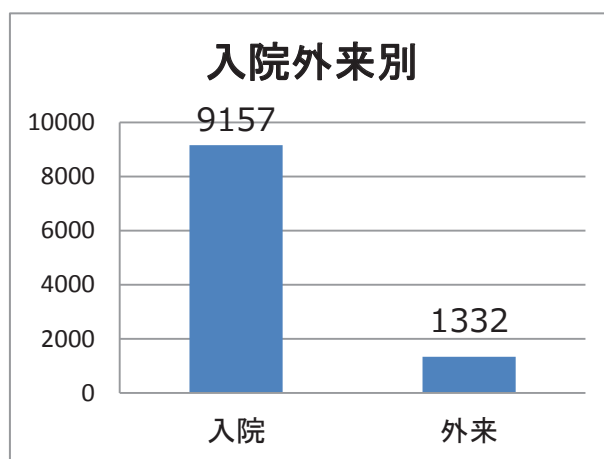
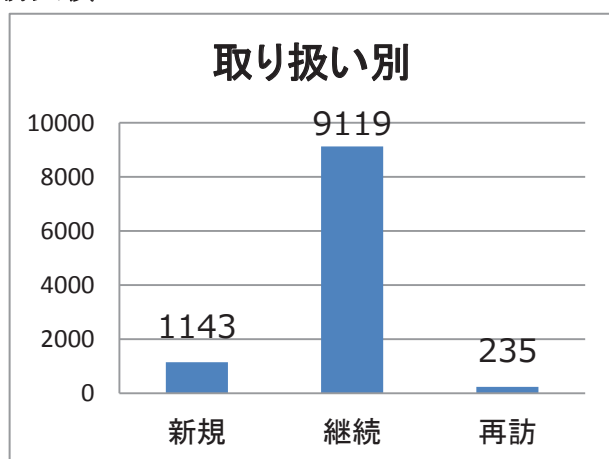
2021 年度業務実績

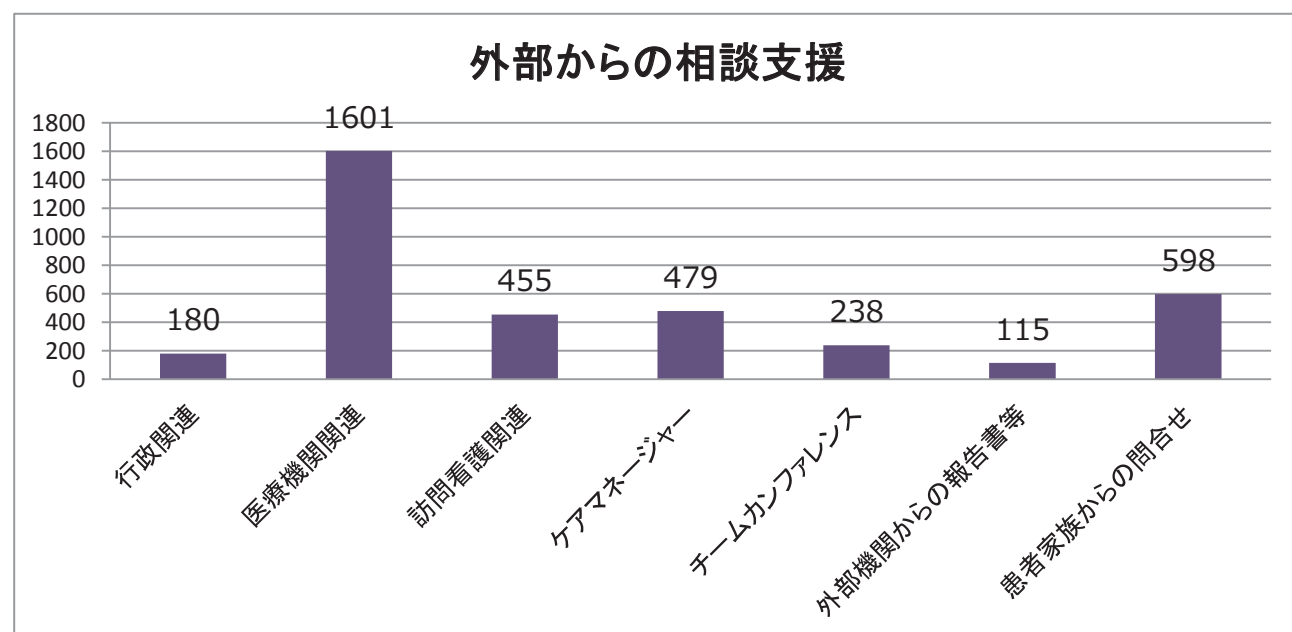
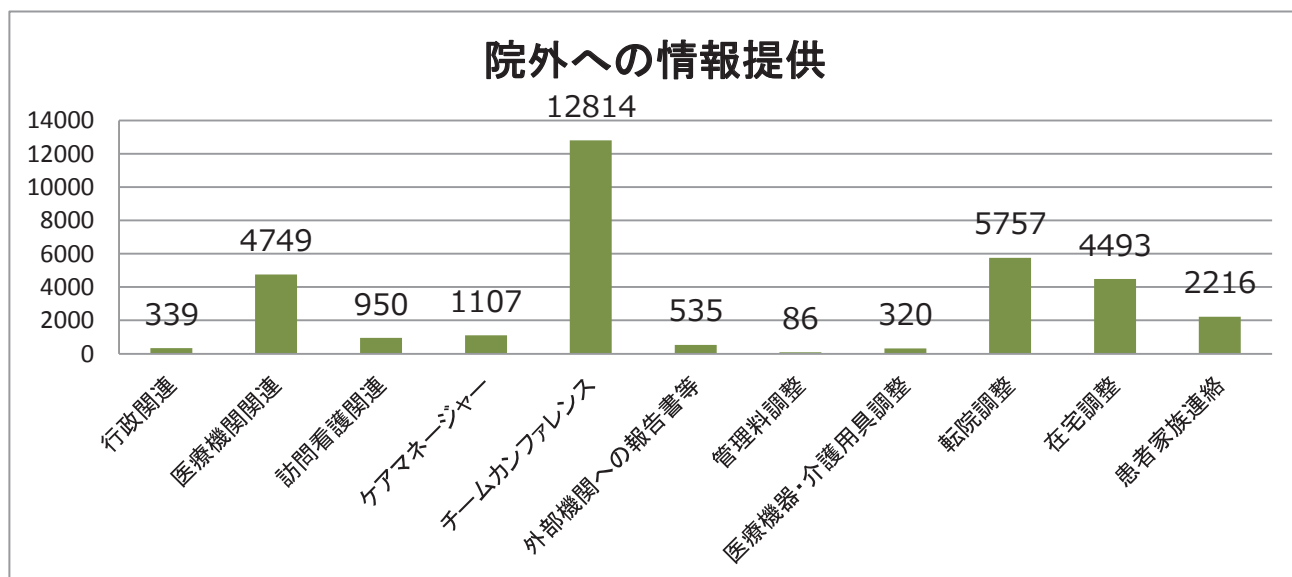
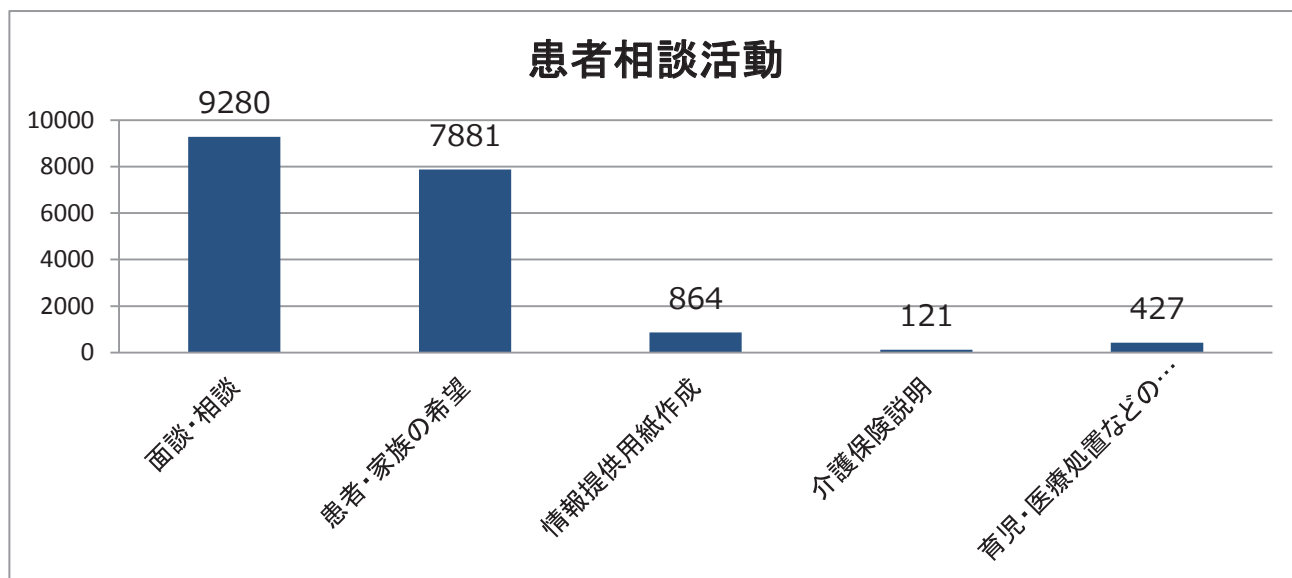


3-18 (3) 入退院支援室（入退院支援看護師）

2020 年からのコロナ禍において、地域連携機関との対面での面談制限や、家族の面会制限が続く環境下での退院支援・調整は 2021 年度も継続した対策が必要な年となった。地域連携を推進するために、2021 年6月各部署の退院支援リンクナースにビデオ通話（Zoom）を活用したカンファレンスの開催を推奨し、2020 年度 187 件から 2021 年度 721 件と 38%の増加となった。地域連携機関との円滑な連携の推進はここ数年掲げている目標であるため、Zoom の活用による効率的な入院時・退院時のカンファレンスの開催は今後も継続していきたい。その他の取組として、2020年1月から導入した「医療機関と地域の情報連携シート」は地域から当院外来への発信が、2020 年度 110 件から 2021 年度 160 件と増加した。また、外来通院中の 80 歳以上の患者を対象にスクリーニング（在宅療養上の困難要因の洗い出し）を開始し、患者の情報（課題）を「医療機関と地域の情報連携シート」を利用し発信していくことに着手した。今後も患者の抱えている課題について、地域連携機関と情報共有し支援に繋ぐことを目指していきたい。

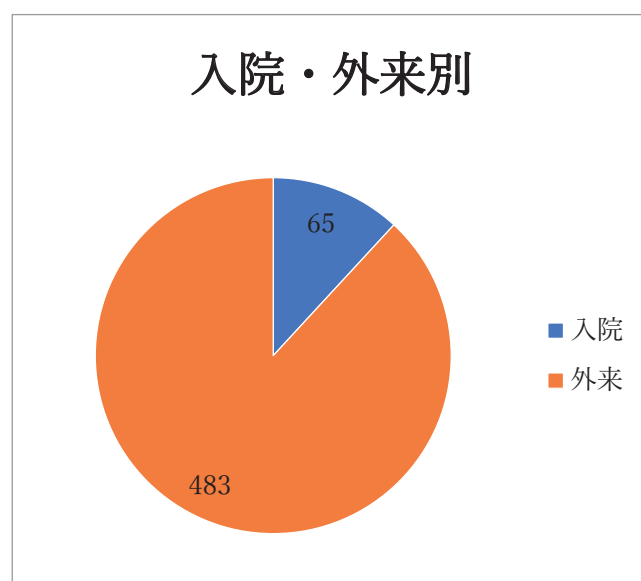
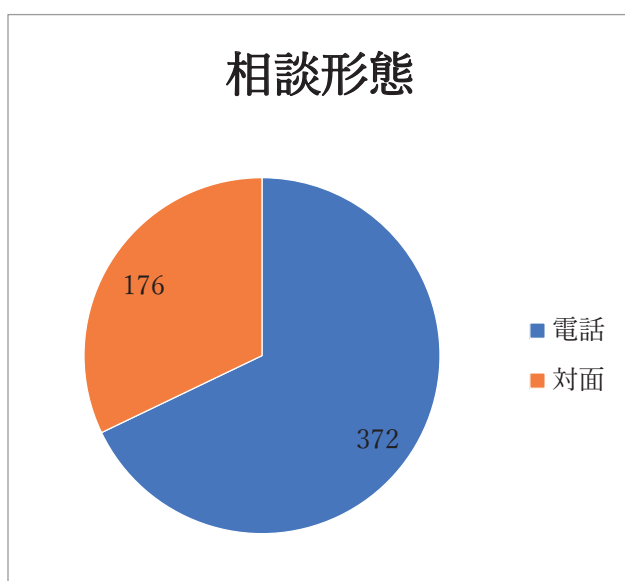
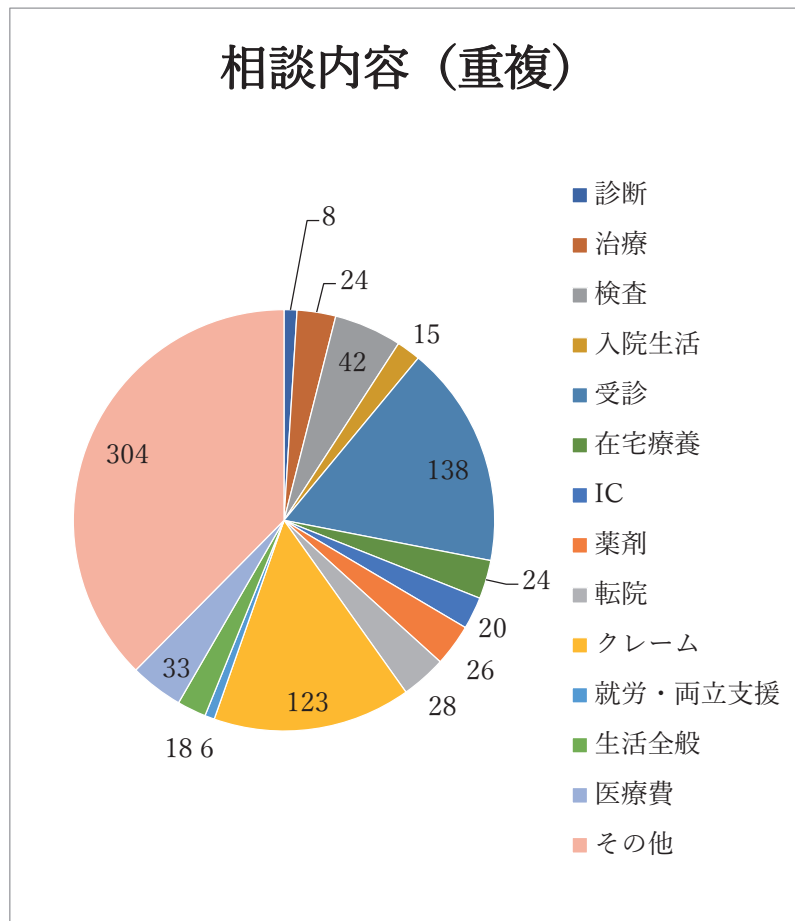
業務実績





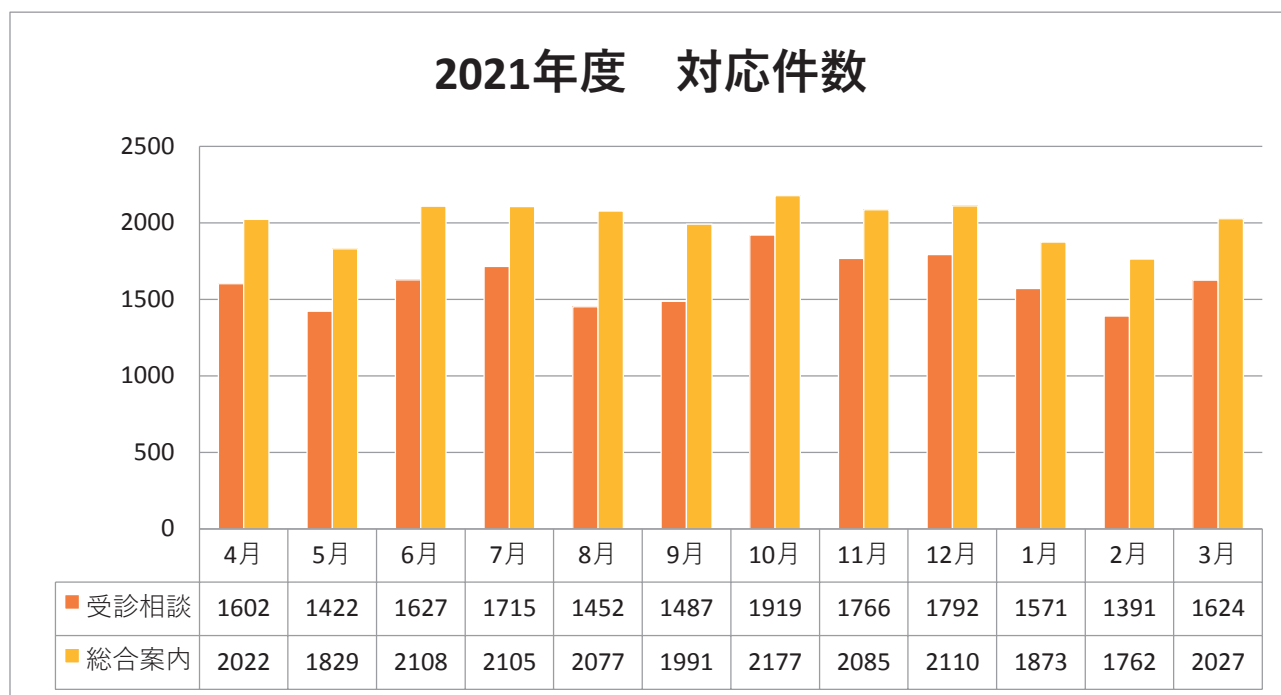
3-18 (4) 患者・看護相談室

業務実績



3-18 (5) 受診相談・総合案内

業務実績



内訳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受診相談	受診相談	287	247	265	302	266	248	343	311	328	233	212	273
	電話相談	115	100	153	158	219	168	160	138	123	218	214	214
	院内案内	314	319	326	340	294	285	399	433	461	361	317	386
	面会者対応	148	133	124	117	91	128	164	140	129	126	90	89
	受付	262	235	230	224	183	193	286	258	259	200	151	198
	その他の相談等	476	388	529	574	399	465	567	486	492	433	407	464
総合案内	院内案内	1065	897	1072	1138	1056	979	1098	1017	1116	947	932	1086
	面会者対応	233	260	279	237	296	239	312	280	302	237	194	219
	受付	710	653	732	711	706	750	745	773	679	682	626	708
	その他の相談等	14	19	25	19	19	23	22	15	13	7	10	14

3-19. 医療安全管理室

主な活動と実績

医療安全管理室では、安全で質の高い医療を提供するため医師 2 名、看護師 1 名、薬剤師 1 名、臨床工学技士 1 名、事務 2 名を配置し、

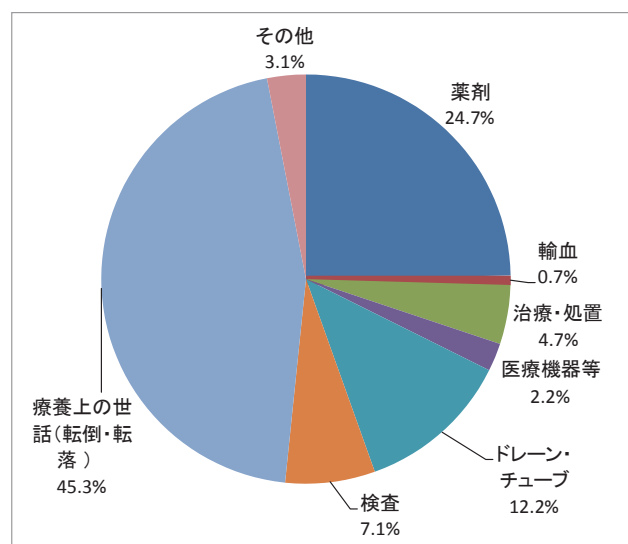
- ① 医療の安全を確保するための改善方策に関すること
- ② 医療安全管理のための職員への企画・運営および院内広報等の企画・実施
- ③ 医療事故発生時の対応に関すること
- ④ 医療安全・危機管理委員会の円滑な運営に関すること
- ⑤ 医療安全管理に関する院内の連絡調整
- ⑥ 医療安全に係るカンファレンスを週 1 回程度開催
- ⑦ その他医療安全管理に関する業務に取り組んでいる。

このほか、医療安全危機管理委員会を毎月、医療安全研修会を 8 回開催した。なお、コロナ禍のため委員会はWEB 方式、研修会は DVD 視聴による研修方式として、感染予防等の安全対策を行ったうえでの開催とした。医療安全に関する院内広報誌（リスクマネージメントニュースレター）を毎月発行し医療場面での注意喚起を行った。苦情・クレーム対応では公平中立な立場で対応し、適正な接遇への指導及び信頼回復に努めた。

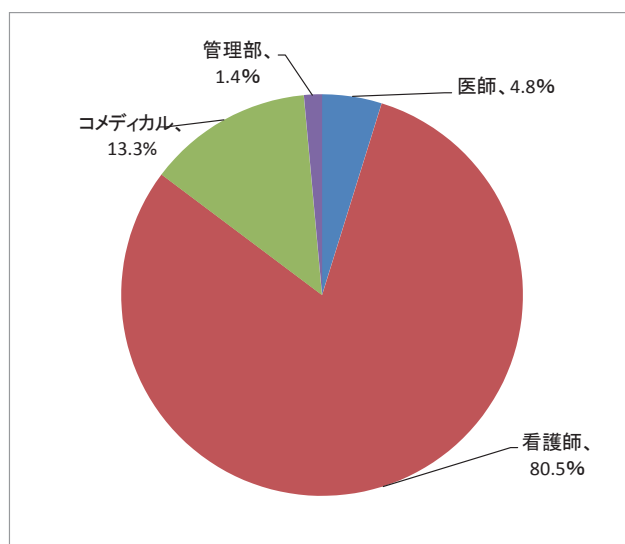
2021 年度 インシデント・アクシデントレポート報告

部門	薬剤	輸血	治療・処置	医療機器等	ドレーン・チューブ	検査	療養上の世話 (転倒・転落)	その他	合計 【臨床研修医】	部門別率
医師	24	5	49	6	7	20	8(4)	24	143【4】	4.8%
看護師	465	15	61	51	348	115	1291(384)	49	2395	80.5%
コメディカル	246	2	24	9	8	70	30(22)	7	396	13.3%
管理部	1	0	5	0	0	6	20(6)	11	43	1.4%
合計	736	22	139	66	363	211	1349(416)	91	2977	100.0%
項目別率	24.7%	0.7%	4.7%	2.2%	12.2%	7.1%	45.3%	3.1%	100.0%	

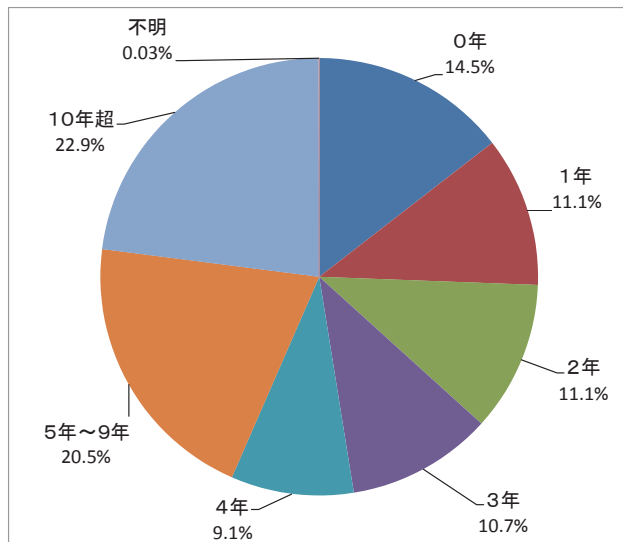
内容分類



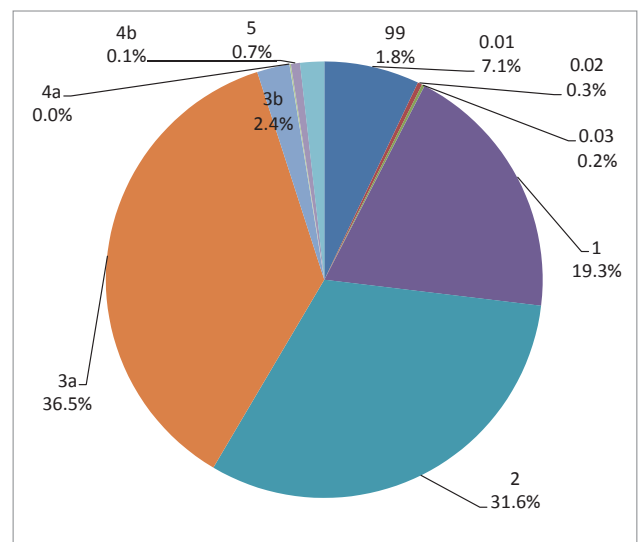
所属部門



勤続年数



事象レベル



2021年度 医療安全研修会

全体受講率:97.1%

・医師:88.8%、コメディカル:98.5%、看護部:99.6%、事務部:98.0%、
委託業者:98.0%その他の部署:95.0%

2021 年度 医療安全対策研修会

開催月	研修テーマ	講師等	対象
2021 年 6 月	「輸血手順」について	輸血室・医療安全管理室	医師・看護師
2021 年 6 月	「個人情報」について	NEC フィールディング (株)	全職員
2021 年 7 月	「眠剤と転倒・せん妄の関係性について」	メンタルクリニック 教授 桐野 衛二	全職員
2021 年 10 月	「輸液ポンプ・シリンジポンプのトラブル事例と対処」	テルモ (株) 静岡支店	全職員
2021 年 10 月	「医療ガス安全管理について」	関東エアウォーター株式会社	全職員
2021 年 10 月	「感染症スクリーニングの落とし穴」	消化器内科 教授 玄田 拓哉	全職員
2021 年 10 月	「採血時の検体取り扱いの注意点」について	臨床検査技師	全職員
2022 年 1 月	「薬の粉碎について」	薬剤師 山口 香織	全職員

3-20 感染対策室

感染対策室では以下のような活動を行っている。

1. 患者に対しては安全な医療環境を提供するために、診療上問題となる病原微生物が発生・伝播・拡散することを防ぐ活動。
 - 病原微生物の感染経路に応じて感染拡大を防止する対策を行う。
 - 手指衛生モニタリングを行い、アルコールゲルなどの使用状況に応じて各部署に指導を行う。
 - 耐性菌の発生率を減少させるために、広域抗菌薬や抗MRSA薬の使用に際して適正な使用状況にあるか、週1回程度のラウンドを行う。
 - 年間計画に沿って院内のいずれかの部署の環境ラウンドを週1回程度行い、病原微生物が繁殖する温床がないかチェックを行う。ハイリスク病棟は1回/週、他の病棟も1回/月、ハイリスク部署は1回/2ヶ月の頻度で行う。
 - 細菌検査室が耐性菌を中心とした報告書を週1回感染対策室に提出し、各病棟で問題となる病原微生物のアウトブレイクがないかチェックを行う。もし、アウトブレイクと判断した場合は、当該部署に指導を行う。
2. 職員を感染曝露から防ぐための活動。
 - 安全衛生管理室と連携して針刺し、切創、粘膜曝露予防策及び発生時の対応方法を職員に指導している。
 - 安全衛生管理室と連携して職業感染予防のためのワクチン接種を推進している。
3. 院内感染対策の広報活動。
 - 院内感染対策を職員に浸透させるための定期的な研修会を開催している。
 - 2か月に1回「感染対策通信」を発行している。
4. 近隣病院・施設との連携。
 - 連携をしている近隣病院との合同カンファレンスを通して、各施設が抱えている問題点を提示し、それに対する対策に関して意見交換を行う。
 - 連携病院と相互に院内ラウンドを行い、第三者の目から改善点を指摘しあう。
5. COVID-19 感染症への対応
 - 静岡県が設置している新型コロナウイルス感染症対策チーム（ふじのくに感染症専門医協働チーム）へ応援要員として参加し、施設等の感染対策に対する指導を実践する。
 - 静岡県病院協会と連携し、近隣の社会福祉施設へ感染対策に関連する指導を実施する。

業務実績

月	日(曜日)	
4 月	1 日(木)	新入職員オリエンテーション
	2 日(金)	1 年目臨床研修医オリエンテーション 感染対策委員会(配布資料)
5 月	10 日(月)～	感染症看護 CNS 実習受け入れ

	21 日(金) 24 日(月)	感染対策加算 1・2 合同カンファレンス 東部地区 感染管理対策担当看護師連絡会議 感染対策委員会(配布資料)
6 月	10 日(木) 16 日(水) 17 日(木) 30 日(水)	伊豆中央ケアセンター訪問指導(静岡県病院協会依頼) 駿豆学園訪問指導(静岡県病院協会依頼) リハビリテーション中伊豆温泉病院訪問指導(ふじのくに感染症専門医協働チーム依頼) J-ICT 感染対策委員会(配布資料)
7 月	19 日(月)	ぬくもりの里・プレーグ大仁訪問指導(静岡県病院協会依頼) 感染対策委員会(配布資料)
8 月	21 日(土)	私立医科大学病院感染対策協議会(第 12 回) 感染対策委員会(配布資料)
9 月	24 日(金)	感染対策加算 1・2 合同カンファレンス、感染対策委員会
10 月	4 日(月) 5 日(火) 22 日(金)	土肥ホーム訪問指導(静岡県病院協会依頼) 伊豆リハビリテーションセンター(函南)訪問指導(静岡県病院協会依頼) 東部地区 感染管理対策担当看護師連絡会議 感染対策委員会
11 月	26 日(金)	感染対策加算 1・2 合同カンファレンス、感染対策委員会
12 月	15 日(水)	地域連携相互ラウンド(三島中央病院より評価) 感染対策委員会(配布資料)
1 月		感染対策委員会(配布資料)
2 月	2 日(水)	地域連携合同カンファレンス(当院主催) 感染対策委員会(配布資料)
3 月	18 日(金)	感染防止対策加算 1・2 合同カンファレンス 感染対策委員会(配布資料)
年間		感染対策研修会・抗菌薬研修会を DVD 等で実施 地域連携加算相互ラウンドを紙面で実施(聖隷沼津病院) COVID-19 チーム担当医師への防護具着脱訓練及びフィットテスト実施

次年度目標(2021年度の総括と次年度の目標)

1. 2021 年度の総括

- アウトブレイクマニュアルの改訂により、VRE アウトブレイク 7 件、MRSA アウトブレイク 3 件の発生を認め対応した。また、COVID-19 感染症クラスター2 回の対応を実施した。
- 抗菌薬ラウンド及び抗菌薬適正使用支援チームの活動を通し、広域抗菌薬や抗 MRSA 薬の使用適正化を進めた。
- 手指衛生は看護部と連携し、アルコール使用量は 28.28 回/患者/日程度と改善傾向にある。手指衛生実施率・遵守率は医師・看護職員・コメディカルとも変化は見られない。
- 環境衛生については ICT ラウンドの実施、看護部リンクナースと協働し衛生的な病院環境の提供に努め、

再ラウンド時に改善を確認している。

- CLA-BSI/CA-UTI サーベイランスでは、ほとんどの部署で感染率が横ばい状態。

2. 2021 年度の目標

- 抗菌薬ラウンドと血液培養陽性症例のラウンドを行い、抗菌薬の適正使用の更なる推進を図る。
- CLA-BSI/CA-UTI 感染率は 2020 年度データを下回る。
- アウトブレイクマニュアルを活用し、各部署が耐性菌等の対策遵守を自主的に実施できるよう活動を促し、実践能力の向上を目指すための支援を行う。また、耐性菌のアウトブレイクや COVID-19 感染症を始めとした新興感染症等のクラスターの発生を未然に防ぐための広報活動を実施する。

3-21 安全衛生管理室

2021 年度 安全衛生管理室行事

年 月	日	曜 日	行 事
2021 年	1	木	新入職員オリエンテーション
4 月	28	水	安全衛生委員会
5 月	10～ 24～ 26 中旬～下旬	月～ 月～ 水 月～金	春季健康診断、ストレスチェック 胃検診(胃内視鏡検査) 安全衛生委員会 新入職員面談
6 月	～4 上旬 1～30 30	～金 月～金 火～水 水	春季健康診断、ストレスチェック 新入職員面談 胃検診(胃内視鏡検査) 安全衛生委員会
7 月	～9 28	～金 水	胃検診(胃内視鏡検査) 安全衛生委員会
8 月	25	水	安全衛生委員会
9 月	22 27～30	水 月～木	安全衛生委員会 B 型肝炎ワクチン接種
10 月	25～27 27	月～水 水	B 型肝炎ワクチン接種 安全衛生委員会
11 月	1～8 19 24	月～月 金 水	インフルエンザ予防接種 校医会・法人安全衛生委員会 安全衛生委員会
12 月	6～10 22	月～金 水	秋季健康診断 安全衛生委員会
2022 年	26	水	安全衛生委員会
1 月			
2 月	14～16 16 28～	月～水 水 月～	流行性ウイルス性疾患(麻疹・風疹・ムンプス・水痘)ワクチン接種 安全衛生委員会 B 型肝炎ワクチン接種
3 月	～2 14～16 23	～水 月～水 水	B 型肝炎ワクチン接種 流行性ウイルス性疾患(麻疹・風疹・ムンプス・水痘)ワクチン接種 安全衛生委員会

【月毎定例行事】 飲食物取扱従事者検便《毎月第 2 火曜日》

※6 月～9 月は、第 2・4 火曜日(月 2 回)実施

託児所業務従事者検便《毎月第 2 火曜日》

【随 時】 雇い入れ時健康診断

業務実績

定期健康診断受診率

	春 季			秋 季		
実施期日	2021年5月10日～6月4日			2021年12月6日～12月10日		
実施項目	身体測定、血液検査、尿検査、血圧測定、視力検査、聴力検査、心電図検査、胸部X線、胃透視検査(40歳以上希望者)、内科診察			身体測定、血液検査、尿検査、血圧測定、視力検査、聴力検査、内科診察		
受 診 率	全 体	1,337/1,337	(100.0%)	全 体	840/840	(100.0%)
	医 師	255/255	(100.0%)	医 師	205/205	(100.0%)
	コメディカル	198/198	(100.0%)	コメディカル	63/63	(100.0%)
	看護部	764/764	(100.0%)	看護部	570/570	(100.0%)
	事務部	120/120	(100.0%)	事務部	2/2	(100.0%)

4. 統計

4-1 病床利用率

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度
病 床 数	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577	577
病 床 利 用 率	93.4%	91.8%	95.6%	92.0%	92.2%	92.5%	96.3%	95.5%	94.0%	95.0%	91.2%	97.0%	93.9%

4-2 在院日数

(単位:日)

診療科	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年度
内 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膠原病内科・リウマチ科	15.1	11.7	11.0	9.3	15.6	8.1	7.9	7.2	12.7	22.3	8.4	17.2	11.3
血 液 内 科	21.9	19.9	21.4	14.9	24.3	21.2	20.9	23.2	22.4	17.7	20.9	21.0	20.7
消 化 器 内 科	9.3	8.6	8.2	8.7	8.7	9.3	10.4	11.3	9.1	9.8	9.6	7.9	9.2
呼 吸 器 内 科	18.5	16.7	15.3	12.8	14.6	18.5	18.3	15.1	11.9	13.8	16.1	19.0	15.8
腎 臓 内 科	14.1	12.5	11.7	13.1	13.1	13.9	17.3	15.6	13.6	21.5	26.0	15.6	15.1
糖 尿 病 内 科・内 分 泌 内 科	13.2	10.7	12.2	14.1	9.3	17.9	13.5	12.2	14.2	14.7	11.9	14.0	13.1
循 環 器 内 科	6.8	9.6	8.7	9.4	10.9	8.9	7.9	8.4	9.0	10.6	9.5	9.6	9.1
小 児 科	5.4	5.9	7.6	4.9	6.3	5.9	5.0	7.6	5.2	4.9	5.4	4.5	5.6
小 児 外 科												2.0	2.0
新 生 児 科	22.5	27.0	26.6	21.6	20.6	23.2	19.2	24.3	22.5	24.9	33.3	22.4	23.6
外 科	9.8	10.9	12.1	9.5	9.9	10.1	9.7	10.8	10.7	10.9	11.8	9.6	10.4
脳 神 経 外 科	18.2	20.5	15.5	17.9	16.4	14.9	16.8	16.2	16.8	21.9	19.9	20.3	17.9
整 形 外 科	17.8	17.6	16.4	18.1	16.4	17.7	15.6	17.8	16.7	16.9	18.1	16.3	17.1
脳 神 経 内 科	15.0	22.1	14.9	14.3	13.1	13.4	19.8	15.8	16.9	18.5	26.1	21.3	17.2
心 臓 血 管 外 科	15.2	14.1	22.2	14.2	18.5	12.9	13.8	17.6	14.6	14.9	17.1	14.8	15.6
呼 吸 器 外 科	9.8	11.6	11.3	11.7	14.1	12.5	12.7	9.5	6.6	11.5	13.5	9.8	10.9
形 成 外 科	19.8	21.3	20.3	16.0	13.5	21.8	28.2	22.9	17.3	22.6	23.3	15.8	20.0
眼 科	6.7	5.5	6.2	6.3	6.4	6.0	5.7	4.8	5.7	6.6	5.0	5.2	5.8
耳 鼻 咽 喉 科	10.8	8.8	7.4	9.4	10.1	8.3	11.1	10.1	10.9	8.8	5.8	8.2	9.2
麻 酔 科・ペインクリニック	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
放 射 線 科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メ ン タ ル ク リ ニ ッ ク	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
皮 膚・アレルギー科	7.1	7.0	6.4	9.7	8.8	6.2	6.6	6.7	6.1	7.2	10.9	8.7	7.5
泌 尿 器 科	9.4	9.2	7.4	10.1	8.4	7.3	7.7	6.6	8.3	6.2	7.0	7.7	8.0
産 婦 人 科	7.4	8.6	8.4	9.3	8.5	9.2	9.0	8.5	7.4	7.1	7.3	7.2	8.1
救 急 診 療 科	13.3	7.2	9.7	9.4	8.3	9.6	8.8	10.1	11.8	16.2	10.6	13.5	10.4
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計	11.3	11.5	11.2	11.1	11.2	11.2	11.1	11.2	11.0	12.0	12.0	11.2	11.3

※2022年2月より、小児外科開設

4-3 診療科別延患者数(外来)

(単位: 人)

診療科		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度計	前年比
内 科		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
膠原病・リウマチ内科		1,458	1,322	1,490	1,512	1,426	1,419	1,505	1,440	1,467	1,411	1,309	1,664	1,452	17,423	15,786	110.4%
血液内科		1,271	1,263	1,297	1,402	1,381	1,360	1,386	1,312	1,388	1,275	1,239	1,439	1,334	16,013	14,560	110.0%
消化器内科		1,901	1,653	1,975	1,958	1,829	2,119	2,092	1,892	2,177	2,012	1,780	2,244	1,969	23,632	21,936	107.7%
呼吸器内科		1,771	1,662	1,839	1,993	1,782	1,855	1,914	1,884	1,880	1,764	1,920	2,180	1,870	22,444	19,928	112.6%
腎臓内科		942	954	1,003	1,024	1,043	1,064	1,033	1,005	1,061	1,059	946	1,174	1,026	12,308	12,105	101.7%
糖尿病・内分泌内科		2,292	2,150	2,294	2,343	2,447	2,304	2,454	2,335	2,471	2,283	2,171	2,536	2,340	28,080	24,220	115.9%
循環器科		3,974	3,623	3,960	4,054	3,886	4,041	4,218	3,940	4,369	3,916	3,755	4,512	4,021	48,248	43,253	111.5%
小児科		1,173	1,104	1,300	1,314	1,400	1,206	1,346	1,234	1,418	1,299	1,103	1,383	1,273	15,280	14,187	107.7%
小児外科		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	1	13	0	—
新生児科		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 科		2,106	1,941	2,256	2,217	2,052	2,380	2,519	2,357	2,354	2,312	2,165	2,510	2,264	27,169	24,852	109.3%
脳神経外科		2,049	1,833	2,048	2,044	1,954	2,063	2,054	2,043	1,970	1,878	1,817	2,263	2,001	24,016	22,624	106.2%
整形外科		2,826	2,555	3,014	2,821	2,819	2,960	2,976	2,992	3,103	2,752	2,495	3,099	2,868	34,412	30,476	112.9%
脳神経内科		1,960	1,756	1,974	1,886	1,947	2,011	1,991	1,925	2,114	1,883	1,836	2,242	1,960	23,525	23,032	102.1%
心臓血管外科		294	239	275	293	278	291	283	303	285	287	270	328	286	3,426	4,276	80.1%
呼吸器外科		250	223	239	268	214	228	285	266	262	265	253	253	251	3,006	2,893	103.9%
形成外科		349	299	342	357	363	360	358	369	408	361	374	415	363	4,355	4,143	105.1%
眼 科		2,947	2,527	2,938	2,859	2,782	2,863	2,844	2,930	2,989	2,786	2,754	3,403	2,885	34,622	31,802	108.9%
耳鼻咽喉科		1,346	1,124	1,220	1,193	1,265	1,273	1,305	1,225	1,306	1,225	1,205	1,633	1,277	15,320	13,925	110.0%
麻 酔 科		155	135	144	155	150	168	179	138	152	167	153	168	155	1,864	1,930	96.6%
放 射 線 科		257	239	381	342	336	346	350	346	200	179	242	339	296	3,557	3,025	117.6%
メンタルクリニック		2,359	2,142	2,432	2,474	2,450	2,433	2,475	2,379	2,450	2,259	2,133	2,519	2,375	28,505	26,655	106.9%
皮膚・アレルギー科		2,415	2,280	2,474	2,666	2,550	2,626	2,644	2,556	2,583	2,465	2,327	2,852	2,537	30,438	27,278	111.6%
泌 尿 器 科		1,748	1,733	1,848	1,931	1,926	1,958	1,940	1,963	1,934	1,943	1,672	2,084	1,890	22,680	20,108	112.8%
産 婦 人 科		2,529	2,311	2,807	2,709	2,642	2,869	2,812	2,746	2,764	2,461	2,424	3,016	2,674	32,090	29,215	109.8%
救 急 診 療 科		88	77	87	90	103	58	77	73	68	72	61	78	78	932	956	97.5%
リハビリテーション科		44	46	46	46	27	36	26	24	30	21	18	31	33	395	456	86.6%
合 計		38,504	35,191	39,683	39,951	39,052	40,291	41,066	39,677	41,203	38,335	36,422	44,378	39,479	473,753	433,621	109.3%

※2022年2月より、小児外科開設

4-4 診療科別延患者数(入院)

(単位:人)

診療科	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月 平均	当年度 計	前年度 計	前年比
膠原病内科 ・リウマチ科		240	216	199	164	216	202	159	133	158	174	150	174	182	2,185	2,281	95.8%
血液内科		492	545	508	437	545	555	517	520	529	410	471	573	509	6,102	6,624	92.1%
消化器内科		855	846	801	800	868	921	924	924	846	847	831	729	849	10,192	11,205	91.0%
呼吸器内科		744	805	776	784	966	924	807	540	520	755	823	879	777	9,323	8,540	109.2%
腎臓内科		368	370	319	359	383	300	354	333	416	415	393	408	368	4,418	4,499	98.2%
糖尿病・内分泌内科		150	147	131	180	195	264	204	138	153	226	181	201	181	2,170	2,022	107.3%
循環器科		1,143	1,491	1,524	1,534	1,679	1,441	1,626	1,574	1,601	1,812	1,483	1,690	1,550	18,598	16,454	113.0%
小児科		285	282	285	302	254	195	290	322	293	286	213	280	274	3,287	3,403	96.6%
小児外科		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	0	4	0	—
新生児科		822	768	748	713	646	709	881	798	767	802	754	822	769	9,230	9,082	101.6%
外科		1,812	1,726	2,067	2,034	1,987	2,035	1,989	2,083	2,182	2,060	1,530	2,010	1,960	23,515	22,503	104.5%
脳神経外科		1,855	1,840	1,613	1,520	1,420	1,376	1,794	1,752	1,844	1,911	1,617	1,948	1,708	20,490	21,387	95.8%
整形外科		1,867	1,819	1,929	1,982	1,769	1,819	1,605	1,804	1,858	1,795	1,565	1,744	1,796	21,556	20,330	106.0%
脳神経内科		590	658	623	567	533	561	789	757	808	784	637	758	672	8,065	8,290	97.3%
心臓血管外科		374	423	418	344	371	343	368	461	440	327	396	398	389	4,663	4,224	110.4%
呼吸器外科		151	151	106	146	105	182	187	151	152	184	198	137	154	1,850	2,227	83.1%
形成外科		231	212	288	224	204	194	365	277	196	234	208	204	236	2,837	2,842	99.8%
眼科		758	777	757	646	720	671	731	724	731	682	467	692	696	8,356	8,013	104.3%
耳鼻咽喉科		389	260	253	375	336	315	448	313	398	362	197	354	333	4,000	4,375	91.4%
麻酔科		0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	—
放射線科		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
メンタルクリニック		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
皮膚・アレルギー科		232	310	312	328	305	221	207	226	230	221	241	289	260	3,122	2,997	104.2%
泌尿器科		713	584	590	681	654	515	544	403	492	383	452	683	558	6,694	6,886	97.2%
産婦人科		1,450	1,625	1,584	1,640	1,644	1,736	1,794	1,740	1,548	1,491	1,279	1,598	1,594	19,129	17,946	106.6%
救急診療科		639	566	714	701	693	532	640	558	643	829	651	780	662	7,946	7,466	106.4%
リハビリテーション科		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計		16,160	16,421	16,545	16,463	16,493	16,013	17,223	16,531	16,805	16,990	14,737	17,355	16,478	197,736	193,596	102.1%

※2022年2月より、小児外科開設

4-5 新患者数(外来)

(単位:人)

診療科 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度計	前年比
内科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膠原病内科・リウマチ科	48	44	47	43	55	60	45	48	30	64	38	66	49	588	415	141.7%
血液内科	55	41	49	48	44	57	52	59	47	33	52	47	49	584	563	103.7%
消化器内科	109	95	95	111	95	108	105	100	102	97	101	106	102	1,224	1,040	117.7%
呼吸器内科	97	86	101	143	123	113	105	169	115	137	151	283	135	1,623	925	175.5%
腎臓内科	40	32	30	28	44	30	44	26	34	34	25	47	35	414	391	105.9%
糖尿病・内分泌内科	38	29	33	44	55	33	38	29	51	32	32	48	39	462	363	127.3%
循環器科	88	80	85	99	92	107	97	106	105	94	86	114	96	1,153	976	118.1%
小児科	104	112	138	125	132	87	114	80	98	95	79	108	106	1,272	1,148	110.8%
小児外科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0	4	0	-
新生児科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外科	71	73	93	106	83	108	133	101	120	95	84	74	95	1,141	963	118.5%
脳神経外科	106	82	94	87	90	94	87	88	82	99	68	106	90	1,083	1,007	107.5%
整形外科	228	210	233	228	213	208	215	227	218	224	147	232	215	2,583	2,219	116.4%
脳神経内科	57	65	57	69	52	58	79	56	69	57	57	90	64	766	600	127.7%
心臓血管外科	15	7	11	11	9	12	10	17	14	8	8	7	11	129	142	90.8%
呼吸器外科	3	5	6	5	5	5	3	8	8	2	5	6	5	61	68	89.7%
形成外科	36	42	38	44	36	27	51	36	38	29	33	49	38	459	373	123.1%
眼科	132	108	107	119	119	125	153	145	127	123	74	159	124	1,491	1,270	117.4%
耳鼻咽喉科	117	82	93	117	102	86	104	101	101	84	86	123	100	1,196	1,048	114.1%
麻酔科	6	2	5	5	3	2	4	6	5	5	2	5	4	50	50	100.0%
放射線科	15	14	17	17	22	11	18	14	20	14	13	16	16	191	154	124.0%
メンタル・クリニック	59	43	84	62	56	63	79	55	52	48	44	51	58	696	620	112.3%
皮膚・アレルギー科	110	103	118	129	143	117	123	119	120	93	89	131	116	1,395	1,295	107.7%
泌尿器科	63	51	54	60	69	75	73	56	77	65	49	65	63	757	662	114.4%
産婦人科	155	133	179	191	179	181	175	152	141	165	132	183	164	1,966	1,591	123.6%
救急診療科	56	41	41	47	54	32	37	36	35	41	30	43	41	493	495	99.6%
リハビリテーション科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,808	1,580	1,808	1,938	1,875	1,799	1,944	1,834	1,809	1,738	1,485	2,163	1,815	21,781	18,378	118.5%

※2022年2月より、小児外科開設

4-6 新患者数(入院)

(単位:人)

診療科	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度計	前年比
内 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
膠原病内科 ・リウマチ科	16	16	16	16	13	21	14	19	11	8	16	8	15	174	165	105.5%
血液内科	22	25	19	28	21	26	21	22	19	23	22	26	23	274	258	106.2%
消化器内科	85	94	83	82	96	88	76	75	75	88	77	79	83	998	1,010	98.8%
呼吸器内科	34	47	47	62	61	48	34	33	44	57	46	46	47	559	458	122.1%
腎臓内科	26	29	23	27	25	17	23	19	29	19	13	22	23	272	225	120.9%
糖尿病・ 内分泌内科	10	12	11	13	19	14	13	11	9	16	13	15	13	156	148	105.4%
循環器科	146	149	159	152	141	149	180	177	154	171	132	168	157	1,878	1,703	110.3%
小 児 科	45	41	33	50	35	27	51	36	49	47	35	49	42	498	467	106.6%
小 児 外 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0	2	0	-
新 生 児 科	35	29	24	31	31	34	43	31	30	33	23	33	31	377	420	89.8%
外 科	165	146	162	192	182	186	183	180	180	178	110	196	172	2,060	1,985	103.8%
脳神経外科	95	82	99	72	83	90	106	103	103	85	80	95	91	1,093	1,073	101.9%
整形外科	92	100	107	101	95	91	89	98	92	103	80	99	96	1,147	1,046	109.7%
脳神経内科	39	30	35	37	40	41	38	45	42	37	24	35	37	443	419	105.7%
心臓血管外科	22	27	18	20	18	23	28	20	26	20	24	22	22	268	184	145.7%
呼吸器外科	14	12	7	11	8	14	12	16	16	18	11	10	12	149	170	87.6%
形成外科	9	9	13	10	13	8	13	9	7	12	7	10	10	120	135	88.9%
眼 科	99	120	102	92	93	101	105	130	100	98	70	118	102	1,228	1,052	116.7%
耳鼻咽喉科	32	25	30	36	32	35	35	32	29	39	25	43	33	393	381	103.1%
麻 酔 科	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
放 射 線 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
メンタル クリニック	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
皮膚・アレルギー科	33	37	44	30	34	26	28	30	32	26	24	27	31	371	299	124.1%
泌尿器科	69	56	66	60	69	59	58	54	50	55	60	81	61	737	710	103.8%
産 婦 人 科	180	173	169	160	165	176	181	184	170	190	157	195	175	2,100	2,052	102.3%
救急診療科	48	77	76	76	78	57	72	57	59	54	61	57	64	772	834	92.6%
リハビリ テーション科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0%
合 計	1,316	1,336	1,343	1,359	1,352	1,332	1,403	1,381	1,326	1,377	1,110	1,436	1,339	16,071	15,194	105.8%

※2022年2月より、小児外科開設

4-7 退院患者数

(単位:人)

診療科 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度計	前年比
内 科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
膠原病内科・リウマチ科	14	18	17	16	13	23	21	14	12	7	16	11	15	182	175	104.0%
血液内科	21	27	26	27	22	24	26	21	26	21	21	26	24	288	279	103.2%
消化器内科	82	84	91	83	85	90	85	75	91	70	80	85	83	1,001	1,006	99.5%
呼吸器内科	42	44	48	52	63	47	49	34	37	46	50	42	46	554	461	120.2%
腎臓内科	23	26	27	24	29	23	16	21	28	18	16	27	23	278	248	112.1%
糖尿病・内分泌内科	11	13	9	11	19	14	15	10	11	13	15	12	13	153	139	110.1%
循環器科	148	135	156	143	141	142	184	161	164	144	149	153	152	1,820	1,662	109.5%
小 児 科	44	41	33	52	35	29	46	39	46	50	32	53	42	500	468	106.8%
小児外科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0	1	0	-
新生児科	35	26	30	32	29	25	44	32	35	29	21	37	31	375	431	87.0%
外 科	171	144	154	195	182	180	188	173	192	168	127	184	172	2,058	1,999	103.0%
脳神経外科	98	89	97	88	80	84	96	101	104	82	75	88	90	1,082	1,051	102.9%
整形外科	106	96	114	106	108	103	104	94	117	98	84	103	103	1,233	1,145	107.7%
脳神経内科	35	27	43	37	36	37	38	45	48	43	23	33	37	445	435	102.3%
心臓血管外科	24	29	18	25	20	26	22	29	30	21	20	28	24	292	201	145.3%
呼吸器外科	14	12	10	12	6	13	15	13	23	12	16	15	13	161	181	89.0%
形成外科	13	10	14	16	15	9	12	14	14	8	10	14	12	149	153	97.4%
眼 科	97	120	108	85	101	91	112	121	115	84	84	106	102	1,224	1,046	117.0%
耳鼻咽喉科	34	28	30	36	29	33	39	25	37	35	32	35	33	393	374	105.1%
麻 酔 科	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放射線科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
メンタル・クリニック	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
皮膚・アレルギー科	25	40	41	31	29	34	27	29	33	28	17	32	31	366	294	124.5%
泌尿器科	68	58	73	63	70	64	66	52	55	52	54	76	63	751	713	105.3%
産婦人科	167	165	169	160	179	165	178	184	195	178	153	196	174	2,089	2,086	100.1%
救急診療科	42	63	59	60	72	45	60	45	43	43	52	51	53	635	681	93.2%
リハビリテーション科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	1,314	1,295	1,367	1,355	1,363	1,302	1,443	1,332	1,456	1,250	1,147	1,408	1,336	16,032	15,228	105.3%

※2022年2月より、小児外科開設

4-8 年齢別延患者数(外来)

(単位:人)

年齢 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度計	前年比
0 歳	377	334	376	399	398	402	409	452	474	459	331	426	403	4,837	4,967	97.4%
1-6 歳	596	560	680	643	664	642	647	609	674	654	549	747	639	7,665	6,941	110.4%
0-9 歳	1,197	1,069	1,285	1,261	1,320	1,215	1,286	1,232	1,391	1,307	1,083	1,423	1,256	15,069	14,600	103.2%
10-19 歳	948	932	1,114	1,234	1,398	1,056	1,162	1,116	1,244	1,016	990	1,303	1,126	13,513	11,942	113.2%
20-29 歳	1,612	1,477	1,695	1,701	1,743	1,692	1,759	1,680	1,794	1,588	1,656	2,192	1,716	20,589	18,053	114.0%
30-39 歳	2,345	2,206	2,446	2,461	24,732	2,516	2,505	2,426	2,580	2,504	2,381	2,948	4,338	52,050	27,301	190.7%
40-49 歳	3,568	3,105	3,669	3,644	3,620	3,607	3,620	3,512	3,665	3,321	3,232	3,806	3,531	42,369	40,894	103.6%
50-59 歳	4,668	4,242	4,736	4,894	4,721	4,890	5,029	4,864	5,070	4,652	4,545	5,393	4,809	57,704	51,318	112.4%
60-64 歳	2,676	2,550	2,837	2,679	2,609	2,711	2,874	2,754	2,781	2,574	2,517	2,944	2,709	32,506	29,715	109.4%
65-74 歳	9,834	9,011	9,979	10,007	9,815	10,290	10,410	10,182	10,202	9,635	9,119	10,976	9,955	119,460	108,625	110.0%
75 歳以上	11,656	10,599	11,922	12,070	11,394	12,314	12,421	11,911	12,476	11,738	10,899	13,393	11,899	142,793	131,173	108.9%
合計	39,477	36,085	40,739	40,993	62,414	41,335	42,122	40,738	42,351	39,448	37,302	45,551	41,338	496,053	433,621	114.4%

4-9 年齢別延患者数(入院)

(単位:人)

年齢 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度計	前年比
0 歳	950	857	839	803	698	778	995	917	907	906	814	927	866	10,391	10,581	98.2%
1-6 歳	144	186	193	217	205	81	160	181	138	153	129	135	160	1,922	1,719	111.8%
0-9 歳	1,110	1,057	1,072	1,063	932	868	1,173	1,122	1,076	1,083	957	1,097	1,051	12,610	12,801	98.5%
10-19 歳	129	111	133	184	245	180	182	186	262	169	140	232	179	2,153	2,157	99.8%
20-29 歳	649	590	468	523	542	598	743	731	492	511	438	637	577	6,922	6,505	106.4%
30-39 歳	787	978	1,072	1,182	1,244	1,055	1,032	886	1,098	1,028	873	993	1,019	12,228	10,497	116.5%
40-49 歳	962	1,213	974	1,076	1,118	987	1,110	870	822	739	749	995	968	11,615	11,473	101.2%
50-59 歳	1,619	1,475	1,600	1,828	1,541	1,636	1,755	1,681	1,434	1,316	1,221	1,693	1,567	18,799	18,235	103.1%
60-64 歳	1,061	1,087	1,144	1,297	1,100	1,174	1,041	988	1,084	1,164	865	972	1,081	12,977	11,961	108.5%
65-74 歳	4,026	4,082	4,046	3,828	3,958	3,863	3,998	4,104	4,300	4,146	3,736	3,929	4,001	48,016	47,060	102.0%
75 歳以上	5,817	5,828	6,036	5,482	5,813	5,652	6,189	5,963	6,237	6,834	5,758	6,807	6,035	72,416	72,907	99.3%
合計	17,254	17,464	17,577	17,483	17,396	16,872	18,378	17,629	17,850	18,049	15,680	18,417	16,478	197,736	193,596	102.1%

4-10 地区別延患者数(外来)

(単位:人)

市町村	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度計	前年比
下田市		862	779	930	899	883	959	928	920	942	882	801	1,001	899	10,786	10,166	106.1%
東伊豆町		671	649	661	687	668	721	711	665	703	699	650	760	687	8,245	7,886	104.6%
河津町		484	397	458	483	406	451	491	451	453	453	388	530	454	5,445	5,298	102.8%
南伊豆町		404	394	392	389	409	363	419	405	398	365	350	402	391	4,690	4,508	104.0%
松崎町		352	275	317	314	326	377	357	322	363	319	298	392	334	4,012	3,660	109.6%
西伊豆町		597	523	564	560	582	597	643	520	579	528	501	667	572	6,861	7,004	98.0%
熱海市		924	823	918	907	850	922	882	923	908	790	782	990	885	10,619	9,822	108.1%
伊東市		3,383	3,088	3,399	3,502	3,351	3,648	3,607	3,525	3,693	3,287	3,109	3,762	3,446	41,354	38,650	107.0%
沼津市		4,112	3,876	4,309	4,332	4,194	4,386	4,357	4,295	4,431	4,104	3,876	4,669	4,245	50,941	46,647	109.2%
三島市		4,086	3,802	4,290	4,381	4,115	4,264	4,516	4,279	4,431	4,305	4,001	4,941	4,284	51,411	46,692	110.1%
御殿場市		1,120	1,059	1,218	1,211	1,252	1,208	1,267	1,224	1,312	1,172	1,116	1,484	1,220	14,643	12,064	121.4%
裾野市		864	806	930	945	932	958	993	945	1,009	865	888	1,053	932	11,188	9,732	115.0%
伊豆市		4,297	4,019	4,538	4,505	4,394	4,601	4,696	4,593	4,679	4,466	4,094	4,875	4,480	53,757	49,069	109.6%
伊豆の国市		8,994	8,204	9,230	9,460	9,364	9,540	9,732	9,216	9,577	9,014	8,564	10,173	9,256	111,068	101,344	109.6%
函南町		3,486	3,001	3,586	3,467	3,481	3,444	3,569	3,513	3,565	3,295	3,189	3,909	3,459	41,505	37,534	110.6%
清水町		757	738	840	837	839	822	876	818	896	813	829	981	837	10,046	9,159	109.7%
長泉町		751	677	707	767	695	708	736	711	710	665	676	785	716	8,588	8,395	102.3%
小山市		167	210	261	210	224	243	246	220	255	218	206	209	222	2,669	2,403	111.1%
富士宮市		261	211	245	233	210	222	231	232	252	203	183	244	227	2,727	2,371	115.0%
富士市		527	449	548	519	536	505	537	486	558	496	501	572	520	6,234	5,616	111.0%
県内その他		355	296	332	323	309	338	350	351	350	353	378	444	348	4,179	4,291	97.4%
県外		1,050	915	1,010	1,020	1,032	1,014	922	1,063	1,139	1,043	1,042	1,535	1,065	12,785	11,310	113.0%
合計		38,504	35,191	39,683	39,951	39,052	40,291	41,066	39,677	41,203	38,335	36,422	44,378	39,479	473,753	433,621	109.3%

4-11 地区別延患者数(入院)

(単位:人)

市町村	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	月平均	当年度計	前年度計	前年比
下田市		567	563	564	554	496	448	540	597	508	437	481	601	530	6,356	6,333	100.4%
東伊豆町		369	375	381	409	327	313	500	491	313	339	394	458	389	4,669	4,059	115.0%
河津町		176	237	218	152	242	268	194	161	244	281	202	194	214	2,569	2,401	107.0%
南伊豆町		284	291	313	201	175	193	194	162	225	258	180	87	214	2,563	2,706	94.7%
松崎町		118	150	95	222	163	154	183	57	121	163	137	177	145	1,740	2,248	77.4%
西伊豆町		234	307	507	428	303	213	192	294	204	238	218	314	288	3,452	3,783	91.3%
熱海市		312	393	370	284	321	356	415	341	302	253	313	202	322	3,862	3,895	99.2%
伊東市		1,419	1,428	1,505	1,468	1,523	1,528	1,610	1,485	1,596	1,579	1,485	1,811	1,536	18,437	18,884	97.6%
沼津市		1,845	1,869	1,744	1,854	1,919	1,906	1,777	1,487	1,592	1,974	1,845	2,058	1,823	21,870	23,489	93.1%
三島市		1,651	1,546	1,313	1,712	1,694	1,786	1,948	2,053	1,817	1,808	1,558	1,701	1,716	20,587	19,240	107.0%
御殿場市		745	1,016	1,119	1,147	1,093	967	1,151	1,108	1,065	917	706	855	991	11,889	8,638	137.6%
裾野市		445	457	409	384	394	461	492	502	485	656	454	731	489	5,870	5,082	115.5%
伊豆市		1,905	1,419	1,776	1,782	1,693	1,459	1,697	1,349	1,641	1,986	1,575	1,590	1,656	19,872	18,922	105.0%
伊豆の国市		2,766	2,643	2,913	2,601	2,658	2,469	2,673	3,018	2,759	2,654	2,176	2,628	2,663	31,958	33,602	95.1%
函南町		1,256	1,187	1,198	1,135	1,303	1,387	1,254	1,052	1,486	1,329	1,158	1,236	1,248	14,981	16,073	93.2%
清水町		325	479	289	311	247	375	424	390	335	324	330	414	354	4,243	4,572	92.8%
長泉町		458	390	398	425	500	507	420	359	470	445	222	533	427	5,127	4,106	124.9%
小山市		258	295	257	158	201	138	231	190	197	167	186	166	204	2,444	1,344	181.8%
富士宮市		92	167	147	232	166	88	195	86	82	87	88	120	129	1,550	1,926	80.5%
富士市		285	299	209	221	213	307	353	450	460	412	377	498	340	4,084	2,952	138.3%
県内その他		143	218	295	289	166	107	193	247	255	179	152	299	212	2,543	2,509	101.4%
県外		507	692	526	494	696	583	587	652	648	504	500	682	589	7,071	6,832	103.5%
合計		16,160	16,421	16,546	16,463	16,493	16,013	17,223	16,531	16,805	16,990	14,737	17,355	16,478	197,737	193,596	102.1%